



コザ運動公園再整備基本構想・基本計画 報告書

令和8年7月
沖縄市

報告書資料の目次

業務概要・公園概要	1. 本業務目的	P2	課題の解決案	8. 再整備施設等の機能・規模の検討	P64	8章までが基本構想
	2. 本公園の概要	P3		・ 再整備基本方針	P65	
	3. 上位・関連計画	P4		・ 各施設の整備方針	P83	
成功の定義策定	4. 検討方法	P7		・ 街灯等を踏まえた景観計画	P113	
	5. 本公園の成功の定義/KPI			・ 法規制の確認	P131	
	・ 成功の定義/KPI	P8		・ 整備効果の検討	P133	
	・ 成功の定義にいたる検討	P10		・ その他誘客関連施策	P134	
				・ 概算事業費	P138	
成功の定義達成に必要な課題抽出	6. 現状把握	P16	業務範囲の基本計画	9. 基本計画	P139	9章から基本計画
	・ 現地調査・施設の課題	P17		・ 野球場整備計画	P140	
	・ 利用者視点	P25		・ 園路整備計画	P203	
	・ 施設視点	P33		・ パース	P236	
	・ 管理者視点	P42		・ 概算事業費	P253	
	7. 課題の抽出	P46		・ 整備スケジュール	P254	
	・ 計画地の現状・問題点の整理	P49		10. 今後の課題	P255	
	・ 再整備に係る課題整理	P63		資料編	P258	

沖縄市は1996年にスポーツ交流のまちづくりを目的に「スポーツコンベンションシティ」を宣言し、各種プロ、アマスポーツのキャンプ合宿受入れをはじめ、琉球ゴールデンキングスやFC琉球のホームタウンになるなど、スポーツコンベンション事業の推進に取り組んでいる。

本業務では、沖縄県の中部中核都市である沖縄市の沖縄南ICと近接するなどの地理的優位性や県内唯一の沖縄サントリーアリーナなどの地域特性を活かしながら、スポーツ・観光等を通じて、市民や県民、事業者や来訪者などの多様な交流・賑わいを創出する沖縄の振興拠点の形成を図るため、社会体育施設等（沖縄市野球場、園路）の再整備について、更なるプロスポーツの振興につながる施設整備を検討し、スケジュールや概算額の算出を行い、効率かつ効果的な再整備計画の検討を図り、コザ運動公園の魅力向上につながる基本構想・基本計画を策定する。

■位置

沖縄市コザ運動公園は、沖縄市南インターチェンジを下りて沖縄環状線・やまなか通り（県道85号線）沿いに位置し、沖縄自動車道と近接しており、市街地と隣接していることから、地域住民にとっても利用しやすい立地となっている。

■全体概要

沖縄市コザ運動公園の敷地面積は約23.77ha（平成13年告示）で、市内有数の大規模運動公園である。園内には、野球場（コザしんきんスタジアム）、陸上競技場、体育館、多目的運動場、武道館、弓道場、屋内運動場、投球練習場など、多様なスポーツニーズに対応した施設が集積している。

本公園は、日常的な市民利用に加え、プロ野球キャンプの実施や「全島エイサーまつり」をはじめとする大規模イベントの会場としても活用されており、スポーツ・文化・交流の拠点として重要な役割を担っている。

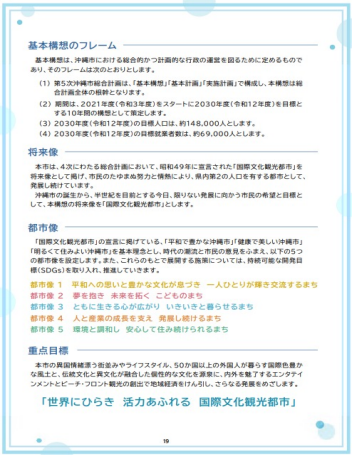
また、公園内には、国内最大級の収容規模を有する多目的アリーナである沖縄サントリーアリーナが立地しており、プロスポーツやコンサート、国際的なイベント等が開催されている。これに併せて整備された立体駐車場は、公園利用者やアリーナ来場者の円滑な受け入れを支えている。



地図データ ©2025 Google

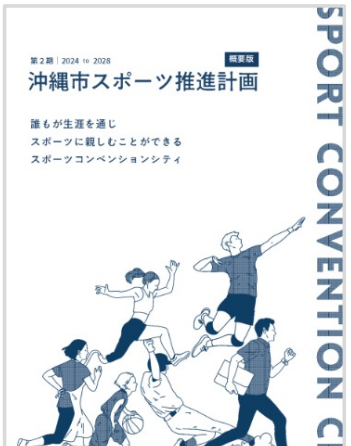
上位・関連計画

第5次沖縄市総合計画



本計画では、コザ運動公園を、市民がスポーツの楽しさに触れる場であるとともに、合宿・国際大会・プロスポーツとの接点を通じて夢や次世代選手を育む拠点として位置づけ、機能更新や役割設定の参考。

沖縄市スポーツ推進計画



基本施策	具体施策
1-1 子どものスポーツ推進	● 選手で定しめるスポーツイベントの開催及び支援の実施 ● 市民体育の振興 ● 生徒のスポーツ環境の確保・維持 ● 児童の促進 ● 児童のスポーツ環境の確保・維持 ● 児童生徒の運動能力向上に向けた支援の実施
1-2 障がい者・子育て世代のスポーツ推進	● 市民に身近なスポーツ施設およびスポーツイベント等の開催 ● 多様なスポーツプログラム等の提供及びスポーツサールの運動支援 ● スポーツイベントの開催支援 ● ライフステージに応じた継続づくり支援
1-3 高齢者のスポーツ推進	● スポーツによる介護予防 ● 高齢者のスポーツ参加の促進
1-4 障がい者のスポーツ推進	● 障がい者（児）のスポーツ参加の促進 ● 障がい者スポーツ用具の購入・貸出による活動支援
2-1 スポーツ環境や場の充実	● 沖縄市立総合運動場体育施設（コザ運動公園）の施設更新による機能の維持向上 ● 公園の活用促進 ● 学校体育施設及び地域・学校連携施設の活用促進 ● 学校体育施設が活用できるスポーツ環境の活用 ● 全ての施設が活用できるスポーツ環境の活用
2-2 スポーツを支える人材・設備の確保・育成	● 総合型地域スポーツクラブへの支援 ● スポーツ推進委員の活用促進 ● 沖縄県スポーツ振興への支援 ● スポーツボランティアの育成
2-3 情報発信の強化	● 多様な媒体の活用によるスポーツ情報の提供
3-1 スポーツを通じた多様な交流の創出	● 選手で定しめるスポーツの普及・促進 ● プラススポーツチーム等との連携による広域連携の創出 ● 国内交流事業でのスポーツ交流の推進
3-2 スポーツ交流人口拡大による地域振興の促進	● スポーツコンベンションの推進 ● スポーツ・観光の振興 ● 沖縄アリーナの活用促進 ● モータースポーツの振興 ● 東部国際体育事業の推進

沖縄市スポーツ推進計画に明記されたコザ運動公園の改修更新、機能維持・向上、園路整備、ユニバーサルデザイン・バリアフリー、合宿・国際大会誘致を踏まえ、市民利用と交流拠点性を高める整備に反映する。

沖縄市地域防災計画

沖縄市地域防災計画

令和 6 年 12 月
沖縄市防災会議

6 防災拠点の整備に関する検討（各関係課）	
(1) 防災拠点	
本市の防災拠点は、広域避難場所として指定されているコザ運動公園とし、大規模災害時における公園内施設の役割は次のとおりとする。また、災害応急対策活動の場として防災機能をより一層効果的に発揮させるため、備蓄倉庫、非常用電源設備等、耐震性貯水槽等による水の確保、マンホールトイレ及び臨時ヘリポート等の整備を推進し、防災拠点としての強化を図る。	
施設名	使用用途
沖縄アリーナ	広域物資輸送拠点等の防災拠点
体育館	指定避難所等
武道館	遺体収容施設
陸上競技場	応急救護所及び仮設風呂
多目的運動場	ボランティアセンター
野球場	ヘリポート
グリーンフィールド	支援物資集積拠点
サブグラウンド	第1応急仮設住宅
コザ運動公園内駐車場	その他の防災拠点

コザ運動公園を広域避難場所・防災拠点・物資集積拠点として捉え、災害時の避難、物資輸送、応急活動を支える園路等の動線確保や公園内施設の防災機能に配慮し、機能更新に反映する。

沖縄市人にやさしいまちづくり環境整備要綱（略：人まち）

人にやさしいまちづくり環境整備要綱

沖縄市人にやさしいまちづくり（略：人まち）環境整備要綱

この整備要綱は「誰もが住みよいまちづくり」を目指し、平成5年より施行している沖縄市独自で定める。公共施設をはじめ、公共性の高い民間施設、また公園や道路等の整備の際に、市民が安全かつ快適に利用できるように整備基準を定め、市民福祉の向上を図ることを目的としております。

IV-B 園 路
整備の基本的考え方 ➡(1) 各施設を利用できるようにするため、車いす使用者などハンディキャップを持った人に配慮した通行道幅を1経路は確保する。
①【勾 配】 ・縦断勾配は4%（1/25）以内、3～4%（1/30～1/25）の勾配が50m以上続く場合は、途中で150cm以上の水平部分を設ける。 ・横断勾配は水平勾配程度とし、可能な限り水平にする。
②【幅 員】 ・園路の有効幅員は120cm以上とする。
③【仕上げ】 ・舗装は滑りにくく平坦な仕上げとし、砂利敷は用いない。
④【段 差】 ・縁石・側溝などにより、通行道幅と交差する段差は、残存段差2cm以下として切り下げる。 ・切り下げ部分の有効幅員は120cm以上とする。 ・すりつけ勾配は8%（約1/12）以下とする。 ただし、高低差が16cm以下の場合には1/8とするところがある。

本整備要綱が公園の出入口、園路、スロープ、階段、トイレ等を整備対象としていることを踏まえ、コザ運動公園における誰もが安全・快適に利用できる移動環境と施設環境の整備に反映する。

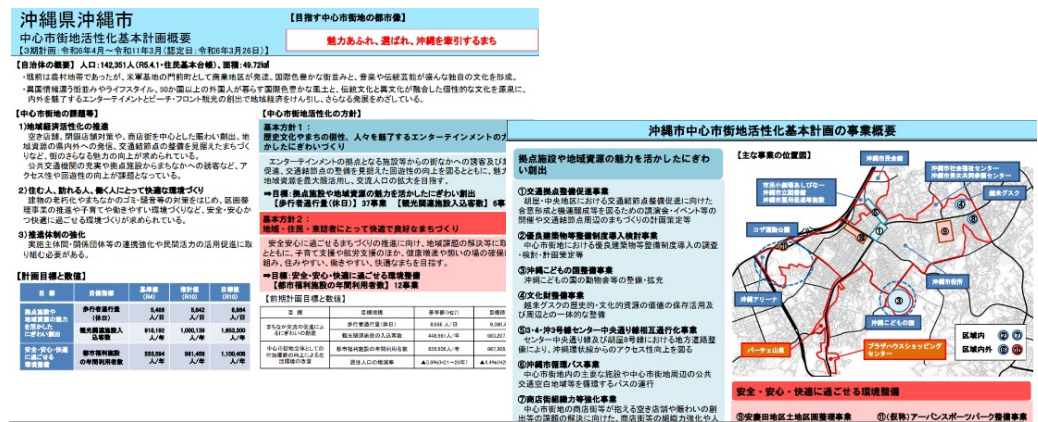
上位・関連計画

沖縄県福祉のまちづくり条例



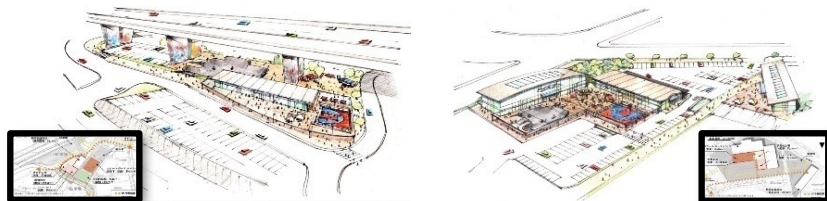
勾配・幅員等の基準を踏まえ、整備水準検討時の参考条件として考慮。

沖縄市中心市街地活性化基本計画



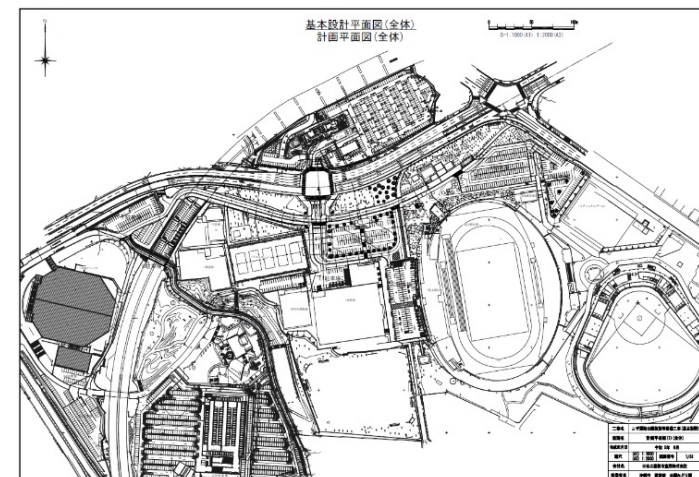
本計画では、コザ運動公園をスポーツコンベンションの核とし、更に沖縄アリーナ等の集客施設や商店街と連携して街なかへの誘客・回遊・消費を生む拠点として捉え、園路等賑わい創出の方向性、中心市街地との連携可能性検討にあたり参考。

(仮称) アーバンスポーツパーク誘客等可能性調査業務



過年度検討したアーバンスポーツパーク誘客可能性調査を踏まえ、当公園における可能性を検討。

令和5年度コザ運動公園施設等整備工事（基本設計）



過年度検討した基本設計を踏まえ、園路整備の方向性を検討。

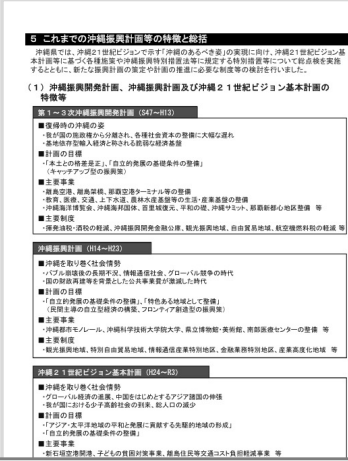
上位・関連計画

スポーツ基本法



施設整備、運用改善、安全確保、利便性向上、地域スポーツ・レクリエーションの場の充実を踏まえ、コザ運動公園の野球場・園路等の機能更新、安全・快適な環境整備、役割設定の参考。

沖縄振興計画



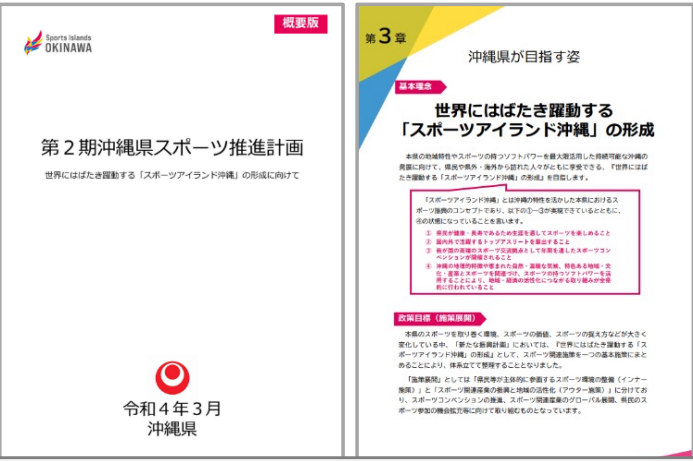
スポーツアイランド沖縄の形成、スポーツコンベンション推進、交流拠点形成、施設整備の方針を踏まえ、コザ運動公園の広域的なスポーツ・交流拠点としての機能更新や役割設定の参考。

スポーツ基本計画



多様な主体のスポーツ機会創出、共生社会の実現、スポーツ実施率向上・健康増進の方針を踏まえ、コザ運動公園の多世代・多様な利用を支える施設機能や利用環境整備の参考。

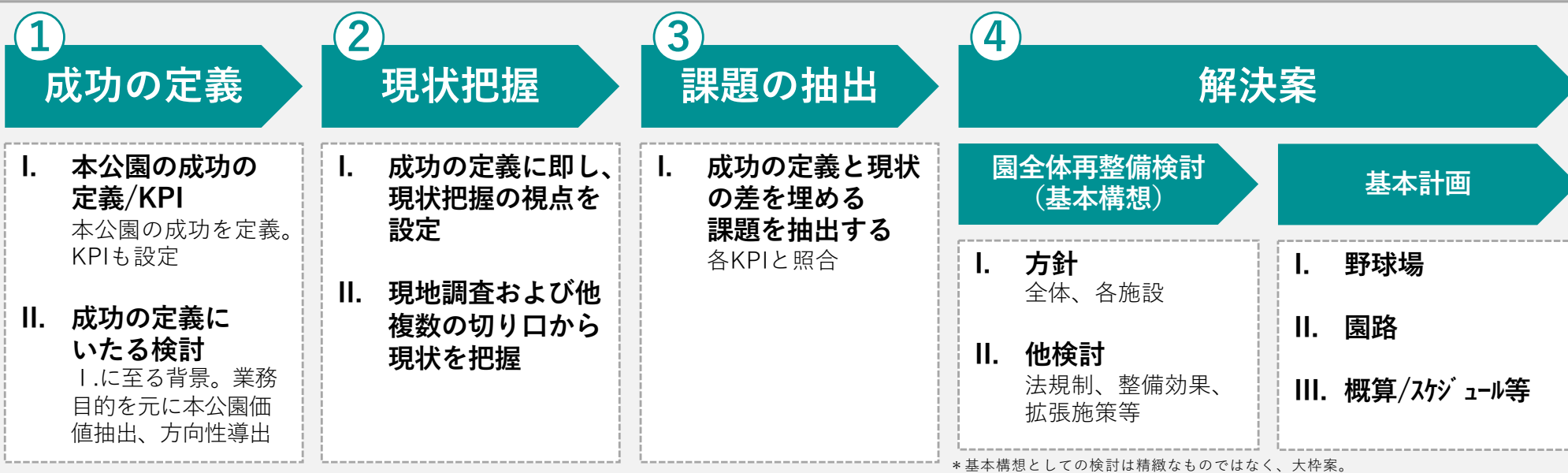
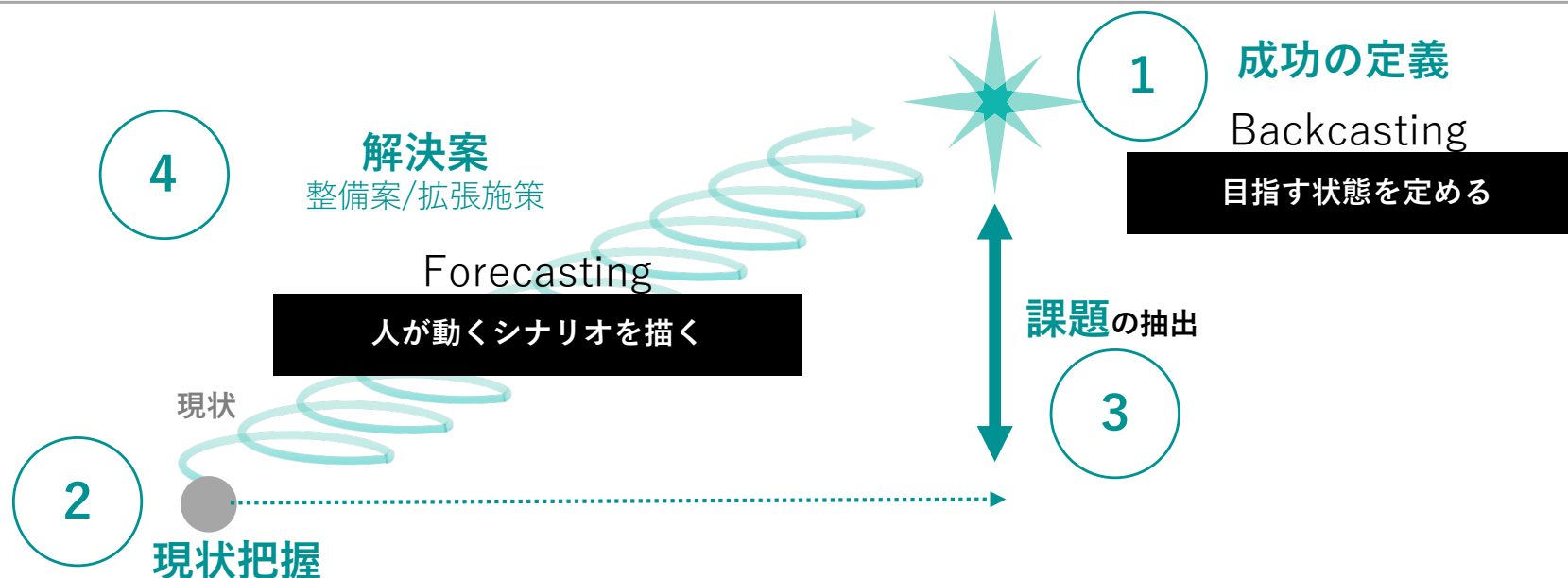
沖縄県スポーツ推進計画



沖縄県スポーツ推進計画に示される、施設整備、老朽化対策、ICT活用、バリアフリー・多言語化、スポーツコンベンション対応を踏まえ、コザ運動公園の安全な利用環境と広域スポーツ拠点機能の検討の参考。

検討ステップ

まずはじめに成功の定義を設定する。目指す状態がなければ、何の現状を把握すべきか、何の課題を抽出すべきかも定まらない。成功の定義が最初にあることで、それに即した現状把握、成功の定義と現状の差を埋める課題の抽出が可能となる。



* 基本構想としての検討は精緻なものではなく、大枠案。

本公園の成功により得られる成果

市民の豊かな暮らし

本公園の成功の定義

- ① 世界のアスリートから選ばれ続け、市民が憧れ利用する。
 ② さらに多様なニーズを取り込み、交流による飛躍の場として
 ③ 持続した状態を成功と定義する。

[多様なニーズとは]

主に運動施設以外の機能強化により対応。

スポーツに日頃親しむ市民だけでなく、福祉（高齢者、障がい者、子ども）、ファミリー県外・海外、観光客。防災視点。「する/見る/集う」の中の「集う」、憩い（飲食）や交流など。

K P I

①運動施設利用者（プロ/セミプロ/アマ/一般/観戦者）の満足度、プロ誘致数、稼働率

…利用者アンケート、誘致実績、稼働率

②来園セグメント/目的の多様化、各セグメント来園者数

…来園者アンケート（簡易的には目視）、アリーナ来場者の園内誘引（目視確認、可能なら人流データ）
 人流データ（県が調査済の場合、県のデータを活用）
 GoogleマップやTripadvisorの口コミ数・評価も確認（国内外観光客）
 ＊多様化：成功の定義内「多様なニーズ」参照

③運営管理費用の最適化

…①②とバランスを取りながら、運営管理費用の最適化を図る

成功の定義からのKPI抽出について補足する。

本公園の成功の定義

世界のアスリートから選ばれ続け、市民が憧れ利用する。さらに多様なニーズを取り込み、交流による飛躍の場として持続した状態を成功と定義する。

[多様なニーズとは]

主に運動施設以外の機能強化により対応。スポーツに日頃親しむ市民だけでなく、福祉（高齢者、障がい者、子ども）、ファミリー県外・海外、観光客。防災視点。「する/見る/集う」の中の「集う」、憩い（飲食）や交流など。

成功の定義を3つの主要要素に分解

1 「世界のアスリートから選ばれ続け、市民が憧れ利用する」（成功の定義より）

世界のアスリートから選ばれ続ける施設は、市民も憧れ利用したいと考える。アスリート視点と市民視点を合わせた施設をつくるため、プロだけでなくセミプロ・アマ・一般・観戦者など運動施設利用者の満足度向上を目指す。また、アスリートから選ばれ続けるということはプロ誘致数を増やすことである。そして、世界のアスリートも市民も満足度高く利用することで、稼働率が高くなることを目指すものである。

▶ **KPI①運動施設利用者（プロ/セミプロ/アマ/一般/観戦者）の満足度、プロ誘致数、稼働率**

KPI調査例：利用者アンケート、誘致実績、稼働率

2 「多様なニーズ」（成功の定義より）

本公園はスポーツ大会・興行の他、日常的な運動・休憩・飲食・遊びなど、様々な目的で使える公園を目指す。また、子どもやファミリー、高齢者、障がい者、観光客など、幅広い利用者層（セグメント）に対応できるようにし、各セグメント来園者数の増加や満足度向上を目指す。

▶ **KPI②来園セグメント/目的の多様化、各セグメント来園者数**

KPI調査例：来園者アンケート（簡易的には目視）、アリーナ来場者の園内誘引（目視確認、可能なら人流データ）
人流データ（県が調査済の場合、県のデータを活用）
GoogleマップやTripadvisorの口コミ数・評価も確認（国内外観光客）

3 「持続」（成功の定義より）

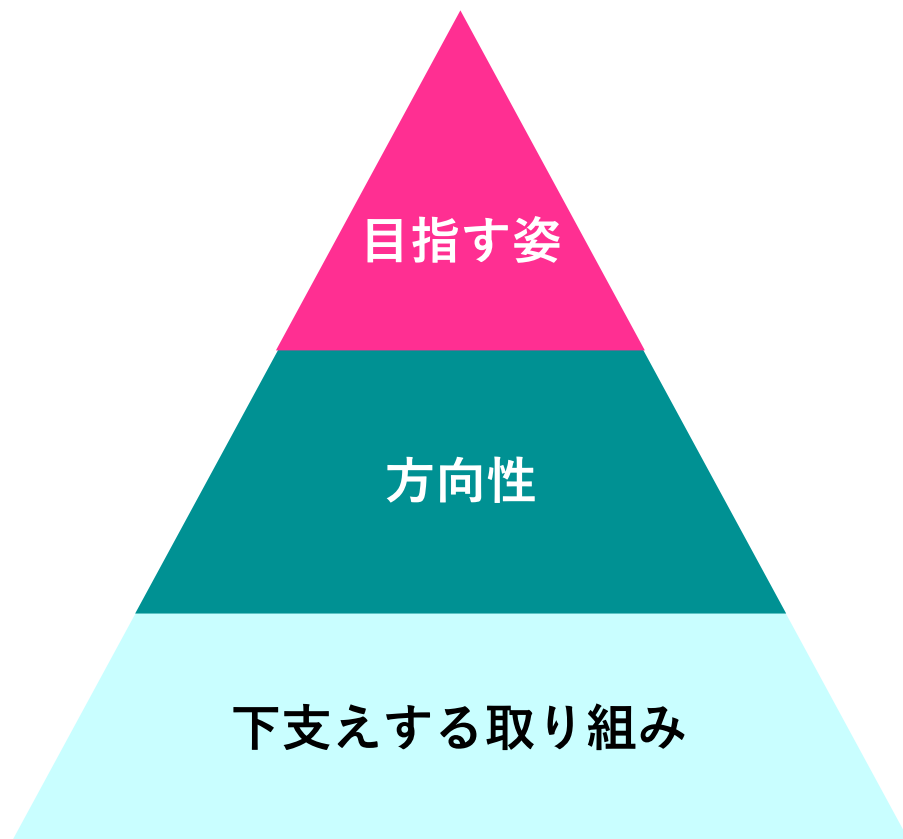
アスリートの利用をはじめとした稼働率向上や集客力向上を図るとともに、来園者に対するサービスの提供により、収益性の向上を図る。併せて日常の施設・設備の点検・修繕等により持続可能な施設運営を目指す。

▶ **KPI③運営管理費用の最適化**

*①②とバランスを取りながら、運営管理費用の最適化を図る

コザ運動公園リニューアルの目標・方針について

短期的効果	スポーツ利用・そのほか市内来訪者数増加、公園施設の市民サービス提供
長期的効果	スポーツの聖地化による地域活性化、市民の健康増進、スポーツ競技力向上



- ・ プロスポーツをはじめとした利用によるスポーツの聖地化を目指す
- ・ 多くの市民に利用される公園施設を目指す

- ・ スポーツ施設の機能強化によるプロ仕様化
- ・ コザ運動公園におけるさまざまなサービス提供による来園動機拡張

- ・ プロをはじめ各競技に必要な機能整備、施設改修、大会・合宿誘致、市民利用促進
- ・ 民間活力の導入による飲食、宿泊等のサービス提供および公園魅力向上
- ・ 都市公園としての憩い、防災機能の付加

世界のアスリート

世界の視点



アジア圏に位置し、地理的優位性がある。

国内の視点



キャンプや合宿などの、重要な条件である温暖な気候もあり、強固なポジションである。

県の視点



沖縄自動車道の沖縄南IC隣接、市の玄関口としての地理的優位性をもとに、ワンランク上の整備、4リーグ/種目を有する運動公園としての利点享受する。

- * 県は狭隘のため運動施設間で移動しやすく、練習試合等を行いやすい利点も享受する
- * 市の玄関口については8章で詳細記載

市民

市の視点



世界のアスリートから選ばれる運動施設に憧れ、利用促進。運動施設以外（園路等）の機能強化により、高齢者、障がい者、子ども含む市民誰もが利用したくなる場に。

スポーツ振興により、世界のアスリートからも選ばれ続ける公園に

市民の多様なニーズを受容

現在地と拡張可能性

抜粋

- ・ 琉球ゴールデンキングス
- ・ FIBA
- ・ サントリーサンバーズ大阪
- ・ 琉球アスティーダ
- ・ コンサート/MICE他

バスケットの聖地
世界の注目
多様な賑わい

抜粋

- ・ 広島カープ
- ・ フランス/ブラジル男子バレーボール代表
- ・ ジャパンウィンターリーグ
- ・ 沖縄SV
- ・ 全島エイサー他

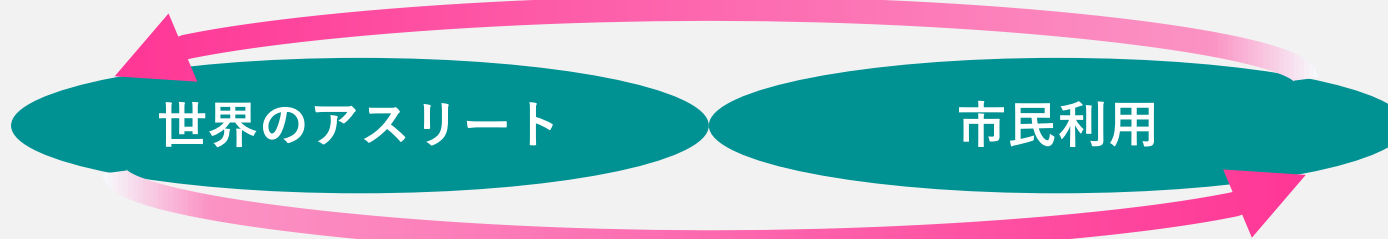
世界のアスリートから選ばれ
市民のスポーツと憩いの場として
更なる拡張可能性

拡張可能性

- ・ 施設仕様更新による受け入れ拡大
- ・ 機能強化による更なる誘致
- ・ 市民のスポーツ、憩いの場としての機能強化
(園路、便益施設の課題等)

アリーナのバスケットを始めとして、世界のアスリートから選ばれる運動公園となっている。
また、市民のスポーツと憩いの場である。
さらに、機能強化を行い、他に類を見ない運動公園を目指す。

世界のアスリート・市民ともに満足され、相乗効果を生み出す拡張を検討



「する」「見る」「集う」全てを満たすことで、世界のアスリート・市民の満足を得る

する

運動施設を利用し、運動する市民、競技者等。

見る

運動施設を利用し、客席や周辺で運動を見る同行者、競技の観客等。

集う

運動施設以外、園路や広場、店舗等を利用し、飲食、散策、観光、休憩等で公園に集う多様な人々。

* 沖縄市スポーツ推進計画で、スポーツを散歩や日常活動含め幅広く捉えている。

ワンランク上の整備を行う

運動施設（野球場等） をワンランク上に

- ・ 世界のアスリート、市民利用

* ワンランク上の整備

・・・既存の施設を維持するだけでなく、機能強化を図る

運動施設以外（園路等） をワンランク上に

- ・ 市民利用（アスリートも副次的に利用）
- ・ 高齢者、障がい者、子ども視点付加
- ・ 防災視点付加

* 沖縄市スポーツ推進計画で、一般だけでなく高齢者、障がい者、子ども視点の推進も記載

* 本公園は沖縄市地域防災計画で防災拠点に指定

世界のアスリート・市民ともに満足され、相乗効果を生み出す拡張を検討する。
その際、「する」「見る」「集う」全てを満たすことで、世界のアスリート・市民の満足を得る。
方法としてはワンランク上の整備。運動施設および運動施設以外（園路等）どちらもワンランク上にする。

ワンランク上の整備で、世界のアスリートからも選ばれ続ける公園、市民の多様なニーズの受容を適える。さらに、集積・交流によるシナジーを創出。
 結果、市民が憧れ利用促進・次世代アスリート育成・市民が集う。また、観光客の更なる誘客となる。
 +αの要素として、スポーツに他魅力を掛け合わせることで来園動機を拡張し、付随した誘客を行う。
 上記以外にも上位・関連計画や、さまざまな目標・目的があるため、一覧化。次頁ではこれらをカテゴライズし、構造化する。

ワンランク上の整備

スポーツ振興により、**世界のアスリートからも選ばれ続ける公園**に
市民の多様なニーズを受容（市民スポーツ、健康増進、憩い…）

集積・交流によるシナジー創出

運動公園のブランド化/発信力強化

アスリート同士・市民との交流

利用者の他種目への興味

プロスポーツファンのシナジーによる各種目価値向上

- ・ 野球とサッカーのファン層の重なり
- ・ バスケとバレーのファン層の重なり

年間通した賑わいの形成

市民が憧れ、利用促進、次世代アスリート育成
 市民が集う場

観光客の更なる誘客

市民の暮らしを豊かに

スポーツに他魅力を掛け合わせることで来園動機を拡張、付随した誘客

- ✓ プロチームは気候や施設、アクセス等を重視するが、スポーツ以外にも選手の滞在満足や情報発信に寄与する魅力があることで来園動機が拡張
- ✓ 観戦者はプロチーム目的、市民は運動施設や運動施設以外の目的もあるが、スポーツ以外の他の魅力も合わさることで来園動機が拡張
- ✓ 他魅力により、プロチーム・観戦者・市民以外も付随して誘客
- ✓ 他魅力は沖縄市独自価値訴求につなげる

地理的優位性

沖縄市の玄関口（高速道路からのアクセス）

上位・関連計画

前述上位・関連計画よりキーワード抽出
 スポーツコンベンション
 中心市街地活性化

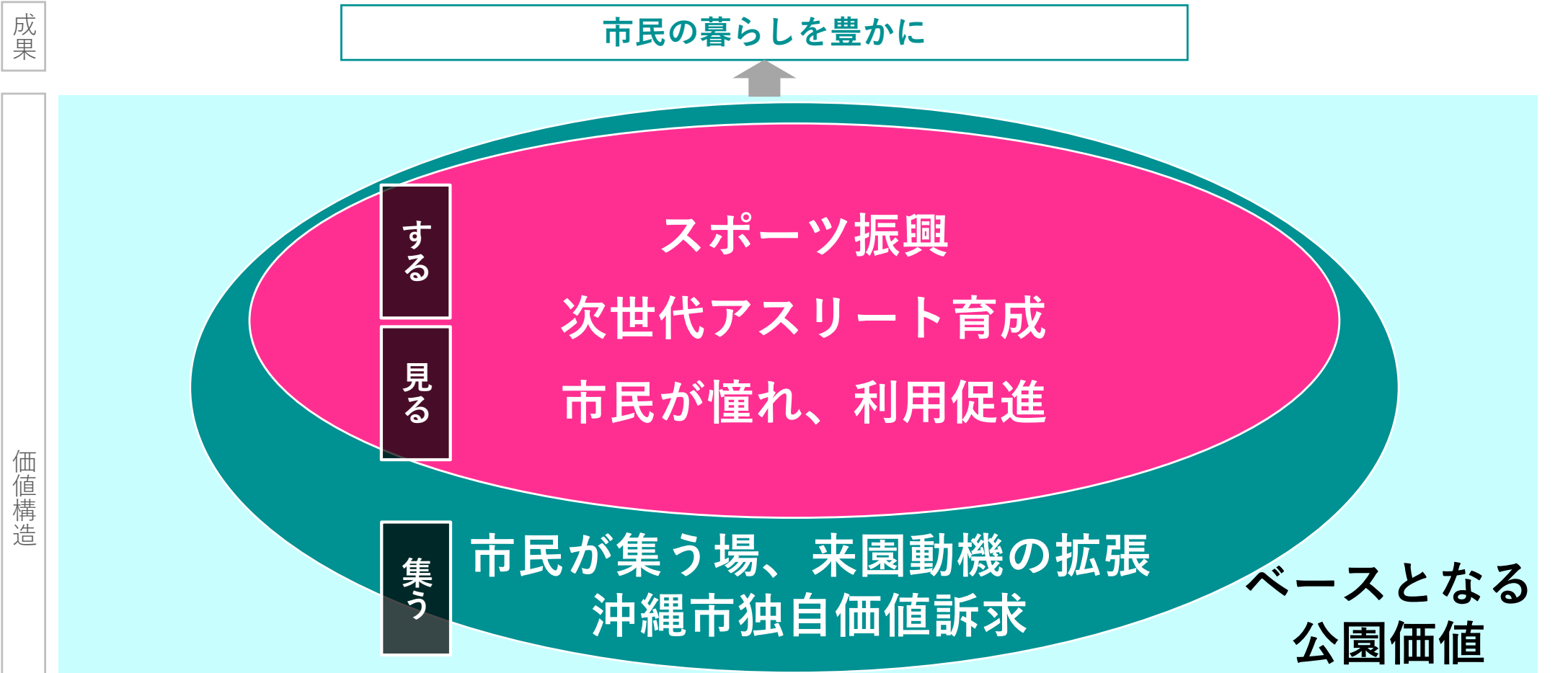
緑
 防災拠点

目標・目的

- ✓ 来園者満足度向上
- ✓ 健康、憩い
- ✓ 沖縄の振興拠点
- ✓ 緑、安全、防災
- ✓ 各施設：来場者、主催者満足
- ✓ 観光地化
- ✓ 中心市街地等誘引
- ✓ オンリーワン
- ✓ 持続的運営管理

様々な目標・目的があるため、カテゴライズし、構造化する

「スポーツ振興」により「市民が憧れ、利用促進、次世代アスリート育成」に。これらは前述の「する」「見る」に該当。
さらに「市民が集う場、来園動機の拡張、沖縄市独自価値訴求」を付加、またベースとなる公園価値がある。これらは前述の「集う」に該当。
成果としては、市民の暮らしを豊かにすることである。



価値項目		対象セグメント	目標、目的
スポーツ振興	する、見る	アスリート、観光客	ワランク上の整備、世界のアスリートから選ばれ続ける、観光、アリーナ、スポーツコンベンション、振興拠点
市民が憧れ、利用促進、次世代アスリート育成	する、見る	市民＋県内外運動施設利用者	プロに限らない多様なレベルのスポーツ、健康
市民が集う場、来園動機の拡張、沖縄市独自価値訴求	集う	上記全セグメント＋観光客拡張/アリーナ客/老若男女/ファミリー/市民に高齢者、障がい者、子ども視点付加	健康、憩い、観光、関係人口増、振興拠点、中心市街地誘引
ベースとなる公園価値	集う	上記全セグメント	持続的運営管理、安全、緑、防災、憩い

成功の定義で定めたKPI（特に①②）視点を持ち、以下の視点で現状を把握する。

現地調査 ※整備視点

8項目で把握（後述）



項目ごとに整理



利用者視点

①プロチーム要望

（本公園利用実績チームより）

②関係団体アンケート

- ・ 沖縄市観光物産振興協会
- ・ 沖縄市スポーツコミッション
- ・ 沖縄市スポーツ協会

③利用者調査

- ・ コザ運動公園令和6年度利用実績データ
- ・ コザ運動公園令和6年度来園者アンケート

ポイントを1枚の表にまとめる

6. 現状把握：現地調査（整備視点）以外の複数の視点まとめ（ポイント抜粋）	
利用実績	プロチーム要望 - 利用実績のあるチーム要望として、カープからは主に野球場の各種機能強化。沖縄SVからは陸上競技場の機能向上。ソフトテニスサークルからは陸上競技場の機能強化。 - 問い合わせとして、リーグからあるが、仕様が変わらないため断っている状況。
関係団体アンケート	関係団体アンケート - リーグ誘致のため、基準に合った陸上競技場整備 - 陸上競技場整備強化 - 軟式硬式対応ニーズ - イベント時の駐車場
利用実績	利用実績 - 陸上競技場の運動施設がある。（両側で向上可能なのはサブグラウンド、陸球場）【本公園利用実績データ】 - イベント時の駐車場不足の課題が上位にあり、以降は「集う」機能関係が多い。【本公園来園者アンケート】
既存調査	既存調査 - 全国都市公園において、集う機能、自然等のニーズ。本公園で近いファミリー層は一般的に主力来園層【国土交通省 都市公園利用実態調査】 - アリーナ等の内外観調査は数回として多く、アリーナの収容率向上に伸びしろあり【沖縄県観光統計調査報告書、沖縄県DX観光実態調査】 - 来園者はほぼ県内、少数の県外客も市外客も多く、県道をアメリカンビレッジとライカムに取られている【沖縄県観光統計調査報告書】 - 来園者の増加にともなう対応として、夕方から夜の来園は少ない【沖縄県観光統計調査報告書】 - アーバンスポーツ施設不足から県年度アーバンスポーツパーク整備計画を踏まえる【（仮称）アーバンスポーツパーク誘客等可能性調査業務】 - 施設点検（高齢者、障がい者、子ども）視点付加。スポーツを数客等幅広く捉える【沖縄市スポーツ推進計画】 - 防災拠点としての防災拠点付加【沖縄県防災計画】
誘客視点現地調査	誘客視点現地調査 「集う」機能が弱い / 園路に大きな課題 / 主要道への魅力訴求不足 / 市街地整備訴求不足
先進事例	先進事例 本公園の参考になり得る事例として： 高木体の管理設備 / 水景施設・噴水 / 子供の室内遊び場 / 園内での広告収益
指定管理者ヒアリング	指定管理者ヒアリング - 公園の「集う」機能は、来園者ニーズに対して提供価値が低く、現状では市場が形成されず、現状では市場が形成されず、現状では市場が形成されず。 - 来園者セグメントの偏り。 - 市街地中心、学生多め、ファミリーも少ない。運動施設以外目的が少ない。 - アリーナ来園者後の課題と公園整備の必要性。 - 他：公園案内内書/回遊性課題/歩道分断/イベント時の駐車場不足/トイレの整備など。

施設視点

④既存調査

- ・ 沖縄市令和4年度観光統計調査業務報告書
- ・ 沖縄県令和6年度DX観光客動態調査
- ・ 国土交通省 令和3年度都市公園利用実態調査

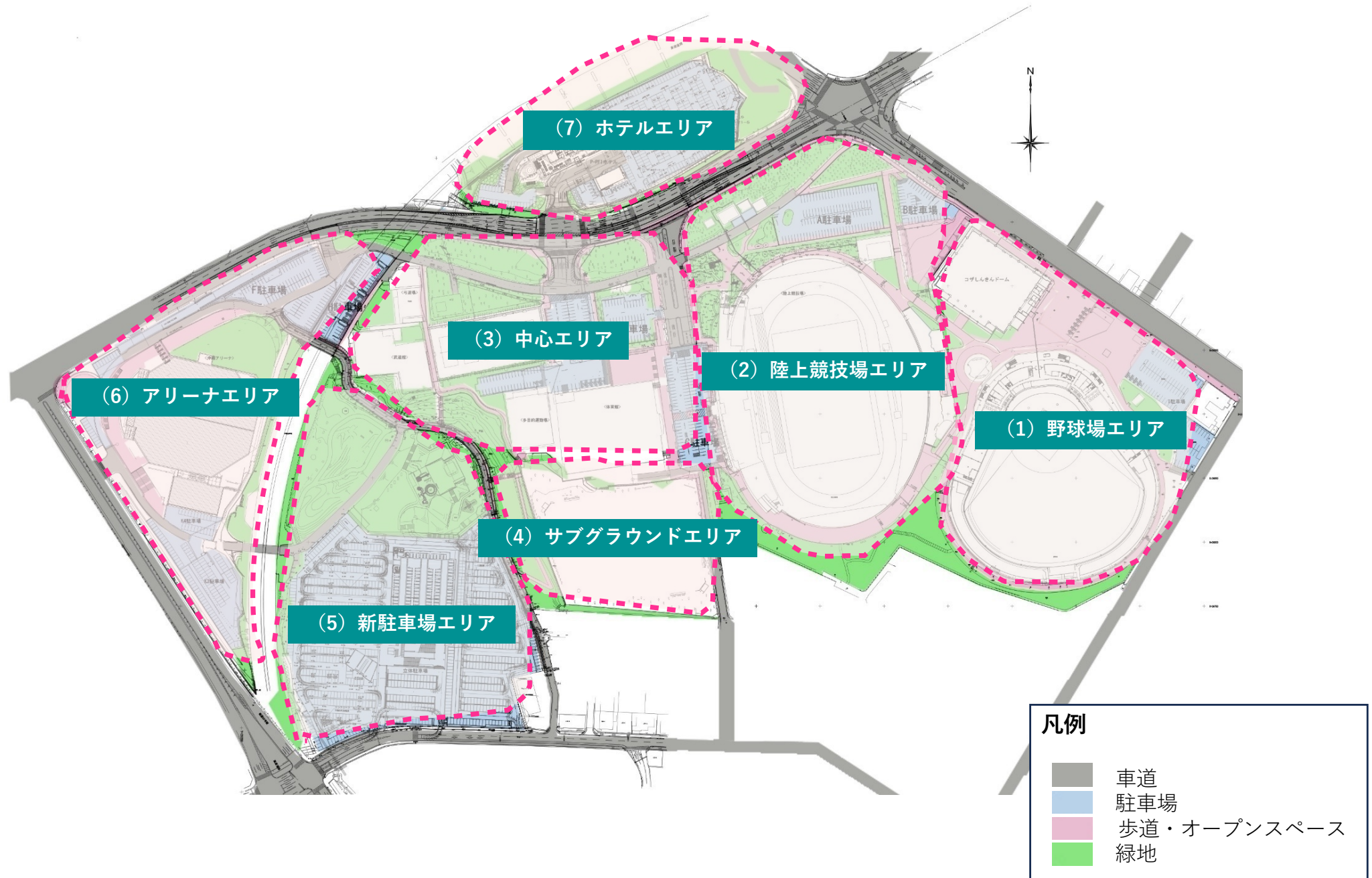
⑤誘客視点 現地調査

⑥先進事例

管理者視点

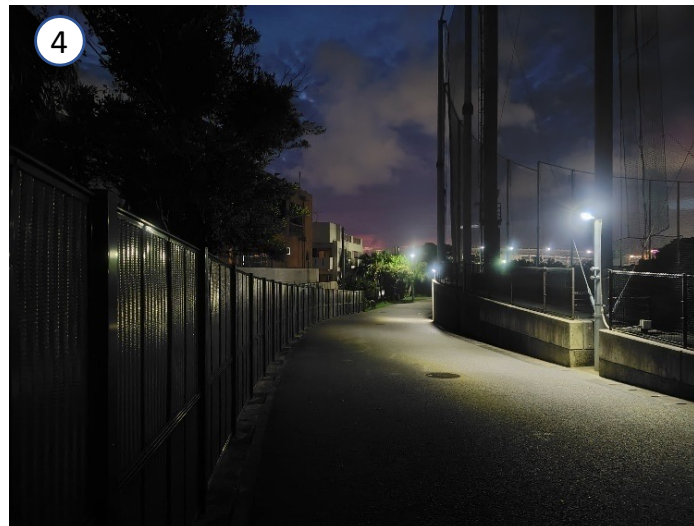
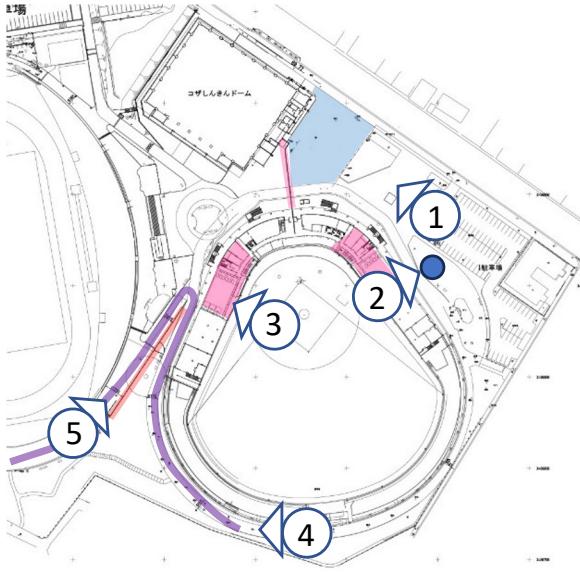
⑦指定管理者ヒアリング

- ・ 沖縄文化スポーツイノベーション株式会社
- ・ 沖縄アリーナ株式会社



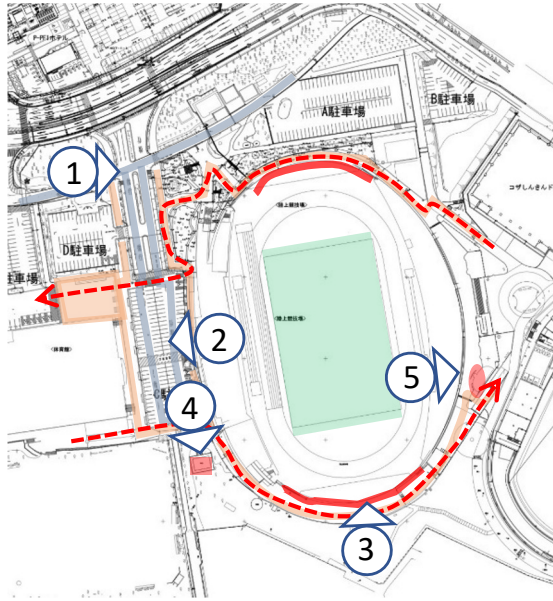
(1)野球場エリア

- ①球場前オープンスペース：休場時は閑散としてしまう。②設備：便所設備更新が必要。給水量、水圧不足等 ※詳細な調査が必要
③施設：ベンチ、選手ロッカー室が狭い。④球場外野側通路：外灯が少なく暗い。⑤園路勾配が約9%と車いすやベビーカーに厳しい。



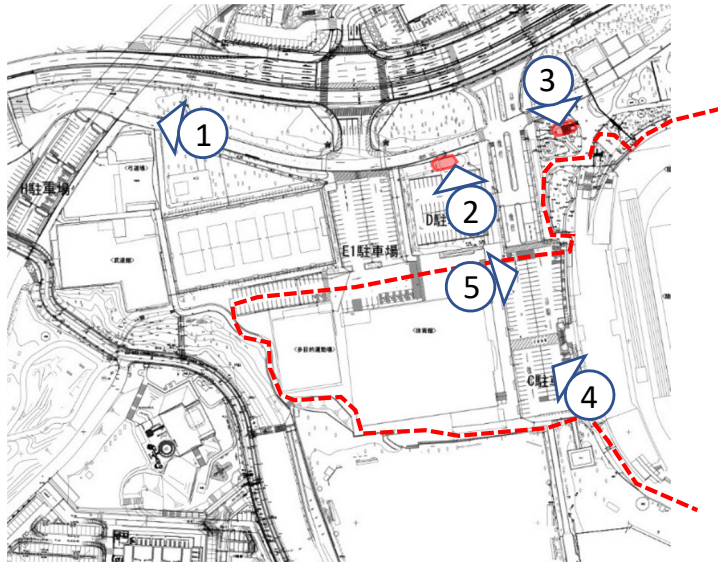
(2)陸上競技場エリア

- ①歩車混在：公園内のメイン動線が、歩車混在している。②駐車場内歩車混在：歩道が途切れている、駐車場内にランニングルートが入り込んでいる。
 ③擁壁：主道線脇擁壁の劣化倒壊危険 ④サブトラック脇便所：老朽化、設備不良 ⑤陸上競技場サブ観覧席用便所：競技場利用時以外利用できない。



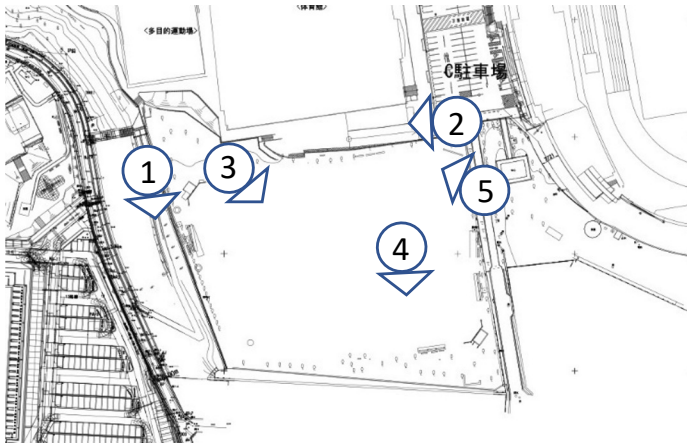
(3)中心エリア

- ①アリーナと運動公園間園路：歩車未分離で危険。 ②駐車場便所：和式等設備更新が必要。
③東屋：支柱劣化、日陰及び利用者が休める場所が少ない。
④陸上競技場側入口：エントランスで歩道が途切れており、エントランス前面が歩車混在。 ⑤歩車混在：ランニングルートが入り込んでいる。



(4)サブグラウンドエリア

①アリーナ側駐車場とのレベル差：高低差があり、新設駐車場からアクセスしづらい。 ②体育館裏：夜間暗い、高低差と裏道で寂しい。
③④⑤サブグラウンド：水銀灯老朽化、照度不足。土舗装の為、水溜まり、泥はね、土埃発生等の問題あり。フェンス整備がされておらず、打球が周辺へ被害をもたらす可能性あり。大規模イベント会場としては土舗装の為使いづらい。臨時駐車場として利用されるが、土舗装の為雨天時は使用できない。



(5)新駐車場エリア

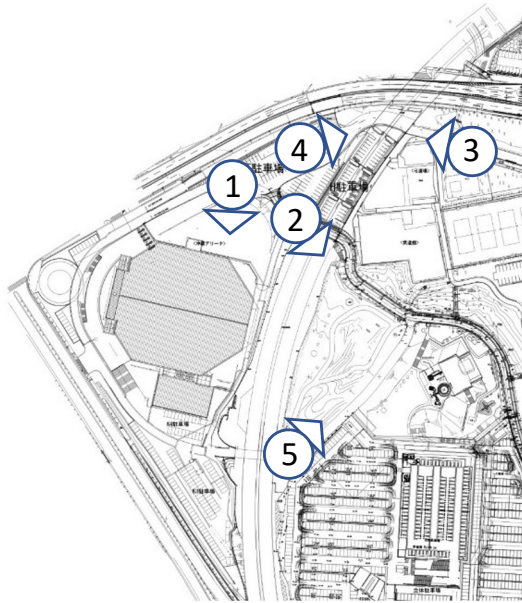
- ①立体駐車場：アリーナ試合時コンサート利用時に出入口が混み合い、特にイベント後一斉に車が出るため、混雑し、出庫時間がかかりかかる。
 ②市道：各施設の導線上に日差し、雨をさえぎる物が無く、荒天時などに不便性がある。
 ③④アリーナ間園路：高速道路高架で分断され、認識されにくく行き来しにくい。⑤アスレチック広場便所：視認されにくい。



(6)アリーナエリア

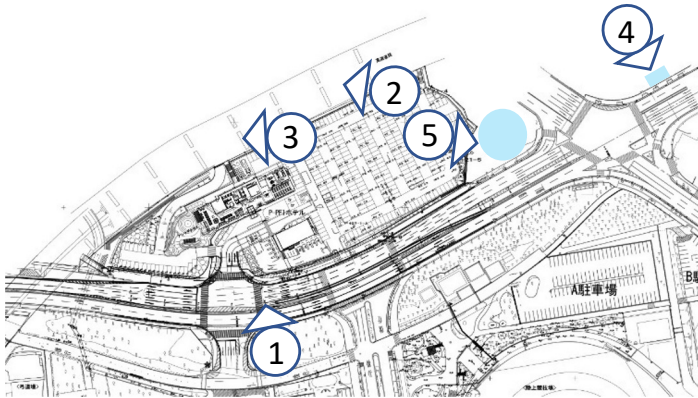
①アリーナ横芝広場：芝広場は仮設食物販などの設置がしにくく、利用しづらい。

②③④⑤運動公園間通園路：アリーナ側から公園が認識されない事及び、高架下の歩車未分離の園路でのみ接道しているので、公園側へも行きにくい。



(7)ホテルエリア

- ①アクセス：横断歩道にて県道85号線を渡る必要がある。②③高架下：有効利用がなされておらず空地となっている。敷地との間に高低差がある。
④沖縄南ICバス停：階段のみでアクセシビリティが確保されていない。⑤未利用地：アクセスに難がある。



* 本公園利用実績チームからのこれまでの要望（口頭含む）

施設	要望	備考
野球場	選手ベンチ拡充	
	選手ロッカールーム拡充	ミーティングができるサイズでの拡充
	バックネット際人工芝改修	
	外野フェンスラバーマット改修	広告受注を検討
	スピードガンの設置	画像トラッキングシステム、3箇所表示
	音響システム向上	防水スピーカー対応
	屋外照明LED化	商用電源での対応
	選手及び観客の動線確保	しんきんスタジアムとしんきんドームを往来する際の動線確保
	トイレ改修	ウォシュレット対応：選手側、観客側、給水管切り回し
	ベンチ排水改修	対応策を検討
	正面エントランス改修	広島カープ等アイテム設置
	スコアード改修	筐体は現状のまま、ピッチロック対応
園路	観客及び公園利用者の導線安全確保	
ドーム	照明のLED化	商用電源での対応
陸上競技場	サッカー利用	
	ロッカールーム拡充	
体育館	トレーニングルームの整備	
	照明のLED化	
	エアコンの改善	照明のLED化によって改善の見込み

機能強化

上記以外に、Jリーグから問い合わせが来るものの、仕様が合わないため断っている状況（ヒアリングより）。

ポイント抜粋

沖縄市スポーツコミッション

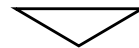
- ・ 陸上競技場はJリーグが使用できるよう芝拡張、および座席数拡大、ナイター設備
- ・ 体育館は水銀灯をLEDに、クーラー改善、トレーニングルーム設置
- ・ 野球場はスピードガン設置、照明をLEDに変更し、夜間利用を促進
- ・ 本公園からアリーナ/中心市街地にスムーズな移動ができる整備/移動手段

沖縄市スポーツ協会

- ・ イベント時に駐車場が不足
- ・ 休憩場所、売店が欲しい
- ・ 沖縄南IC近接のため、県内外の大会を開催しやすい

沖縄市観光物産振興協会

- ・ 沖縄SVのJリーグ参加を見据えた陸上競技場整備
- ・ Jリーグのシーズン移行に伴う合宿期間変更を機会として、受け入れ可能な整備



プロ誘致

Jリーグ誘致のため、基準に合った陸上競技場整備
体育館、野球場機能強化

モビリティ関連

イベント時の駐車場
沖縄南IC隣接優位性

本公園⇄アリーナ接続
本公園⇄中心市街地接続

「集う」関連

休憩場所
売店

沖縄市スポーツコミッション

質問①	誘致における市全体の課題/可能性と、コザ運動公園の課題/可能性をどう考えるか（誘致先の声などを踏まえ） ①プロ、②大会・合宿、の視点で回答ください		
回答	①プロ	市全体の課題/可能性	●行政イベントの際、公園全部使えない為駐車場ない。 ●コザ運動公園まできてもらえれば、中心市街地、県総合運動公園、沖縄アリーナ、市民会館など簡単に移動できる手段があればより効果的だと思います。
		コザ運動公園の課題/可能性	●体育館：水銀灯をすべてLEDへ変更を希望、クーラーのききが悪く体育館全体が暑く感じる。 プロチームなどの合宿の際に体育館付近に常設のトレーニングルームを設置することで利用しやすくなりますし、警備的にも楽になります。 ●コザしんきんスタジアム：スピードガン故障中なので設置（カープキャンプに必要）LED電気に変更 ●陸上競技場：芝の拡張(Jクラスが使えるように)及び座席数の拡大とナイター設備
	②大会・合宿	市全体の課題/可能性	●二次交通でしな移動手段、コザ運動公園から、沖縄アリーナや中心市街地などへの移動がもっとスムーズになればよいと思います。
		コザ運動公園の課題/可能性	●バリアフリーネットワーク会議の親川さんへもヒアリングしていると思いますが、バリアフリー関係でももう少し整備するところがあると思います。
質問②	コザ運動公園に誘致可能性がある実際の候補はあるか、候補先はどのような声（課題・魅力）をあげているか ①プロ、②大会・合宿、の視点で回答ください		
回答	①プロ	●体育館横にウェイトルーム	
	②大会・合宿	●駐車場問題、日頃からアリーナ裏の立体駐車場が1時間100円などで使える状態にするなどの活用方法	
質問③	誘致加速に向けたコザ運動公園再整備への要望		
回答	・コザ陸上競技場(芝拡張) ・体育館(冷房設備、LED化) ・コザしんきんスタジアム(スピードガン、プロ野球で利用できる照明整備)		
質問④	誘致による経済波及効果（観光）を最大化するために、考えられるアイデアはあるか		
回答	・世界レベルの大会誘致（世界バレー等） ・日本代表クラスの合宿及び誘致		
質問⑤	推進しているまたは需要のある新しいスポーツ（アーバンスポーツ、DigSports など）があれば教えてください		
回答	・モルック大会（県総合で開催予定） ・ラクロス（2028年オリンピック正式種目に認定されるため成績が良ければ需要が生まれる可能性があります。） ・ラグビー（ボールが2本あれば誘致できると思います）		

沖縄市スポーツ協会

質問①	スポーツを行うにあたり、 <u>沖縄市全体</u> で、満足な点と課題を教えてください	
回答	満足	コザ運動公園や県総合運動公園に加え、アリーナやサーキット場もあり他市町村に比較して施設の数と種類が多い。
	課題	コザ運動公園などでイベントが集中すると駐車場が不足したり、駐車場整備係を配置する必要がある。
質問②	スポーツを行うにあたり、 <u>コザ運動公園</u> で、満足な点と課題を教えてください	
回答	満足	沖縄市中心の大会であれば、施設使用料や冷房費が優遇される。 トレーニングジムが充実している。 高速ICが近いので、県内外から集まる大きな大会が開催しやすい。
	課題	上記のとおり駐車場の問題や、サーキット場の認知度が低いように思える。
質問③	スポーツを行うにあたり、 <u>沖縄県総合運動公園</u> で、満足な点と課題を教えてください	
回答	満足	駐車場や敷地が広く、公園としての利用価値が高い。また、ファミリー向け施設の種類の多い。
	課題	大会の開催などに関しては、コザ運動公園に比較すると使用料が高く、冷房施設がない。
質問④	(質問②・③で回答されているかもしれませんが) 沖縄県総合運動公園とコザ運動公園を比較し、どちらが利用しやすいか、その理由は	
回答	スポーツをするなら、沖縄市民としての使用であれば各施設の使用料が安く、また立地的にもコザ運動公園が利用しやすい。	
質問⑤	(質問②で回答されているかもしれませんが) コザ運動公園再整備に関しての要望	
回答	・公園ではなくスポーツ施設に特化して駐車場を拡張してほしい（公園は東部開発で新たに増えるため） ・（テニス）軟式・硬式どちらとも対応できるコートにしていきたい。 ・各施設の整備等に関して知識のある方を配置し、様々な競技のプロ選手の誘致などを強化していきたい。 ・屋内外問わず、利用者の休憩場所を作してほしい。 ・売店の設置。	
質問⑥	推進しているまたは需要のある新しいスポーツ（アーバンスポーツ、DigSportsなど）があれば教えてください	
回答	特になし。	

沖縄市観光物産振興協会

質問①	市全体における観光の課題と可能性
回答	平日、屋間の観光が課題。観光施設（東南植物楽園やエイサー会館）などから市内周遊できる施策が必要かと思う。 史跡などの整備を行うことで屋間の観光地をつくり滞留時間を延ばす。 今後はインバウンド対策を行うことで集客の可能性は高まる。
質問②	中心市街地における観光の課題と可能性
回答	日中の消費活動ができる場所が少ない。 居酒屋やバー、ライブハウスなどが多いので、ナイトタイムエコノミーのコンテンツとして他市町村へ来ている観光客を呼びこめる可能性がある。しかしながら、旅行会社やホテルなどの囲い込みがあるので、しっかり観光客へ情報を届けることが課題かと思われる
質問③	中心市街地に来訪する観光客の属性
回答	GPS調査 市内37%、市外48%、県外5%、インバウンド10%
質問④	上記質問③の観光客の声（属性ごとに、中心市街地に満足・不満な点）
回答	アンケートでは概ね満足の声、アクセス、駐車場、街の清掃不備などに不満が出ている
質問⑤	中心市街地の飲食・物販・ホテル等経営者の観光施策に関する声（エリア全体で施策した方がいい、それぞれでやればいい。治安、老朽化、街並みの改善等）。またストリートアートに関する声（広げるべき等）が出ていたら教えてください
回答	ホテル組合からはアリーナ、音市場での有名アーティストのライブ開催をたくさんして欲しいとの要望あり。
質問⑥	中心市街地にまだ出店していない観光関連事業者（飲食・物販・ホテル等）の、中心市街地に対する評価（出店の課題、可能性）（おわりの範囲で）
回答	市内外から沖縄市で商売したいとの声はあるものの、立地など希望に沿う場所が空かない。との話はよく聞く
質問⑦	観光促進に向けたコザ運動公園再整備への要望
回答	今後、おきなわSVがJリーグに参加することも見据えて、屋根付き観客席スタジアムの整備、（エイサーまつりでもスタンドチケットの販売で収入アップにつながる） Jリーグのシーズン移行にともなう合宿期間の変更が出てくるので、受け入れできるサッカー専用グラウンドの整備、
質問⑧	地元企業と地域のサーキュラーエコノミーの連携（企業が排出する廃棄物や副産物を資源として相互活用する異業種間の連携）を行っている事例、または今後取り組みたい要望があれば教えてください
回答	行なっている事例はありませんが、興行で出る残飯などを芝生育成のための肥料へ再利用できるなどの取り組みはいいと思う。

令和6年度利用実績（稼働率順）

施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均稼働率
コザしんきんスタジアム	90%	94%	77%	77%	88%	73%	84%	88%	90%	97%	90%	85%	86%
体育館	72%	84%	77%	84%	82%	77%	80%	88%	82%	79%	71%	91%	81%
コザしんきんドーム	59%	68%	67%	68%	66%	64%	83%	85%	83%	85%	85%	91%	75%
陸上競技場	90%	94%	74%	35%	71%	30%	32%	40%	83%	76%	80%	91%	66%
多目的運動場	54%	57%	64%	63%	55%	61%	75%	78%	50%	69%	56%	72%	63%
サブグラウンド	26%	31%	21%	30%	80%	31%	53%	60%	43%	86%	71%	80%	51%
投球練習場	8%	33%	18%	33%	43%	43%	44%	45%	37%	84%	87%	85%	47%
武道館	32%	30%	33%	35%	47%	34%	51%	66%	37%	44%	41%	44%	41%
庭球場	20%	22%	24%	15%	40%	28%	34%	52%	25%	46%	24%	30%	30%
弓道場	10%	9%	9%	6%	28%	9%	12%	14%	13%	17%	6%	13%	12%
トレーニングルーム	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

▲稼働率50%以上/上位6施設

▼稼働率50%未満/下位4施設

令和6年度の全施設での稼働率の平均は55%。（トレーニングルーム除く）
運動公園内の施設内であっても、稼働率が大きく異なる。（→稼働率が低い施設が存在する）

稼働率が低い施設

稼働率50%を下回る施設を稼働率が低い施設と仮定すると、
投球練習場、武道館、庭球場、弓道場が稼働率が低い施設となる。
※トレーニングルームは把握できないため除外

推測される理由

庭球場は芝ではなく土のため、使い勝手が悪い。（市内にある県総合運動公園は全天候型のオムニコート）
その他、ナイター設備がないことが稼働率が低い原因として推測される。
（屋根が無く雨天時に利用出来ない理由もあるがスタジアムや陸上競技場等も同様であり、土やナイター設備が理由として大きいと思われる）
武道館や弓道場はそもそもの競技者が少ないためだが、再整備で出来ることは限られる。

令和6年度利用実績（人数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
陸上競技場	利用人数	387人	377人	5,552人	6,275人	221,635人	5,177人	2,500人	30,650人	841人	2,590人	2,073人	3,455人	281,512人
	（市内利用）	270人	312人	5,344人	5,201人	221,435人	1,702人	1,796人	29,302人	492人	1,812人	524人	849人	269,039人
	（市外利用）	117人	65人	208人	1,074人	200人	3,475人	704人	1,348人	349人	778人	1,549人	2,606人	12,473人
体育館	利用人数	6,244人	16,536人	22,010人	15,885人	4,568人	5,989人	8,314人	3,856人	15,373人	79,770人	10,242人	9,208人	197,995人
	（市内利用）	5,703人	11,514人	4,434人	13,777人	3,330人	5,665人	6,178人	3,681人	14,961人	79,177人	9,156人	7,968人	165,544人
	（市外利用）	541人	5,022人	17,576人	2,108人	1,238人	324人	2,136人	175人	412人	593人	1,086人	1,240人	32,451人
多目的運動場	利用人数	2,451人	3,205人	2,860人	5,145人	1,584人	3,703人	6,045人	3,174人	2,404人	1,939人	2,932人	3,076人	38,518人
	（市内利用）	2,035人	2,484人	2,464人	4,899人	1,302人	3,503人	4,640人	2,844人	2,202人	1,722人	2,203人	2,535人	32,833人
	（市外利用）	416人	721人	396人	246人	282人	200人	1,405人	330人	202人	217人	729人	541人	5,685人
コザしんきん スタジアム	利用人数	850人	2人	2,909人	11,947人	1,430人	6,081人	4,459人	2,486人	2,951人	159人	25,790人	1,980人	61,044人
	（市内利用）	50人	2人	853人	740人	1,381人	607人	2,086人	989人	1,191人	0人	0人	0人	7,899人
	（市外利用）	800人	0人	2,056人	11,207人	49人	5,474人	2,373人	1,497人	1,760人	159人	25,790人	1,980人	53,145人
コザしんきんドーム	利用人数	4,020人	4,369人	5,075人	5,148人	2,337人	4,559人	7,358人	4,730人	4,439人	193人	1,013人	1,365人	44,606人
	（市内利用）	3,372人	4,042人	2,919人	2,742人	2,143人	2,857人	4,699人	3,922人	2,721人	50人	0人	100人	29,567人
	（市外利用）	648人	327人	2,156人	2,406人	194人	1,702人	2,659人	808人	1,718人	143人	1,013人	1,265人	15,039人
投球練習場	利用人数	182人	240人	238人	211人	111人	595人	195人	137人	93人	2人	220人	80人	2,304人
	（市内利用）	139人	194人	150人	28人	103人	240人	125人	54人	72人	0人	0人	0人	1,105人
	（市外利用）	43人	46人	88人	183人	8人	355人	70人	83人	21人	2人	220人	80人	1,199人
サブグラウンド	利用人数	330人	964人	605人	1,104人	40,134人	214人	863人	502人	970人	70人	194人	270人	46,220人
	（市内利用）	330人	922人	539人	1,047人	40,108人	193人	848人	500人	736人	70人	190人	270人	45,753人
	（市外利用）	0人	42人	66人	57人	26人	21人	15人	2人	234人	0人	4人	0人	467人
庭球場	利用人数	259人	431人	391人	524人	543人	262人	586人	356人	458人	485人	442人	430人	5,167人
	（市内利用）	226人	429人	389人	497人	524人	254人	566人	354人	431人	468人	410人	389人	4,937人
	（市外利用）	33人	2人	2人	27人	19人	8人	20人	2人	27人	17人	32人	41人	230人
武道館	利用人数	3,426人	3,899人	3,255人	3,412人	2,281人	3,373人	4,217人	3,601人	3,009人	2,471人	2,962人	3,538人	39,444人
	（市内利用）	1,904人	2,909人	2,729人	2,948人	2,016人	2,929人	3,631人	3,320人	2,645人	2,192人	2,356人	2,921人	32,500人
	（市外利用）	1,522人	990人	526人	464人	265人	444人	586人	281人	364人	279人	606人	617人	6,944人
弓道場	利用人数	424人	541人	468人	277人	300人	353人	358人	379人	328人	242人	226人	405人	4,301人
	（市内利用）	227人	342人	322人	181人	218人	167人	208人	223人	215人	163人	147人	257人	2,670人
	（市外利用）	197人	199人	146人	96人	82人	186人	150人	156人	113人	79人	79人	148人	1,631人
トレーニング ルーム	利用人数	3,877人	4,224人	4,018人	4,236人	4,052人	3,999人	3,899人	3,707人	3,644人	3,417人	3,780人	4,601人	47,454人
	（市内利用）	2,944人	3,291人	3,107人	3,377人	3,096人	3,087人	3,057人	2,598人	2,431人	2,537人	2,659人	2,974人	35,158人
	（市外利用）	933人	933人	911人	859人	956人	912人	842人	1,109人	1,213人	880人	1,121人	1,627人	12,296人
合計	利用人数	22,450人	34,788人	47,381人	54,164人	278,975人	34,305人	38,794人	53,578人	34,510人	91,338人	49,874人	28,408人	768,565人
	（市内利用）	17,200人	26,441人	23,250人	35,437人	275,656人	21,204人	27,834人	47,787人	28,097人	88,191人	17,645人	18,263人	627,005人
	（市外利用）	5,250人	8,347人	24,131人	18,727人	3,319人	13,101人	10,960人	5,791人	6,413人	3,147人	32,229人	10,145人	141,560人

本公園が
会場となる
主要イベント

全島エイサーまつり
8/23-8/25 会場：陸上競技場
* 陸上競技場では8/24-8/25開催
(8/23は別会場)
オリオンビアフェスタ
8/24-8/25 会場：サブグラウンド

オキナワ
モーターショー
11/9-11/10
会場：基本、各施設外

沖縄市産業まつり
1/25-1/26
会場：体育館、
多目的運動場

広島東洋カープキャンプ
2/13-2/26
会場：コザしんきん
スタジアム

各施設の月別利用人数はイベントの影響もあり

対象：コザ運動公園来園者
 期間：令和6年4月～令和7年3月
 コメント数：266

266コメント

大半は感謝のコメントであるが、整備課題につながるコメントを抽出し、カテゴライズ

イベント時の駐車場不足	: 12	
イベント開催希望	: 11	*音楽、食、ペット、スポーツなど
休憩スペース	: 9	*東屋、ベンチ、日陰、雨宿りなど
遊具増設	: 8	*ブランコ、鉄棒など
園路の安全性、バリアフリー	: 4	
園路の照明が暗い	: 4	
花を増やして	: 4	
アスレチック広場の水はけ	: 4	
トイレ（汚い、暗い）	: 3	*一方でトイレが綺麗と回答する人も多い
飲食施設	: 3	*キッチンカー、アイス自販機
予約マナーが悪い	: 3	

イベント時の駐車場不足の課題が上位にあり、以降は「集う」機能関係が多い。

沖縄サントリーアリーナの伸びしろ

経済波及効果・地域活性化を狙い沖縄アリーナを設置したことが「沖縄市多目的アリーナ施設整備基本構想策定業務報告書」第2章基本構想に記載されている。一定効果は得られているものの、**アリーナ客の直行直帰、宿泊・飲食が市内ですれどらく市外に寄っている点**については課題がある。
一方、調査を見ると、まだ**拡張余地**があり、**アリーナの効果最大化には伸びしろ**があると考えられる。

調査①：令和4年

* 調査対象、期間が異なる2つの調査を並べて分析

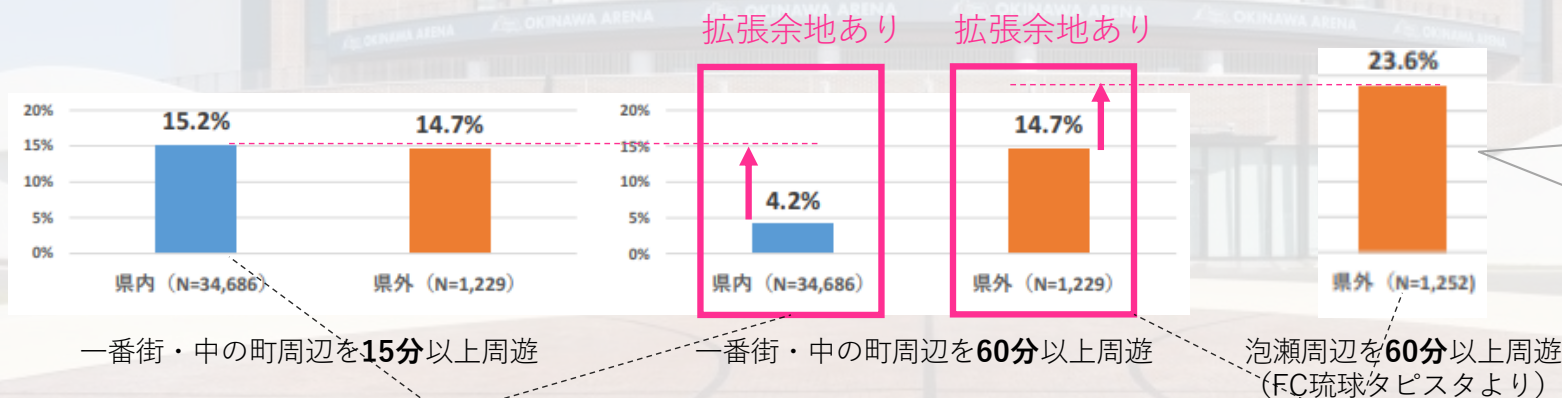
沖縄市「令和4年度観光統計調査業務報告書」より

2022年琉球ゴールデンキングス20試合対象

沖縄アリーナに60分以上滞在した県内外来訪客（観戦者）の一番街・中の町周辺への周遊状況

* キングス観戦者は県内96.6%、県外3.4%。

* 同報告書より。沖縄アリーナに来訪した**県外客の沖縄市内宿泊は4.3%**（約96%が市外宿泊）



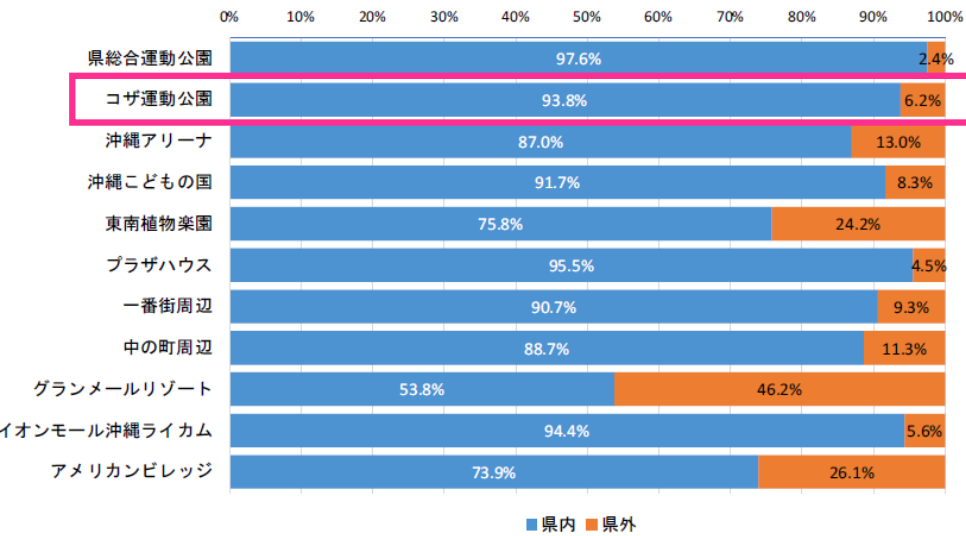
同報告書より。2022FC琉球21試合で、タピック県総ひやごんスタジアムから泡瀬周辺への周遊状況

県内客は中心市街地で短時間滞在（シャトルバスから自家用車に乗り換え？）だけで、**飲食などの長時間滞在をしていない**

県外客はFC琉球のタピスタ→泡瀬周辺と比較して市内回遊が少ない

アリーナ客の市外飲食宿泊は依然として多く、アリーナの効果最大化（観光関連）に伸びしろあり。

対象は県内外来訪者、30分以上滞在



【エリア別の滞在者の居住地割合（通年）】

本公園は**ほぼ県内**（県内93.8%、県外6.2%）

* 県外利用者の拡張余地

対象は県外観光客、15分以上滞在

「コザ運動公園」 サマリー

「コザ運動公園」来訪者は67人。来訪者の属性は男性が62.5%、年齢層別では50歳以上が38.9%を占める。発地都道府県をみると、福岡県発地者が15.8%を占め、市区町村別では岐阜県岐阜市、東京都杉並区、兵庫県神戸市中央区が多い。旅程は2泊以上が多く79%で、観光エリア内第10位。平均泊数は2.6日。域内（＝沖縄市内）泊率は28%で観光エリア内第6位。約72%が域外へ宿泊流出している。平均周遊箇所数は2.38箇所、観光エリア内第1位。「沖縄アリーナ」との周遊が最も多い。平均滞在時間は1:48で観光エリア内第6位。

来訪者			
67人	エリア順位	10位	

属性把握			
性別			
男性	20～29歳	62.5%	
	30～39歳	30.3%	
	40～49歳	11.7%	
	50歳以上	15.1%	
女性	20～29歳	37.5%	
	30～39歳	44.4%	
	40～49歳	11.1%	
	50歳以上	23.8%	
発地			
順位	都道府県名	構成比	
1	福岡県	15.8%	
2	岐阜県	14.3%	
3	東京都	13.5%	
4	広島県	12.9%	
5	大分県	8.0%	
市区町村名			
順位	市区町村名	構成比	
1	岐阜県岐阜市	8.6%	
2	東京都杉並区	5.9%	
3	兵庫県神戸市中央区	5.5%	
4	熊本県熊本市東区	5.5%	
5	岐阜県高山市	5.5%	

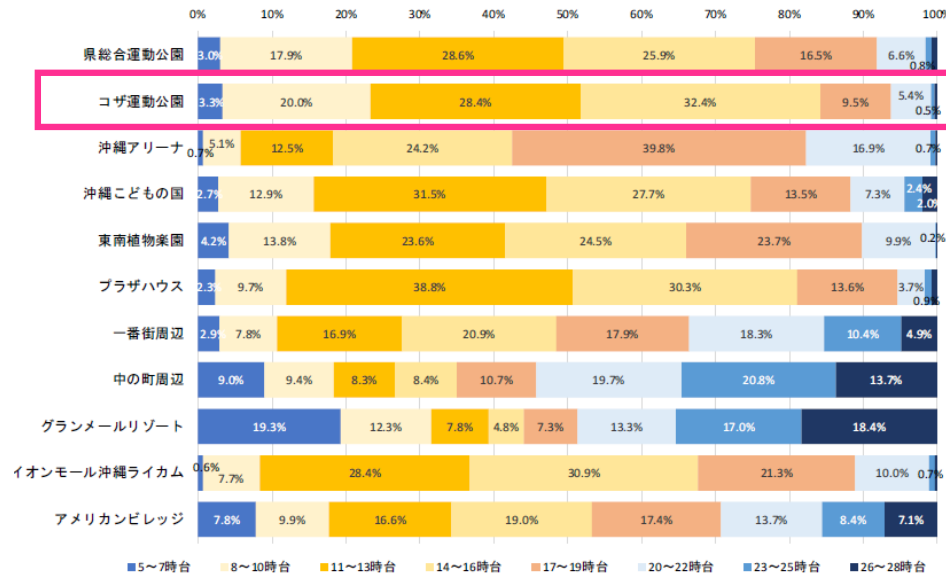
宿泊傾向把握			
宿泊しているのか、どこに宿泊しているのか			
日帰り率	7位	宿泊地（人泊数にて算出）	
1泊率	21.0%	域内宿泊	域外宿泊
2泊以上率	79.0%	域内宿泊率	域外宿泊率
平均泊数	2.60	6位	5位

滞在・周遊傾向把握			
どこに滞在し、どこを周遊しているのか			
全体	1:48	観光エリア内周遊	
エリア順位	6位	平均周遊箇所数	2.38
日帰り	****	2箇所以上来訪率	82.2%
エリア順位	****	1箇所のみ来訪率	17.8%
宿泊	1:48	周遊観光エリア	
エリア順位	6位	来訪率	

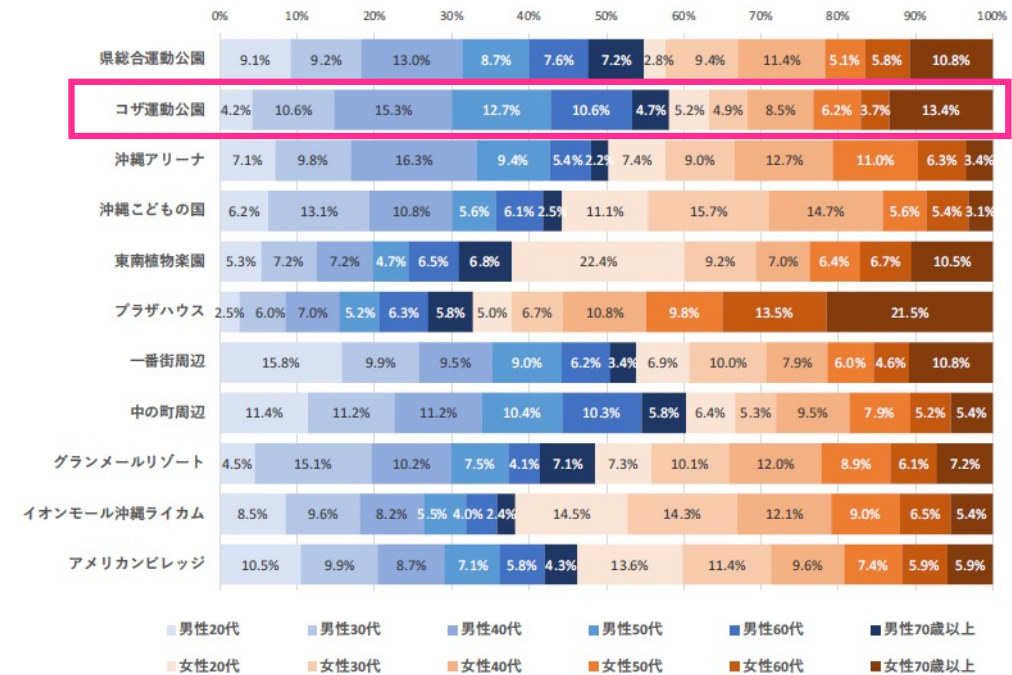
少数の県外客も**市外宿泊が多い**（市内宿泊28%、市外宿泊72%）。周遊は**中心市街地もあるが、アメリカンビレッジとライカムの方が多い。**

* 県外利用者の中心市街地誘引余地

対象は県内外来訪者、30分以上滞在



【滞在者のエリア別・時間帯別割合（通年）】



【各エリアの滞在者の属性（通年）】

本公園は16時台までの滞在が80%以上で
夕方～夜が少ない。

* 夜の照明による改善の可能性

本公園は男性比率が高い。

* 20歳未満は不明（調査対象年齢未記載だが、おそらく調査対象外）

* 女性に利用されやすい整備の可能性

公園を選択した理由

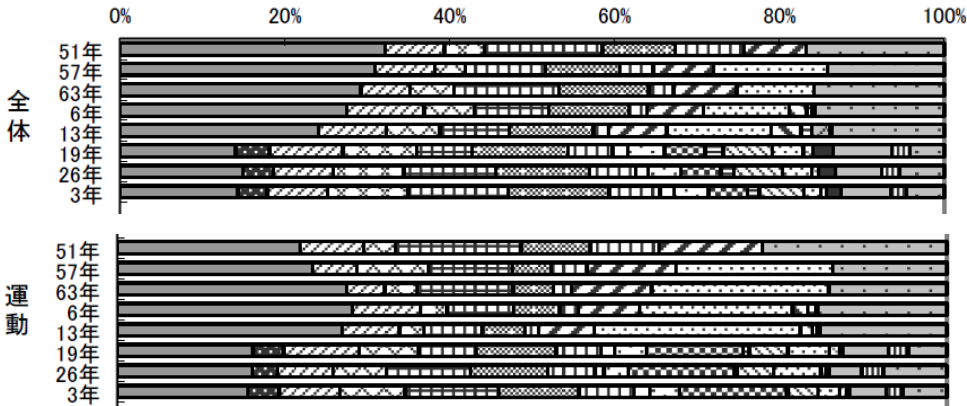
図表 4-6-3 公園を選択した理由（都市基幹公園等）

	運動公園	総合公園	広域公園	国営公園	平均
近い	36.0	41.1	32.1	16.3	33.4
交通の便がよい	8.6	10.0	10.3	9.7	9.7
費用がかからない	16.8	22.6	23.7	12.8	19.7
きれいな	18.0	27.2	27.2	37.0	26.8
広い	25.8	33.3	35.7	34.3	32.2
緑が多い	22.2	37.4	33.8	40.4	33.6
安全	15.2	19.2	15.9	13.0	16.4
高齢者や障害者にとって使いやすい	4.3	5.2	5.0	3.2	4.6
ベンチ等がありゆっくりできる	8.2	12.0	10.3	9.7	10.3
スポーツ施設がある	29.5	8.0	11.6	2.5	12.8
文化的な施設がある	0.7	5.9	3.1	7.3	4.3
遊具や子どもの遊び場が充実している	8.1	12.7	17.5	17.7	13.6
催し物を行っている	6.1	4.3	5.6	9.1	5.9
賑わって活気がある	1.8	1.9	1.4	2.5	1.9
歴史や情緒がある	0.8	7.3	3.5	10.1	5.5
静かで落ち着ける	10.1	19.4	16.1	16.5	16.0
犬の散歩ができる	4.8	5.9	3.9	4.8	5.0
その他	12.0	10.7	10.2	15.4	11.8
回答数(票)	8,035	12,530	7,347	6,297	34,209

比率の上位3位

運動公園は上位から「近い」「スポーツ施設がある」「広い」。一方、ほか都市基幹公園では「きれいな」「緑が多い」が上位にある。成功の定義で本公園をスポーツだけで捉えないことから、「きれいな」「緑が多い」もニーズと考える。

図表 4-6-4 公園を選択した理由の経年変化（1）



- 近い
 - 費用がかからない
 - 広い
 - 安全
 - 高齢者や障害者にとって使いやすい
 - スポーツ施設がある
 - 遊具や子どもの遊び場が充実している
 - 賑わって活気がある
 - 静かで落ち着ける
 - 人から聞いて
 - テレビ・ラジオ・雑誌等の紹介
 - その他
- 交通の便がよい
 - きれいな
 - 緑が多い
 - 施設が整っている
 - ベンチ等がありゆっくりできる
 - 文化的な施設がある
 - 催し物を行っている
 - 歴史や情緒がある
 - 犬の散歩ができる
 - 市や街の広報で見て
 - ホームページをみて

経年では「きれいな」「広い」「緑が多い」「安全」が上昇傾向。

上位の「きれいな」「広い」「緑が多い」「安全」から、誰もが寛げることが公園に求められていると考える。
(本公園で提供済の「スポーツ施設がある」以外)

活動内容

図表 4-8-3 活動内容（都市基幹公園等）

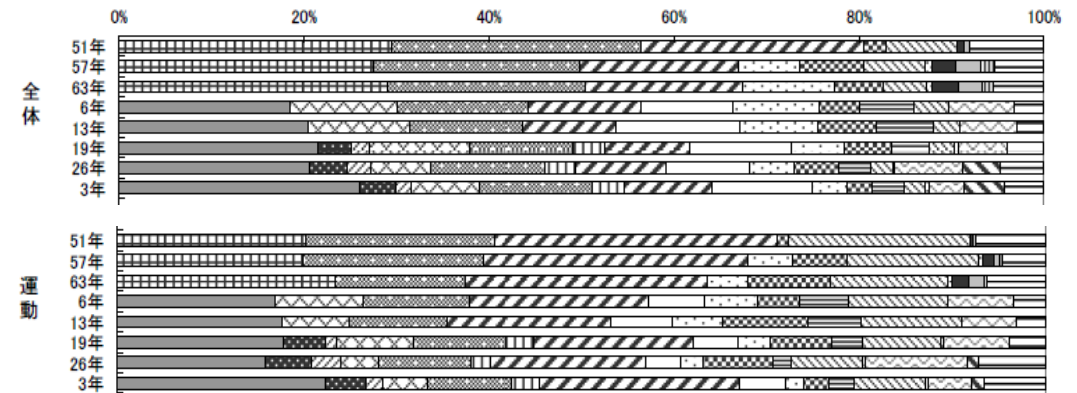
単位：%

	運動公園	総合公園	広域公園	国営公園	平均
散歩をした	30.2	48.0	43.3	52.2	43.6
犬の散歩をした	6.0	7.0	4.8	5.3	6.0
通り道として通過した	2.5	2.6	1.3	1.8	2.1
のんびり休んだ	6.5	12.2	12.4	17.0	11.8
子どもを遊ばせた	12.1	17.9	22.8	22.5	18.4
友人・知人と遊んだ	4.1	5.6	4.7	4.5	4.8
運動をした	29.2	12.7	13.8	5.1	15.4
花や緑、自然を楽しんだ	6.7	15.5	18.4	44.1	19.3
食事をした	2.7	6.2	6.8	12.2	6.6
催し物を見た・参加した	3.7	3.7	4.4	8.4	4.7
会話を楽しんだ	3.5	6.3	5.6	7.7	5.7
運動競技を見た	10.4	2.1	3.5	0.6	4.1
写真撮影	1.9	5.5	6.9	21.7	8.0
植物の手入れや清掃などの活動に参加した	0.4	0.7	0.5	0.4	0.5
公園内の施設を利用した	6.2	7.1	6.3	6.6	6.6
その他	9.0	7.2	6.4	5.2	7.1
回答数(票)	8,035	12,530	7,347	6,297	34,209

：比率の上位3位

運動公園は上位から「散歩をした」「運動をした」「子どもを遊ばせた」。一方、ほか都市基幹公園では「花や緑、自然を楽しんだ」、特に国営公園では「写真撮影」「のんびり休んだ」が上位にある。成功の定義で本公園をスポーツだけで捉えないことから、「花や緑、自然を楽しんだ」「写真撮影」「のんびり休んだ」も価値提供したら活動内容として上位にあがると考える。

図表 4-8-4 活動内容の経年変化（1）



- 散歩をした
- 犬の散歩をした
- 通り道として通過した
- のんびり休んだ
- 散歩・のんびり休んだ
- 子どもを遊ばせた
- 友人・知人と遊んだ
- 運動をした
- 花や緑、自然を楽しんだ
- 食事をした
- 催し物を見た・参加した
- 会話を楽しんだ
- 運動競技を見た
- 植物の手入れや清掃などの活動に参加した
- 公園内の施設を利用した
- 動・植物園を利用した
- 図書館・博物館などを利用した
- 史跡・文化財を見た
- 写真撮影
- その他

経年では「散歩をした」「花や緑、自然を楽しんだ」が上昇傾向。

上位の「散歩をした」「子どもを遊ばせた」「花や緑、自然を楽しんだ」「写真撮影」「のんびり休んだ」から、**自然や園路、遊び場・休憩スペースなどで各々自由に楽しめることが公園に求められていると考える。**

（本公園で提供済の「運動をした」以外）

欲しい公園

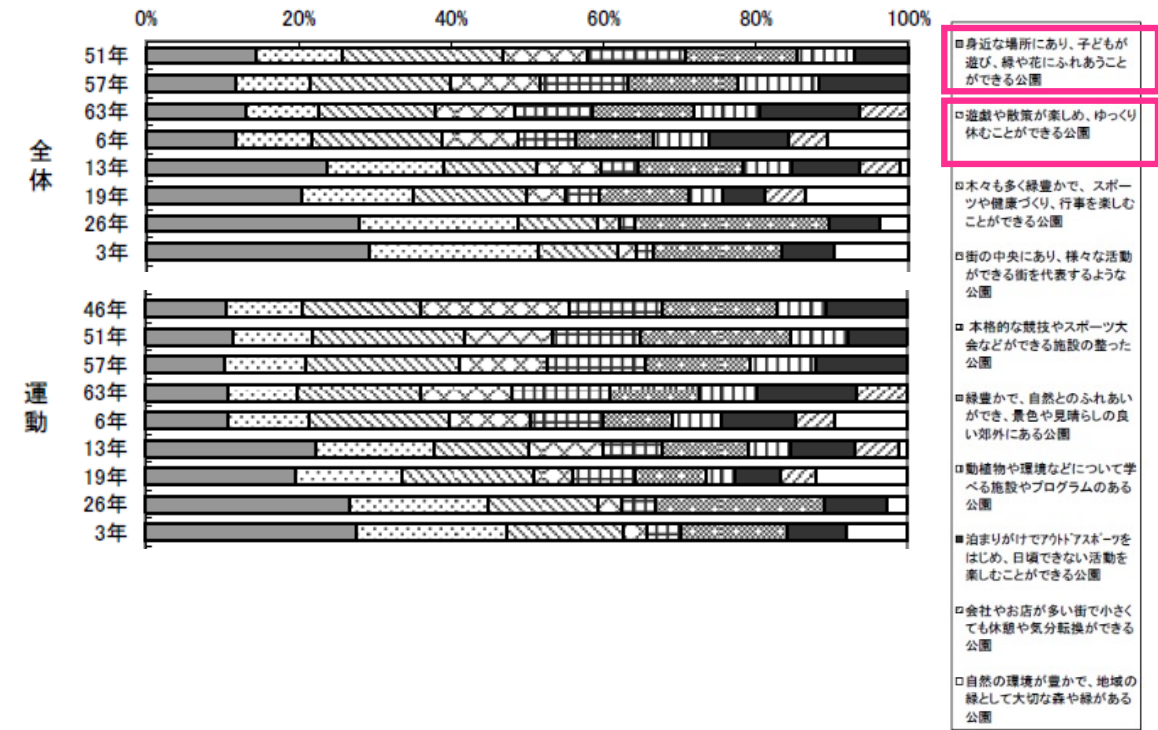
図表 4-12-3 欲しい公園（都市基幹公園等）

	運動公園	総合公園	広域公園	国営公園	平均
住まいの近くや街なかなどにある身近な公園	33.4	36.6	32.3	30.8	33.8
子どもを安心して遊ばせられる公園	35.0	37.0	39.3	39.2	37.4
楽しい遊具がある公園	18.4	19.0	20.8	21.0	19.6
緑や花がきれいな公園	34.3	43.6	41.1	57.0	43.3
ゆっくり休むことができる公園	29.8	36.6	32.9	40.2	34.9
スポーツや健康づくり、行事を楽しむことができる公園	38.0	24.7	24.6	19.6	26.9
本格的な競技大会などができる公園	11.2	4.0	4.6	2.4	5.5
緑豊かで自然とふれあえる公園	19.5	26.2	22.7	32.9	25.1
様々な活動ができる街を代表するような公園	7.3	6.7	5.9	4.9	6.4
アウトドアスポーツをはじめ、日頃できない活動を楽しむことができる公園	19.2	16.4	16.7	18.8	17.6
地域の誇りとなる歴史や文化を感じる公園	5.4	10.7	7.1	11.5	8.8
犬と散歩や遊ぶことができる公園	12.3	13.6	11.0	12.9	12.6
その他	2.6	2.8	3.2	1.6	2.6
回答数(票)	8,035	12,530	7,347	6,297	34,209

：比率の上位3位

運動公園は上位から「スポーツや健康づくり、行事を楽しむことができる」「子どもを安心して遊ばせられる」「緑や花がきれい」。一方、ほか都市基幹公園では「ゆっくり休むことができる」が上位にある。成功の定義で本公園をスポーツだけで捉えないことから、「ゆっくり休むことができる」も検討すべきと考える。

図表 4-12-4 欲しい公園の経年変化（1）



経年では「身近な場所にあり、子どもが遊び、緑や花にふれあうことができる」「遊戯や散策が楽しめる、ゆっくり休むことができる」が上昇傾向。

上位の「子どもを安心して遊ばせられる」「緑や花がきれい」「ゆっくり休むことができる」から、自然や園路、遊び場・休憩スペースなどで各々自由に楽しめることが公園に求められていると考える。
(本公園で提供済の「スポーツや健康」以外)

期待する役割

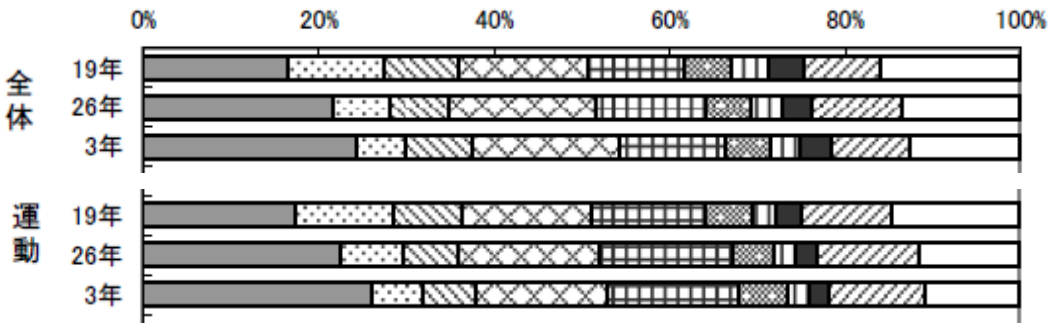
図表 4-13-3 公園に期待する役割（都市基幹公園等）

	運動公園	総合公園	広域公園	国営公園	平均
快適で美しいまちづくりの拠点	42.1	47.6	41.7	47.7	45.1
ヒートアイランド現象の緩和や地球温暖化に役立つこと	9.6	11.0	9.6	12.7	10.7
多様な生物の生息の場	9.8	15.2	14.9	20.4	14.8
自然や生きもののふれあいの場	24.1	32.5	30.8	42.8	32.1
災害時に避難できること	24.4	22.3	18.8	18.6	21.4
公園づくりや植物の手入れなど社会参加の場	9.0	9.9	8.9	11.7	9.8
地域の歴史資産の保存・活用の場	4.1	8.6	5.3	9.0	6.9
地域の観光拠点	3.7	7.2	6.9	10.0	6.8
いろいろな世代の人や地域の人との交流の場	17.5	17.1	14.8	14.2	16.2
趣味や文化活動の場	10.9	10.8	10.4	11.0	10.8
子どもの遊び空間	27.6	30.6	32.6	32.1	30.6
運動、スポーツ、健康づくりの場	46.9	32.1	33.4	23.7	34.3
屋外で食事をしたり、遊べる場	16.4	21.2	20.0	24.2	20.3
やすらぎやくつろぎの場	20.8	27.8	25.0	29.8	25.9
花やきれいな景色を楽しめる場	17.7	24.8	22.1	31.6	23.8
その他	1.3	1.2	1.6	0.8	1.2
回答数(票)	8,035	12,530	7,347	6,297	34,209

：比率の上位3位

運動公園は上位から「運動、スポーツ、健康づくり」「快適で美しいまちづくりの拠点」「子どもの遊び空間」。一方、ほか都市基幹公園では「自然や生きもののふれあい」が上位にある。成功の定義で本公園をスポーツだけで捉えないことから、「自然や生きもののふれあい」も検討すべきと考える。

図表 4-13-4 公園に期待する役割の経年変化



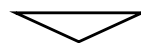
- 快適で美しいまちづくりの拠点
- ヒートアイランド現象の緩和や地球温暖化に役立つこと
- 多様な生物の生息の場
- 自然や生きもののふれあいの場
- 災害時に避難できること
- 公園づくりや植物の手入れなど社会参加の場
- 地域の歴史資産の保存・活用の場
- 地域の観光拠点
- いろいろな年代の人や地域の人との交流の場
- 花やきれいな景色を楽しめる場

経年では「快適で美しいまちづくりの拠点」が上昇傾向。

上位の「快適で美しいまちづくりの拠点」「子どもの遊び空間」「自然や生きもののふれあい」から、**街との連続性、遊び場・自然などでの体験性**が公園に期待されていると考える。
(本公園で提供済の「運動、スポーツ、健康」以外)

誘客視点現地調査（整備視点では把握しづらい誘客視点）

- 「集う」機能が弱い。
- 園路に大きな課題：園全体の回遊性が生まれづらい（目的とした施設に直行直帰）。暗いなど安心して歩きづらい。
- アリーナと公園の連続性がない。
- 多言語なし、MAP・サインの設置場所とわかりやすさ、イベント情報案内に改善余地。
- 通行量が多い沖縄自動車道や北谷線に対して、魅力訴求できていない。
 - 特にアリーナ向かい沖縄自動車道に接した緑地は、沖縄自動車道およびアリーナに訴求できる絶好の場所だが活用できていない。
- エイサーをモチーフとしたトイレ、遊具などは、来園者のシビックプライド（市民がエイサーで市に誇りをもつ）には効果的だが、誘客上の効果は弱い。上記エイサーはあるものの、市独自価値訴求は弱い。
- 花、植物について、来園者に印象を残すような取り組み余地あり。



「集う」機能が弱い / 園路に大きな課題 / 主要道への魅力訴求不足 / 市独自価値訴求不足

現地調査等も踏まえ、本公園の参考になり得る事例を抜粋

北海道ボールパークFビレッジ



2023年開業、世界がまだ見ぬボールパークを目指し、ファイトースの試合がない日も賑わう。球場外でも音響機器を配置し、軽快なBGMを流すことで、球場に入る前から期待感を醸成していた。音響の検討は参考となり得る。

うめきた公園（グラングリーン大阪）



2025年開業、大阪駅前人気スポット。周辺都市開発と一体的に公園整備。中心に位置する大きな水盤が憩いスポットになっており、多くの人が集まり、子どもが遊んでいる。憩いのあり方として水景施設が参考に。

はれっぱ（北海道 南幌町）



2023年オープン、子供室内遊戯施設。来館者21万と目標を大きく上回る成功。木の活用や遊びの工夫等、子供室内遊び場として参考に。

長居公園（大阪市）



ヤンマー子会社が指定管理。各運動施設環境だけでなく、園内での収益化、広告配置など参考となる。

モエレ沼公園（札幌市）



2005年オープン、著名彫刻家イサムノグチが手がける。特に巨大な噴水が国内外観光客に人気。公園コンテンツとしての参考に。

コザ運動公園（沖縄文化スポーツイノベーション）と沖縄アリーナ合同でヒアリング実施。得られたポイントは以下3点（詳細は次頁以降）

1 公園の「集う」機能は、来園者ニーズに対して提供価値が弱く、現状では乖離が発生

基本的な
誘客機
能

する

運動施設を利用し、運動する市民、競技者等。

見る

運動施設を利用し、客席や周辺で運動を見る同行者、競技の観客等。

集う

運動施設以外、園路や広場、店舗等を利用し、飲食、散策、観光、休憩等で公園に集う多様な人々。

「集う」機能のニーズと
提供価値の乖離

来園者ニーズ

帰宅後、涼しい夜にランニング・散歩したい →
運動の合間、前後に飲食したい、栄養補給したい →
弁当を広げられる空間が欲しい →

提供価値との乖離

暗く不安なため、夜は来ない。
レフ前のコンビニしかない。遠く、栄養面も偏る。

休憩スペースが少ない。
(例：駐車場の車内で弁当を食べている←周辺
ワーカーと考えられるが、課題は同じ)

乖離は上記以外にも多数あると思われる。「集う」機能の強化が必要ではないか

2 来園者セグメントの偏り

地域	市内	市外	県外	海外	ミリタリー	→ 優先予約もあり、市民中心。海外/ミリタリーなし。
性年代	男女偏りなし	学生多め 他年代偏りなし	* 未就学児は少ないと思われる。			→ 学生多めだが他特に偏りなし（但し、未就学児は少ないと思われる）
活動単位	団体(部/サークル等)	グループ(友人等)	個人	ファミリー	カップル	→ ファミリー利用はアスレチック広場に限られるため、多くない。
目的	スポーツ	ランニング・散歩	子供を遊ばせる	憩い	観光	→ 運動施設利用が中心で、運動施設以外の目的・利用が少ない。

* 濃いグリーン：多い → 薄いグリーン：少ない → グレー：なし

市内以外、ファミリー、「集う」目的などに拡張余地あり

3 アリーナ来場前後の課題と公園整備連携の可能性

イベント開場前の課題

- ✓ 開場前の客の待機場所がない
 - 開場数時間前から来場者多数
 - 日陰・休憩場所が少ない

イベント終了後の課題

- ✓ 立体駐車場出庫混雑
- ✓ 立体駐車場出入口道路の渋滞

イベント前後共通課題

- ✓ アクセスがわかりづらい（アリーナ側に周辺MAPなし/一定数の公共交通機関利用者）
- ✓ シャトルバス発着場であるレフ前までの導線（暗い、歩車分離されてない）

* ヒアリングとは別の課題

+ アリーナ来場客の中心市街地誘引に拡張余地

安全で歩いて楽しい園路と寛げる空間を公園に整備することで、アリーナ・公園、そして市全体にとってもプラスとなる可能性

安全で歩いて
楽しい園路

園の東西回遊性を高める歩いて楽しい園路を整備することで、アリーナ側に人が溜まらず、園全体に分散され、かつ中心市街地に向かいたくなる仕組みもつくれる

寛げる
空間

寛げる空間を園内に整備することで、アリーナ開場前の客待機場所に。また、夜に何か演出を行うことで、イベント終了後の客が訪れ、退場の分散と、中心市街地へ向かう仕組みをつくれる

コザ運動公園 指定管理者ヒアリング結果まとめ

(1) 公園全体に関する事項

- 運動施設以外の「憩える施設」（飲食や休憩など）の検討が必要である。レフ前のコンビニは遠く、学生の栄養面でもよくない。駐車場の車内で弁当を食べる会社員もいる。
- 歩車分離が出来ておらず危険なため、バリアフリー対応を含めて改善の必要がある。
- 誰でも分かりやすい公園案内に改善の必要がある。
- 子連れのアスレチック利用は多いが、アスレチックのみの利用が多く、公園全体への周遊性に課題がある。
- 全体的には稼働率が高い。

(2) 公園設備に関する事項

- 園内全体および野球場照明の機能改善が必要である。夜は暗く不安なため来園したくないという声がある。
- イベント時に利用率が高くなるとトイレが使用できなくなる事象があり、給水設備に関する改善の検討が必要。
- コザWi-Fiが無くなったため、Wi-Fi設備の検討が必要である。
- 「トイレが汚い」といった声が多く、公園内の屋外トイレの機能改善の検討が必要である。
- ドーム内の仕切り（ネット）の切り替えに時間がかかり、改善の検討が必要である。
- 大雨が降った際に側溝に水が溜まりやすく、改善の検討が必要である。

(3) スポーツ競技に関する事項

- スケボーをする学生が多く、ニーズがある。またグラウンドゴルフやドッグランの利用も確認されている。
- 朝と夕方～夜（20～21時頃）はウォーキングや散策の利用者が多く、昼間は少ない。
- 野球場のグラウンド整備状況や体育館利用者の満足度が高い。

(4) 駐車場に関する事項

- イベント時の駐車場不足や利用しにくい、路上駐車・違法駐車等の意見があり、駐車場配置などの改善の必要がある。
- 駐車場管理の改善を目的に、ICT導入や有料化の検討が必要である。
- 通勤・通学での利用や、駐車場で集合してバス移動をする人がいる。
- アリーナ利用者からは、公園側の駐車場を利用して良いか分かりにくいとの意見を聞く。

(5) その他

- 学生の大会が多いため学生の利用が多いが、平日の日中には高齢者がトレーニングルームや武道館を利用するなど、幅広い年齢層に利用されている。
- 観光者、米軍関係の利用はほぼない。（米軍は基地内に同施設あるため）
- 朝は高齢者、夕方～夜は10～40代の利用者が多い。（男女比半々）
- 犬の散歩やドッグラン利用者がいる。
- 施設利用はAM、PMで枠がわかれていることが多いが、食事について、基本は利用前後に外で食べていると思われ、園内で弁当を食べることは少ない。（コンビニしかないこともあり）
- 治安は悪くはない。以前よりも利用者のマナーが向上している。一方で、飲酒している人が増えた等の声も聞く。
- 利用者同士のトラブルはほとんどないが、施設使用についてのトラブルが起こることもある。

沖縄サントリーアリーナ 指定管理者ヒアリング結果まとめ

(1) 施設全体に関する事項

- ・ イベント時の待機場所として高速道路とアリーナの間やアリーナ周辺で待機するお客さんが多い。日陰が少ないため、アリーナ壁沿いにできる僅かな日陰に待機など厳しい環境である。アリーナ内カフェはキャパが少なく、改善が必要である。一般的に開場数時間前に物販が周辺で販売開始されるが、物販開始の数時間前から来場している客も多い。
- ・ 芝生エリアが雨天時は使用できない為、屋根設置などの改善の検討が必要である。
- ・ 駐車場、レフまでの動線が暗い場所があるため、機能改善が必要である。現在は主催者側で照明を配置したりしている。
- ・ アリーナ側にはMAPがなく、運動公園の配置が分からないため、案内方法等の検討が必要である。

(3) 管理運営に関する事項

- ・ 雨天時の来場者対策の検討が必要である。
- ・ イベント時の公園利用申請と立体駐車場申請が個別となっていて、申請方法の改善が必要である。
- ・ 立体駐車場の利用率が低く、改善が必要である。

(2) アクセスに関する事項

- ・ イベント時の渋滞対策が課題である。立体駐車場出入口の道路で渋滞が起こる。
- ・ 立体駐車場の出庫も混雑。1時間程度かかる場合がある。
- ・ イベント来場者から帰り方が分からないという声があり、交通手段の整理が必要である。
- ・ アリーナへのアクセス方法が分からないという声が多い。(那覇からのアクセス方法等の案内については主催者側のオペレーションによる。)
- ・ 公共交通で来場する人も多い。アーティストのコンサートなどは、県外からも来るため、高速バス利用も多い。

プロチーム要望

- ・ 利用実績のあるチーム要望として、カープからは主に野球場の各種機能強化。沖縄SVからは陸上競技場の機能向上。サントリーサンバーズからは体育館の機能強化。
- ・ 問い合わせとして、Jリーグからあるが、仕様が合わないため断っている状況。

関係団体アンケート

* 沖縄市観光物産振興協会/沖縄市スポーツコミッション/沖縄市スポーツ協会

- ・ Jリーグ誘致のため、基準に合った陸上競技場整備
- ・ 体育館、野球場機能強化
- ・ 軟式硬式対応テニスコート
- ・ イベント時の駐車場
- ・ 沖縄南IC隣接優位性
- ・ 本公園からアリーナ・中心市街地へのスムーズな移動
- ・ 休憩場所、売店

利用者調査

- ・ 低稼働の運動施設がある。（再整備で向上可能なのはサブグラウンド、庭球場）【本公園利用実績データ】
- ・ イベント時の駐車場不足の課題が上位にあり、以降は「集う」機能関係が多い。【本公園来園者アンケート】

既存調査

- ・ 全国都市公園において、集う機能、自然等のニーズ。本公園で弱いファミリー層は一般的な主力来園層【国土交通省_都市公園利用実態調査】
- ・ アリーナ客の市外飲食宿泊は依然として多く、アリーナの効果最大化に伸びしろあり【沖縄市観光統計調査業務、沖縄県DX観光客動態調査】
- ・ 来園者はほぼ県内、少数の県外客も市外宿泊多く、周遊をアメリカンビレッジとライカムに取られている【沖縄市観光統計調査報告書】
- ・ 来園者の8割以上が16時台までで、夕方から夜の来園は少ない【沖縄市観光統計調査報告書】
- ・ アーバンスポーツ施設不足から過年度アーバンスポーツパーク検討を踏まえる【（仮称）アーバンスポーツパーク誘客等可能性調査業務】
- ・ 福祉視点（高齢者、障がい者、子ども）視点付加、スポーツを散策等幅広く捉える【沖縄市スポーツ推進計画】
- ・ 防災拠点として防災視点付加【沖縄市地域防災計画】

誘客視点現地調査

- ・ 「集う」機能が弱い / 園路に大きな課題 / 主要道への魅力訴求不足 / 市独自価値訴求不足

先進事例

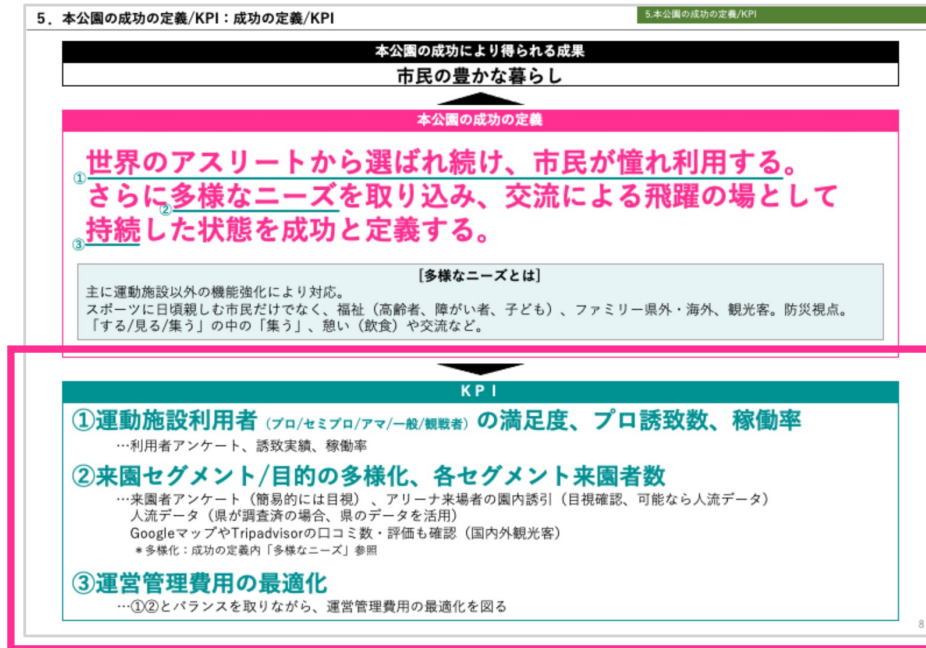
- ・ 本公園の参考になり得る事例として : 園全体の音響設備 / 水景施設・噴水 / 子供の室内遊び場 / 園内での広告収益

指定管理者ヒアリング

- ・ 公園の「集う」機能は、来園者ニーズに対して提供価値が弱く、現状では乖離が発生。
 - 暗く不安で夜に散歩やランニングに来ない、コンビニだけで飲食不満/栄養面も偏る、休憩スペース少ない。
- ・ 来園者セグメントの偏り。
 - 市民中心、学生多め、ファミリー多くない、運動施設以外目的少ない。
- ・ アリーナ来場前後の課題と公園整備連携の可能性。
- ・ 他：公園案内改善/回遊性課題/歩車分離/イベント時の駐車場不足/トイレの整備など。

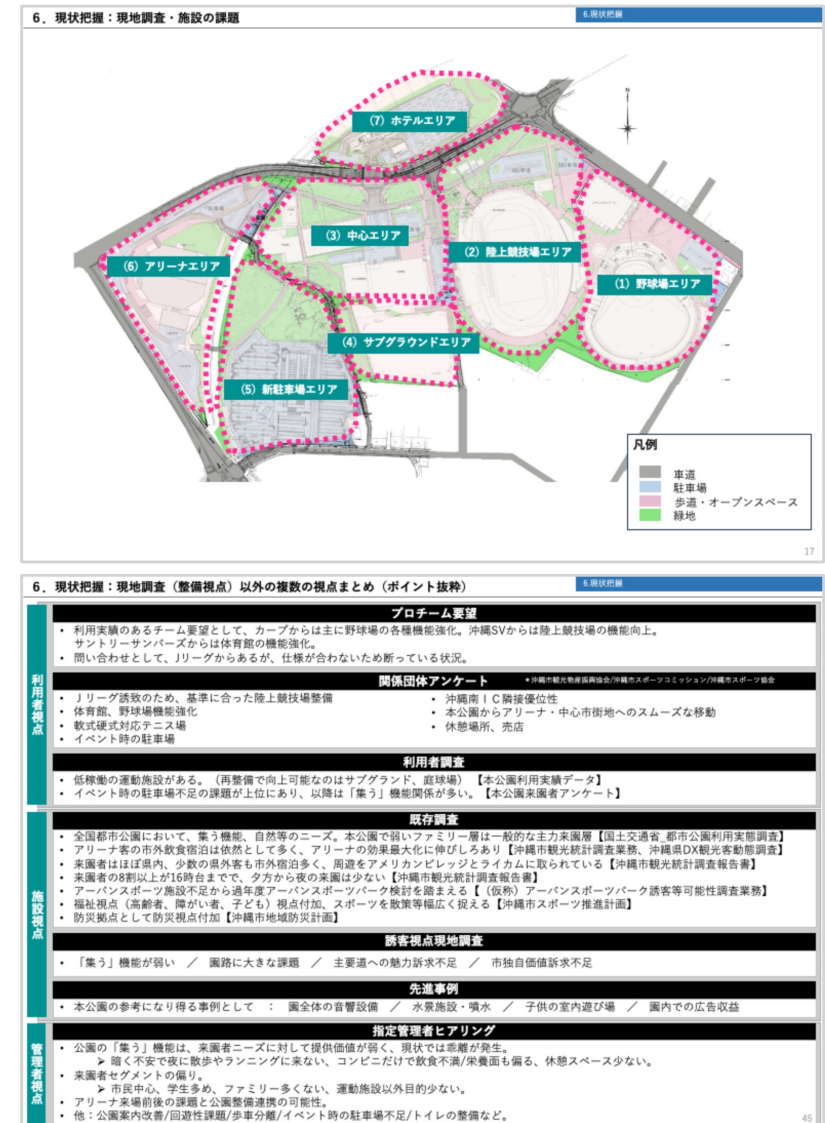
課題の抽出は、「5章.成功の定義」と「6章.現状把握」にどのような差があるかを可視化する形で行う。
 (成功の定義と現状把握を照合しない限り、差がわからないため課題抽出はできない)
 具体的には成功の定義を具体に落とした「3つのKPI」に対しての課題として次頁以降で整理する。

(再掲)



3つのKPI達成と現状の差を
埋めるための課題を抽出

(再掲)



「本公園の成功の定義」であるKPI①**世界のアスリートから選ばれ続け、市民が憧れ利用する。**
達成と現状の差分を埋めるための課題を抽出。

K P I ①		運動施設利用者（プロ/セミプロ/アマ/一般/観戦者）の満足度、プロ誘致数、稼働率
K P I と現状の差分（主要ポイント）		課題の抽出（主要ポイント）
野球場の拡張余地	現地調査/プロ要望 /関係団体アンケートより	野球場の機能強化
陸上競技場の拡張余地	現地調査/プロ要望 /関係団体アンケートより	陸上競技場の機能強化
体育館の拡張余地	現地調査/プロ要望 /関係団体アンケートより	体育館の機能強化
低稼働施設あり	既存調査より	低稼働施設の検討（庭球場）
諸見里高架下が未利用	現地調査より	諸見里高架下の活用検討
アーバンスポーツ施設が不足	既存調査より	過年度調査踏まえたアーバンスポーツ施設検討
共用施設の拡張余地	現地調査より	共用施設の検討（トイレや休憩所等）

KPI②

来園セグメント/目的の多様化、各セグメント来園者数

「本公園の成功の定義」であるKPI②多様なニーズ達成と現状の差分を埋めるための課題を抽出。

KPIと現状の差分（主要ポイント）

園路に大きな課題

↳ 安全性、歩車分離、高低差、照明、回遊性等

現地調査/関係団体アンケート/指定
管理者ヒアリング/既存調査より

イベント時の駐車場不足

関係団体アンケート/指定管理者
ヒアリング/既存調査より

寛げる空間の不足

現地調査/関係団体アンケート/指定
管理者ヒアリング/既存調査より

「集う」機能が不足

↳ 交流、休憩、飲食など

現地調査/関係団体アンケート/指定
管理者ヒアリング/既存調査より

飲食施設不足、回遊性課題等

現地調査/関係団体アンケート/指定
管理者ヒアリング/既存調査より

トイレ課題、休憩場所不足等

現地調査/関係団体アンケート/指定
管理者ヒアリング/既存調査より

防災視点付加

沖縄市地域防災計画より

来園目的の偏り、魅力訴求不足
市独自価値訴求不足

現地調査/指定管理者ヒアリング/
既存調査より

課題の抽出（主要ポイント）

歩いて「安全で」楽しい園路の整備

他整備案とのバランスで、駐車場台数検討

多様な人が寛げる空間の整備

「集う」機能強化

交流拠点を検討（飲食機能、情報発信機能等）

便益施設の検討

各整備に防災視点を反映

来園動機の拡張、市独自価値訴求

↳ スポーツ以外の魅力訴求、主要道への訴求、市独自価値訴求、アリーナ連携等

KPI③

運営管理費用の最適化

KPI①②とのバランスで最適化（KPI③のみ課題抽出とは別検討事項）

利活用に向けた地形上や周辺地域の環境上の制約条件等について分析を行い、計画上の問題点の抽出及び課題を整理する。

(1)全体構造に係る問題点

公園の全体構造に係る問題点を以下に示す。

【問題点】公園の適正な利用や管理にあたって対応が必要となる問題点

上記の問題点のうち、

【課題】今回の再整備において対応すべき事項

【今後の課題】今後の再整備検討において対応すべき事項

■公園区域外に係る問題点【今後の課題】

- ・イベント時において交通渋滞が発生しているため、車両出口及び立体横断施設等の検討が必要である。
- ・沖縄南ICバス停からのアクセスがアクセシビリティが確保できておらず距離がある。
- ・大型バス、タクシー等停留所がないため適所に必要である。

■公園の全体構造に係る問題点

＜園路系統＞公園全体の園路系統（歩行者動線）【課題】

- ・駐車スペースが不足する場合がある。
- ・歩車分離の確保が必要である。
- ・各施設間の連携として回遊動線が必要である。

＜広場＞運動施設間の広場の位置づけが不明（低利用空間の存在）【課題】

- ・利用に支障のある広場や、性格づけがわかりにくい広場（運動施設周りの広場スペース）があり、低利用空間が発生している。

＜景観＞来訪者にとっての演出が十分でない。【今後の課題】

- ・夜間利用や景観演出が少ない。

＜施設＞各施設の老朽化の進行、バリアフリーへの不適合【課題】

- ・設備関連の老朽化に伴い利用度が低いため更新が必要である。
- ・バリアフリー対策が十分でない。
- ・擁壁の老朽化により危険な箇所がある。

＜サイン系統＞公園全体のサイン系統がわかりにくい【今後の課題】

- ・公園全体の案内板がなく、公園全体の姿がとらえにくい。
- ・施設の誘導案内がなく、施設へのスムーズな誘導に支障がある。
- ・禁止事項や注意事項がわかりづらい。

＜給水＞【今後の課題】

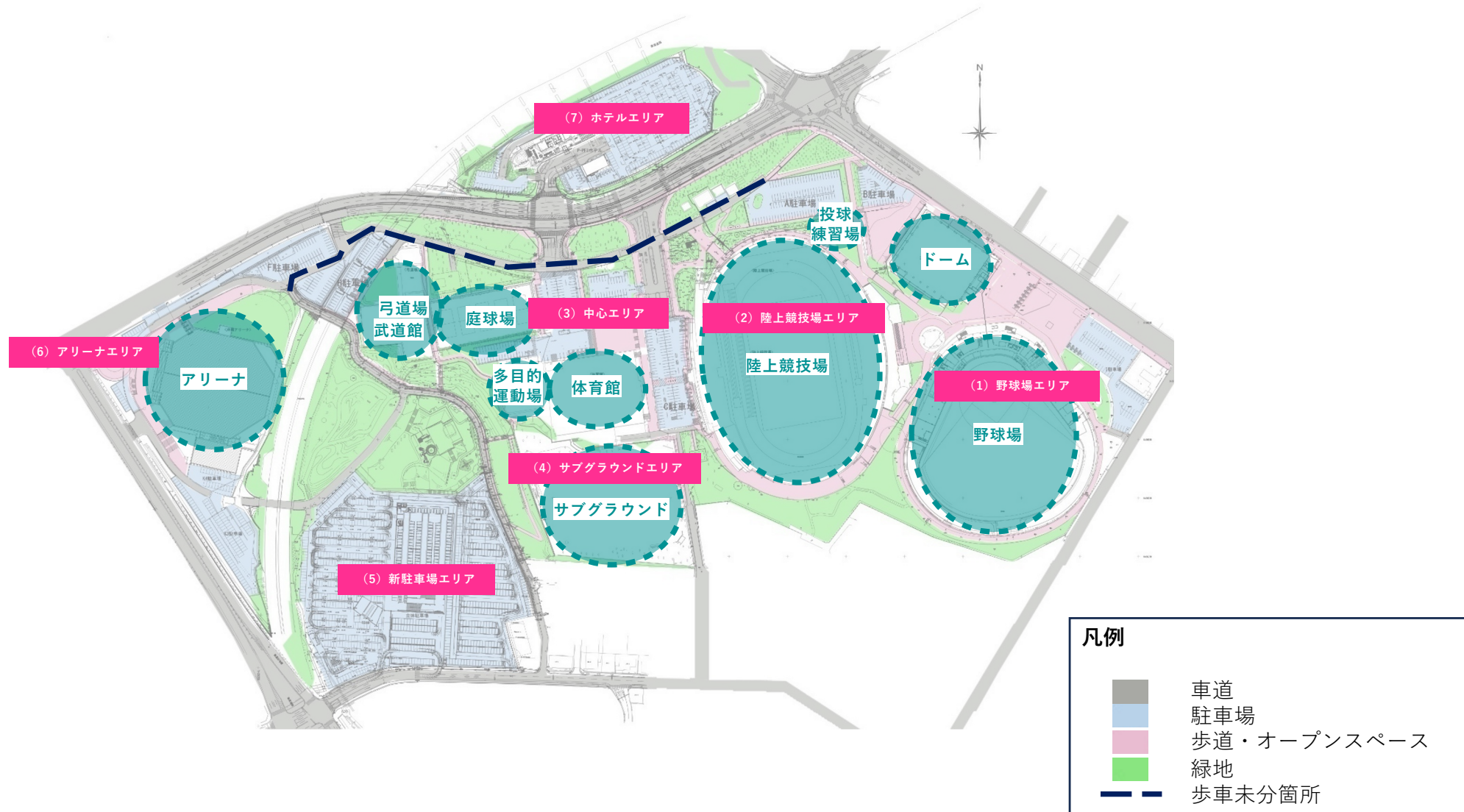
- ・イベント時に給水量、水圧不足等が発生する。

＜防災＞防災拠点としての機能確保【課題】

- ・しんきんドームが災害時支援物資集積拠点の為、駐車場を大型車両用耐重路盤への改修が必要である。

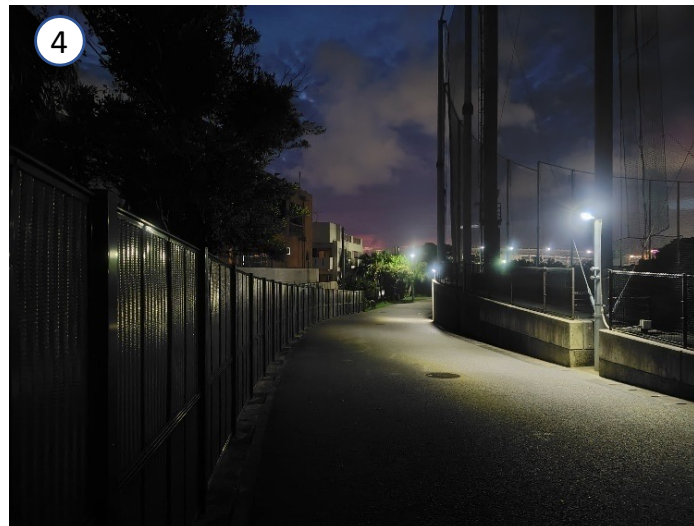
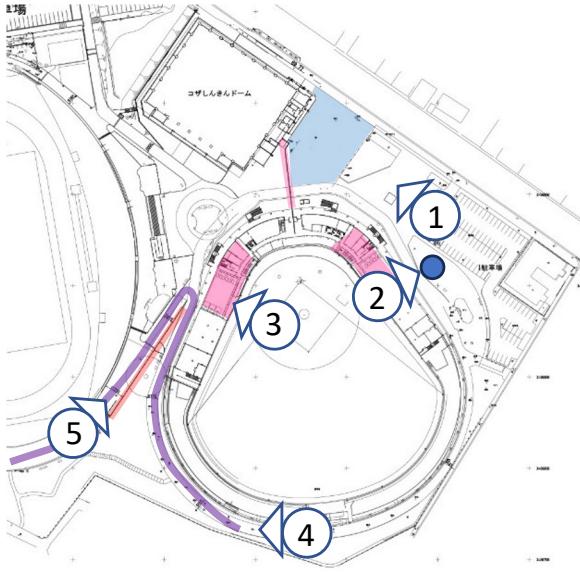
現況ゾーニング

- ・各運動施設を繋ぐ動線が歩車道未分離により、歩行者の安全性が課題。
- ・公園としての「集う」機能が不足しているため、多様な人が寛げる、交流の機会が損失している。



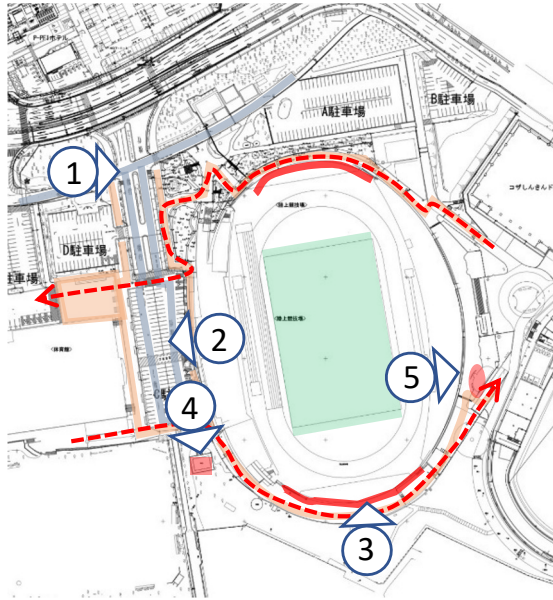
(1)野球場エリア

- ①球場前オープンスペース：休場時は閑散としてしまう。②設備：便所設備更新が必要。給水量、水圧不足等。 ※詳細な調査が必要。
③施設：ベンチ、選手ロッカー室が狭い。④球場外野側通路：外灯が少なく暗い。⑤園路勾配が約9%と車いすやベビーカーに厳しい。



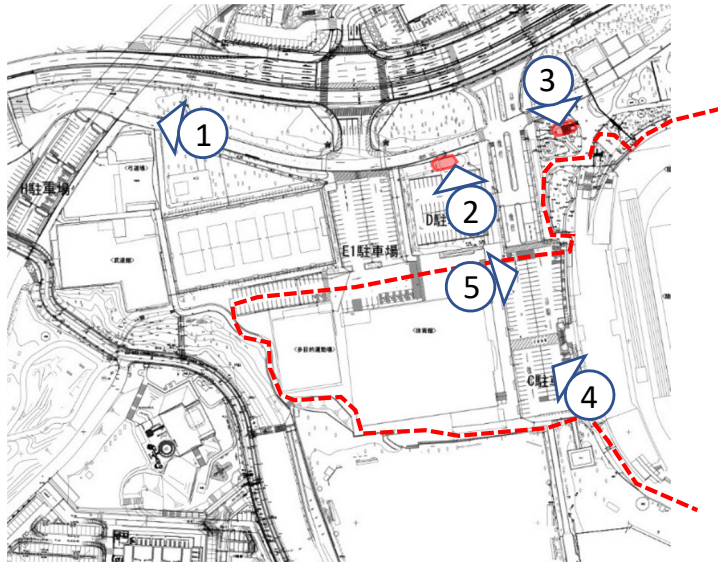
(2)陸上競技場エリア

- ①歩車混在：公園内のメイン動線が、歩車混在している。②駐車場内歩車混在：歩道が途切れている、駐車場内にランニングルートが入り込んでいる。
 ③擁壁：主道線脇擁壁の劣化倒壊危険。 ④サブトラック脇便所：老朽化、設備不良。
 ⑤陸上競技場サブ観覧席用便所：競技場利用時以外利用できない。



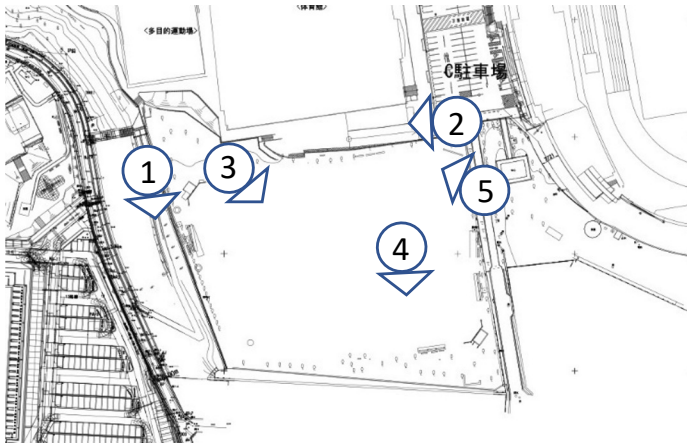
(3)中心エリア

- ①アリーナと運動公園間園路：歩車未分離で危険。 ②駐車場便所：和式等設備更新が必要。
③東屋：支柱劣化、日陰及び利用者が休める場所が少ない。
④陸上競技場側入口：エントランスで歩道が途切れており、エントランス前面が歩車混在。 ⑤歩車混在：ランニングルートが入り込んでいる。



(4)サブグラウンドエリア

①アリーナ側駐車場とのレベル差：高低差があり、新設駐車場からアクセスしづらい。 ②体育館裏：夜間暗い、高低差と裏道で寂しい。
③④⑤サブグラウンド：水銀灯老朽化、照度不足。土舗装の為、水溜まり、泥はね、土埃発生等の問題あり。フェンス整備がされておらず、打球が周辺へ被害をもたらす可能性あり。大規模イベント会場としては土舗装の為使いづらい。臨時駐車場として利用されるが、土舗装の為雨天時は使用できない。



(5)新駐車場エリア

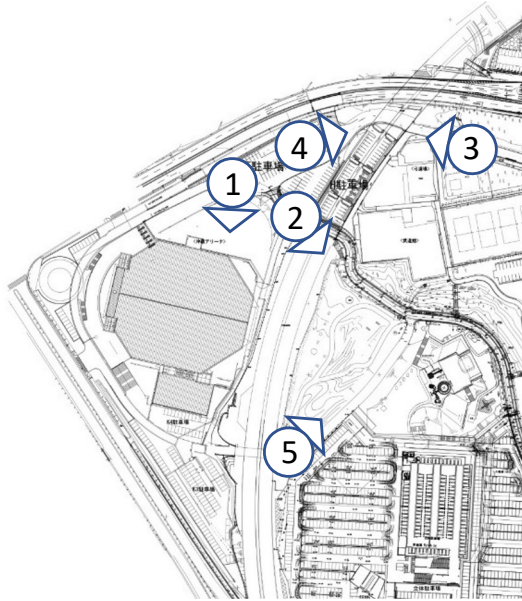
- ①立体駐車場：アリーナ試合時コンサート利用時に出入口が混み合い、特にイベント後一斉に車が出るため、混雑し、出庫時間がかかりかかる。
②市道：周囲より高い位置の為、日差し、雨をさえぎる物が無く、歩きにくい。
③④アリーナ間園路：高速道路高架で分断され、認識されにくく行き来しにくい。⑤アスレチック広場便所：視認されにくい。



(6)アリーナエリア

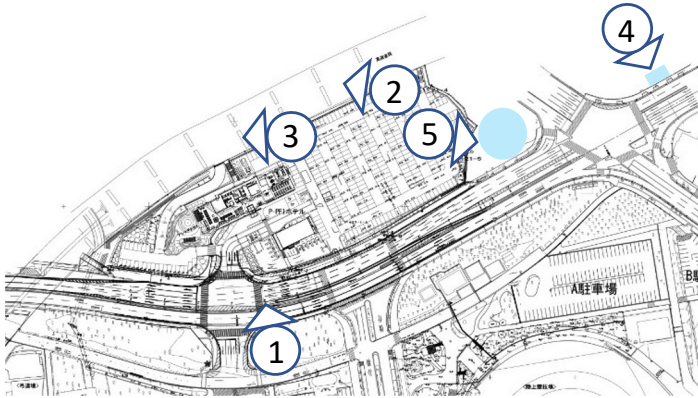
①アリーナ横芝広場：芝広場は仮設食物販などの設置がしにくく、利用しづらい。

②③④⑤運動公園間通園路：アリーナ側から公園が認識されない事及び、高架下の歩車未分離の園路でのみ接道しているので、公園側へも行きにくい。



(7)ホテルエリア

- ①アクセス：横断歩道にて県道85号線を渡る必要がある。②③高架下：有効利用がなされておらず空地となっている。敷地との間に高低差がある。
④沖縄南ICバス停：階段のみでアクセシビリティが確保されていない。⑤未利用地：アクセスに難がある。



①中央エリアの問題点

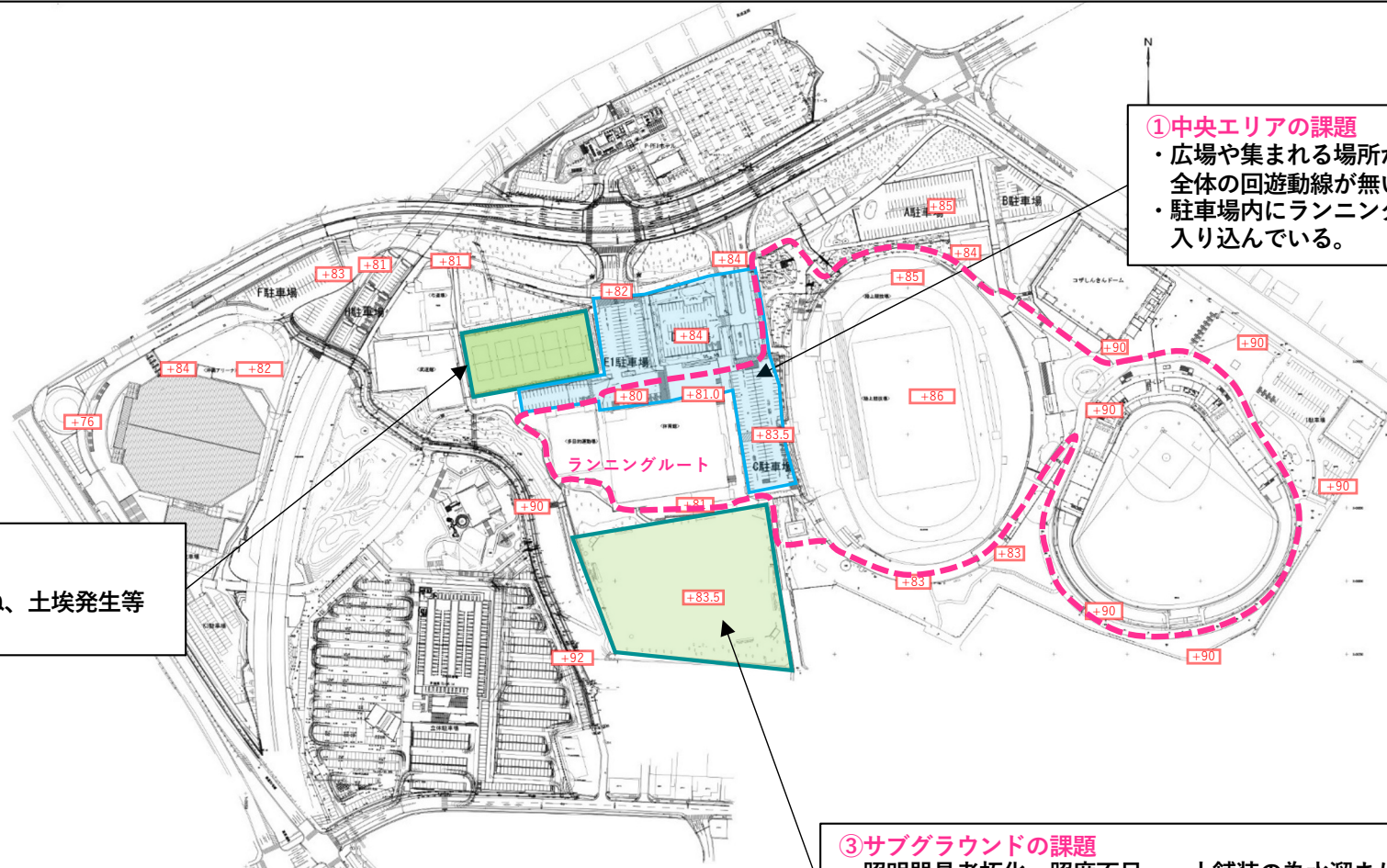
運動公園入口に集合場所、休憩場所等が無く、公園の中心性が欠如している。広場や集まれる場所が無く、園路が繋がっていない。
駐車場間に高低差があり、細かく分割されているため利用しづらい。

②庭球場の問題点

年間稼働率が低い(約30%)。土舗装の為、水溜まり、泥はね、土埃発生等の問題あり。

③サブグラウンドの問題点

照度不足、土舗装の為、水溜まり、泥はね、土埃発生等の問題あり。フェンス整備がされておらず、打球が周辺へ被害をもたらす可能性あり。



①中央エリアの課題

- ・広場や集まれる場所が無く、公園全体の回遊動線が無い。
- ・駐車場内にランニングルートが入り込んでいる。

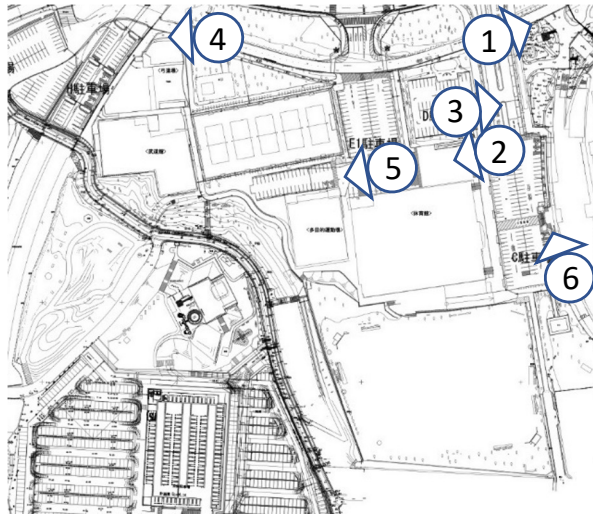
②庭球場の課題

- ・年間稼働率が低い(約30%)
- ・土舗装の為水溜まり、泥はね、土埃発生等の問題あり

③サブグラウンドの課題

- ・照明器具老朽化、照度不足。・土舗装の為水溜まり、泥はね、土埃発生等の問題あり・フェンス整備などが無く周辺への打球被害発生等の可能性。

①中央エリア 状況写真



②庭球場 状況写真



③サブグラウンド 状況写真



園路の問題点

- ① **歩車道未分離**：車道と歩道が未分離の園路があり危険。
- ② **園内高低差**：高低差があり、スロープ・階段が多いためアクセシビリティに難がある。
立体駐車場から野球場へのアクセスしづらい。
- ③ 既存園路で「沖縄県ふくまち条例」の勾配を確保できていない箇所がある。
(沖縄県ふくまち条例：1/20=5%勾配)
- ④ **園内回遊動線が無い**：公園内の回遊動線が途中で狭くなったり高低差が有り未成立。

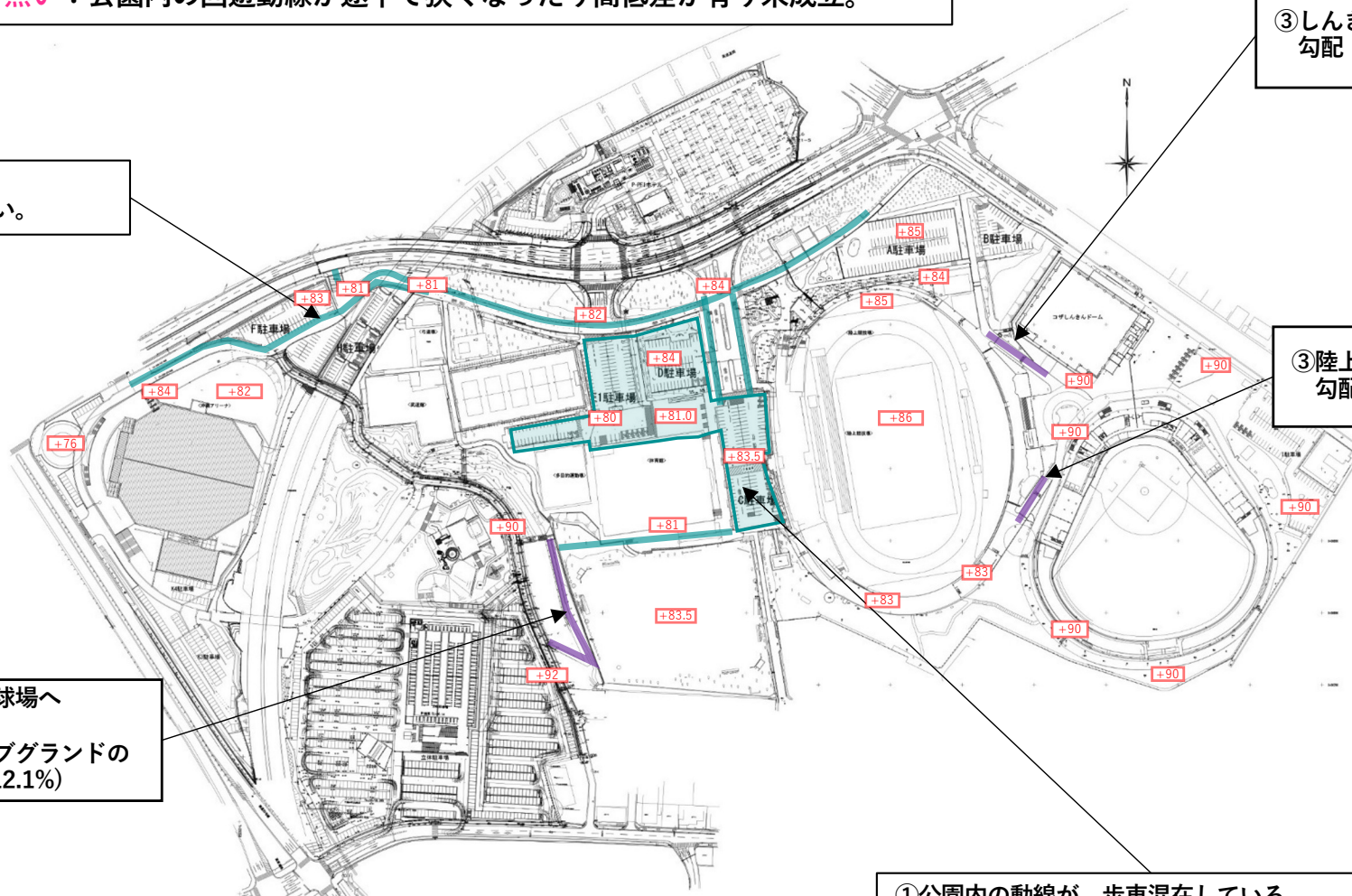
- ① 歩車未分離で危険。
夜間照度不足で暗い。

- ② 立体駐車場から野球場へ
アクセスしづらい。
③ 立体駐車場からサブグラウンドの
園路勾配：1/8.1(12.1%)

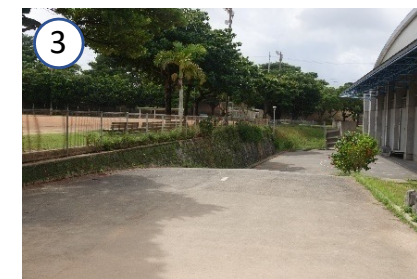
- ③ しんきんドーム横の園路。
勾配：1/14.6(6.8%)

- ③ 陸上競技場から野球場間の園路。
勾配：1/11.3 (8.8%)

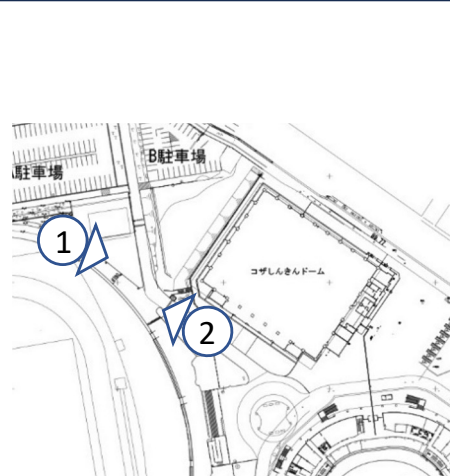
- ① 公園内の動線が、歩車混在している。
② C・D・E駐車場で高低差あり、アクセシビリティに
難がある。
④ 広場や集まれる場所が無く、公園全体の回遊動線が無い。



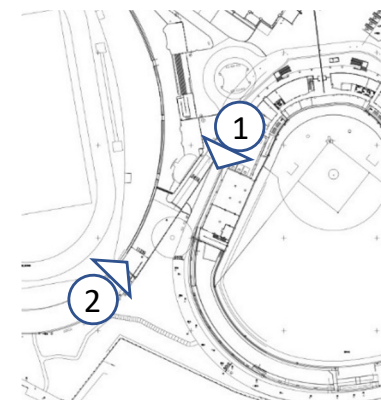
立体駐車場からサブグラウンド園路 状況写真



しんきんドーム横園路 状況写真



陸上競技場から野球場園路 状況写真



便益施設の問題点

- ・便益施設不足：サブトラック、園内ランニング利用者等の為のロッカーシャワー、休憩場所が無い。
- ・便所：公園内の既存便益施設の劣化、設備老朽化。200m以内に屋外便所が無い場所あり。
- ・園内便益施設：軽飲食施設やイベント時、競技施設観客の為の物販施設等が無い。

便所の配棟検討

- ・アリーナエントランスから外便所が無い区間が430mほどあり、施設配置検討時に屋外便所の検討が必要。

駐車場便所

- ・利用しやすい。
- ・和式等設備更新が必要。



便所の配棟検討

- ・屋外便所が無い区間が330mと遠い。便所更新時に検討が必要。



R=100m

- サブトラック脇便所
- ・老朽化、設備不良。



- 陸上競技場サブ観覧席用便所
- ・競技場利用時以外利用できない。
 - ・日常的に使える様に整備が必要。



- 野球場外野席用便所
- ・観客席解放時以外利用できない。



利活用に向けた地形上や周辺地域の環境上の制約条件等について分析を行い、計画上の問題点の抽出及び課題を整理する。

(2)個別施設に係る問題点

公園の各個別施設に係る問題点を以下に示す。

【問題点】公園の適正な利用や管理にあたって対応が必要となる問題点

上記の問題点のうち、

【課題】今回の再整備において対応すべき事項

【今後の課題】今後の再整備検討において対応すべき事項

種 類	施設名称	問題点
園路及び広場	オープンスペース	【課題】「集う」機能が不足しているため、多様な人が寛げる、交流の機会が損失。
	園路	【課題】歩車道未分離。高低差があり、スロープ・階段が多いためアクセシビリティに難がある。アクセシビリティを確保できていない箇所がある。園内回遊動線が無い。擁壁劣化。
修景施設	植栽	【今後の課題】来訪者にとっての演出が十分でない。（ハイビスカス等の南国をイメージさせる植栽）
休養施設	東屋	【今後の課題】劣化が進んでいる。
遊戯施設	遊具	【今後の課題】まとまって配置しており、公園全体で遊具が少ない。
運動施設	野球場	【課題】設備及び施設老朽化：ベンチ、選手ロッカー室が狭く使いづらい。球場照明、電光掲示板、音響、球速測定機器などの設備機器類の更新、機能強化が必要。
	陸上競技場	【今後の課題】南北擁壁の劣化。プロサッカー選手用控室が未整備、照明器具、電光掲示板等の不足、J3対応芝フィールド未対応。芝席の固定席化検討等。競技場内便所の温水便座化等設備更新が必要。
	体育館	【今後の課題】空調設備の改善が必要。照明がLED化されていない。トレーニングルーム等が不足。プロリーグ試合基準を考慮した選手用設備整備が必要。
	サブグラウンド	【今後の課題】照度不足、土舗装の為、水溜まり、土埃発生等の問題あり。フェンス整備がされておらず、打球が周辺へ被害をもたらす可能性あり。
	庭球場	【今後の課題】年間稼働率が低い(約30%)。土舗装の為、水溜まり、泥はね、土埃発生等の問題あり。
便益施設	駐車場	【課題】駐車場間に高低差があり、細かく分割されているため利用しづらい。
	便所	【今後の課題】便益施設不足：サブトラック、園内ランニング利用者等の為のロッカーシャワー、休憩場所が無い。公園内の既存便益施設の劣化、設備老朽化。200m以内に屋外便所が無い場所有り。
	飲食・物販施設	【今後の課題】軽飲食施設やイベント時、競技施設観客の為の物販施設等が無い。

「8. 再整備施設等の機能・規模の検討」の目次

- 再整備基本方針
 - 全体
 - 参考：来園動機拡張
- 各施設の整備方針
- 街灯等を踏まえた景観計画
- 法規制の確認
- 整備効果の検討
- その他誘客関連施策

公園全体の再整備に係る基本方針について

①快適に安心・安全に利用できる公園を目指す

- ・ 園路オープンスペースにおける計画的な照明配置。
- ・ 昼夜問わない利用を想定した空間設計（防犯性の向上）。
- ・ 家族連れ、女性、高齢者も安心して滞在・利用できる環境づくり。
- ・ 擁壁改修や歩車道分離の推進、便益施設等の改修により安全性・快適性の向上。

②誰もが使いやすく、質の高いスポーツ・交流空間を目指す

- ・ スポーツ利用者だけでなく、観戦者やイベント来場者など、多様な利用者が快適に過ごし楽しめる施設。
- ・ 市民や初心者からトップレベルのアスリートまで対応できる競技環境の質向上。
- ・ スポーツだけでなく、健康づくり・交流・憩いの場として多様な使い方ができる公園。

③多くの人に利用される持続可能な公園を目指す

- ・ 時間帯（昼・夜）、世代別、目的別での利用拡大を目指す。
- ・ スポーツ大会・イベントによる来園動機の創出。
- ・ 利用データや市民意見を踏まえ、段階的に再整備していく。
- ・ 収益性向上の仕組み導入と民間参画の推進により、効率的で持続可能な運営。



- ・各運動施設を繋ぐ動線が歩車道未分離により、歩行者の安全性が課題。
- ・公園としての「集う」機能が不足しているため、多様な人が寛げる、交流の機会が損失している。

課題解決策として下記検討を行い、来園動機を拡張することで関係者人口を増やす。

- ・「安全で」歩いて楽しい園路の検討。
- ・「集う」機能である多様な人が寛げる、交流の場の検討。

課題解決策として下記検討を行い、来園動機を拡張することで関係者人口を増やす。

- ・「安全で」歩いて楽しい園路の検討。
- ・「集う」機能である多様な人が寛げる、交流の場の検討。



本公園の成功の定義である「**KPI②多様なニーズ**」を取り込むため、

「**集う**」機能強化のための検討を行う。

人々が楽しめる多様な活動や誰もが寛げ、交流するなど
滞在したくなるような機能を強化することで、本公園に賑わいを創出する。

[多様なニーズとは]

主に運動施設以外の機能強化により対応。

スポーツに日頃親しむ市民だけでなく、福祉（高齢者、障がい者、子ども）、ファミリー県外・海外、観光客。防災視点。

「する/見る/集う」の中の「集う」、憩い（飲食）や交流など。



多様な活動や人が誰もが寛げる交流拠点の場

- | | | |
|----------------|---|---------------------------------|
| ・ 多様な活動の場 | → | 子供連れ、ファミリー、高齢者も利用しやすい芝や植栽のある広場。 |
| ・ 誰もが寛げる場 | → | 飲食や交流、自然や癒しのある広場。 |
| ・ 各施設とアクセスが良い場 | → | 運動施設の結節点となる広場。 |

交流拠点の場：機能・規模検討

多様な活動や人が誰もが寛げる交流拠点の場

多様な活動のオープンスペースイメージ：動

レクリエーション・スポーツ系

- ・軽い運動ができるスペース（ジョギング、ストレッチ、ヨガ）
- ・子ども向け遊具やプレイエリア
- ・誰でも参加できる軽スポーツ（フリスビー等）
- ・高齢者向けの健康遊具等

文化・学び系

- ・ワークショップやクラフト体験
- ・地域の歴史や自然を学べる展示
- ・アート作品の展示やライブペイント

誰もが寛げるオープンスペースイメージ：静

飲食・交流系

- ・レストランやカフェスペース
- ・ピクニックエリアやベンチでの飲食
- ・地域産品のマルシェやフードイベント

自然・癒し系

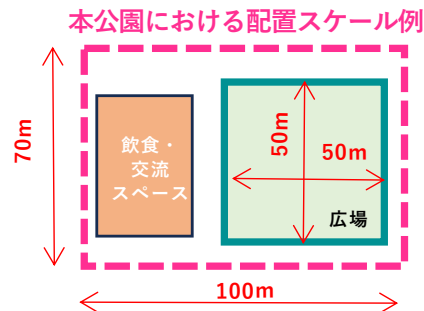
- ・植栽や花壇を楽しむガーデニング
- ・水辺や緑陰でのリラックススペース

運動施設の結節点となるオープンスペース

多様な活動のオープンスペースとして必要なスケール検証

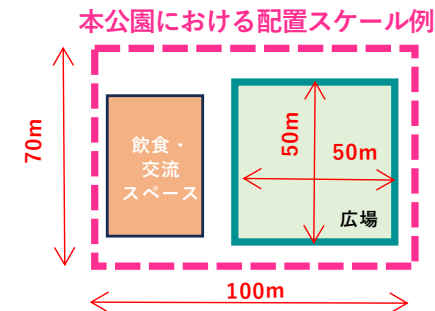
社会的な視界である約100m（人の動きが見分けることのできる距離）以内とした、**6,000～8,000㎡(100×70mが典型的)**が、体験空間としてのオープンスペースの目安である。

出典：ヤン・ゲール、人間の街_公共空間のデザイン



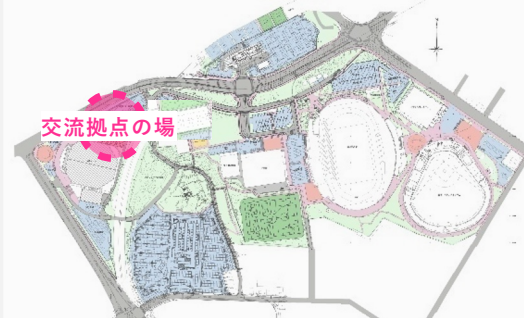
誰もが寛げるオープンスペースとして必要なスケール検証

日常利用促進に効果的なオープンスペースとして、**街区公園（0.25ha）**程度（50m□）の広場を配置することで、使い易い交流拠点の場をつくる。



上記の検証を踏まえ、規模として約6,000㎡以上の面積が必要。

交流拠点の場：位置検討

	A案	B案	C案
	公園 中心エリア	公園 野球場エリア	公園 アリーナエリア
概 要			
現状の状況	庭球場として利用。土舗装であることなどから運動施設としての稼働率が低い。 周辺高木植栽に囲まれている。	野球等イベントが開催されている間は人が多いが、基本野球場利用者のみの利用となっている。	アリーナの芝緑地として利用されている。 アリーナでのイベント時は公園で最も人が集まるが、それ以外は閑散としている。
周辺施設との関係	ほぼ公園中央に位置し、周辺に駐車場もあることから利用しやすい。 市民体育館、多目的運動場、武道場等に近接。野球場からは遠い。	公園東側端に位置し、コザ公園の東側エントランス広場としての位置づけられる。 公園内で最も市街地に開いた位置にある。	アリーナの近接芝広場、他施設と離れている上、高速道路で他施設から認識しづらい。
人の集まりやすさ	公園中央に位置する事から認識されやすく交流拠点となりやすい。	市街地側からは人が集まりやすい。野球イベント及びキャンプ中は混雑が考えられる。	アリーナのイベント時の集客、動員数に対して訴求しやすい反面、それ以外の施設利用者からは遠くアクセスしにくい。
広さ	現庭球場及び緑地 約6,000㎡	現広場 約1,800㎡	現芝広場 約2,400㎡
防災観点	指定避難施設の体育館前及びボランティアセンターとなる多目的運動場に近接し、防災的拠点ともなる広場化する意義が高い。	支援物資集積拠点指定のしんきんドームに近接。物資分配等の広場強化等の可能性。	アリーナは広域物資輸送拠点であり、防災広場としては輸送物資の屋外集積、仕分け等の利用可能性。
メリット	公園中央に位置、認識しやすく施設を繋ぐ位置 周辺高木植栽に囲まれている。	公園内で最も市街地に開いた位置。	アリーナの大量集客がある位置。
デメリット	既存施設の移設、東側園路との間の浄化槽及び樹木移植など必要。	公園内東端の為他施設との連動がしにくい。 野球キャンプ時期に混雑する。	いびつで狭い。他施設との連動がしにくい。 駐車場を取り込んでも広さが充分に取れない。
評 価	○	×	△

公園中心エリアの課題整理

- ①**庭球場の課題**：年間稼働率が低い(約30%)。土舗装の為、水溜まり、泥はね、土埃発生等の問題あり。
- ②**サブグラウンドの課題**：照度不足、土舗装の為、水溜まり、土埃発生等の問題あり。フェンス整備がされておらず、打球が周辺へ被害をもたらす可能性あり。
- ③**駐車場の課題**：駐車場間に高低差があり、細かく分割されているため利用しづらい。



- ・現在のサブグラウンドは、人工芝舗装の多目的グラウンドとして整備することで、利用性の向上及びスポーツの利用多目的化を図る。
- ・現在の庭球場の年間平均稼働率が30%であるため、庭球場を現在のサブグラウンドへ移設し、舗装の機能強化及び夜間照明の機能強化を図り、便益施設を利用できるようになることで稼働率を向上する。

多目的グラウンドの整備方針

- ・土舗装（クレーコート）の課題を解決するため、人工芝舗装のグラウンドとして整備し、使い勝手をよくすることで機能強化を図る。
- ・テニスコート4面、ソフトボール1面、フットサルコート2面等、多目的に利用出来るようにする。
- ・人工芝とする事で、雨天時に泥が発生しないためメンテナンス簡略化でき、利用性が向上する。
- ・周囲には防球フェンスを整備する。
- ・照明のLED化を行い、夜間利用に必要な照度を確保することで利用性を向上する。
- ・イベント時にも利用しやすい施設とする。

施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均稼働率
コザしんきんスタジアム	90%	94%	77%	77%	88%	73%	84%	88%	90%	97%	90%	85%	86%
体育館	72%	84%	77%	84%	82%	77%	80%	88%	82%	79%	71%	91%	81%
コザしんきんドーム	59%	68%	67%	68%	66%	64%	83%	85%	83%	85%	85%	91%	75%
陸上競技場	90%	94%	74%	35%	71%	30%	32%	40%	83%	76%	80%	91%	66%
多目的運動場	54%	57%	64%	63%	55%	61%	75%	78%	50%	69%	56%	72%	63%
サブグラウンド	26%	31%	21%	30%	80%	31%	53%	60%	43%	86%	71%	80%	51%
投球練習場	8%	33%	18%	33%	43%	43%	44%	45%	37%	84%	87%	85%	47%
武道館	32%	30%	33%	35%	47%	34%	51%	66%	37%	44%	41%	44%	41%
庭球場	20%	22%	24%	15%	40%	28%	34%	52%	25%	46%	24%	30%	30%
弓道場	10%	9%	9%	6%	28%	9%	12%	14%	13%	17%	6%	13%	12%
トレーニングルーム	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

令和 6 年利用実績（稼働率順）

庭球場は土舗装のため、使い勝手が悪い。
（市内にある県総合運動公園は全天候型のオムニコート）
その他、ナイター設備がないことが推測される。



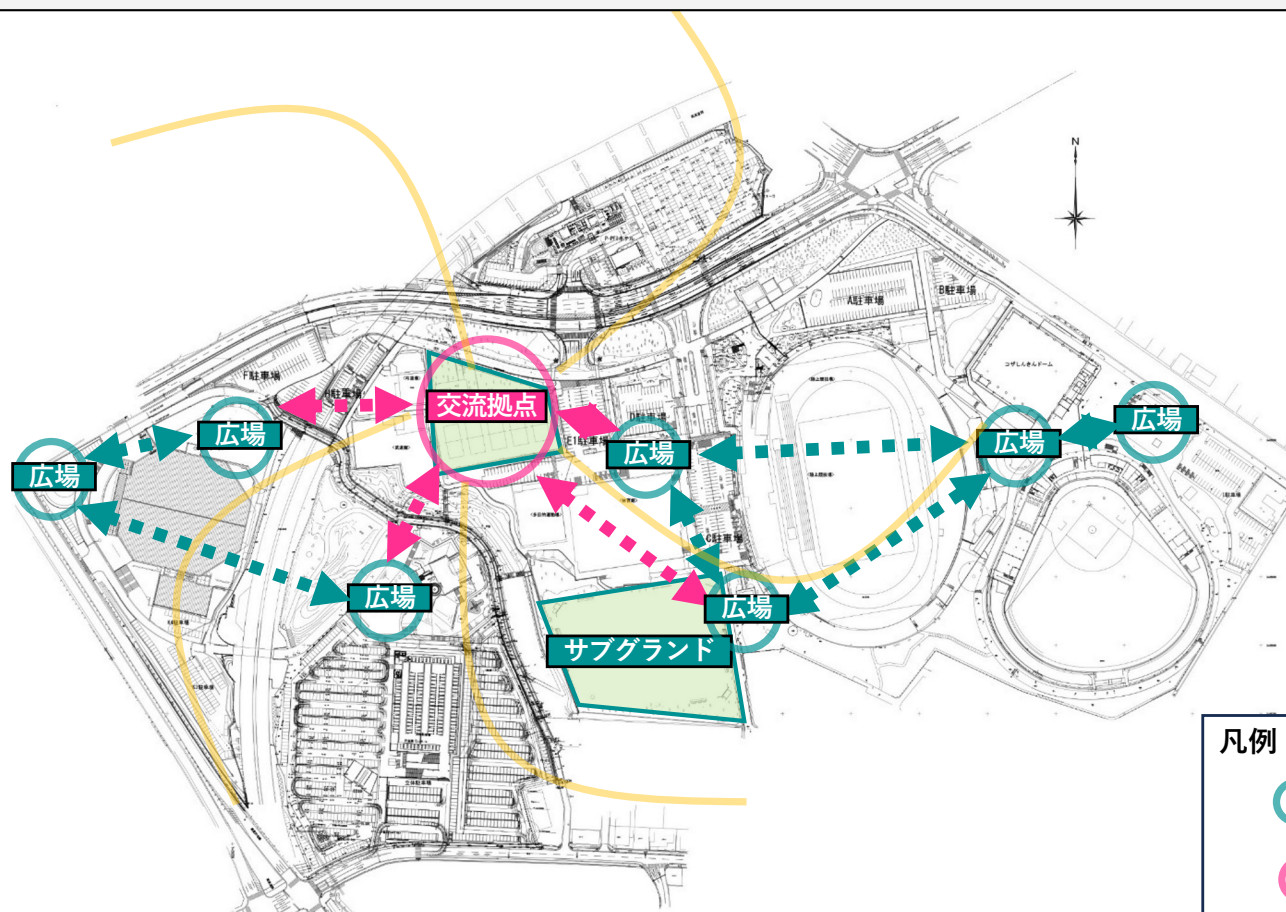
多目的グラウンド整備案
※コート寸法、ネット高さ、床材質等は今後調整

「公園中心エリアの課題」

- ①庭球場の課題。
- ②サブグラウンドの課題。
- ③駐車場の課題。

「解決策」

- ①・②庭球場をサブグラウンドに集約することで、庭球場及びサブグラウンドの稼働率を向上することができ、公園の中心に交流拠点の場を整備する。
- ③ 駐車場については、別業務の令和5年度基本設計にて解決案が示されている。



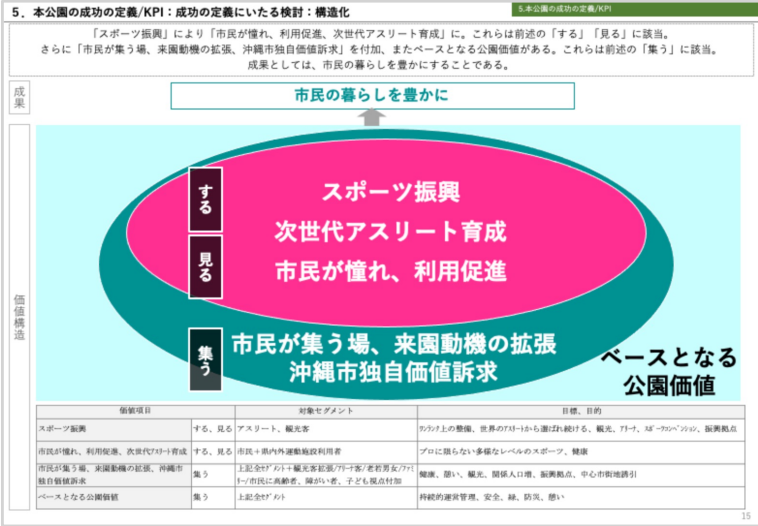
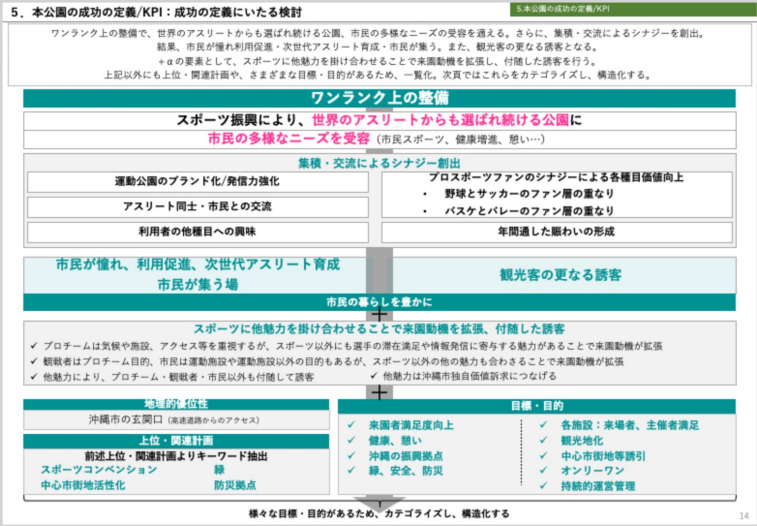
交流拠点の場配置 計画案

凡例

- 既存オープンスペース
- 新設オープンスペース

来園動機を拡張するため、どのようなコンテンツを配置すべきか、以降参考として整理する。

成功の定義にいたる検討（再掲）



スポーツに他魅力を掛け合わせることで来園動機を拡張し、付随した誘客を行う。
そして沖縄市独自価値訴求にもつなげる。

広範からの誘客および市全体視点を取り入れるために、
本業務目的に記載の「地理的優位性」を再度分析し、エリア戦略を検討する。

業務目的や上位関連計画等から、広域における観光・交流を促すエリア戦略を検討

観光における、県の中での市の位置づけを分析

現在地

- ・ アリーナや沖縄こどもの国施策によって、沖縄市を訪問する観光客は増え続けている。
 - 県外観光客数は2019年：県17位→2023年：県13位と大幅上昇。
 - 2019年まで市宿泊者数・主要観光施設入場者数ともに継続上昇。
 - コロナ明け2024年→2025年比較でも県外観光客は大きく上昇。

現在地

観光地化

更なる機会

- ・ 現在集客に成功しているアリーナやこどもの国は目的性が高い施設。何かのついでにふらっとではなく、計画して施設に来訪する。
- ・ 那覇空港⇄西海岸リゾート・美ら海に人流が多いことに注目。その途中の沖縄市は通り道といえる。通り道はロードサイドのように通常は賑わう場所であるが、ふらっと・ついでに来訪する需要の取込可能性を検討。
- ・ 沖縄自動車道は今後も続く開発や、インバウンドの増加により、人流がさらに増えると考えられる。
- ・ 過年度沖縄こどもの国調査で「空港⇄西海岸リゾート・美ら海の通り道にあるアクセス性」の評価が高いことが判明。
- ・ 那覇→許田間にて、沖縄南ICで高速を降りることによるコストデメリットはほぼない。

拡張可能性

通り道のメリット享受

障壁

- ・ 通常は賑わう通り道が、高速道路であるため、市に気軽に立ち寄ることができない。

仕掛け

- ・ 賑わいを生み出す通り道のポイントは視認性と気軽さ。高速道路という障壁を超える仕掛けを配置し、通り道の利点を享受する。

仕掛けにより

寄り道スポット



戦略

県内で観光の更なる強いポジションを取るべく、アリーナやこどもの国のような目的性高い施設に加え、コザ運動公園への

寄り道戦略

を実践することで、ふらっと来訪する需要を狙う。

地図データ©2025 Google

モータースポーツマルチフィールド

東南植物楽園

沖縄北IC

東南植物楽園

2つの三角形の頂点に位置する
コザ運動公園は、
市への寄り道の入口、つまり、
沖縄市の玄関口

となるべき場所。
市の独自価値を訴求し、市への
回遊を生み出す装置になり得る。

注：
本公園の来園動機拡張施策のために
エリア戦略を検討したが、エリア戦略の
詳細検討/具体化は本業務範囲ではないため、
以降本公園の再整備に限定した検討となる。

二重の
トライアングル構造

沖縄南IC

中心市街地

沖縄アリーナ

コザ運動公園

沖縄こどもの国

プラザハウスSC

泡瀬漁港

泡瀬漁港

沖縄県総合運動公園
運動公園

潮の森(予定)

沖縄南ICを寄り道の入口として
アリーナ・こどもの国・中心市街地を囲む
重点活性化エリア

沖縄南IC・北ICから
将来の潮の森への誘引を見据えた
全体波及エリア

観光視点において、
二重のトライアングル構造でエリアを捉える。
市の強いアセットであるアリーナとこどもの国、
活性化が課題の中心市街地。それらに近い沖縄南ICが
他ICと比べ重要である。

集客に成功しているアリーナから中心市街地への誘引余地がまだあること、こどもの国から中心市街地に誘引できていない課題が現在あるが、沖縄南ICからアリーナ・こどもの国・中心市街地を囲む**重点活性化エリア**で寄り道と回遊を生み出し、市の力を高めながら、長期的には将来の潮乃森への誘引を見据えた**全体波及エリア**で成長する。

その2つの三角形の頂点に位置するコザ運動公園は市への寄り道の入口、つまり、**沖縄市の玄関口**となるべき場所といえる。そのため、**市の独自価値を訴求**し、市への回遊を生み出す装置になり得る。

* 東南植物楽園の集客力は高いが、他アセットから離れているため連携効果が近場と比べ弱い。但し、全く連携しないのではなく、離れていても連携できる施策は探る。

来園動機拡張施策について、「成功の定義にいたる検討」「エリア戦略（前頁）」や「再整備方針」等を踏まえ、以下3つの切り口から検討する。

1 市独自価値から抽出した拡張コンテンツ。

* 地理的優位性として市の玄関口であることから、市の独自価値訴求を検討。

2 市の玄関口での寄り道（地理的優位性）およびアリーナ連携（地域特性）から抽出した拡張コンテンツ。

* 地理的優位性として市の玄関口と設定。地域特性としてのアリーナは業務目的に記載あり。

3 園路関連の付帯コンテンツ。

* 再整備方針で「安全で歩いて楽しい園路」を設定。

本業務範囲はあくまで本公園再整備ではあるが、
市の玄関口として、市全体視点から市独自価値コンテンツを検討することが適切である。

そのために、

[市全体からの必要性視点]

①市全体として強化すべきコンテンツ

[市全体への拡張性視点]

②市全体に拡張されやすいコンテンツ

上記2つの視点を持ち、本公園に配置するコンテンツを検討する。

*本業務範囲が本公園再整備であることは前提。

*市全体の中でも、上位・関連計画で課題に挙がる中心市街地に特に注目する。

上記より、次頁からまず、市の独自価値を構造化することからはじめる。

市の独自価値を構造化すると、施設に依拠する「点」、エリア展開の「面」、年中/終日開催の「恒常」、期間限定の「イベント」に分類できる。
これを見ると、市全体の恒常的な賑わいに一番資する「面×恒常」の象限に強いコンテンツが育っていない現状がわかる。

沖縄市の価値構造

コンセプト

チャンプルー文化・国際文化観光都市

点

面

沖縄こどもの国

コザ運動公園

沖縄県総合運動公園

泡瀬漁港

モータースポーツ

ミュージックタウン音市場

エイサー会館

東南植物楽園

アリーナショップ

琉球ゴールデン
キングス
(年40試合程度)

コンサート
(年数回)

MICE
(年数回)

FC琉球
(年19試合)

カープ
(年11日)

ストリートアート

音楽(ライブハウス)

名物グルメ・特産品

中心市街地
(ストリート)

キングス商店街

ピースフルラブロックフェス(年1日)

エイサー
(年3日)

沖縄アリーナ

恒常

イベント

コンテンツ

普遍価値

中部の中核都市

基地の門前町(国際性)

自然

*四角の大きさとコンテンツの強さ(集客力)を表現

市の独自価値における課題①「繁閑差」

一般的に事業者は大きな繁閑差を嫌がる。

理由

1. 収益の不安定さ。
 - ・ 売上が繁忙期に集中し、閑散期に赤字が出やすい。
 - ・ キャッシュフローが安定せず、資金繰りに負担。
2. 人材マネジメントの難しさ。
 - ・ 繁忙期は人手不足、閑散期は余剰人員となる。
 - ・ アルバイトや派遣に依存し、教育コストが増大。
3. 設備稼働率の低下。
 - ・ 繁忙期にはフル稼働だが、閑散期は遊休資産に。
 - ・ 固定費が回収しづらく、利益率を圧迫。
4. 顧客体験のバラつき。
 - ・ 繁忙期は混雑・サービス低下で顧客満足度が下がる。
 - ・ 閑散期は静かすぎて活気がなく、再来訪意欲を損なう。

注視すべき大事なポイント

市の現状

- ・ こどもの国、東南植物楽園は恒常性があるが、他強いコンテンツは以下の通り。
 - ・ 沖縄アリーナは年間約3割程度のイベント時のみ稼働。残り7割は閑散。
 - 2025年1-9月のイベント日数（設営撤去含まず）は81日/273日で29.7%。つまり、1年の中で3割が繁忙、残り7割は閑散。
 - 上記に含むキングスも年間約40試合=1年の11%にしか相当しない。
 - ・ エイサーの日数は限定的。（3日間の全島エイサー中心+他日程）
 - ・ カープのキャンプは半月。
 - ・ FC琉球は年間約19試合=1年の5%。
 - ・ ピースフルラブロックフェスのような単日イベントはあるが、限定的。
- +
- ✓ 上記イベントを全て足しても1年の半分以下。かつ多くは土日に集中。
 - ✓ 中心市街地はミリタリーにより週末夜に混雑する（パンクに近い）、平日や昼は閉めている店も多い。

* 中心市街地が週末夜パンクに近いことは調査データとしてはないが、沖縄市担当ヒアリングより。

事業者の出店・投資意欲、および来訪者の満足度向上のため、恒常性を取り戻すことが必要。

市の独自価値における課題②「面展開不足」

現状

強いコンテンツが育っているが、施設に依存し、市全体の面展開ができていない。

沖縄アリーナ

琉球ゴールデン
キングス

沖縄こどもの国

東南植物楽園

面展開できてないことは、なぜ問題か。

利益が施設・施設利用事業者に集中し、多数の市内事業者が享受しづらく、結果市全体として発展しづらい。

面展開できている街の事例はあるか
多数ある。以下たとえばとして、

- 香川県高松市 コンテンツ：うどん
- 静岡県富士宮市 コンテンツ：富士宮やきそば
- 北海道函館市 コンテンツ：海鮮、朝市
- 富山県氷見市 コンテンツ：寒ブリ

- 新潟県新潟市 コンテンツ：酒蔵、酒
- 香川県直島 コンテンツ：アート
- 大分県別府市 コンテンツ：温泉
- 三重県伊勢市 コンテンツ：参拝

- 愛知県今治市 コンテンツ：自転車旅行
- 佐賀県有田町 コンテンツ：陶器
- 長野県白馬村 コンテンツ：アウトドア
- 神奈川県横須賀市 コンテンツ：食、スジャヤン

食はとても強い訴求力があるが、食以外にも切り口はいくつもある。また、上記も面展開コンテンツは1つでなく複数提供する事例が多い。

面展開するコンテンツの条件は

行政の支援に加え、**個人（個人事業主）でも真似できる**こと。

・・・個人（個人事業主）が真似できないコンテンツは行政や資本力ある民間企業だけが推進することになり、市全体に波及しづらい。

市全体への拡張が促されるよう、**個人（個人事業主）でも真似できるコンテンツ**を検討する。

面×恒常コンテンツを配置

面展開は個人（個人事業主）が真似したくなる必要

市独自価値コンテンツの必要条件

恒常性
があるか個人（個人事業主）が真似したくなるか
（市全体に拡張されやすいか）

納得性

地域に根付いたものであるか。

集客性

生活者が求めるものか。集客力があり、売上につながるか。

実行性

実行の負担が比較的軽いものか。
（金銭的負担、人の稼働的負担）

個人（個人事業主）が真似したくなる要素をブレイクダウン。

必要条件から策定したのは以下5つ、コンテンツは複数ある方がよい。
（面展開に成功している街でもコンテンツは複数あり、多様なニーズに対応している。）

1

ハイベスカス

2

体験型ストリートアート

3

三角看板

4

タコスとステーキ（情報発信のみ）

5

エイサー

寄り道戦略に必要なのは、「視認性」と「気軽に魅力的なコンテンツ」

沖縄自動車道と北谷線から視認できる場所はどこか

基本設計平面図(全体)
計画平面図(全体)0 50 100m
S=1:1000 (A1), 1:2000 (A3)② 寄り道&アリーナ連携
コンテンツ

庭球場・駐車場近辺

- ・ 北谷線の目の前。
- ・ 沖縄自動車道からは木々の高さを超えれば視認可能。

アリーナ来場前後課題と接合。沖縄自動車道から視認できる高さがあり、夜も誘引できるコンテンツを配置し、周囲に休憩場所も整備。

アートタワーと水のショー。

アリーナ向かいの緑地

- ・ フェンス越しの植栽を無くせば、沖縄自動車道からの視認性が非常に高い好立地。
- ・ アリーナ内からも視認可能。
- ・ 北谷線からは見えない。

奥まった立地のためアリーナ来場前後課題とは接合せず、沖縄自動車道とアリーナ内からの視認性を有効活用。寄り道したくなるよう、一目で惹かれ、わかりやすい訴求物を設置。

- ・ ハイビスカスのモニュメント。
- ・ 島ヤギの放し飼い。
- ・ 本公園告知物。

③ 園路関連
コンテンツ

- ・ 屋外用ウォーキングマシン。
- ・ 夜の照明演出、音響演出。

施設・機能の計画条件

検討にあたっての計画条件を以下に示す。

記号	施設・機能		計画条件
A	野球場	建築	プロスポーツ要望による条件及び実践課題。
		フィールド	プロスポーツ要望による条件及び実践課題。
B	陸上競技場	建築	プロスポーツ要望による条件及び実践課題。
		フィールド	プロスポーツ要望による条件及び実践課題。
C	体育館	建築	プロスポーツ要望による条件及び実践課題。
D	その他運動施設	多目的グラウンド	人工芝のグラウンド整備 テニスコート4面、ソフトボール1面、フットサルコート2面、設備更新。
		高架下利用	未利用地の有効活用として駐車場及びフットサルコートを整備。
		アーバンスポーツ	スケートボード、3on3の検討。
		共用施設	既存ジムの強化、ランステーションなど市民利用強化。
E	園路	園路	安全の機能強化。 ランニングコース、サイン・照明設備。
		オープンスペース	「集う」機能強化。
		駐車場	園路オープンスペース見直しによる再整備。
G	便益施設	便所	不足しているため増設、多様ニーズに更新。

A 野球場

整備目標：プロを含む利用する選手及び観客の利便性確保、施設機能強化による競技者及び観戦者の増加を目指す。

課題：

- ・設備：便所設備更新の必要。給水量、水圧不足等。
- ・施設：ベンチ、選手ロッカー室が狭く使いづらい。球場照明、電光掲示板、音響、球速測定機器などの設備機器類の更新、機能強化が必要。



想定される事項：

選手ベンチ拡充。
選手ロッカールーム拡充。
バックネット際人工芝改修。
外野フェンスラバーマット改修。
スピードガンの設置。
音響システム向上。
球場照明LED化。

選手及び観客の動線確保。
トイレ改修。
ベンチ排水改修。
ベンチ 屋根作成。
ベンチ ミスト。
正面エントランス改修。
スコアード改修。

・しんきんドーム
照明のLED化。

来園動機拡張施策
外壁に体験型ストリートアート
サインに三角看板。

B 陸上競技場

整備目標：陸上競技、サッカー競技においてプロアマ問わず利用しやすい施設を目指す。

課題：

- ・ 競技場：南北擁壁の劣化により通路側が危険。便所設備更新の必要。給水量、水圧不足、競技場路盤の沈下等。
- ・ 施設仕様更新：プロサッカー選手用控室が未整備、照明器具、電光掲示板等の不足、路面仕上げ未更新、プロサッカー対応芝フィールド未対応。芝席の固定席化検討等。
- ・ 競技場内便所：競技場内便所の温水便座化等設備更新が必要。



想定される事項：

- ・ 陸上競技フィールドの舗装面改修：芝コートプロサッカー基準に改修。
- ・ スタジアム諸室をプロサッカー基準へ改修：2チーム分の選手控室、ロッカー便所等利便施設整備、擁壁の劣化に対応しつつ、大会用事務局他必要諸室の整備。
- ・ サブスタンド固定観客席(2000席)の拡充、観客利便施設の整備、大型モニター類の整備。
- ・ LED照明への変更。

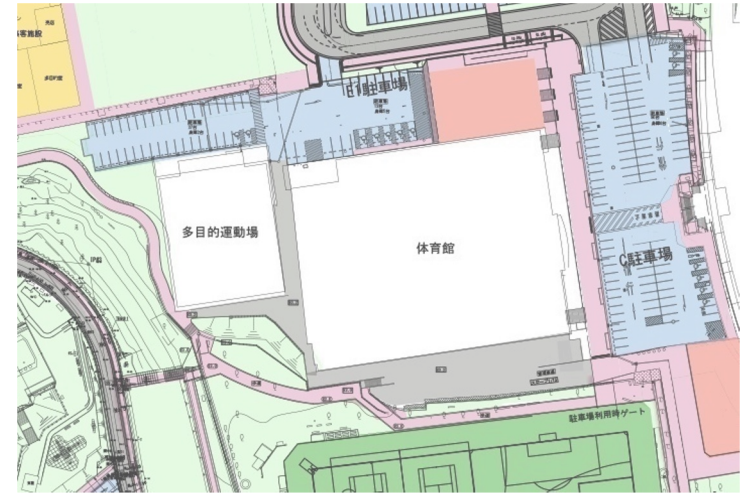
来園動機拡張施策
外壁に体験型ストリートアート
サインに三角看板。

C 体育館

整備目標：プロリーグ試合開催可能な整備を通して利便性を高め、市民にも利用しやすい施設を目指す。

課題：

- ・施設整備：空調が効きにくく、改善が必要。照明がLED化されていない。
トレーニングルーム等が不足。
プロリーグ試合基準を考慮した選手用設備整備が必要。



構想図

想定される事項：

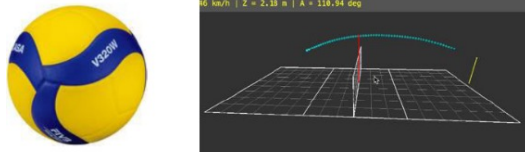
- ・トレーニングルームの整備。
- ・映像解析装置の設置等、利便性向上。
- ・照明のLED化。
- ・空調環境の改善。

来園動機拡張施策
外壁に体験型ストリートアート
サインに三角看板。

体育館 映像解析システム

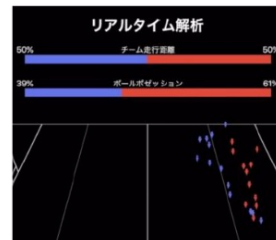
システム：競技特化型

- ・バレーボール向け:競技に特化したシステム製品があり選択可能。



バレーボール向けシステム

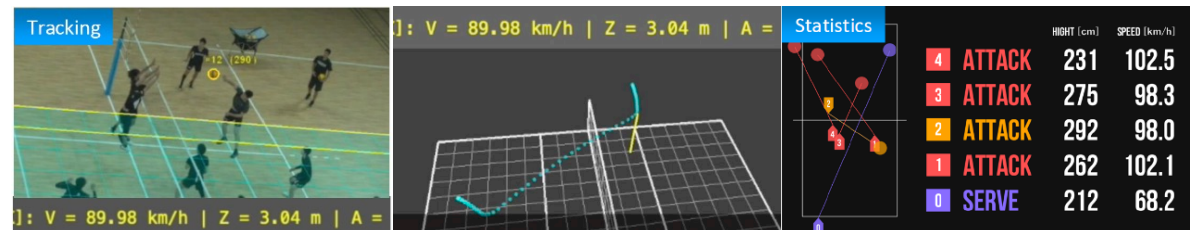
- ・汎用機能:選手位置トラッキング/背番号識別が可能。



- ・バレーボールトラッキングシステム:

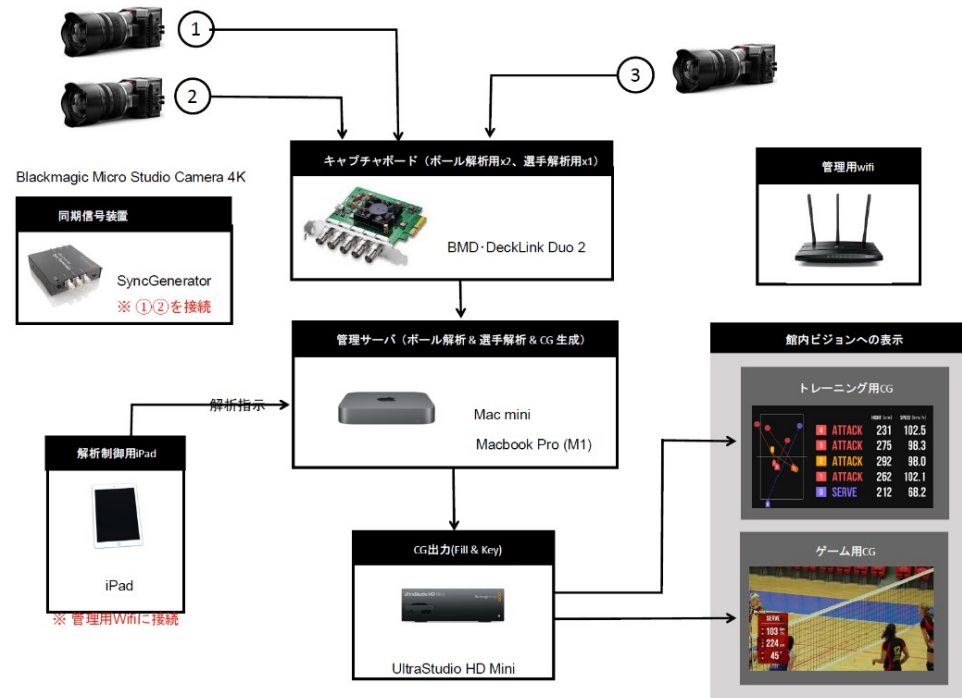
全自動対応

- ・ボールの3次元追跡。
- ・アタック/サーブの計測。
(初速、位置、高さ、着弾点)
- ・トス/レシーブなどのイベント検出。
- ・選手位置のトラッキング。



体育館 映像解析システム

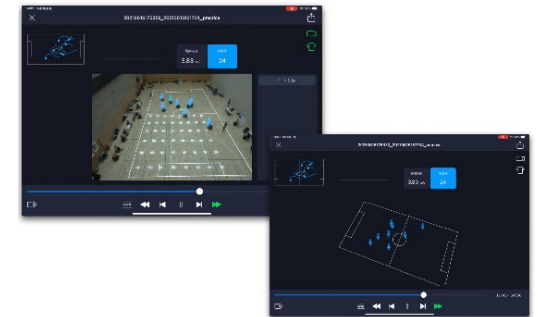
基本的な機器構成図



※参考イメージ (Reference Image)

チーム向け機能 (Team-Focused Functions)

- ・トラッキングデータ可視化アプリ (Tracking Data Visualization App)
- ・試合状況の選手移動等を可視化。 (Visualize player movements during the match.)



・システムカスタマイズ (System Customization)

- ・ボールの種類の対応（トラッキング不可能なボールもある）。 (Support for different ball types (some balls cannot be tracked).)
- ・複数コート対応（練習or 本番コートのスイッチングなど）。 (Support for multiple courts (switching between practice or main courts, etc.).)
- ・背番号認識システムとの統合。 (Integration with the jersey number recognition system.)
- ・表示アプリのカスタマイズ。 (Customization of the display app.)
- ・取得するデータを独自のものに来場者向けのアプリへの組み込み、アプリの新規開発試合状況の選手移動等を可視化。 (Incorporation of the acquired data into a custom app for visitors, and new app development for visualizing player movements during the match.)

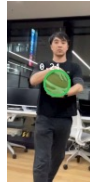
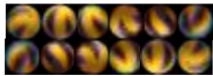
体育館 映像解析システム

コア機能-1

・ボールトラッキング機能

- ・基本は機械学習ベースのトラッキングのため、学習データが多く必要。
- ・学習データ数は500-2000枚ほど必要。
- ・ステレオ計測によってボールの3次元位置を計測。
- ・1920x1080 の画像に対して60fpsでトラッキング。
- ・それっぽく動いているボールのみを追跡するため練習用のボールが落ちていてもOK。

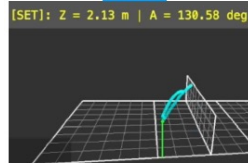
バレーの学習データ



・イベント検出機能

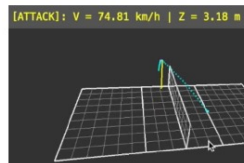
- ・現状バレー専用機能として「アタック」「サーブ」「レシーブ」「セット」の4イベントをボールの動きから自動検出しタグデータとしてタイムスタンプを保存。

セット



高さ 2.13m

アタック



速度74.81km/h,高さ3.18m

コア機能-2

・選手トラッキング機能

- ・機械学習ベースまたは固定モデルベースのトラッキング。
- ・俯瞰カメラ映像が必要。真俯瞰からが最も精度が良い。
- ・選手位置は1280x720の解像度で30fpsほどのフレームレートで動作。
- ・選手のID、コート上の2次元位置、速度、移動距離などを計測。

真俯瞰カメラ



斜め俯瞰カメラ



D その他運動施設

整備目標：若者に利用が広がるアーバンスポーツ施設を整備。多目的グラウンドの人工芝化等施設の拡充及び整備による来園動機の拡張。利用者の増加、市民が気軽に利用できる運動公園を目指す。

庭球場の課題：

- ・ 利便施設：土舗装のため風による土埃、日照、照り返し、雨天時の整備不良等の問題がある。
- ・ 利用率が他施設に比べて低い。

多目的グラウンドの課題：

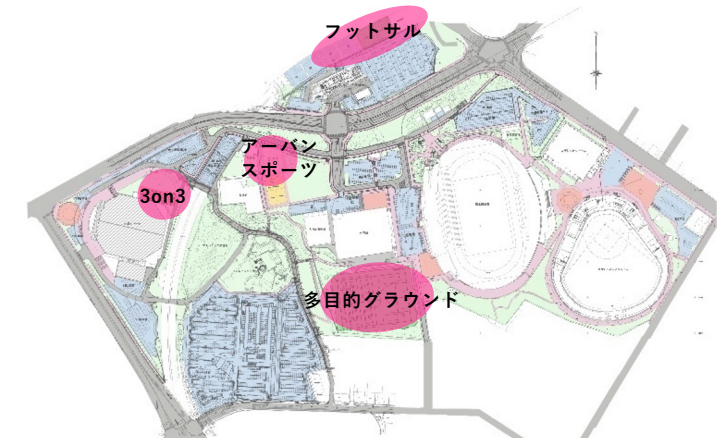
- ・ 照明：水銀灯老朽化。照度不足。
- ・ 舗装：土舗装の為、水溜まり、泥はね、土埃発生等の問題あり。
- ・ フェンス等：ソフトボール利用に関してフェンス整備がされておらず、打球が周辺へ被害をもたらす可能性あり。
- ・ 大規模イベント会場：イベント会場としては土舗装の為雨天時やその前後が使いづらい。
- ・ 臨時駐車場：他施設でのスポーツイベント等の際に臨時駐車場として利用されるが、土舗装のため路盤面が傷む。

アリーナ芝広場の課題：

- ・ 利便施設：屋外便所などが無い。
- ・ アリーナ利用時以外は閑散としている。芝広場が生かせていない。

ホテルエリア高架下の課題：

- ・ 雨に濡れない空間だが利用されていない。



構想図

想定される：多目的グラウンドを人工芝化。利用しやすく、整備もしやすい施設へ改修。

事項 多目的グラウンド：ソフトボールコート、テニスコート4面、フットサルコート。

ネット整備。照明塔、屋根付きベンチ、整備用倉庫等

交流拠点広場：便益施設にロッカーシャワー等の利用者向け

スポーツステーション機能を付加し、利便性を図る。

アーバンスポーツ:スケートボード(ストリート)場の整備。ストリート用可動型機器配置。

アリーナの芝広場に3on3バスケットコート、ホテルエリア高速高架下に

フットサルコートを整備。

来園動機拡張施策

交流拠点広場にアートタワーと水のショー、便益施設でタコスとステーキ（情報発信）/外壁に体験型ストリートアート、サインに三角看板。
アリーナ向かい緑地に、ハイビスカスのモニュメント、島ヤギ放し飼い、本公園告知物。

D その他運動施設

多目的グラウンドにおける多目的仕様に関して検討



多目的グラウンド整備案

グラウンド利用に関して、出来るだけ利用時にネット設備等を移動しない、芝の専用性を考慮したプラン。

東側:

- ・ソフトボール1面(内野マウンド等塁固定)
- ・正式フットサルコート(38×18公式認定)2面
- ・ロングパイル人工芝

西側:

- ・固定ネット内テニスコート4面
- ・オムニコートタイプ

- ・フットサル・テニス・ソフトボールを同一人工芝で行っている事例は少ない。
- ・テニスコートの人工芝は「オムニコート(砂入り短め人工芝)」のみ。ソフトボールは「ロングパイル」を利用する。
- ・テニスの「オムニコート」を「フットサルコート」と兼用している例は比較的多い。
- ・フットサルコートとソフトボールコートをロングパイル人工芝で兼用している事例もある。

D その他運動施設

多目的グラウンドの人工芝のメンテナンスに関して

■人工芝のよごれ洗浄等に関して

- ・水洗いでの対応可能（洗剤等使っていない）。ジュース等であれば水などで洗い落とすことが可能。

■イベント時の仮設物等設置に関して

- ・人工芝の上部に「ブルーシート」等を置き、屋台組、テント等を設置する。
その場合、ロープで固定が必要だが、地面にアンカーやパイルは打てないので、重石となるウォータータンク等でテンションを保つようにする。
- ・イベント後はターフキーパーなどで芝を立たせて復旧する必要がある。

【事例】花畑広場（熊本県熊本市）

イベントや交流の拠点として活用されています。広大な敷地はイベントスペースとしても機能し、音楽ライブや物産展、ビアフェス、地域のお祭りなど様々な催しが開催可能。市民の憩いの場であると同時に、まちのランドマークとして賑わいを生み出す多目的なイベントスペースとして活用。

【事例】やまびこドーム（長野県松本市）

テニスコート等の屋内型の多目的グラウンド。
松本空港に隣接しており、物産展やモーターイベント等多彩なイベントを実施している。

【事例】箕面市立かやの広場（大阪府箕面市）

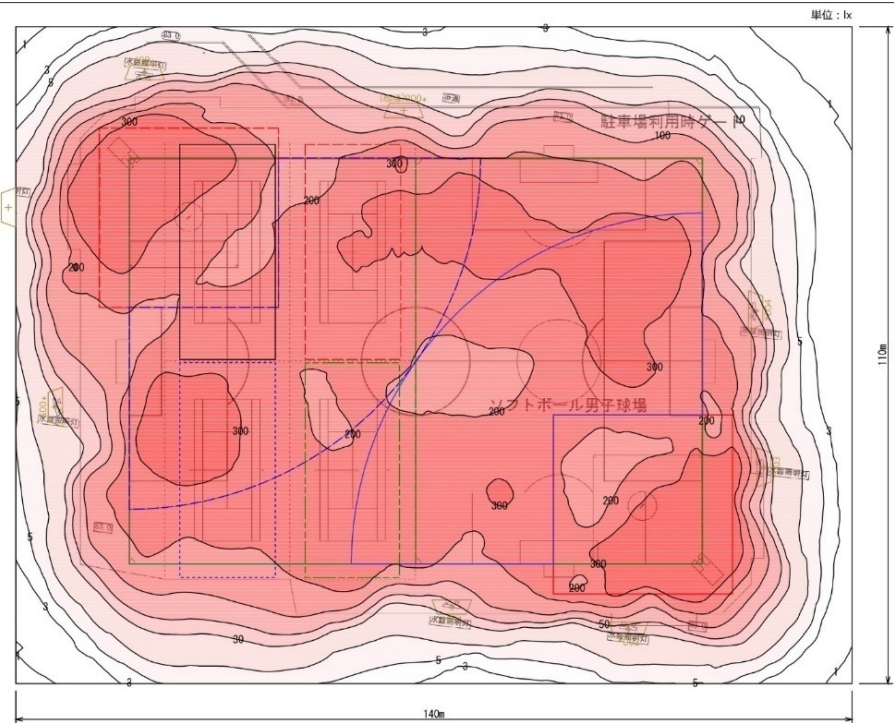
北大阪急行の新駅開業に合わせて人工芝の広場にリニューアル。
音楽会、物品販売、フリーマーケット、マルシェなどでの利用が可能。

【事例】かんまちあ（鹿児島県鹿児島市）

人工芝（ロングパイル）の広場。フットサルコート1面がとれ、各種スポーツの練習等での利用が可能。
スポーツ利用だけでなく、各種イベント、レクリエーション等での利用も可能。

D その他運動施設

・多目的グラウンドに関して、LED照明をベースに「多目的屋外運動施設」としての照明施設検討図。
水平面照度分布。屋外運動場におけるJIS照度基準のⅢレベルとする。



JIS 照明基準

運動競技の区分	適用例
I	観客のいる国際、国内、地域全体又は特定地域における最高水準の運動競技会。最高水準のトレーニング。
II	観客のいる地域全体又は特定地域における一般的な運動競技会。高水準のトレーニング。
III	観客のいない特定地域の運動競技会。学校体育又はレクリエーション活動。一般のトレーニング。

	→	→	→
器具品番	NYS30427K-LF2	NYS30497K-LF2	NYS30467K-LF2
器具種類	投光器プロジェクター 投光器 投光器 投光器	投光器プロジェクター 投光器 投光器 投光器	投光器プロジェクター 投光器 投光器 投光器
ランプ	LED5000_85_57000	LED5000_85_57000	LED5000_85_57000
全光束	57,000 lm	57,000 lm	57,000 lm
保守率	0.81	0.81	0.81
器具コード	K0188778	K0188776	K0188777
取付高さ	13.3 m	13.3 m	13.3 m
取付台数	36 台	6 台	14 台
姿図			

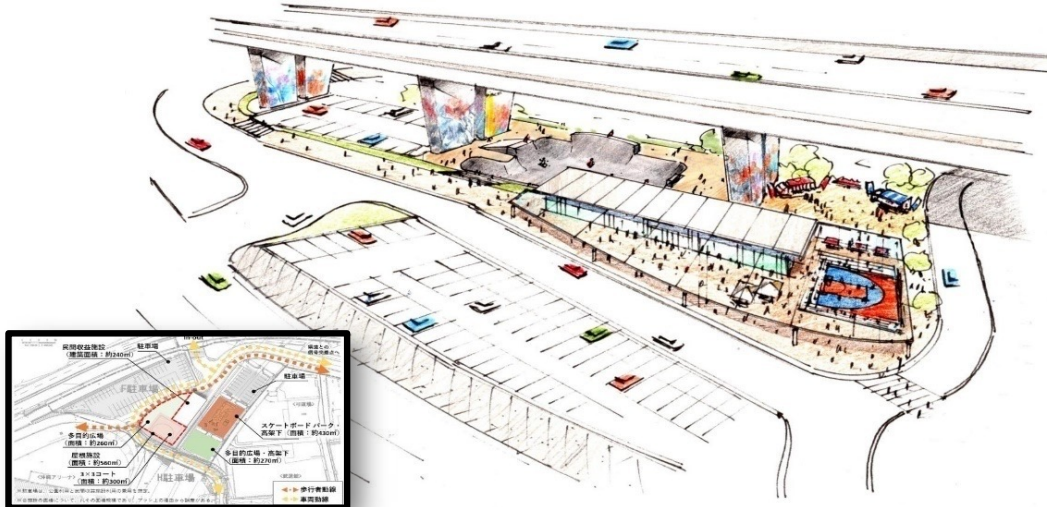
照明柱ごとの設置台数	NYS30427K-LF2	NYS30497K-LF2	NYS30467K-LF2	合計台数
*001	7 台	1 台	0 台	8 台
*002	2 台	1 台	3 台	6 台
*003	2 台	1 台	3 台	6 台
*004	7 台	0 台	1 台	8 台
*005	7 台	0 台	1 台	8 台
*006	2 台	1 台	3 台	6 台
*007	2 台	1 台	3 台	6 台
*008(新設)	7 台	1 台	0 台	8 台

	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
エリア	サッカー全面	サッカー半面	内野A	外野A	内野B	外野B	テニスコート①	テニスコート②	テニスコート③	テニスコート④
平均照度	260 lx	268 lx	304 lx	257 lx	305 lx	259 lx	244 lx	252 lx	262 lx	221 lx
最小照度	140 lx	140 lx	168 lx	159 lx	158 lx	158 lx	182 lx	131 lx	135 lx	158 lx
最大照度	592 lx	592 lx	597 lx	400 lx	584 lx	398 lx	534 lx	345 lx	395 lx	274 lx
最小／平均	0.539	0.523	0.552	0.620	0.519	0.608	0.744	0.521	0.515	0.715
最小／最大	0.237	0.237	0.281	0.398	0.271	0.396	0.340	0.380	0.342	0.577

※注
上記は参考品番として記しており、同等品以上の商品とする事。

D その他運動施設

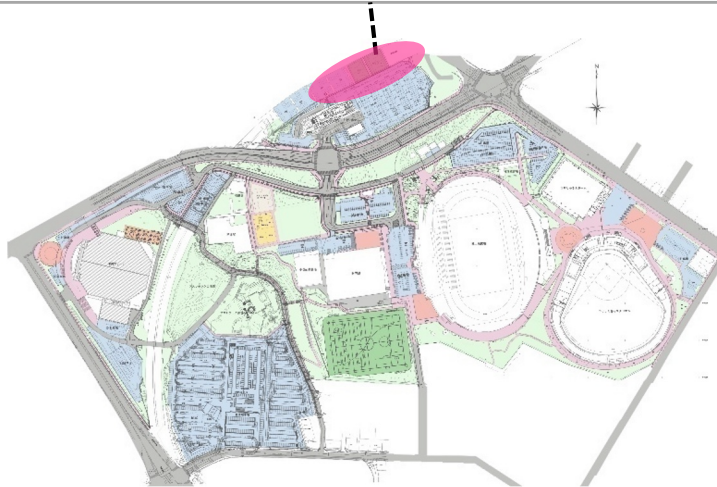
過年度「（仮称）アーバンスポーツパーク誘客等可能性調査業務」を受け
アーバンスポーツ施設の新設を検討



D その他運動施設

ホテル北側の高速高架下を利用し、フットサルコートを整備する。（高架の柱脚利用により、フェンス等を節約。）
高架下のその他は駐車場として利用。

高速高架下の柱脚間を利用し、フットサルコートを整備。
コート利用者の為の駐車場も合わせて整備する。



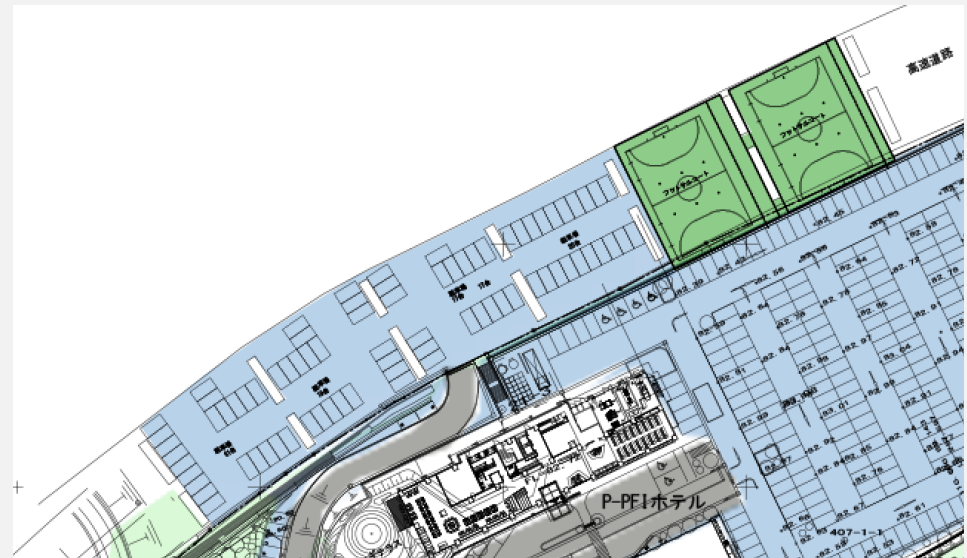
フットサルコートスペース

ホテル北側の高速高架下の有効利用。

フットサルコート2面を整備。コート整備用具庫整備。

フットサル用人工芝を敷き、周囲にはネットフェンスを設置、天井部分もボールが出ない様にネットを設置し、安全かつ良質なフットサルコートとする。雨に濡れず、高架の日陰にもなり良好なコートとなる。

コート以外的高架下は武道場脇と同様、高架下を利用した駐車場スペースとする。



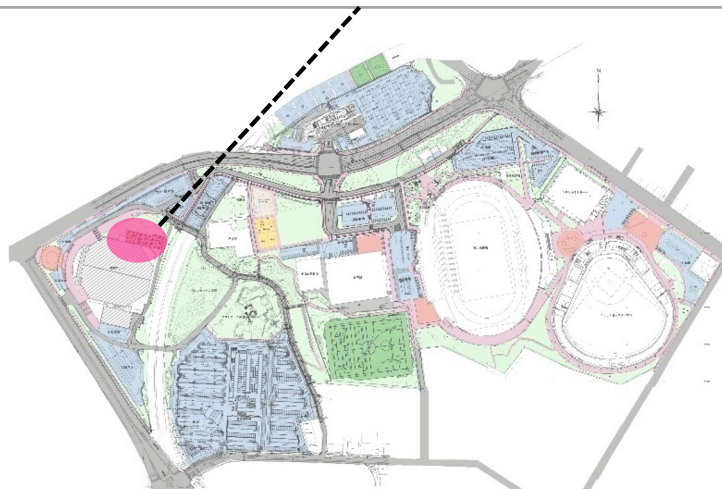
フットサルコート整備案

※コート寸法、ネット高さ、人工芝の材質等は今後調整。

D その他運動施設

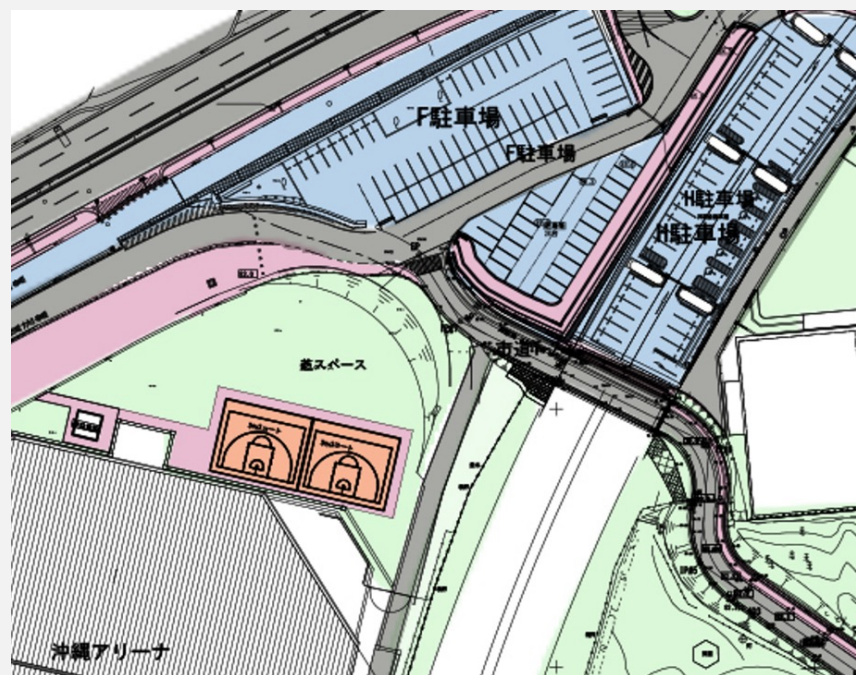
アリーナの脇芝広場を有効活用。アリーナにちなんだ3on3コートを整備。試合日以外もバスケットファンや若者が集う、アーバンスポーツの場を整備し、賑わいを創出する。

沖縄アリーナの北側脇芝広場にバスケットにちなんだ3on3コートを整備。賑わいを創出。



3on3バスケットコートスペース

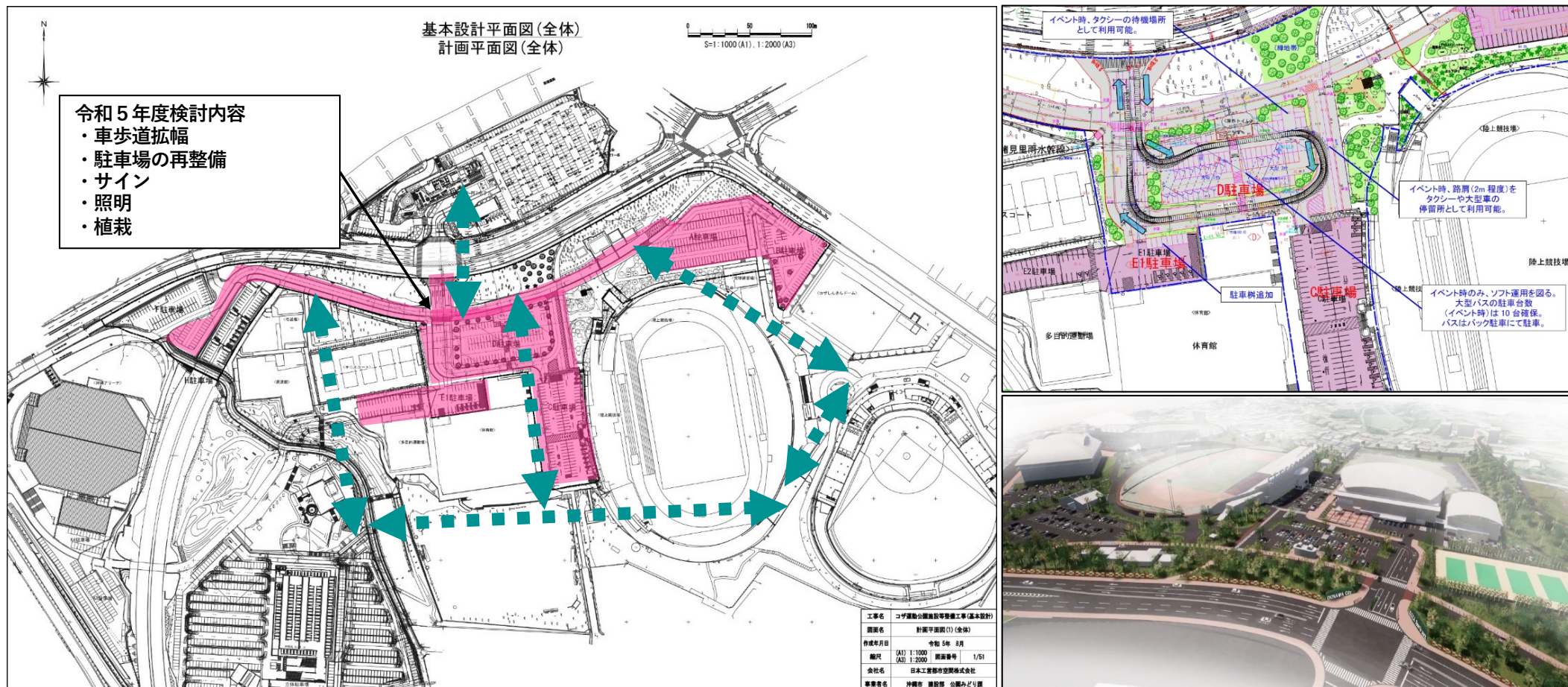
アリーナの北側芝スペースに3on3バスケットコートを整備。試合日の観戦前イベントとしての利用や、現在イベントの無い日は閑散とするアリーナ周辺でも、常時バスケットファンが集う賑わいの場となることが期待される。



3on3コート整備案

※コート寸法、ネット高さ、床材質等は今後調整。

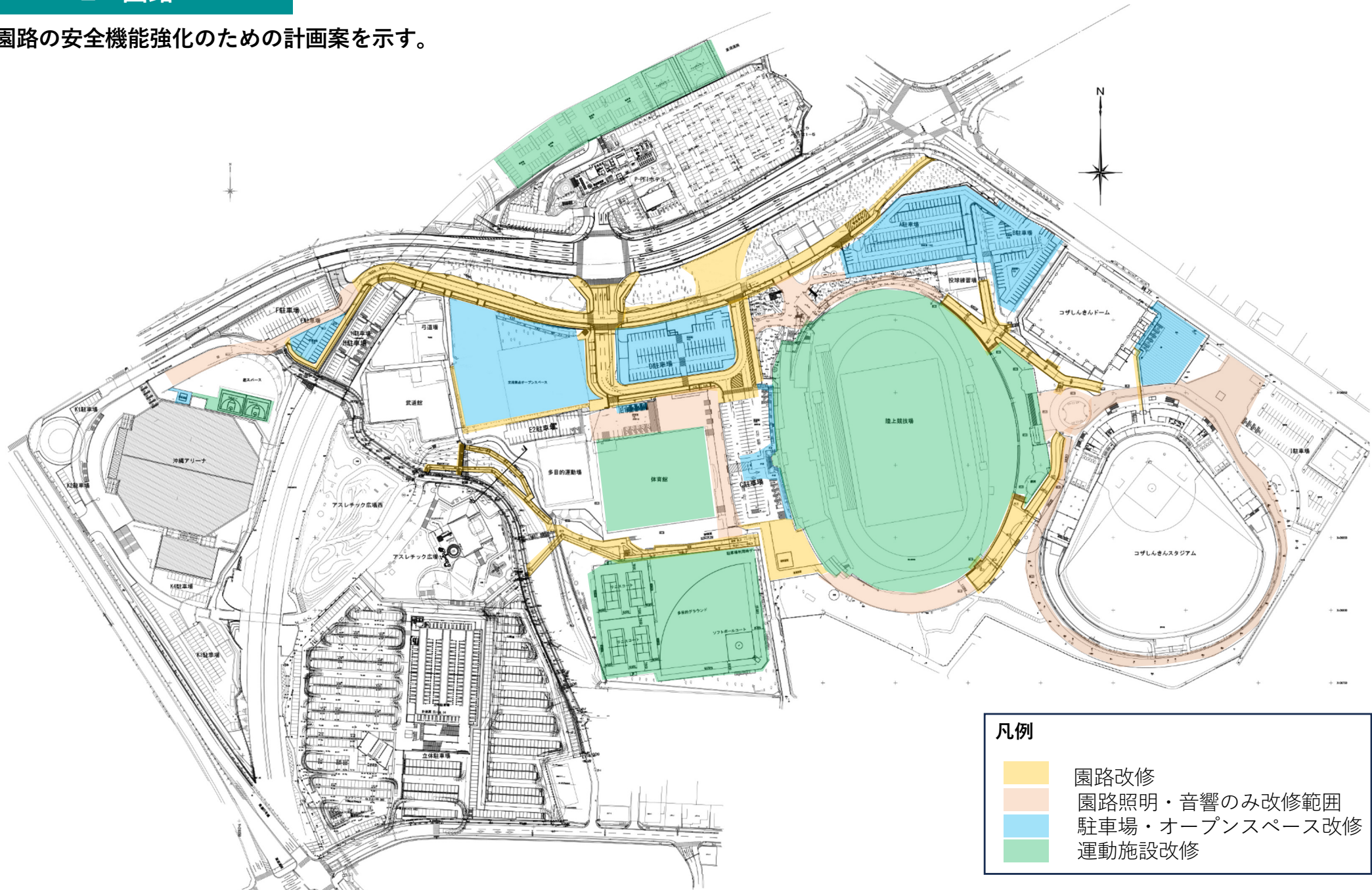
園路の計画方針：令和5年度基本設計にて検討されている内容をベースに計画



- ・令和5年度基本設計において検証されているポイント
⇒赤色塗り部範囲における歩道の整備、大型バスの軌跡検討、イベント時における輸送計画、照明・サイン計画。
- ・今回の基本構想にて更に検証するポイント
⇒赤色塗り部範囲以外の検討として、公園全体の動線を考慮した園路計画（回遊動線、高低差処理等）※緑破線矢印、誘客視点。

E 園路

園路の安全機能強化のための計画案を示す。



サイン

サインの機能強化のための整備を行う。
運動公園として必要なサインは下記が挙げられる。

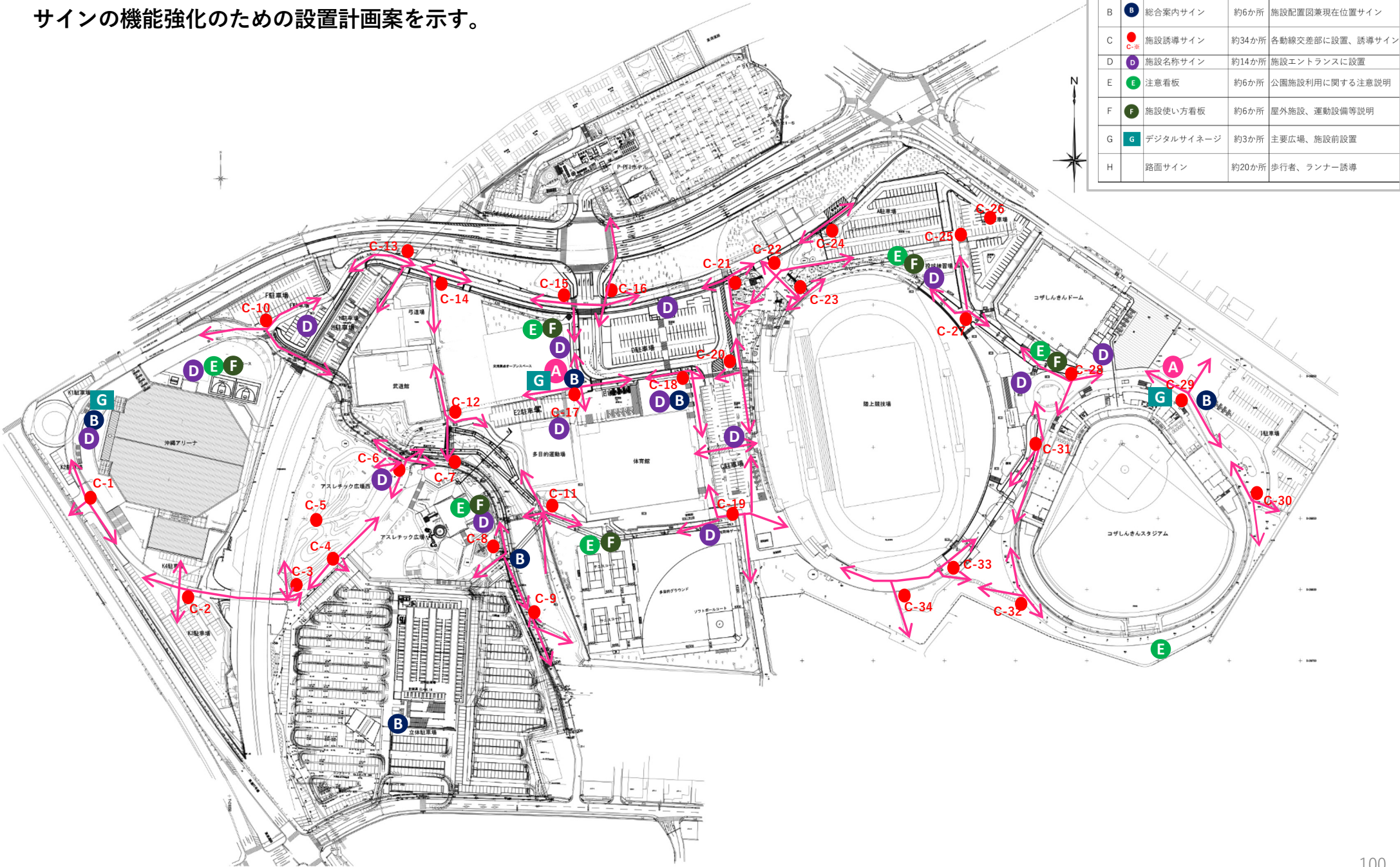
記号	姿図	名称	個所数	内容	備考
A		園名板	2か所	コザ運動公園の名称サイン	メインエントランス芝広場内に1か所、東側エントランス広場内1か所 花木植栽などの中に設置
B		総合案内サイン	約6か所	施設配置図兼現在位置サイン	園内全域施設内容及び現在周辺位置周辺施設等説明 公園全体図、主要施設名称、現在地の明記及び運動施設施設詳細配置図出入口等を記載
C		施設誘導サイン	約34か所	各動線交差部に設置、誘導サイン	動線交差部に設置 施設への誘導や便益施設までの距離の掲示
D		施設名称サイン	約14か所	施設エントランスに設置	各運動施設、便益施設及び屋外広場、駐車場等に設置
E		注意看板	約6か所	公園施設利用に関する注意説明	屋外広場及び運動施設利用における注意事項 花火等火の取り扱い、ペットの利用に関しての制限など
F		施設使い方看板	約6か所	屋外施設、運動設備等説明	屋外施設、運動設備等に対しての使用方法、利用前後の説明 機器類の使用方法、災害時の利用に関して記載
G		デジタルサイネージ	約3か所	主要広場、施設前設置	公園及び施設スケジュール、イベント案内、各種広報、災害時情報等表示 沖縄アリーナ前、交流拠点広場、コザしんきんスタジアム前
H		路面サイン	約20か所	歩行者、ランナー誘導	ランニングルート、起点距離、ウォーキングルート等の誘導と距離説明等 交差部誘導及び100m 置きの起点距離

来園動機拡張施策として

- ・三角看板
- ・ハイビスカスを取り入れたデザイン
検討を行う。

サイン

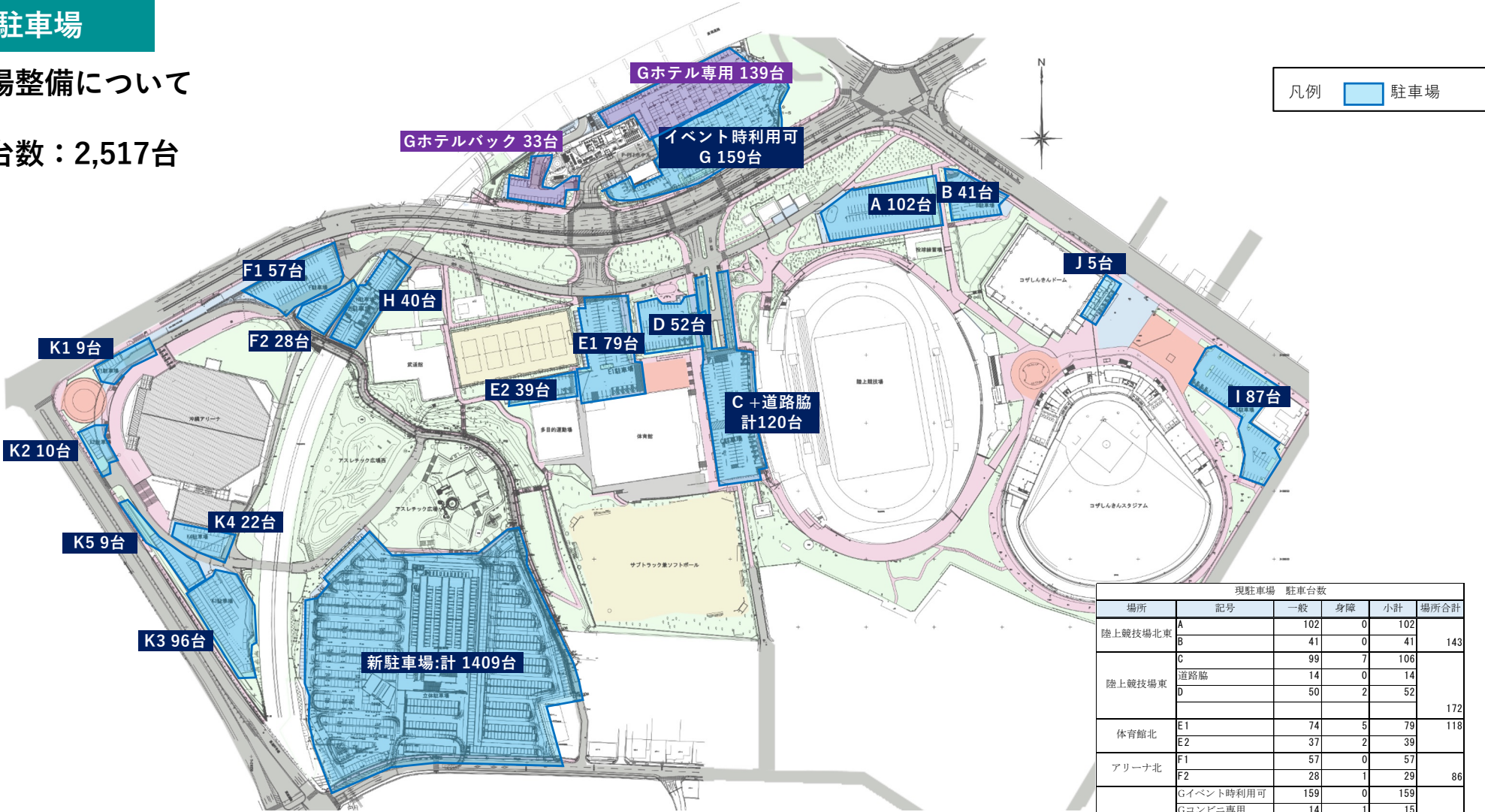
サインの機能強化のための設置計画案を示す。



駐車場

駐車場整備について

現況台数：2,517台



現状の駐車場

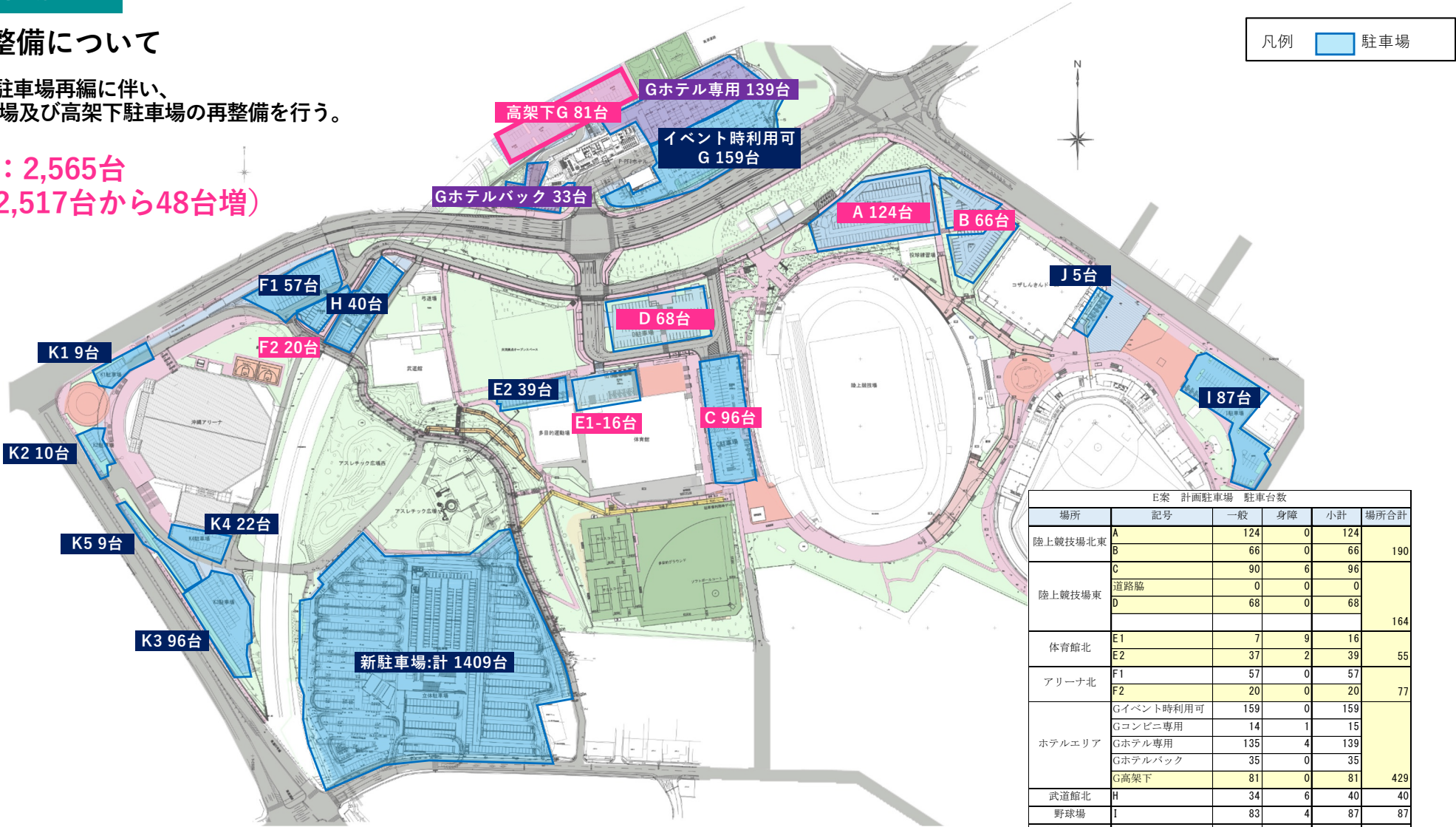
現況駐車場 駐車台数					
場所	記号	一般	身障	小計	場所合計
陸上競技場北東	A	102	0	102	143
	B	41	0	41	
	C	99	7	106	172
陸上競技場東	道路脇	14	0	14	
	D	50	2	52	
体育館北	E1	74	5	79	118
	E2	37	2	39	
アリーナ北	F1	57	0	57	86
	F2	28	1	29	
ホテルエリア	Gイベント時利用可	159	0	159	348
	Gコンビニ専用	14	1	15	
	Gホテル専用	135	4	139	
	Gホテルバック	35	0	35	
武道館北	H	34	6	40	40
野球場	I	83	4	87	87
しんきんドーム	J	0	5	5	5
アリーナ東周辺	K1	9	0	9	156
	K2	10	1	11	
	K3	96	2	98	
	K4	22	3	25	
	K5	9	4	13	
新駐車場	新駐車場	1409	0	1409	1409
合計		2517	47	2564	2564

駐車場

駐車場整備について

C・D・E駐車場再編に伴い、
A・B駐車場及び高架下駐車場の再整備を行う。

整備後：2,565台
(現況2,517台から48台増)



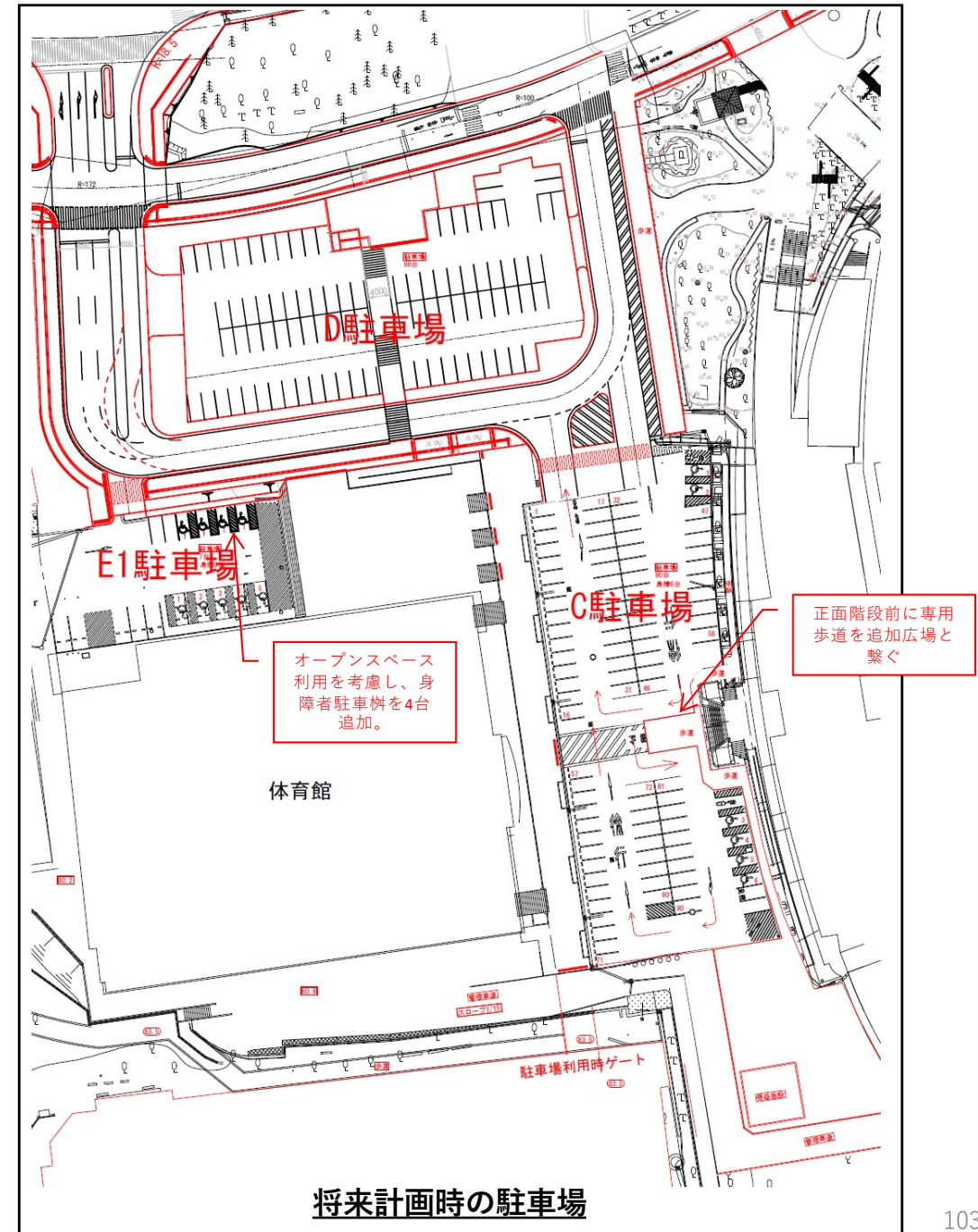
将来計画時の駐車場

E案 計画駐車場 駐車台数					
場所	記号	一般	身障	小計	場所合計
陸上競技場北東	A	124	0	124	190
	B	66	0	66	
陸上競技場東	C	90	6	96	164
	道路脇	0	0	0	
	D	68	0	68	
体育館北	E1	7	9	16	55
	E2	37	2	39	
アリーナ北	F1	57	0	57	77
	F2	20	0	20	
ホテルエリア	Gイベント時利用可	159	0	159	429
	Gコンビニ専用	14	1	15	
	Gホテル専用	135	4	139	
	Gホテルバック	35	0	35	
武道館北	H	81	0	81	40
野球場	I	34	6	40	87
しんきんドーム	J	83	4	87	5
アリーナ東周辺	K1	0	5	5	156
	K2	9	0	9	
	K3	10	1	11	
	K4	96	2	98	
	K5	22	3	25	
新駐車場	新駐車場	9	4	13	1409
合計		1409	0	1409	2565
					47
					2612
					2612

凡例:変更箇所

駐車場

C駐車場の改変と陸上競技場南側広場の確認



G 便益施設

便所整備方針①：誰もが快適に利用できるトイレ施設を目指す。（以下、想定される検討事項）

便所の課題と対応策

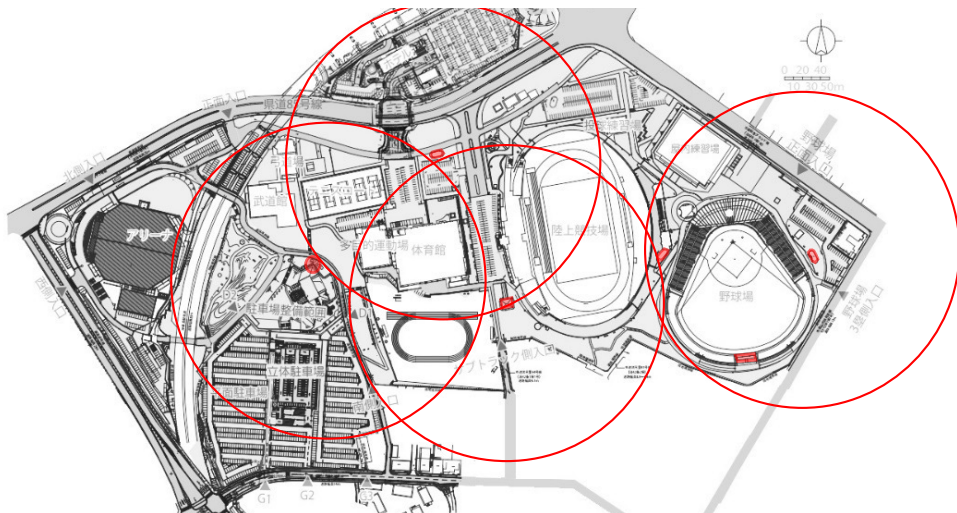
- ・園内外部便所の設置されていない場所及び施設間距離が離れた場所があり、利便性を考慮して移動及び新設を検討する。
- ・施設及び設備の老朽化の改善、清潔感があり設備の整った利用しやすい施設に改善する。

屋外便所設置場所の検討

- ・一般的に便所の設置間隔に法的・技術的な指針等はないが、街中の場合10分以内に到達できる範囲が望ましいとされ、健常者の場合500m以内、高齢者や車椅子利用者を考慮した場合、250m以内に設置が必要と考えられる。
- ・公園など幼児や高齢者の利用も多い場所では100m～125m以内に到達できるように便所を設置するのが望ましい。
- ・現在の公園内屋外便所の配置では、アリーナエリア、陸上競技場北東エリア及びホテルエリアに便所が不足している。
- ・アリーナエリア及びホテルエリアにスポーツ施設を整備する事も考慮し、新設2か所、改築移設2か所で園内の屋外便所の利便性を考慮した計画とする。

便所設備整備方針

- ・洋式便座は温水洗浄暖房便座とし、設備に関しては節水型、非接触センサー型等を取り入れる。
- ・洋式便座の消毒設備等を設置する。
- ・身障者対応多目的便所及びおむつ替えスペース、ベビーキーパー等の子供連れにも優しい施設とする。



現在の利用可能便所から200m円を描いた図。
A駐車場付近、沖縄アリーナ、ホテルエリア付近に屋外便所が無い。

新設、改築便器数の設定方法

- ・都市公園技術標準解説書「監修・建設省都市局公園緑地課 社団法人・日本公園緑地協会編集」による必要便器数計算により算定して設置する。
 - 1.便器数=同時滞在者×便所利用率
 - 2.同時滞在者数は、公園施設の収容人数と滞在時間(回転率)により算定
 - 3.同時滞在者=収容人数×回転率
 - ※公園滞在時間2時間とした場合、回転率は1/2～1/3
 - ※公園便所利用率は、一般的な数値として1/80～1/30(80人～30人当たり1便器想定)

- ・イベント時等多人数の利用による利用集中発生が見込まれる多目的グラウンド及び集客施設に関しては、「沖縄県興行場法」による必要便器数計算も併用して設置する。

新設便所

アリーナエリア新設便所

- ・現在近隣に便所がなく、3on3コート等利用者及びアリーナ開場前利用者の為に設置。
- ・社団法人日本公園緑地協会編「都市公園技術標準解説書」の公園施設規模(収容人数)から便器数を算出する方法で、便器数を算定する。

芝広場周辺にアリーナ開場前に800人が滞在していると想定。同時滞在者=800
 回転率=1/2.5 便所利用率=1/50と仮定
 必要便器数=800人×1/2.5×1/50=6.4個 よって合計7個の便器数とする。
 ・男子大便器1、小便器2、女子大便器3、多目的便所1合計7個とする。

G 便益施設

便所整備方針②

改修方針

①多目的グラウンド便所

- ・現在施設及び設備老朽化により故障も多く利用しにくい状況。
- ・利用者の利用しやすい施設に改善する。

②陸上競技場北側便所

- ・現在駐車場に設置されているが身障者等の利用のしやすさ、公園北東のAB駐車場エリアの利用者も考慮し、陸上競技場北側に移設改築とする。
- ・整備便器数は現在と同数の男子大便器3、男子小便器4、女子大便器5、多目的便所1、合計13個とする。

③交流拠点施設屋外便所

- ・他屋外便所から離れていることから、集客施設整備時に一般の人でも利用できる便所を設ける。
- ・広場でのイベント時に「陸上競技場北側便所」と共に、多人数が集中した場合に適した個数とする。
- ・イベント時の便所集中を考慮し、「沖縄県興行場法」の便器数算定式にて、便器数を算定する。
※「都市公園技術標準解説書」による便器数算定よりイベント時の実態に適する。

広場にて集客イベントがあり観客が滞在していると想定。屋外芝広場に40m×30mの観客席を設定したと想定。ばらけて滞在すると想定し、1000人が滞在と想定
1人当たりの必要面積を60cm×100cm=0.6㎡とする。1000人×0.6㎡=600㎡
観客席600㎡時の「沖縄県興行場法」必要便器数=12個+(600-300)÷35㎡/個=20個
「陸上競技場北側便所」で13個をカバーすると考え、集客施設での必要数合計7個とする。
・男子大便器1、男子小便器2、女子大便器3、多目的便所1、合計7個以上とする。

④陸上競技場サブスタンド便所

- ・陸上競技場サブスタンドに付属している便所は競技会等サブスタンド利用時にのみ利用されており、平常時は利用できていない。
- ・サブスタンド改修時に最新の設備に整備し、増加客席向け及びサブスタンドエントランス周辺の利用者も利用できるようにする。

サブスタンド観客席整備に関しては「沖縄県興行場法」に沿った便器数が求められる。
新設観客席を2,000席と想定。
1人当たりの必要面積を60cm×100cm=0.6㎡とする。2,000席×0.6㎡=1,200㎡
観客席1,200㎡時の「沖縄県興行場法」必要便器数= 31個+(1,200-900)÷60㎡/個=31個
よって合計31個とする。
・男子大便器3、男子小便器12、女子大便器15、多目的便所1、合計31個以上とする。
サブスタンドエントランス周辺には外部便所が無いことから、一部は平常時も公園利用者に開放する事が望ましい。

野球場便所の課題と対応策

- ・野球場内便所は施設老朽化対応及び施設設備の更新が不十分となっている。
- ・選手及び観客の利用しやすい施設に改善する。

陸上競技場メインスタンド便所の課題と対応策

- ・陸上競技場メインスタンド内便所は施設老朽化対応及び施設設備の更新が不十分となっている。
- ・選手及び観客の利用しやすい施設に改善する。

改修方針

- ・和式便器の利用状況を考慮の上、洋式便器へ変更。
- ・洋式便器は節水型温水洗浄暖房便座へ交換。
- ・観客席便所に関しては、一部には便房内ベビーキーパー増設等を行う。
- ・おむつ替えスペースを整備する。

F 便益施設

整備案

- ・ サブトラック、園内ランニング利用者等の為のロッカーシャワー、休憩場所の為の便益施設整備。
- ・ 利用者の要望に沿った明るく清潔な便所を整備。
- ・ 200m以内に清潔で使いやすく、設備の整った屋外便所を配置。ファミリー、女性にも配慮した施設とする。

便所の新設
・ 交流拠点施設と合わせて、トイレ等便益機能を持たせる。

駐車場便所の再整備
・ 東側へ移設新設の検討。
・ 施設棟間隔考慮し、東側に移設。

陸上競技場便所
・ 利用状況に応じて増設など検討。

野球場便所
・ 利用状況に応じて増設など検討。

便所の新設
・ スポーツ施設設置に合わせて便所を整備。

既設便所の改修
・ 温水便座等への改修。

既設便所の再整備
・ サブトラック利用者へのロッカー等便益施設と合わせて建替え。

既設便所の再整備
・ 競技場利用時以外でも利用可能とする等の検討。（陸上競技場東側スタンド改修時に合わせて改修する。）

既設便所の改修
・ 温水便座等への改修。

F 便益施設

A案 -日常利用を想定した誰でも使える便所-

- ・ユニバーサルデザインを取り入れ、老若男女問わず様々な年齢層を想定した上で、災害時にも利用できるように非常用設備も兼ね備えて、誰でも安心して安全に使える。

夜でも安心して使えるような照明配置

内部は広く、子連れでも
使いやすいようにファミリートイレも併設



やさしい丸みのある形状
もしくは自然と溶け込むような形状
外壁は内・外を柔らかく包み込むデザイン
視認性を高くどこからでもアプローチできる。

光庭を配置する事により昼も夜も明るく映える。
使う人を選ばないトイレ空間



ベビーカーや車椅子にも優しいスロープ

F 便益施設

B案 ー休憩所を持つ大屋根便所ー

- ・祭りやイベント時に通常公園利用者に加えて、県外からの観光客も利用する事を想定。
- ・混雑緩和のためにも便所前のスペースを広く取り、列が作りやすいようにしたり、遠くからでもわかりやすい外観やサインの設置などを行い視認性を高める。

沖縄らしさを取り入れて、
赤瓦や琉球石灰岩を使用した外観

内部は圧迫感が出ないように自然光や
間接照明を取り入れて明るい空間へ

トイレ利用者以外が使用できるように
手洗い場を屋外にも設置



混雑時に列が作りやすいように
トイレ前スペースを広く確保

F 便益施設

C案 -ペット連れにも優しい便所-

- ・ドッグランや犬の散歩としての利用を想定。
- ・リードフックやゴミ捨て場、専用の水場などを設けて、ペットにも優しくペット連れの利用者が快適に利用できる。

木材を使用したあたたかみのある外観



ベンチやリードフックを設置して、
ペットと共に少し休憩ができる空間を併設

犬専用の水飲み場や足洗い場を設置

ペットの排泄物が捨てられる専用のゴミ箱を設置

F 便益施設

陸上競技場内の便所改修案

- ・観客用は利用者を分散させて混雑を緩和するために混雑状況を可視化できる機能を設ける。
- ・選手用はシャワー室やロッカー室の位置も合わせて考慮した動線計画を行い、競技に集中できる空間を作り出す。

【観客用トイレ】

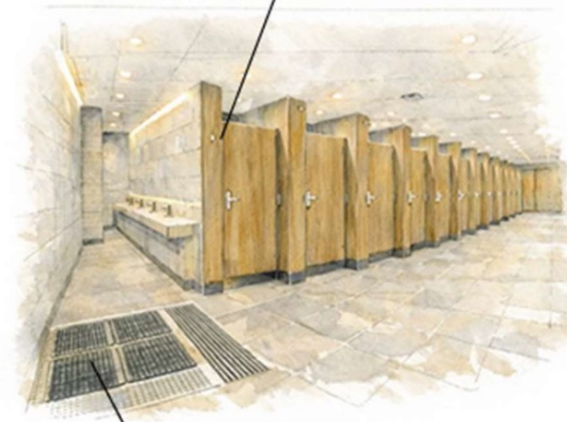
女性用トイレは混雑緩和のため
パウダールームを設置



各トイレの混雑状況がわかる機能を設置

【選手専用トイレ】

ゆったりと広く個室スペースを確保して、
競技前後でも心が落ち着ける空間へ

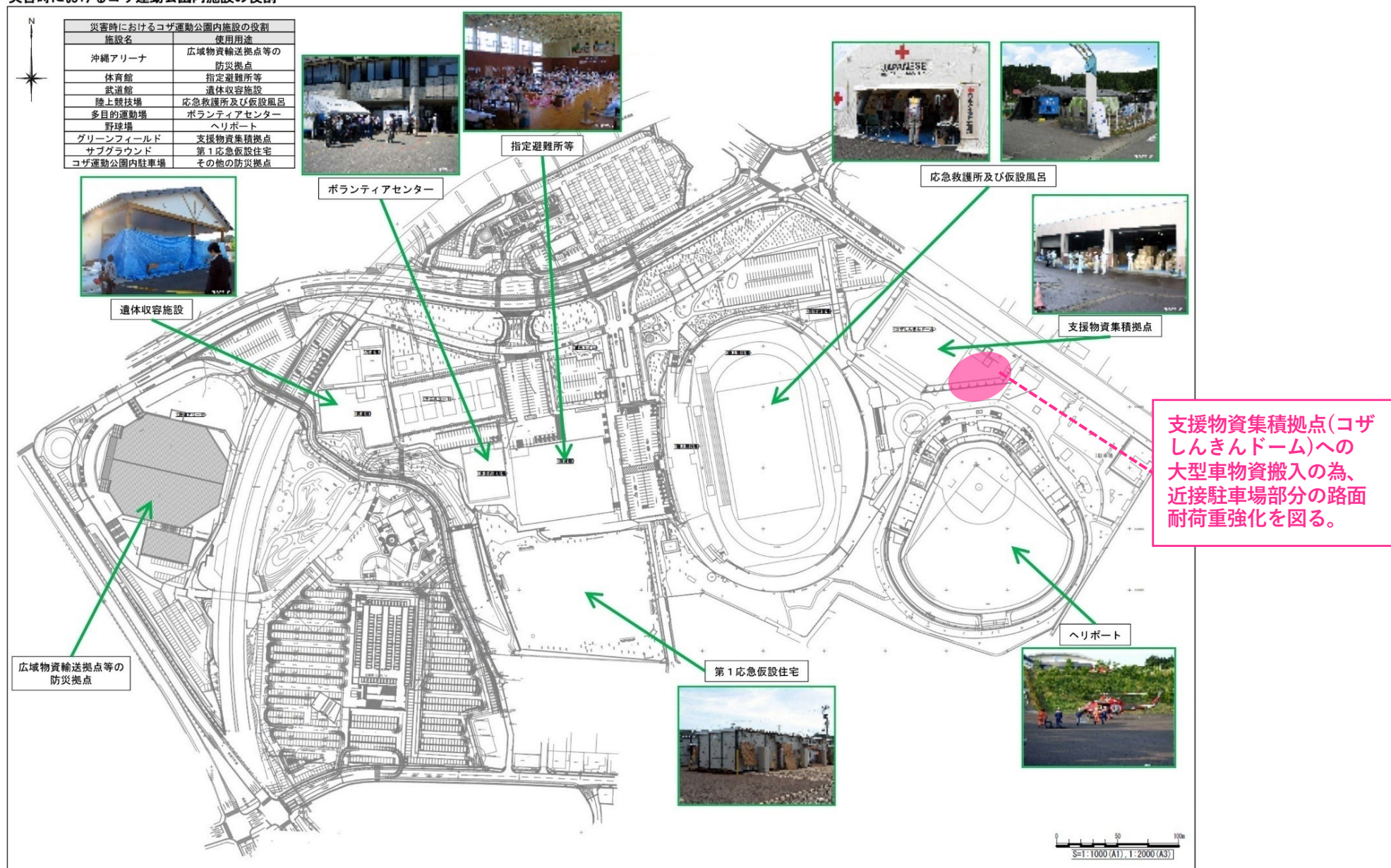


スパイクのまま入れるように泥を落とす場所や
床の素材も掃除しやすく耐久性があるものを選定

防災機能強化

現防災計画に基づき、災害時に他施設と相互利用可能な機能強化を行う。

資料 7-4 災害時におけるコザ運動公園内施設の役割



防災機能強化

防災機能強化に伴う必要な機能及び設備

以下は、公園に求められる防災機能を踏まえ、想定される必要な機能及び設備を示したものである。

■ 応急仮設住宅における必要な機能

- ・ 居住・生活基盤機能
- ・ 食事・衛生維持機能
- ・ コミュニティ形成機能

【設備】

- ・ 仮設電源（発電機・電源ポスト）
- ・ 給水設備（貯水槽・井戸・給水栓）
- ・ 排水設備（仮設排水・浄化槽）
- ・ トイレ（仮設・マンホール）
- ・ かまどベンチ・炊き出しスペース
- ・ 防災倉庫（物資備蓄）
- ・ 照明設備

■ 指定避難所における必要な機能

- ・ 避難生活機能
- ・ 安全・安心確保機能
- ・ 運営・支援機能

【設備】

- ・ 備蓄倉庫（食料・生活物資）
- ・ トイレ（常設＋仮設）
- ・ 給水設備
- ・ 非常用電源・照明
- ・ 通信設備（Wi-Fi・防災無線）
- ・ 情報掲示・受付スペース
- ・ 医療・福祉対応スペース

■ 遺体収容施設における必要な機能

- ・ 安置・保管機能
- ・ 識別・記録機能
- ・ 遺族対応機能

【設備】

- ・ 冷却対応（ドライアイス・簡易冷蔵）
- ・ 安置資材（遺体袋・担架）
- ・ 記録・受付スペース
- ・ 手洗い・消毒設備
- ・ 面会・待機スペース（遮蔽配慮）
- ・ 照明設備

■ 応急救護所・仮設風呂における必要な機能

- ・ 医療・応急処置機能
- ・ 衛生・健康維持機能
- ・ 入浴・生活支援機能

【設備】

- ・ 診療・トリアージスペース
- ・ 医療資機材（AED・簡易ベッド等）
- ・ 非常用電源
- ・ 給水設備・手洗い設備
- ・ 医療廃棄物処理設備
- ・ 仮設浴槽・シャワー
- ・ 給湯設備
- ・ 脱衣所・更衣スペース
- ・ 排水設備

■ ボランティアセンターにおける必要な機能

- ・ 受付・人員調整機能
- ・ 活動支援機能
- ・ 情報発信機能

【設備】

- ・ 受付・本部スペース
- ・ PC・通信設備
- ・ 資機材置場・配布スペース
- ・ 会議・打合せスペース
- ・ 駐車・出発拠点スペース
- ・ 休憩・更衣スペース
- ・ 照明設備

■ 共通基盤

- ・ 非常用電源（発電機・蓄電池）
- ・ 給水・排水インフラ
- ・ 照明設備
- ・ 防災倉庫
- ・ 通信設備

今後、関係機関との協議や事業手法、整備条件等を踏まえながら、導入の必要性や整備内容について検討を進める。

植栽整備

植栽計画の基本方針：心地よさと高揚感が調和する緑の空間創出を目指す。（以下、想定される検討事項）

①見通しの確保と安全性の向上

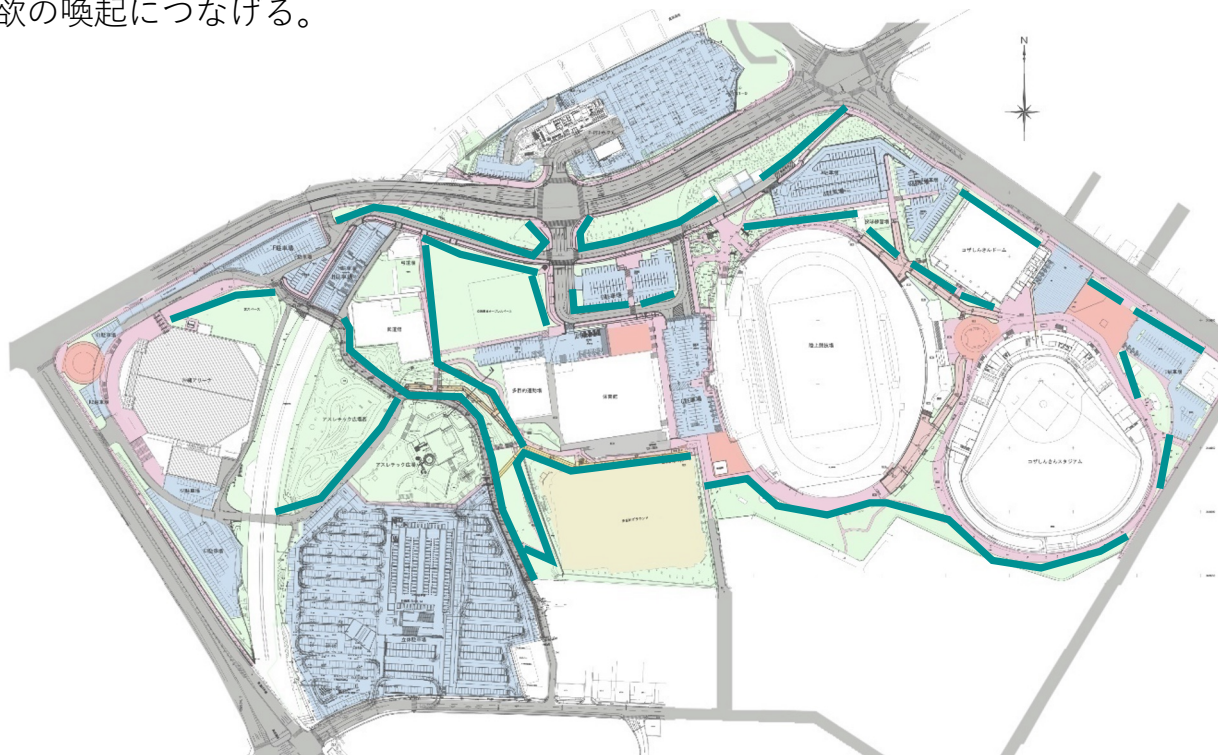
低木中心の植栽構成により、公園内外の視認性を高め、防犯性・安心感の向上を図る。

②低木植栽による開放的な景観形成

視線を遮らない高さの低木を効果的に配置し、園路やオープンスペースの見通しを確保しながら、利用者が安心して滞在できる空間を創出する。

③沖縄市らしさを感じる植栽演出

低木には沖縄市独自価値につながるハイビスカスを全面に取り入れ、開放感とともに南国情緒あふれる景観を演出し、公園の魅力向上と来園意欲の喚起につなげる。



凡例

— 植栽計画

植栽整備

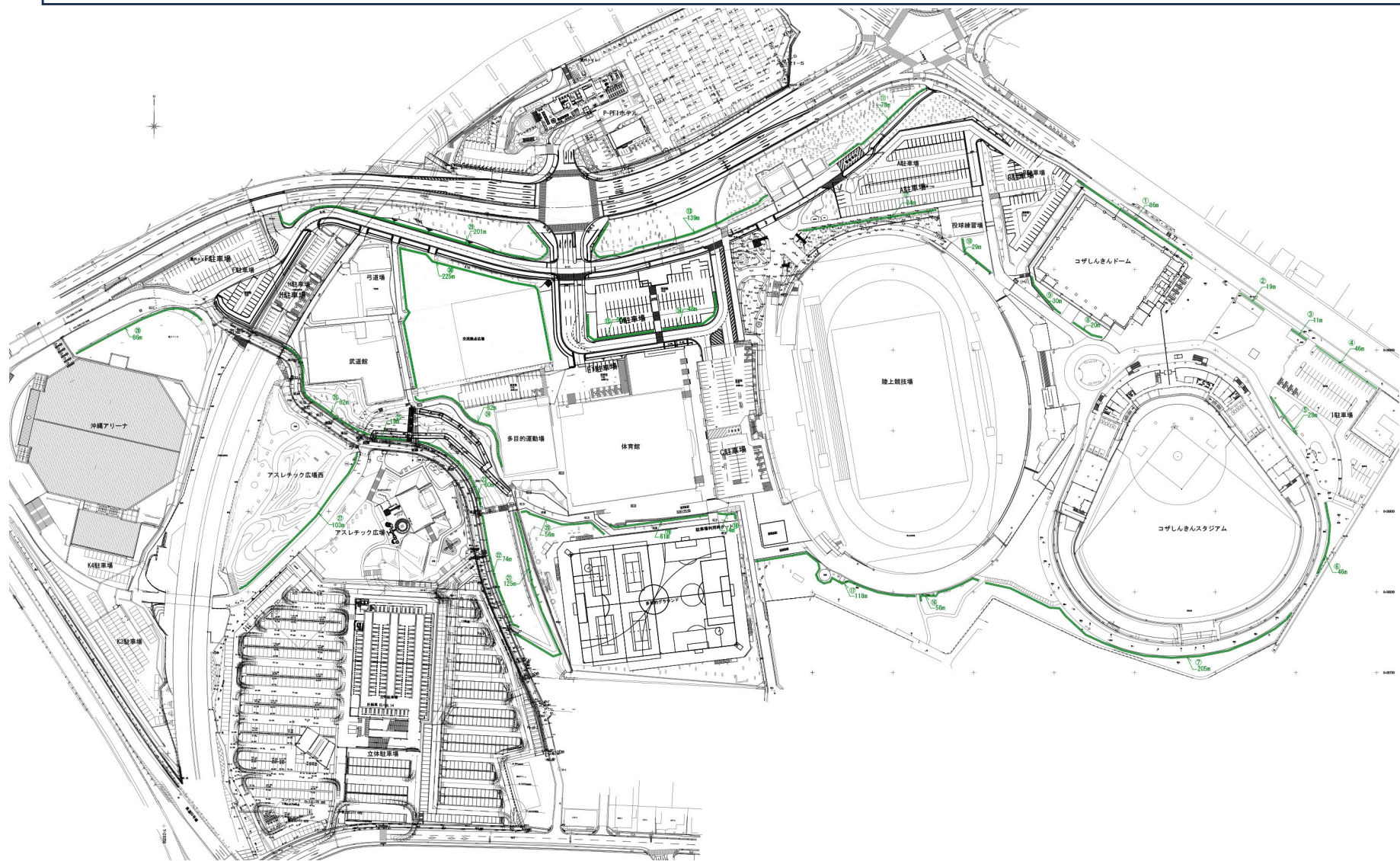
「心地よさと高揚感が調和する緑の空間の創出」を基本方針とし、安全性、快適性、地域性の向上を目的として検討しました。現在の植栽については、公園景観や緑陰の形成に寄与している既存樹木を基本的に保全・活用します。

一方で、老朽化した樹木や施設整備、利用動線の確保に支障となる植栽については、必要に応じて整理・更新を行います。

新たな植栽は低木を主体とし、公園内外の見通しを確保することで、防犯性や安全性の向上を図るとともに、開放的で快適な景観を形成します。

また、沖縄市らしさを表現するため、ハイビスカスを積極的に導入し、南国らしい彩りと魅力の創出を目指します。

将来的な樹木の成長による視界の遮蔽を防ぎ、公園全体の見通しや安全性を確保するため、新たな中木・高木は計画せず、台風時の倒木・枝折れリスクの低減や維持管理負担の軽減を図る観点からも、既存樹木を活かしながら低木主体の植栽構成としています。



低木植栽面積			
番号	長さ(m)	幅(m)	面積(m ²)
1	86	1	86
2	19	1	19
3	11	1	11
4	46	1	46
5	28	1	28
6	46	1	46
7	205	1	205
8	20	1	20
9	30	1	30
10	29	1	29
11	78	1	78
12	84	1	84
13	139	1	139
14	48	1	48
15	56	1	56
16	56	1	56
17	118	1	118
18	14	1	14
19	61	1	61
20	56	1	56
21	126	1	126
22	74	1	74
23	60	1	60
24	82	1	82
25	19	1	19
26	82	1	82
27	103	1	103
28	86	1	86
29	201	1	201
30	225	1	225
合計	2,288		2,288

音響照明整備

音響照明整備方針：安心で心おどる公園を目指す。（以下、想定される検討事項）

現況

- ・園内は時間により音楽などを流し、各種の情報を含めて知らせるスピーカーが設置されている。
- ・特に場所によっての特性に合わせた演出としての環境音等は流されていない。
- ・南側は敷地境界が住宅地に近接しているため、野球場の場内放送や応援鳴り物、歓声、陸上競技場では各種スポーツイベント時の歓声、応援、エイサー等のイベント時は園内の音楽や演奏、応援などが響くことが多いと思われる。

整備方針

①音響演出方法

- ・人が多く集まる広場や競技場入口などに接した園路には演出としての環境音が流れる様にする。競技場やイベント、時間帯等により効果的に場所やイベントを盛り上げる音楽、環境音を流す。
- ・すべての園路で均一な音楽を流すのではなく、野球場入口に向かう場所には野球関連やスポーツを盛り上げる音、子供向け広場には子供向け音楽が流れる等場所と時間帯、イベントに連動した環境音が可能な計画とする。
- ・基本夜間は流さない。住宅地に近接する園路は設置しない、又は住宅地に影響しない範囲での設置とする。
- ・防災放送等の際は音を自動停止するカットリレーを組み込むなど配慮する。

②機器配置

- ・防水、耐久性に優れたスピーカーを選定し、近隣騒音に考慮した出力Wの機器を選定する。
- ・機器は大きすぎず、景観に溶け込み、クリアな音質を出すことが出来る機器を選定する。

③近隣住宅地騒音対策

- ・**沖縄市騒音に関する環境基準の地域類型の指定（平成24年4月1日施行）及び沖縄市騒音規制法に基づく規制地域及び規制基準（平成24年4月1日施行）に基づいた計画とする。**
- ・上記規制は特定工場等において発生する騒音及び特定建設作業に伴って発生する騒音規制であるが、基本公園設置スピーカーからの音に関しても環境に配慮し、**昼間の50デシベル以下**を基準とし、関係各課とも調整の上計画する。
- ・周辺住居へは、計画前の現状暗騒音測定の上、整備後のスピーカー等からの音楽・環境音などが付加されて基準デシベル以上とならない様に計画する。

騒音に関する環境基準の地域類型の指定

地域			備考
A類型	B類型	C類型	
第1種低層住居専用地域	第1種住居地域	近隣商業地域	別図のうち、 実線で表示した区域
第2種低層住居専用地域	第2種住居地域	商業地域	
第1種中高層住居専用地域	準住居地域	準工業地域	
第2種中高層住居専用地域	字与儀の一部	工業地域	

騒音規制法に基づく規制地域及び規制基準

- 1 特定工場等において発生する騒音及び特定建設作業に伴って発生する騒音について規制する地域は、第1表に掲げる地域とする。
- 2 特定工場等において発生する騒音の規制基準は、第2表の左欄に掲げる区域の区分に従い、当該右欄に掲げるとおりとする。
- 3 特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準別表の第1号の規定により市長が指定する区域は、第1表に掲げる区域のうち、次の各号に掲げる区域とする。
(1) 第1種区域、第2種区域及び第3種区域

第1表

第1種区域	第2種区域	第3種区域	第4種区域	備考
第1種低層住居 専用地域	第1種中高層住居 専用地域	近隣商業地域 商業地域	工業地域	別図のうち、 実線で 表示した 区域
第2種低層住居 専用地域	第2種中高層住居 専用地域	準工業地域		
	第1種住居地域			
	第2種住居地域			
	準住居地域			
	字与儀の一部			

第2表

左欄	右欄		
	昼間 (午前8時から午後7時まで)	朝夕 (午前6時から午前8時まで 午後7時から午後9時まで)	夜間 (午後9時から翌日の午前6時まで)
第1種区域	45デシベル	40デシベル	40デシベル
第2種区域	50デシベル	45デシベル	40デシベル
第3種区域	60デシベル	55デシベル	50デシベル
第4種区域	65デシベル	60デシベル	55デシベル

備考

- 1 左欄の第1種区域、第2種区域、第3種区域及び第4種区域とは、それぞれ第1表に掲げる区域をいう。
- 2 第2種区域、第3種区域及び第4種区域の区域内に所在する第3項第2号に掲げる施設の敷地の周囲おおむね50メートルの区域内における規制基準値は、右欄に掲げるそれぞれの基準値から5デシベルを減じた値とする。

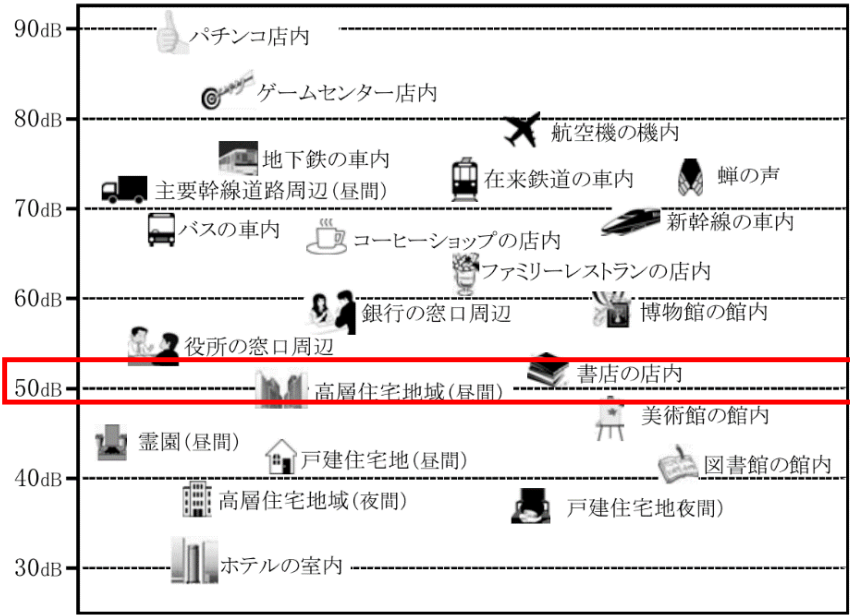
音響照明整備 音響照明整備方針：安心して心おどる公園を目指す。（以下、想定される検討事項）

システム概要現況

- ・運動公園内の園路、車路において業務放送（チャイム・定時放送・案内放送）及び緊急放送を公園内に均一に拡声させる為にスピーカーを各所に分散配置。
- ・導線上での音響性能目標 最大音圧：85dB以上とし、音圧分布偏差20dB位にて、スピーカー配置の設計を行う。
- ・近隣住宅街への騒音を防ぐことを最優先とし、音圧50dB以下を実現するため、一部は、音響性能目標を満たさないエリアが発生した場合も騒音防止を優先とする。
- ・各所にマルチリモコンを設置することにより、エリア毎の案内放送や呼出し放送にも対応できるようにする。
- ・緊急地震速報などのメッセージを業務放送より優先して放送可能とする。
- ・停電した場合でも緊急で停電放送が可能とする。（別途、非常電源ユニットやバッテリー等を導入する）
- ・年間設定が可能なプログラムコントロールタイマー機能を内蔵。

主な機器

機器名	主な機能	外観
業務放送設備架 (管理事務所設置)	・業務放送機能 本体からの放送に加えリモコンで離れた場所から放送が行えます オリジナルメッセージを内蔵音源として登録、放送することができます 非常電源ユニットを組み込むと停電時にも業務放送が行えます ・緊急放送機能 スイッチ操作一つで緊急メッセージを放送できます 非常電源ユニットを組み込むと停電時にも業務放送が行えます ・プログラムコントローラー機能 時刻に連動し自動で放送するスケジュールの登録・管理を行えます 放送スケジュールを16個のプログラムとして作成することができます	
マルチリモコン (各所事務室)	・10個の放送エリア選択ボタンと放送エリア切替ボタンにより 20のブロック放送が可能です ・4種類のコールサインを内蔵。 ・最大8台接続可能です	
スピーカ クリアホン	・耐水性に優れたコーンスピーカー内蔵の屋外用ホーンスピーカー ・定格入力（6W、15W、30Wより、タイプ別機種選定） ・防水性はIPX4準拠	
スピーカ 屋外用	・耐水性に優れたコーンスピーカー内蔵の屋外用ホーンスピーカー ・定格入力（20W、10W、5Wの切換え可能） ・防水性はIPX4準拠	

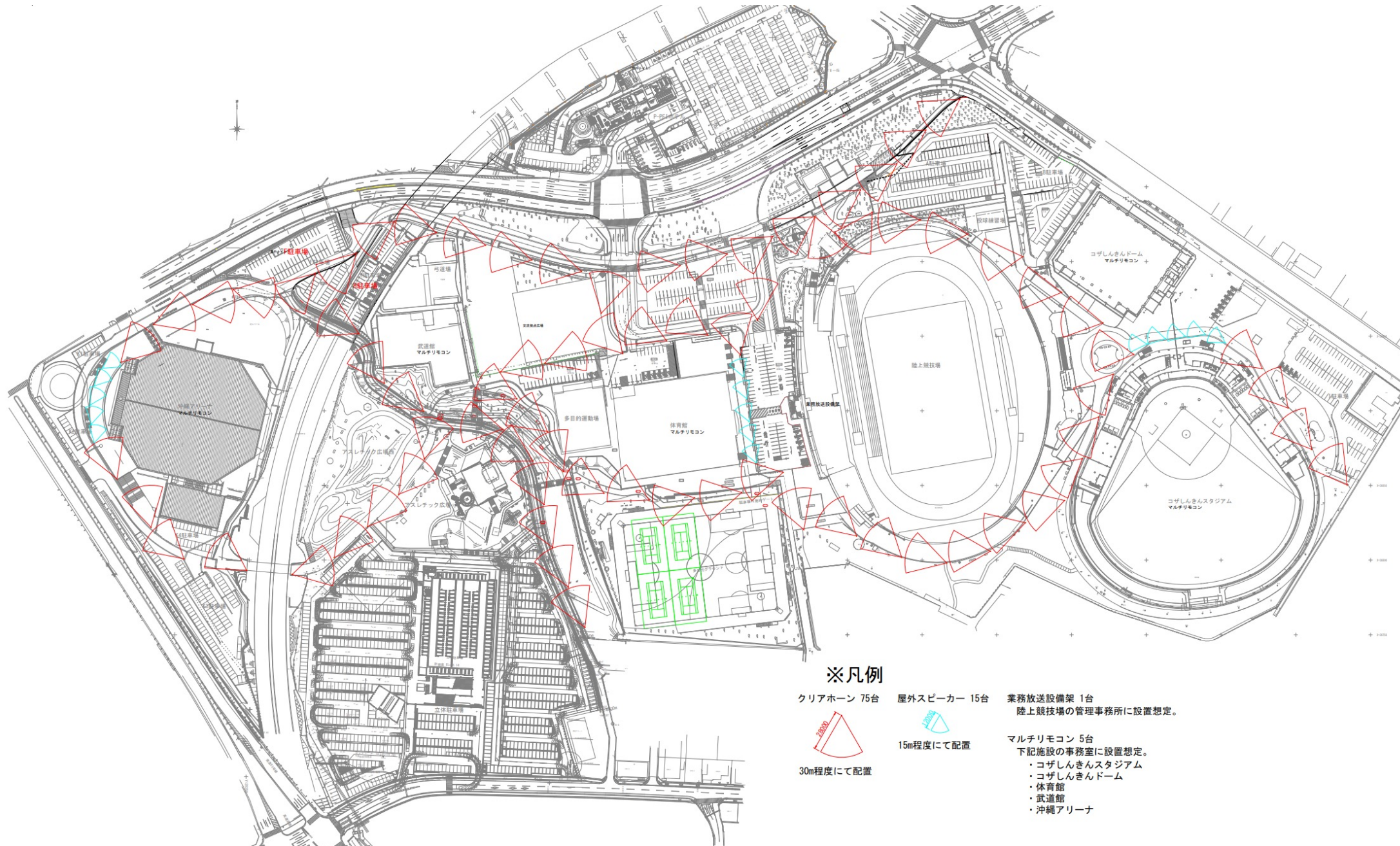


「騒音の目安」作成調査結果について
(騒音調査小委員会-全国環境研会誌より抜粋)

来園動機拡張施策
BGMではエイサーを流し、市独自価値訴求と楽しさを演出する。

音響照明整備

園路音響整備スピーカー配置計画



音響照明整備

選定スピーカー機器

基本はポール取付クリアホーンにより、園路沿い均一に音を届けるが、建物エントランス等人が多く集まるエリアは明瞭度が高い20W型を建物に密に配置する。

①クリアホーン 耐水30w型 (WT-7030同等) 75台

■仕様

入カインピーダンス	330 Ω (30 W)、500 Ω (20 W)、1 kΩ (10 W)
定格入力	30 W
種別※1	L 級
指向特性区分※2	M
音響パワーレベル※2 (1 W)	99 dB
出力音圧レベル※3 (1 m/1 W)	101 dB
周波数特性	180 Hz ～ 15 kHz (-20 dB 以内)
防水性	JIS C504 準拠、IPX4 準拠
使用温度範囲	-10 °C ～ +50 °C
外形寸法	幅 300 mm 高さ 284 mm 奥行き 300 mm (取付金具含む)
質量	約 3.3 kg
仕上げ	本体: ABS 樹脂形成 (マンセル 近似色 2.1Y7.7/1.1) 取付金具、ボルト: ステンレス

- ※1 種別とは、消防法で規定された音声警報「第2シグナル」を音源として、無響室にて得られる音圧(ピーク値)により定められています。
- ※2 指向特性区分及び音響パワーレベルは、消防法の規定により測定された区分および値を用いています。
- ※3 出力音圧レベルは、JIS で定められた値で、音声警報「第2シグナル」の値とは異なります。

②スピーカーシステム 屋内外兼用20w型 (WS-BW120同等)15台

■仕様

型式	フルレンジ密閉形
入カインピーダンス	500 Ω (20 W)、1 kΩ (10 W)、2 kΩ (5 W) スピーカーケーブルにより切り替え
定格入力	20 W、10 W、5 W
出力音圧レベル※1	94 dB (1 m/1 W)
周波数特性	150 Hz ～ 15 kHz (-10 dB)
使用スピーカー	10 cm コーンスピーカー×2
消防法関連項目	
警報出力音圧 種別※2	20 W:L 級、10 W:L 級、5 W:L 級、
指向特性区分※3	X
音響パワーレベル※3	98 dB
使用温度範囲	-20 °C ～ +55 °C
防水性能	IPX4
寸法	W:155 mm H:293 mm D:170 mm (スピーカー取付金具と固定金具含まず)
質量	約 3.5 kg (本体)、約 1.5 kg (スピーカー取付金具と固定金具)
仕上げ	エンクロージャー (前面パネル、キャビネット) :PP 樹脂、グレー色塗装 (マンセル N5.5 近似色) スピーカー取付金具、固定金具 :ステンレス 外郭ねじ類 :ステンレス
角度調整範囲	縦向き使用 水平:左右 90 ° 垂直:下向き 0 ° ～30 ° 横向き使用 水平:左右 0 ° ～30 ° 垂直:下向き 0 ° ～90 ° 軒下 (天井) 使用 垂直:下向き左右 90 °

- ※1 出力音圧レベルは、JIS で定められた値で、音声警報「第2シグナル」の値とは異なります。
- ※2 警報出力音圧 種別とは、消防法で規定された音声警報「第2シグナル」を音源として、無響室にて得られる音圧(ピーク値)により定められています。
- ※3 指向特性区分および音響パワーレベルは、消防法の規定により測定された区分および値を用いています。

クリアホーン 75台



屋外スピーカー 15台



想定機器構成

No.	品 名	品 番	員数	単位	備 考
1	業務放送設備架・電力増幅架	管理事務所			
(1)	入力マトリクスユニット	WU-MXシリーズ	1	式	8IN-8OUT
(2)	業務放送システム	WL-K600	1	式	
	システムコントローラー	WK-KC600	(1)		
	入出力制御ユニット	WU-KR600	(1)		
	SDカード		(1)		オリジナルメッセージ用
(3)	増設用操作ユニット(10局)	WK-EK510	1	台	
(4)	ミキサーユニット	WU-MU160	1	台	
(5)	ラジオチューナーユニット	WU-TU160	1	台	ミキサーユニットに組込み
(6)	CD/USBプレーヤー	CD-400U	1	台	
(7)	運用設定用ノートPC	CF-SC6RDAAS	1	台	12.4インチ、メモリ:16GB
(8)	緊急地震速報受信端末	別途	1	台	
(9)	電源制御ユニット	WU-L62	2	台	38A
(10)	増設用出力制御ユニット(10回線)	WU-ER551	1	台	
(11)	電力増幅ユニット	WU-PDシリーズ	1	式	
(12)	非常電源ユニット	WPシリーズ	1	式	
(13)	ニッケル水素蓄電池	WU-EBシリーズ	1	式	
(14)	ロングラック本体	WU-RL85	2	架	
(15)	ラック部材		1	式	
	ブラックパネル	YBSPNシリーズ	1	式	
	棚板、スライド棚	RSシリーズ	1	式	
2	周辺機器				
(1)	マルチリモコンマイク	WR-MC100B	6	台	各所事務室に設置
(2)	ACアダプター	WZ-MC100B	6	台	マルチリモコン用
(3)	クリアホーン(30W)	WT-7030	75	台	30W/20W/10W切換え
(4)	ポール取付金具		75	台	
(5)	屋外対応型スピーカー(20W)	WS-BW120	15	台	20W/10W/5W切換え

※注：上記は参考品番としており、同等仕様以上の物品とすること。

音響照明整備 音響照明整備方針：安心して心おどる公園を目指す。（以下、想定される検討事項）

現況

- ・南北主車道は現在高さ8～10m水銀灯、ナトリウム灯等の照明となっている。一部LED化されている部分もある。
- ・その他の園路部分は高さ4.5～5mの街路灯となっており、LED化はされていない。
- ・園路照明は駐車場灯の照明と兼用されている場所も多く、全般的に平均1lx前後と照度が足りていない箇所が多い。
- ・駐車場は場所によっては既存外灯で照度1lx前後となっていて、照度が足りない。
- ・野球場及び陸上競技場の照明塔の明かりに頼っている箇所も多く、園路の演出としての照明は少ない。

- 整備方針
- ①照度
- ・JIS規格「道路、広場及び公園の照明設計基準」より、平均的に**防犯ガイドクラスA基準の5lx以上**をベースとする。歩行者が多い場所、車両交差点等は10lx以上にする等の検討を行う。
 - ・駐車場に関しても園路の照明と兼用していることもあり、平均照度5lx以上とする。
- ②LED化
- ・2020年10月に、国として2050年までに「温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」カーボンニュートラルを目指すことを宣言しています。外灯照明器具のLED化により、器具交換頻度の減少と合わせて、カーボンニュートラル社会への寄与が考えられる。
- ③器具形状
- ・照明器具は東西道路部分は車道化されていることから、経済的且つ車両誘導効果も得られる高さ8mのポール照明とする。
 - ・その他の園路及び駐車場は親しみやすく優しい光を得やすい高さ4.5mのLED照明とする。上方、遠方への漏れ光を押さえながら効果的な下方光束を得る事が可能な機器を選定する。
- ④近隣住宅地光漏れ対策
- ・環境省「光害対策ガイドライン」に沿った機器等を設置する。
 - ・園路外灯に関しては近隣住宅地へ光が漏れない様な指向性が高いLED機器へ変更すると共に、機器に遮光板を設置、調整出来る外灯機器等を採用する。
 - ・現在建物に設置されたブラケット等も近隣に影響があるものは形状を公園敷地内から光が漏れないものに変更する。

○道路、広場及び公園の照明設計基準（JIS Z9110-2010）

領域、作業または活動の種類		維持照度 Em (lx)	屋外グレア制限値 GRL	平均演色評価数 (Ra)
歩行者交通 (屋外)	多い	20	50	20
	中程度	10	50	20
	少ない	5	55	20
交通関係広場の交通	多い	50	50	20
	中程度	30	50	20
	少ない	15	55	20
危険レベル	高い	50	45	20
	中程度	20	50	20
	低い	10	50	-
	非常に低い	5	55	-

※日本産業規格の簡易閲覧資料より抜粋(JIS Z9110-2010)

○歩行者に対する道路照明の基準（JIS Z9111-1988）

夜間の歩行者交通量	地域	照度 (単位: lx)	
		水平面平均照度	鉛直面最小照度
交通量の多い道路	住宅地域	5	1
	商業地域	20	4
交通量の少ない道路	住宅地域	3	0.5
	商業地域	10	2

(注) 1：水平面照度は歩道の路面上の平均照度。
2：鉛直面照度は歩道の中心線上で、路面より1.5mの高さ、道路軸に対して直角な鉛直面の最小照度。

○防犯照明ガイド 2019.7 (社) 日本防犯設備協会

夜間の路上や施設の犯罪抑止や不安感の減少を目的とした基準です。

照度基準	クラス A	クラス B +	クラス B
平均水平面照度	5 lx	3 lx	3 lx
中心線鉛直面照度	1 lx	0.5 lx	0.5 lx
道路両端鉛直面照度	-	0.5 lx	-

(注) 1：A、Bどちらかのクラスの照明レベルを採用するかは、その道路の交通上や防犯上の重要性、歩行者・交通量の多少、あるいは周辺環境の明るさ、照明にかけられるコストなどの個々の状況によって、照明の設置者が適宜選択する。
2：水平面照度は歩道の路面上の平均照度。
3：鉛直面照度は歩道の中心線上で、路面より1.5mの高さ、道路軸に対して直角な鉛直面の最小照度。
4：道路両端鉛直面照度は道路両端から0.5m内側において道路面から1.5mの高さ道路軸に対して直角な鉛直面の最小照度。

○安全・安心まちづくり推進要綱 2014.8 改正 警察庁

それぞれの場所に応じた照度基準が定められています。

場所			平均水平面照度 (単位: lx)
道路	公園内		3 以上
	公園・公共トイレ		3 以上
駐車・駐輪場	(500 m以上)	車路	50 以上
		駐車エリア	10 以上
	(500 m未満)	車路	2 以上
		駐車エリア	3 以上

○遮光板設置外灯

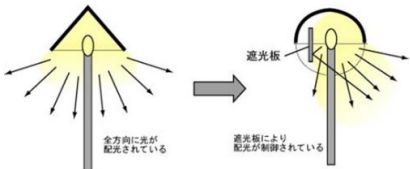


図20 配光制御により漏れ光を制御した事例（福岡県筑紫野市御笠コミュニティセンター）

※環境省「光害対策ガイドライン」より抜粋

音響照明整備 音響照明整備方針：安心して心おどる公園を目指す。（以下、想定される検討事項）

近隣住宅地光漏れ対策

- ・環境省「光害対策ガイドライン」に基づき、計画する。
- ・近隣住宅地は光環境の類型はE3「都市周辺住宅地」となり、指定された方向への最大光度値は10,000cd(減灯時間前)とする。
- ・最大鉛直面照度値は10lx以下とする。

2) 目標とする指針値等
光環境類型に応じた主たる照明種別と配慮すべき影響、本ガイドラインで設定する各指針値を表4に示す。

表4 本ガイドラインで設定する指針値等

照明密度	光環境類型	地域対象イメージ	主となる照明種別	配慮すべき影響	指定された方向への最大光度値 (P. 24)	
					減灯時間前	減灯時間後
低 ↑	E1	・自然公園 ・自然景観地域 ・田園 ・里地 など	道路照明灯 防犯灯	動物への影響 植物への影響 夜空の明るさへの影響	2,500 cd	0 cd
	E2	・郊外 ・田園、山間地域の集落、 町、村 など	道路照明灯 防犯灯 街路灯	居住者への影響 歩行者への影響 動物への影響 植物への影響 夜空の明るさへの影響	7,500 cd	500 cd
	E3	・都市の周辺 ・都市周辺住宅地 ・市街地（工業地域） など	道路照明灯 防犯灯 街路灯 屋外広告物照明 屋外設置物照明 屋外展示物照明 屋外作業場の照明	居住者への影響 歩行者への影響 夜空の明るさへの影響	10,000 cd	1,000 cd
	E4	・都市中心部 ・繁華街 ・商店街 ・オフィス街 など	道路照明灯 街路灯 屋外広告物照明 屋外設置物照明 屋外作業場の照明	歩行者への影響 夜空の明るさへの影響	25,000 cd	2,500 cd
高 ↓						

※環境省「光害対策ガイドライン」より抜粋

② 最大鉛直面照度値
最大鉛直面照度値^{※36}は、近隣住居への侵入光等を抑制するための基準として用いることができる。現存する住居のみならず、将来新たな住居が設置される可能性も考慮して適用することが望ましい。指針値はCIE150:2017を参照し、光環境類型に応じて設定している。

表6 最大鉛直面照度値（CIE150:2017に基づく）

光環境類型	減灯時間前の最大鉛直面照度値	減灯時間後の最大鉛直面照度値
E1	2 lx	0 lx ^{※37}
E2	5 lx	1 lx
E3	10 lx	2 lx
E4	25 lx	5 lx

※環境省「光害対策ガイドライン」より抜粋

音響照明整備

園路照明の現状整備状況



東西道路

- ・一部以外は水銀灯等、LED化されていない。

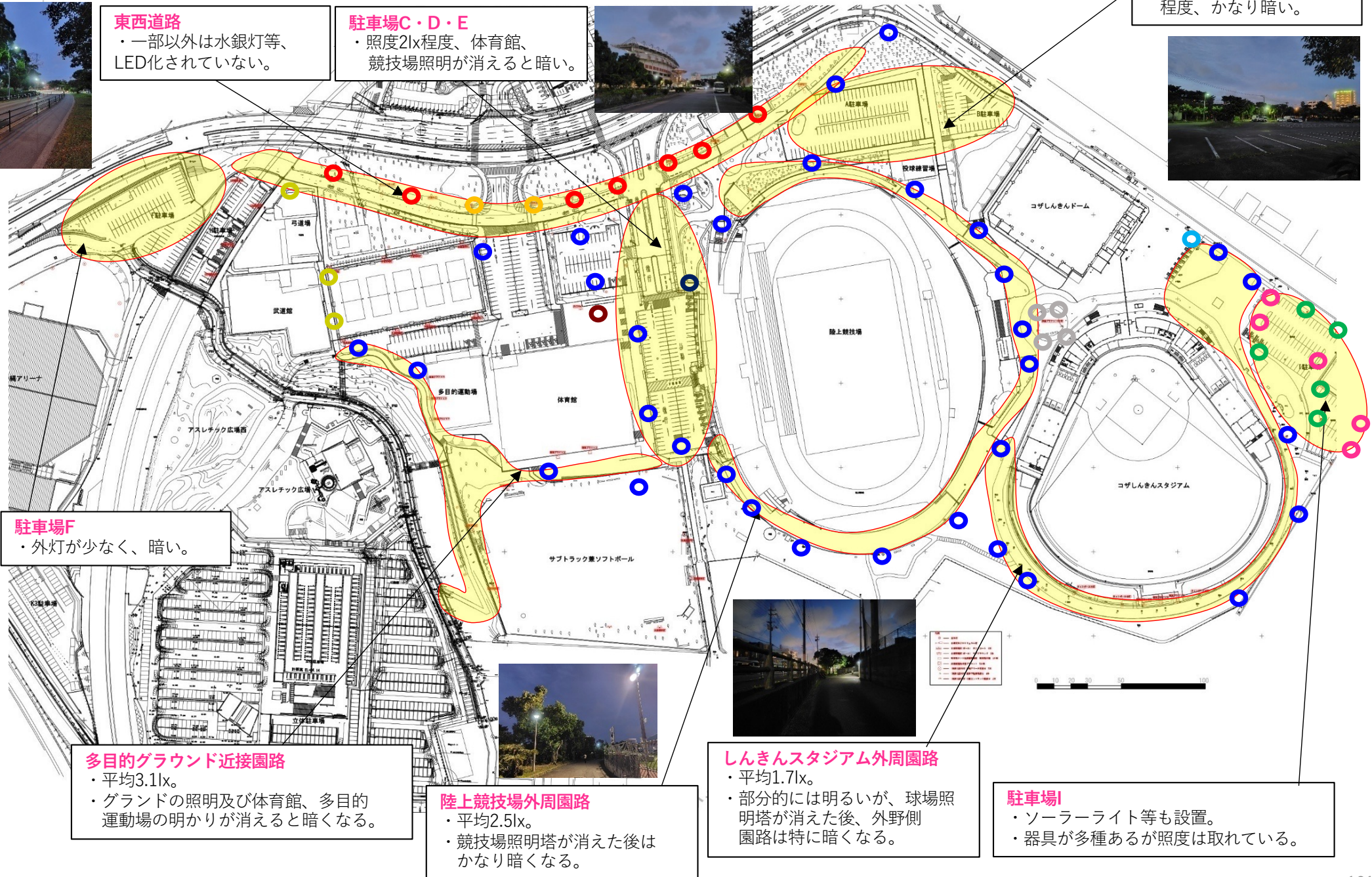
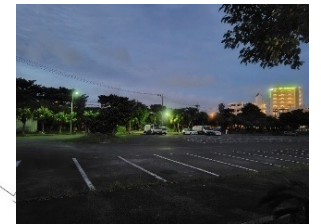
駐車場C・D・E

- ・照度2lx程度、体育館、競技場照明が消えると暗い。



駐車場A・B

- ・外灯が少なく、照度1lx程度、かなり暗い。



駐車場F

- ・外灯が少なく、暗い。

多目的グラウンド近接園路

- ・平均3.1lx。
- ・グラウンドの照明及び体育館、多目的運動場の明かりが消えると暗くなる。

陸上競技場外周園路

- ・平均2.5lx。
- ・競技場照明塔が消えた後はかなり暗くなる。

しんきんスタジアム外周園路

- ・平均1.7lx。
- ・部分的には明るいですが、球場照明塔が消えた後、外野側園路は特に暗くなる。

駐車場I

- ・ソーラーライト等も設置。
- ・器具が多種あるが照度は取れている。

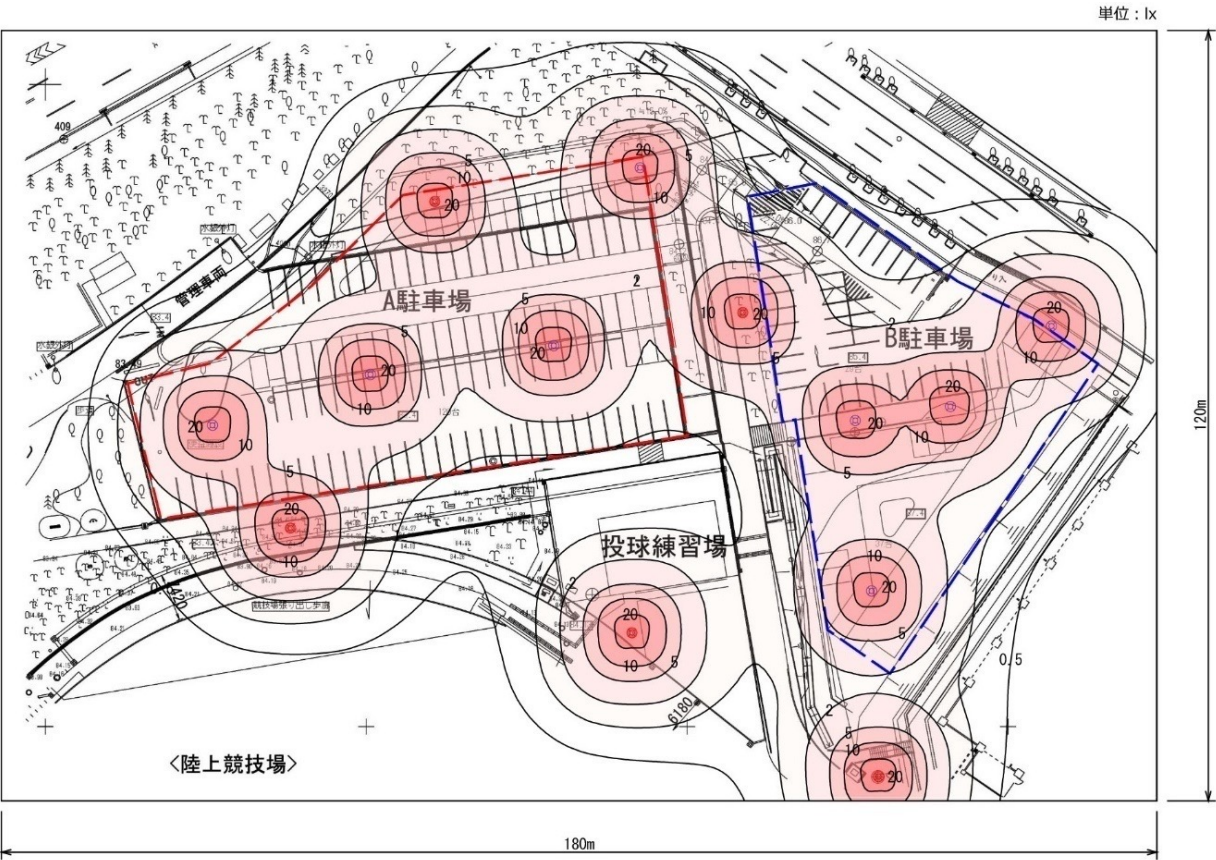
音響照明整備

園路照明の現状整備状況 凡例

 H4.5m?	 KSC-4 H10m?	 ソーラライト	 道路灯H6m?	 H3.5m?
				
 H5m? アルミテーパーポール	 HF100? H4m?	 H6m? 2灯用小型スポット	 H5m? LEDスポット+ライン?	 スタジアム前 テント ×4台
				

音響照明整備

駐車場AB周りの照明



水平面照度分布図（計算面高 0mにおける値）

	①	②
器具品番	【置換】XYG2302N-LE9	【増設】XYG2302N-LE9
器具種類	街路灯	街路灯
ランプ	LED5000_85_6700	LED5000_85_6700
全光束	6,700 lm	6,700 lm
保守率	0.81	0.81
器具コード	K0177769	K0177769
取付高さ	4.5 m	4.5 m
取付台数	5 台	8 台
姿図	① × 5 	② × 10

	―― ① ――	―― ② ――
エリア	A駐車場	B駐車場
平均照度	5.15 lx	5.89 lx
最小照度	0.90 lx	0.58 lx
最大照度	23.20 lx	24.11 lx
最小／平均	0.175	0.098
最小／最大	0.039	0.024

※注：上記は参考品番としており、同等仕様以上の物品とすること。

音響照明整備

陸上競技場西側駐車場C周りの照明



水平面照度分布図（計算面高 0mにおける値）

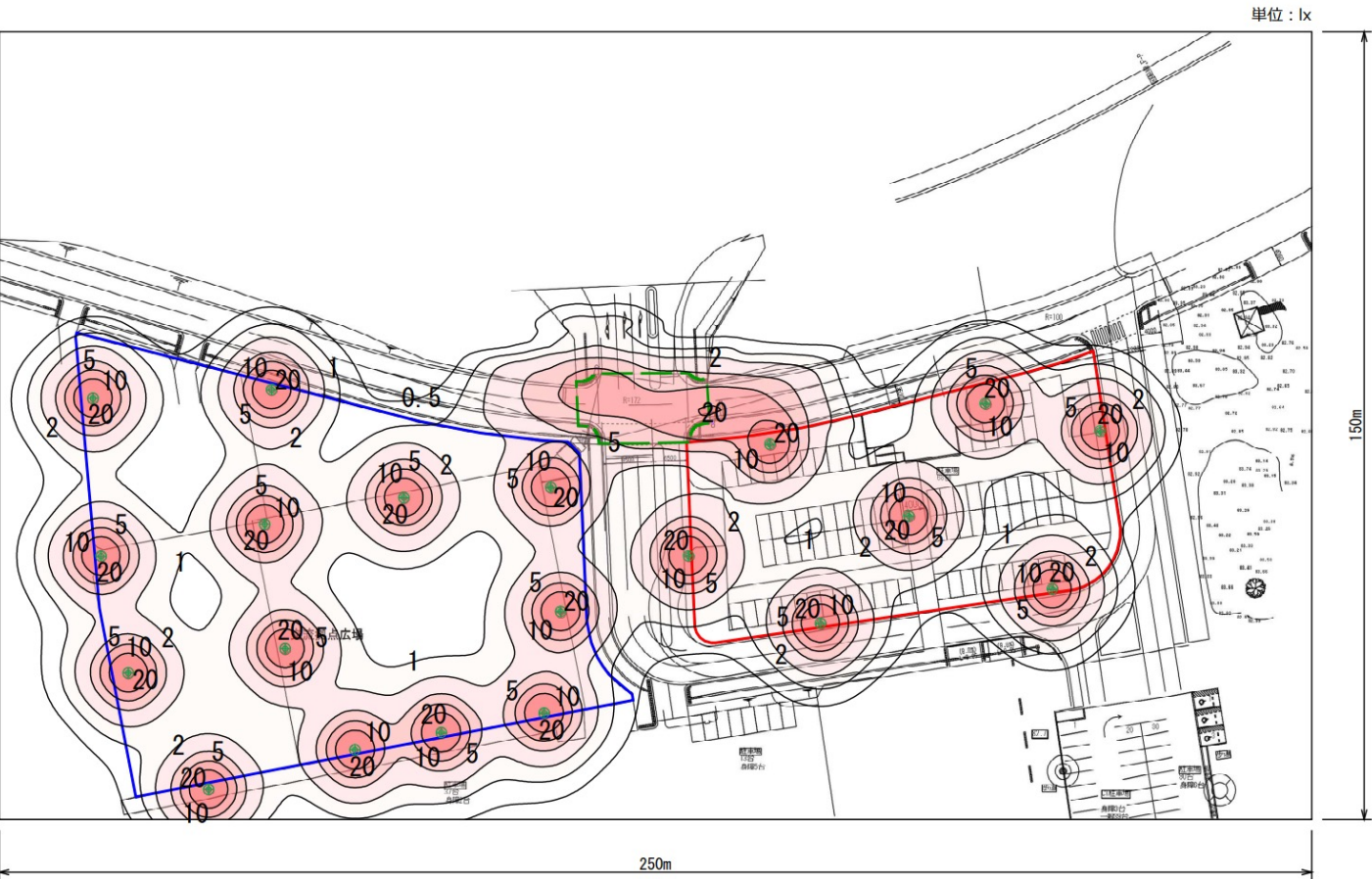
	①	②
器具品番	【置換】XYG2302N-LE9	【増設】XYG2302N-LE9
器具種類	街路灯	街路灯
ランプ	LED5000_85_6700	LED5000_85_6700
全光束	6,700 lm	6,700 lm
保守率	0.81	0.81
器具コード	K0177769	K0177769
取付高さ	4.5 m	4.5 m
取付台数	3台	3台
姿図		

	――	――
エリア	C1駐車場	C2駐車場
平均照度	5.38 lx	5.30 lx
最小照度	0.94 lx	1.04 lx
最大照度	23.36 lx	23.23 lx
最小／平均	0.175	0.197
最小／最大	0.040	0.045

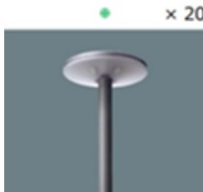
※注：上記は参考品番としており、同等仕様以上の物品とすること。

音響照明整備

エントランス及び交流拠点広場と駐車場の照明



水平面照度分布図（計算面高 0mにおける値）

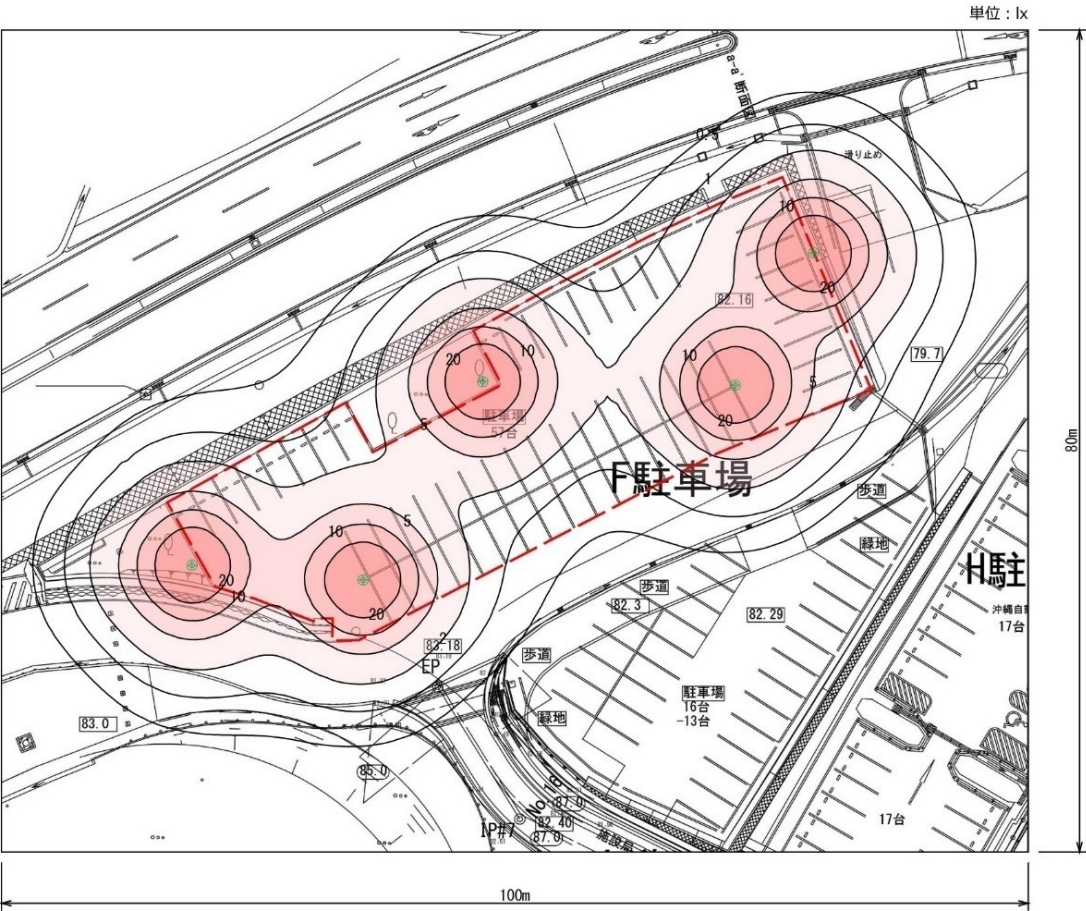
器具品番	【新設】NNY22127Z-LF9	NYR30021_0DEG-LF9
器具種類	街路灯	道路灯
ランプ	NNY22127K	LED5000_80_6300
全光束	6,400 lm	6,300 lm
保守率	0.6	0.7
器具コード	K0128146	K0188637
取付高さ	4.5 m	10 m
取付台数	20 台	2 台
姿図	 × 20	 × 2

エリア	新設駐車場	交流拠点広場	交差点
平均照度	5.27 lx	5.36 lx	11.3 lx
最小照度	0.54 lx	0.54 lx	4.6 lx
最大照度	50.04 lx	49.57 lx	20.9 lx
最小／平均	0.102	0.101	0.409
最小／最大	0.011	0.011	0.222

※注：上記は参考品番としており、同等仕様以上の物品とすること。

音響照明整備

F駐車場の照明



水平面照度分布図（計算面高 0mにおける値）

	⊕
器具品番	【新設】NNY22127Z-LF9
器具種類	街路灯
ランプ	NNY22127K
全光束	6,400 lm
保守率	0.6
器具コード	K0128146
取付高さ	4.5 m
取付台数	5 台
姿図	⊕ × 5

エリア	F駐車場
平均照度	8.01 lx
最小照度	0.62 lx
最大照度	49.45 lx
最小／平均	0.078
最小／最大	0.013

※注：上記は参考品番としており、同等仕様以上の物品とすること。

スタジアム周りの照明

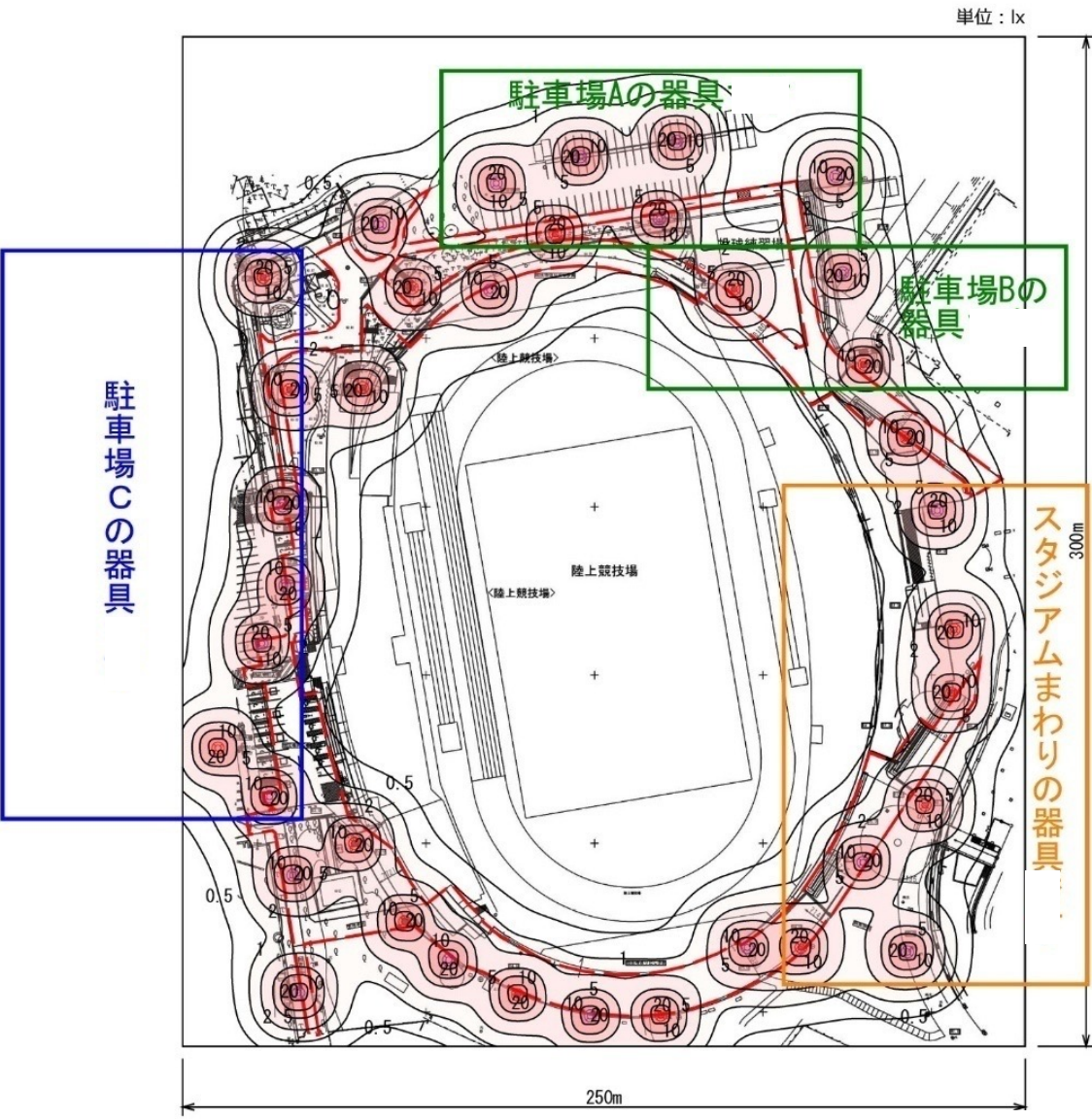


	全体
平均照度	1.13 lx
最小照度	0 lx
最大照度	30.65 lx
最小／平均	0
最小／最大	0

園路鉛直面照度分布図（計算面高 1.5mにおける遮光板取付時の鉛直面照度値）
敷地境界線上の鉛直面照度は0.5lx以下となるように検討。

音響照明整備

陸上競技場周り園路の照明



水平面照度分布図 (計算面高 0mにおける値)

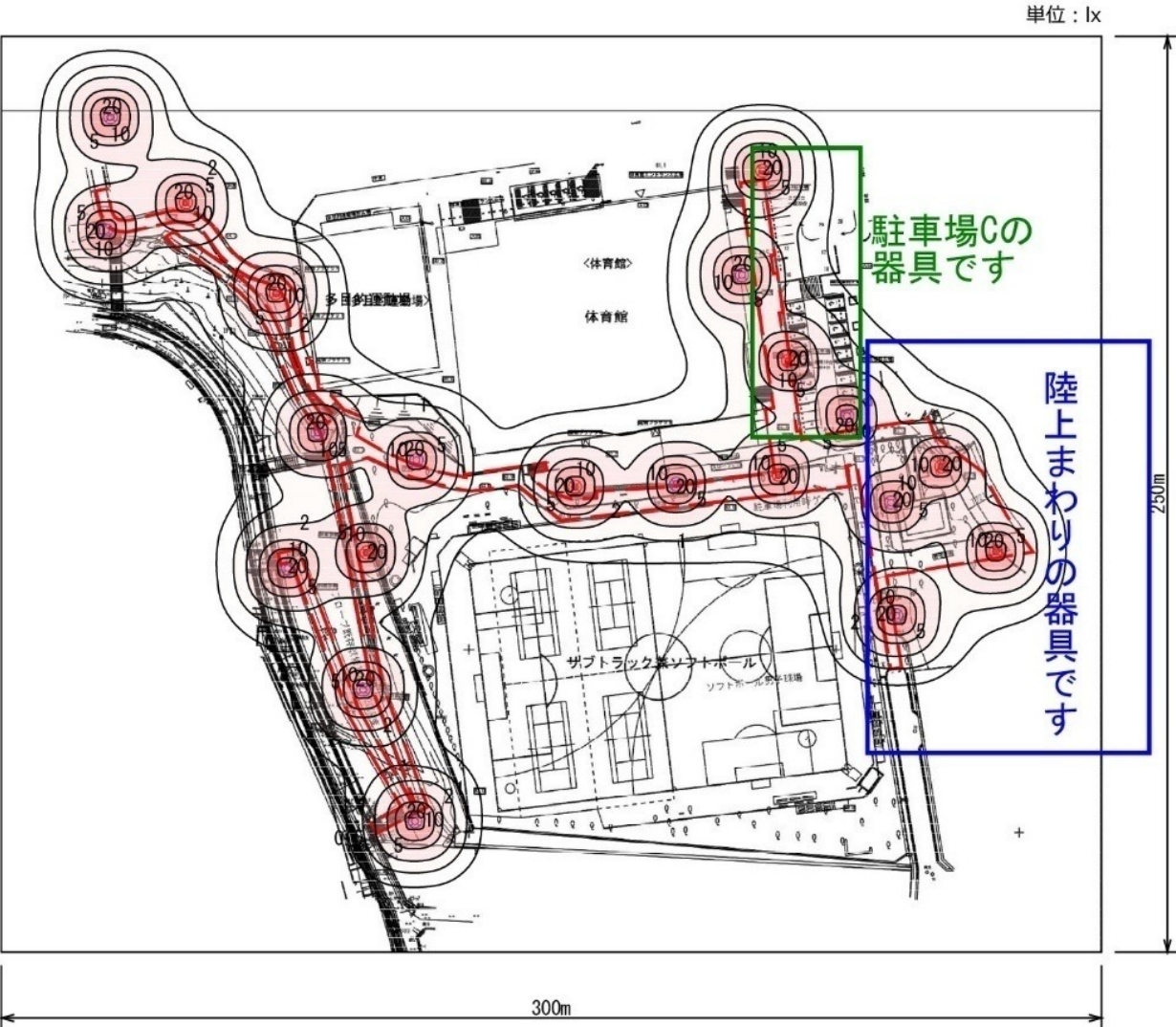
	⑮	⑯
器具品番	【置換】XYG2302N-LE9	【増設】XYG2302N-LE9
器具種類	街路灯	街路灯
ランプ	LED5000_85_6700	LED5000_85_6700
全光束	6,700 lm	6,700 lm
保守率	0.81	0.81
器具コード	K0177769	K0177769
取付高さ	4.5 m	4.5 m
取付台数	17 台	20 台
姿図		

	――
エリア	園路
平均照度	5.08 lx
最小照度	0.53 lx
最大照度	23.83 lx
最小／平均	0.104
最小／最大	0.022

※注：上記は参考品番としており、同等仕様以上の物品とすること。

音響照明整備

多目的グラウンド周り園路の照明



水平面照度分布図（計算面高 0mにおける値）

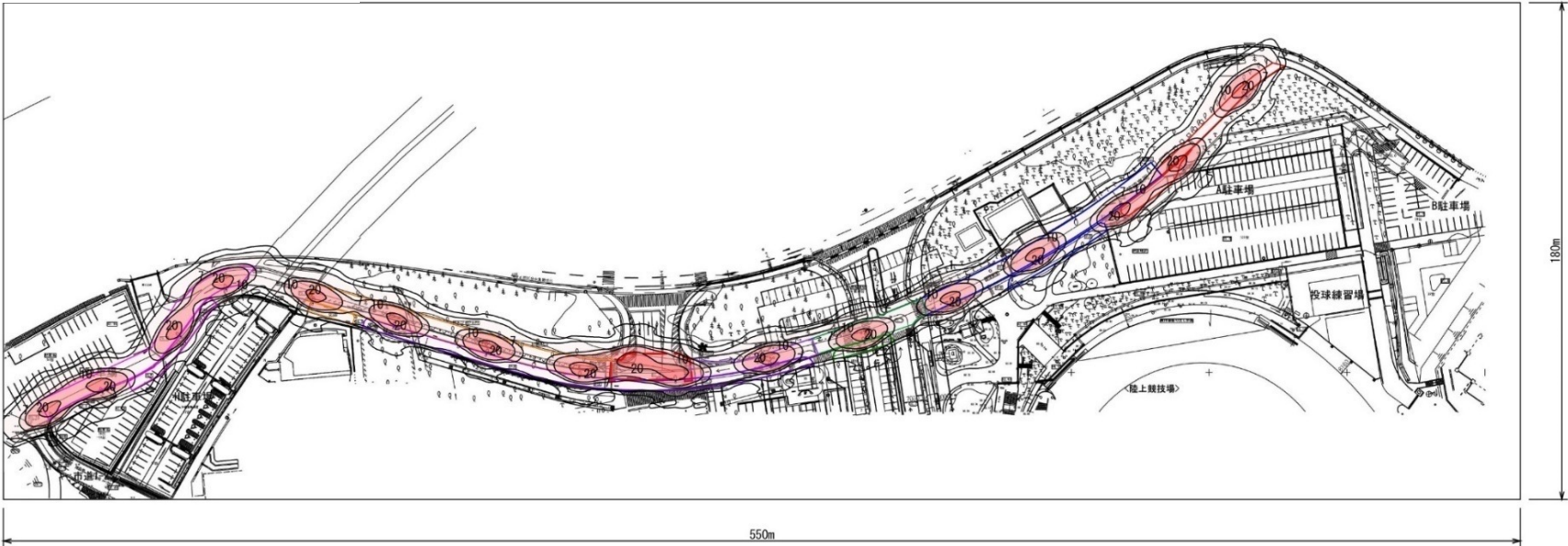
	⊕	⊕
器具品番	【置換】XYG2302N-LE9	【増設】XYG2302N-LE9
器具種類	街路灯	街路灯
ランプ	LED5000_85_6700	LED5000_85_6700
全光束	6,700 lm	6,700 lm
保守率	0.81	0.81
器具コード	K0177769	K0177769
取付高さ	4.5 m	4.5 m
取付台数	9 台	12 台
姿図	⊕ × 9 	⊕ × 12

	――
エリア	園路
平均照度	6.29 lx
最小照度	0.66 lx
最大照度	23.91 lx
最小／平均	0.105
最小／最大	0.028

※注：上記は参考品番としており、同等仕様以上の物品とすること。

音響照明整備

東西園路の照明



器具品番	NYR30021_0DEG-LF9
器具種類	道路灯
ランプ	LED5000_80_6300
全光束	6,300 lm
保守率	0.7
器具コード	K0188637
取付高さ	8 m
取付角度	VA=10.0 度
取付台数	17 台

姿図



水平面照度分布図（計算面高 0mにおける値）

エリア	道路①	道路②	道路③	道路④	道路⑤	道路⑥	交差点	歩道①	歩道②	歩道③	歩道④	歩道⑤	歩道⑥	歩道⑦
平均照度	11.9 lx	10.3 lx	9.99 lx	10.8 lx	12.4 lx	14.1 lx	18.4 lx	14.7 lx	6.23 lx	8.18 lx	6.71 lx	7.42 lx	6.42 lx	8.61 lx
最小照度	1.3 lx	2.5 lx	3.66 lx	4.1 lx	4.0 lx	3.0 lx	7.5 lx	7.8 lx	1.36 lx	2.08 lx	1.35 lx	1.94 lx	1.54 lx	2.10 lx
最大照度	24.1 lx	24.2 lx	24.20 lx	24.0 lx	25.8 lx	25.0 lx	28.6 lx	24.4 lx	18.47 lx	18.54 lx	19.89 lx	18.45 lx	18.41 lx	19.42 lx
最小／平均	0.113	0.238	0.366	0.383	0.319	0.211	0.410	0.532	0.219	0.254	0.201	0.261	0.240	0.244
最小／最大	0.056	0.101	0.151	0.173	0.154	0.119	0.264	0.320	0.074	0.112	0.068	0.105	0.084	0.108

※注：上記は参考品番としており、同等仕様以上の物品とすること。

法規制の確認

※出典：沖縄市

建ぺい率の確認

都市公園法において、都市公園内の建築物は一般施設2%、特例施設10%、開放的施設10%以下に定められている。

※本公園においては、一般施設の上限を4%に変更、特例施設の上限を建築面積に係る上限4%+特例施設上乗せ率15%=19%となっている。

●建ぺい率(R3.3.1時点計画)

A～Eゾーン
敷地面積 215,312.13 m²サッカーエリア
14,193.79 m²県有地(平成29年度供用開始)
4,158.209 m²= 233,664.129 m² + 女子学園跡地
19,297.82 m² = 252,961.949 m²

高い開放性のある施設 特例施設

Aゾーン		Bゾーン		Cゾーン		Dゾーン		Eゾーン		サッカーエリア		女子学園跡地	
施設名	面積(m ²)	施設名	面積(m ²)	施設名	面積(m ²)	施設名	面積(m ²)	施設名	面積(m ²)	施設名	面積(m ²)	施設名	面積(m ²)
多目的アリーナ	11,041.75	東屋	8.75	東屋	17.64	東屋	16.24	シェルター	147.05	宿泊施設(P-PFI)	832.26	立体駐車場(仮)	3,290.40
		東屋	4.00	シェルター	35.75	東屋	9.00	便所	67.16	コンビニ(P-PFI)	200.00		
		東屋	4.00	シェルター	30.00	便所	75.16	野球場	5,083.89				
		便所	4.30	シェルター	30.00	陸上競技場	3,507.28	機械室	31.62				
		東屋	7.50	シェルター	30.00	倉庫	14.40						
		武道館	1,941.21	シェルター	30.00	管理事務所	145.75						
		弓道場	568.94	シェルター	62.32	管理事務所	77.40						
		便所	10.44	倉庫	17.60	配電室	40.79						
		立体駐車場(仮)	817.00	シェルター	30.00	作業場	64.80						
				便所	78.66	多目的ドーム	4,419.04						
				便所	67.16	屋根付駐車	84.89						
				シェルター	24.01	投球練習場	320.88						
				体育館	5,315.49								
				多目的運動場	1,450.76								
				機械室	40.87								
				シェルター	13.95								
				倉庫	3.76								
				防災倉庫	21.00								
小計	11,041.75	小計	3,366.14	小計	7,298.97	小計	8,775.63	小計	5,329.72	小計	1,032.26	小計	3,290.40

現況		計画①	
建築面積	建ぺい率	建築面積	建ぺい率
一般施設	1,878.02	5,965.42	2.37%
特例施設	33,649.24	33,649.24	13.31%
合算	35,527.26	39,634.66	15.67%
高い開放性	500.21	500.21	0.20%
合計	36,027.47	40,134.87	

計画②		
	建築面積	建ぺい率
一般施設	5,985.42	2.37%
特例施設	33,649.24	13.31%
合算	39,634.66	15.67%
高い開放性	500.21	0.20%
合計	40,134.87	

現況

現況		計画	
許容建築面積	残りの建築可能な面積	許容建築面積	残りの建築可能な面積
一般施設(2%)	4,673.28	5,059.23	(926.19)
特例施設(17%)	39,722.90	43,003.53	3,368.87
高い開放性(10%)	23,366.41	25,296.19	24,795.98

	計 画	
	許容建築面積	残りの建築可能な面積
一般施設(4%)	10,118.47	4,133.05
特例施設(19%)	48,062.77	8,428.11
高い開放性(10%)	25,296.19	24,795.98

一般施設の上限は建築面積に係る上限と同じ2%

特例施設の上限は、建築面積に係る上限2%+特例施設上乗せ率15%=17%

一般施設と特例施設の合計の上限は17%

※P-PFI施設・立体駐車場・女子学園跡地面積 現況に含まず計画①②に含む

建築面積に係る上限を4%に変更

特例施設、上限4%+特例施設上乗せ率15%=19%

参考

⇒陸上競技場の建築面積3,507.28m²は、サブスタンドを含めた建築面積。(メインスタンド建築面積2,770m²)⇒一般施設(※上限4%として)は、建築面積4,133.05m²の追加整備が可能である。⇒特例施設(※上限19%として)は、建築面積8,428.11m²の追加整備が可能である。⇒開放的施設(上限10%として)は、建築面積24,795.98m²の追加整備が可能である。

※出典：沖縄市

[illegible]

132

各施設における整備後の増加率を検討

⇒整備対象の平均稼働率を70%以上を目指す。

・稼働率の目標値について
サブグラウンド、庭球場における目標値70%について、土舗装であると雨天後の復旧時間が半日～数日かかるのに対し、人工芝であると透水構造により数時間で利用可能となることから、20～50%程度稼働率が向上すると仮定し目標値として70%を設定する。
再整備による施設機能の向上、安全性・快適性の改善及び利用環境の充実により、利用促進効果が期待される。このため、公園内のその他施設については、稼働率が現状比で10%程度向上すると仮定して評価を行う。

※庭球場における改修後に利用増となった事例
栃木県足利市渡良瀬運動場テニスコート（R5年度）、千葉県長生村尼ヶ台総合公園テニスコート（R6年度）等

令和 6 年利用実績（稼働率順）

施設名	現状 年間平均稼働率 (利用人数)	整備後 (目標値)	備考 利用者指標（目標値）
コザしんきんスタジアム	86%(61,044人)	90%	現状61,044人(86%) →約64,000人(90%)
体育館	81%(111,239人)	90%	現状111,239人(81%) →約123,600人(90%)
コザしんきんドーム	75%(39,596人)	今回整備対象外	
陸上競技場	66%(51,762人) ※ 8 月エイサー開催時（361,149人） を他月の平均4,300人に置き換え	70%	現状51,762人(66%) →約54,900人(70%)
多目的運動場	63%(33,035人)	今回整備対象外	
サブグラウンド	51%(7,223人)	70%	現状7,223人(51%) →約9,900人(70%)
投球練習場	47%(2,089人)	今回整備対象外	
武道館	41%(32,956人)	今回整備対象外	
庭球場	30%(5,643人)	70%	現状5,643人(30%) →約13,000人(70%)
弓道場	12%(3,786人)	今回整備対象外	
トレーニングルーム	-	今回整備対象外	トレーニングルームは把握できないため除外
計	平均52%(青文字箇所)	平均78%	

市全体に波及させるために、来園者の誘導について、「アリーナ→本公園内部」「本公園→市全体・中心市街地」で検討する

園全体における誘導の考え方

マルチモビリティで中心市街地へ誘導

- ・ 駐車場から車で：駐車場での中心市街地/市訴求。
- ・ バスで誘導。
- ・ タクシー利用。
- ・ 他モビリティも要検討（シェアサイクル/電動キックボードなど）。

徒歩/車で中心市街地へ誘導

- ・ 中心市街地までの導線（道路）を別途検討し、本公園コンテンツとの連続性を形成。歩いて楽しい道をつくり誘導する。

アリーナから交流拠点に誘導

- ・ 主に退場後狙い。水のショー観覧およびイベントの感想を話し合う場として。
- ・ 開場前は休憩場所として。

交流拠点を賑わいの中心に

- ・ 交流拠点を作り、強い誘客コンテンツを配置。賑わいを作る。
- ・ 誘客した人たちに中心市街地/市全体訴求を行い、興味をひき、誘導する。
- ・ 誘客した人たちが視認できる場所にバス停を配置。中心市街地への移動を検討させ、促す。

車で中心市街地へ誘導

- ・ 立体駐車場から車で市/中心市街地へ。
- ・ 立体駐車場および駐車場での市/中心市街地訴求。

園東端へ誘導

- ・ 園東端に歩きやすい導線整備。



KPI③「運営管理費用の最適化」のために、広告・協賛収益可能性も検討

方針

本公園と民間企業広告の調和

本公園KPIは③だけでなく、①②がある。広告によって運動施設利用者満足、誘客等に支障が出ることは避けたい。本公園の理念を民間企業に理解してもらい、園の雰囲気をも崩さず、広告・協賛で民間企業メリットを出す形式を探る。結果、本公園価値および広告価値どちらも向上させることにつながる。

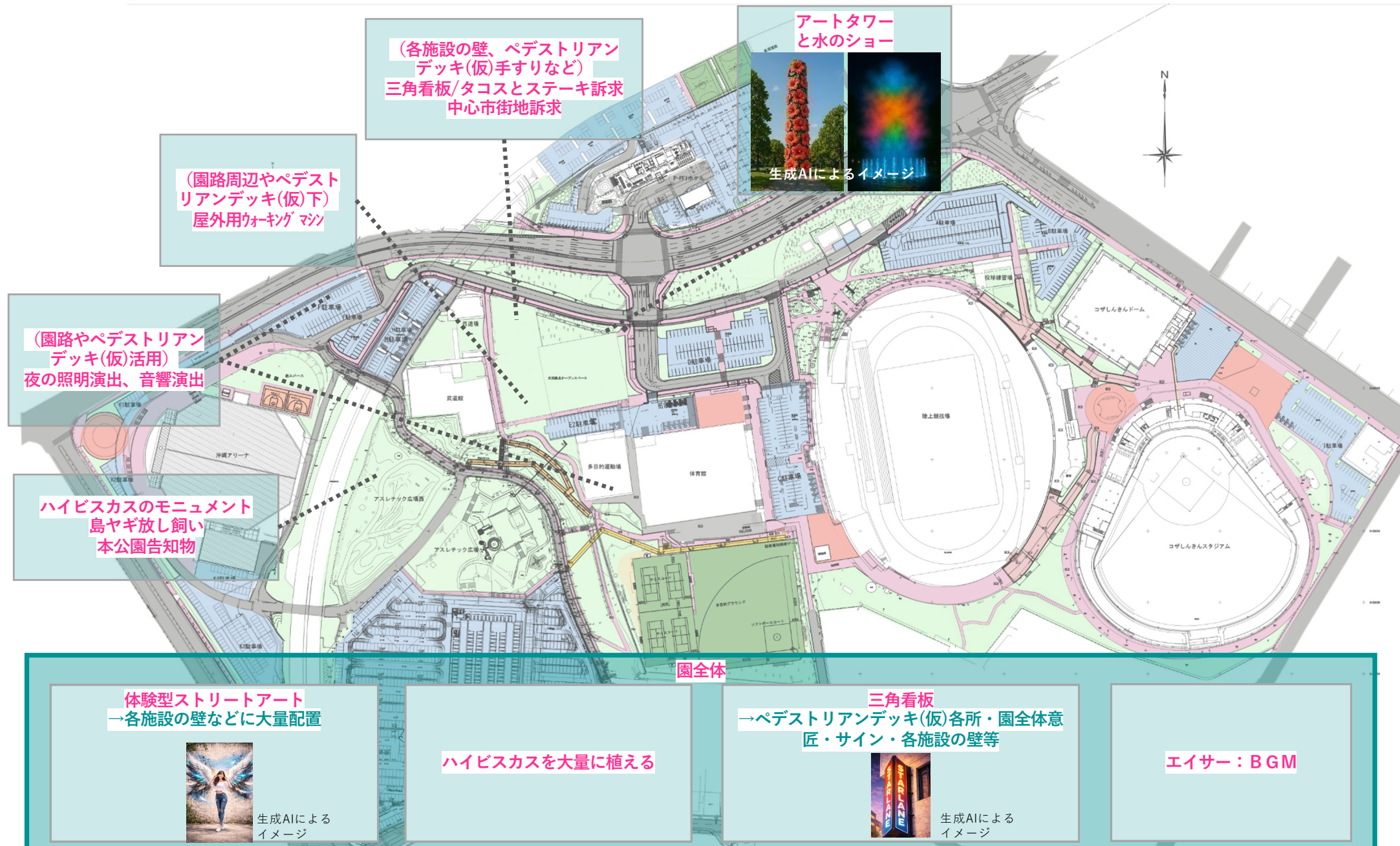
*但し、広告獲得には柔軟な対応が必要なため、企業からの依頼事項には都度検討。

広告・協賛可能性があるアセット（以下、整備含めあくまで可能性として）

アセット	内容
アートタワーと水のショー	社名・ロゴ掲出&ショーのアナウンス等。
各運動施設ネーミングライツ	可能性を検討。
体験型ストリートアート協賛	トンマナは守り、企業ロゴ、商品コラボなど。
ハイビスカス協賛	植栽を区画にわけて協賛、社名掲出。
自販機バーター協賛	よくある事例、自販機のみで公募にかけず、協賛とバーターにすることで収益獲得。
駐車場	看板等掲出。
ペDESTリアンデッキ	ネーミングライツ、社名・ロゴ掲出。
三角看板	ペDESTリアンデッキの手すりや各施設の壁・サインなどに設置想定。 大口で複数箇所だけでなく、中心市街地店舗は制作費負担のみで小口1箇所なども検討。

* 上記以外にも検討できるが、協賛価値向上のため、個別セールスではなく、パッケージ化が肝心

* 協賛各企画・パッケージ化・金額・想定業種/企業・セールス方法・運営体制検討、収支、民間企業サウンディング等の詳細検討は当業務仕様外



概算予算

約77億円

項目	工事種別	面積 (延床面積)	単位	単価(千円)	金額(百万円)	備考
園路整備	園路照明改修	1	式		53.2	
	園路音響改修	1	式		80.0	
	園路サイン	1	式		110.0	
	小計				243.2	
駐車場整備	CD駐車場改修新築	4,763	㎡	31	149.0	
	AB駐車場改修等	2,753	㎡	20	55.1	
	J駐車場改修等	2,113	㎡	30	63.4	重量車対応耐圧路盤改修
	ホテルエリア駐車場改修	2,826	㎡	30	84.8	
	駐車場外灯LED化	1	式	19,400	19.4	LED外灯
	小計				371.7	
交流拠点 オープンスペース	新規芝広場造成	6,250	㎡	25	156.3	一部周辺樹木移設
	浄化槽解体新設	360	㎡	300	108.0	
	旧エントランス緑化	1,095	㎡	39	42.9	舗装撤去植栽緑化
	新広場LED外灯	1	式	11,200	11.2	LED外灯
	小計				318.4	
陸上競技場	サブスタンド席作成	7,400	㎡	342	2,530.0	2000席屋外スタンド、便所、スタンド下一部倉庫
	現スタンド諸室改修	1,000	㎡	300	300.0	J3対応更衣室他諸室整備
	大型映像設備	1	式	1,104,600	1,104.6	大、小2台
	照明改修	1	式	700,000	700.0	照明LED化
	トラック及び芝コート改修	1	式	505,000	505.0	
	小計				5,139.6	
体育館	空調改善	1	式			調査前に付き不明
	映像分析システム	1	式		6.7	
	小計				6.7	
多目的 グラウンド	人工芝グラウンド・コート整備	9,386	㎡	17	159.6	人工芝化、ネット、照明
	ソフトボール防球ネットH= 8m	300	m	200	60.0	
	ソフトボール照明塔整備	1	式	109,000	109.0	
	ソフトボールベンチ	60	㎡	200	12.0	
	器具庫	24	㎡	150	3.6	
	小計				344.2	
スケートボードコート	ストリートコート整備	900	㎡	50	45.0	床、ネット、照明
	ストリート機器類	1	式	30,000	30.0	
	小計				75.0	
フットサルコート	人工芝コート整備 2コート	1,369	㎡	82	112.9	人工芝化、ネット、照明
	器具庫	12	㎡	150	1.8	プレファブ
	小計				114.7	
3on3コート	コート整備	838	㎡	70	58.8	コート床舗装、ネット、照明
	器具庫	12	㎡	83	1.0	プレファブ
	小計				59.8	
便益施設	バス停上屋 1か所	20	㎡	300	6.0	待合上屋
	東屋 1か所	10	㎡	500	5.0	東屋
	陸上競技場北側便所	80	㎡	800	64.0	便所
	陸上競技場南側便所便益施設	100	㎡	800	80.0	便所+ ロッカー+ シャワー
	アリーナ側新便所	50	㎡	800	40.0	便所
	新駐車場エリア待合上屋	36	㎡	400	14.4	雨除け・日陰
	既存便所2棟・東屋1棟解体	156	㎡	32	5.0	地下ビット含む
	野球場脇既存便所 改修	68	㎡	200	13.6	便所
	小計				228.0	
貯水槽及び送水ポンプ	貯水槽及び送水ポンプ配管改修	1	式			調査前に付き不明
交流拠点施設	平屋想定	1,000	㎡	800	800.0	
	小計				800.0	
基本構想	合計				7,701.3	

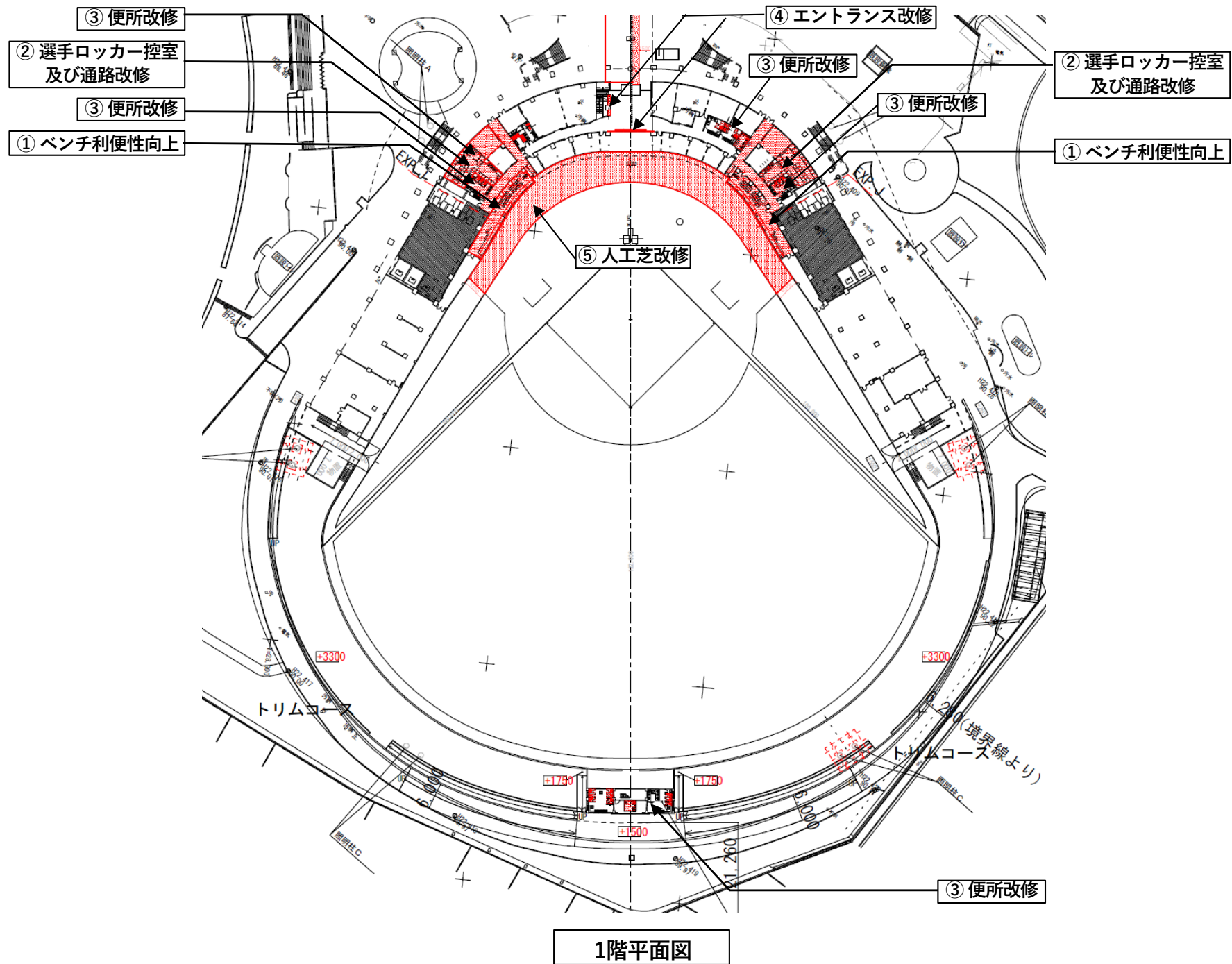
「9. 基本計画」の目次

- 野球場整備計画
- 園路整備計画
- パース
- 概算事業費
- 整備スケジュール

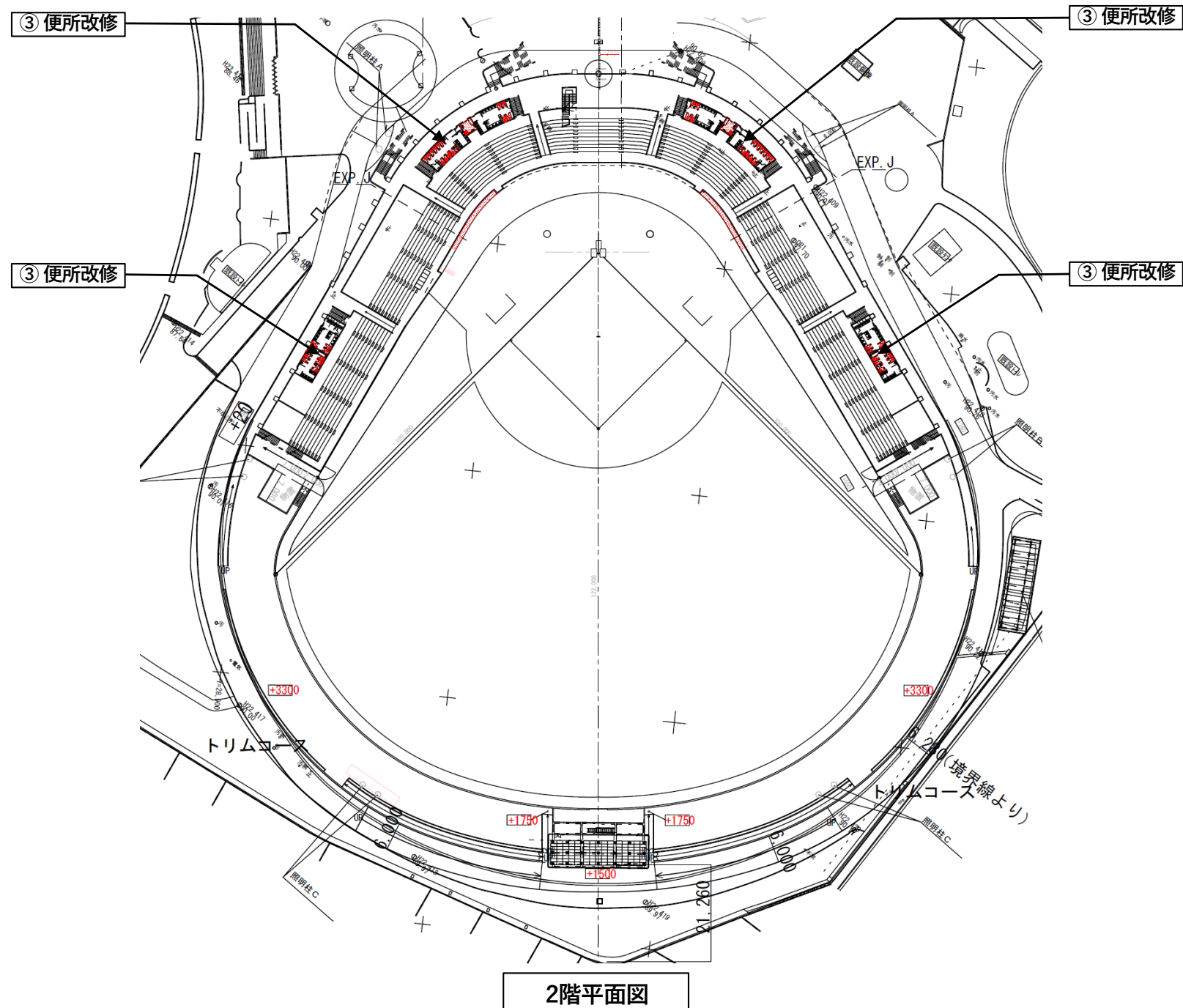
しんきんスタジアム利便性向上改修項目

番号	項目	小項目	課題	対応策
①	ベンチ利便性向上(ライト&レフト共)			
①-1		ベンチ面積拡張	ベンチが狭く選手が入りきれない。床材が劣化	カメラマンスペース側壁撤去、新規ブロック界壁作成。カメラマンスペースの半分をベンチスペースとする。床材入れ替え
①-2		手摺改修	ベンチ前手摺が低く、打球がベンチ内に入る	現況手摺撤去、+100mm UPの手摺に取り換え
①-3		オーニング庇設置	ベンチの先端部分に屋根が無く、日差し及び雨の影響を受けている	既存及び拡張ベンチの先端部分に折り畳みオーニングを設置、日差し及び雨に対応。防災、防水、遮熱、防汚、紫外線防止、性能の屋根材利用
①-4		ミスト配管設置	真夏ベンチ内の温度上昇対策が必要	ベンチ内椅子後方にミスト発生配管設置。
②	選手ロッカー控室及び通路改修(ライト&レフト共)			
②-1 A	ロッカールーム改修		選手ロッカー室が狭く、ミーティング等に支障あり。ロッカールーム内の内装改修も合わせて対応が必要。シャワー室老朽化。	(拡張A案)近接多目的空間壁撤去、半分を選手ロッカー室として拡充。中央にミーティングスペース確保。ユニットシャワールームに改変、個数も増やす。
②-1 B				(非拡張B案)ロッカーを一回り小さいものに入れ替え、配置を行い中央に小規模ミーティングスペースを確保。ユニットシャワールームに改変、個数も増やす。
②-2 A	ロッカー入れ替え		ロッカーが古く入れ替えが必要	(拡張A案)新規ロッカーに入れ替え、部屋拡張と合わせて中央にスペースを確保
②-2 B				(非拡張B案)ロッカーを一回り小さいものに入れ替え部屋は拡張せず、中央に小規模スペースを確保
②-3		廊下床改修	廊下部分の仕上げがスパイクにより劣化	当該部分床をゴムチップ等で補修、改修
③	便所改修(全館)			
③-1		便器取り換え更新	洋式便器が古く、温水洗浄便座未対応 60か所	1、2階客用及び選手用洋式便器を温水洗浄便座対応機器に取り換え
③-2		便器取り換え更新	和式便器が未改修、必要に応じて洋便器へ取り換え 11か所	1、2階客用及び選手用和式便器を温水洗浄便座対応取り換え。床改修
③-3		ベビーキーパー設置	客用便房内にベビーキーパーが未設置	客用に計10か所新規設置。サイン等更新
③-4		選手利用便所床改修	1階選手利用便所床マット劣化	1階選手利用便所床マット取り換え改修
④	野球場エントランス改修			
④-1		エントランス改修	エントランスホールの設えにエンターテイメント性が欠落	野球関連データ・物品展示棚更新、映像記録掲示モニター等設置・タペストリー、大型プリント掲示壁面等設置、内装改修
⑤	球場内人工芝改修			
⑤-1		球場内人工芝改修	球場内ホーム及び1、3塁ファールグラウンド部分の人工芝劣化	当該部分の人工芝張替
⑥	スコアボード改修			
⑥-1		スコアボード改修	スコアボードが旧型の為、各種映像演出未対応	スコアボード多目的映像システムに更新改修
⑥-2		スコアボード袖壁設置	スコアボード脇からの西日が選手に届き試合に影響を与えている	西日遮断用袖壁左右に設置
⑦	マルチアングル映像分析システム			
⑦-1		野球各種計測データ計測	スピードガンシステム老朽化。パフォーマンス支援システムが未整備	マルチアングル映像分析システム用機器設置データ提供可能にする。
⑧	音響設備改修			
⑧-1		音響設備改修	スピーカーシステム劣化及び近隣住宅地へ届く音を減ずる必要がある	防水性の高く、指向性の高い、近隣住宅地への減音につながるシステムへ改変
⑨	照明塔 改修			
⑨-1		照明塔 LED化	水銀灯等の旧システムの照明設置、LED化していない事から使用電気容量が多い、CO2排出量減へ未対応。プロ試合用の必要照明数値に達していない。周辺近隣住宅地へ照明漏れが多い。	LED化により使用電気容量減、CO2排出量減対応。プロ試合用の必要照明値対応。周辺近隣住宅地への照明漏れを減ずる。

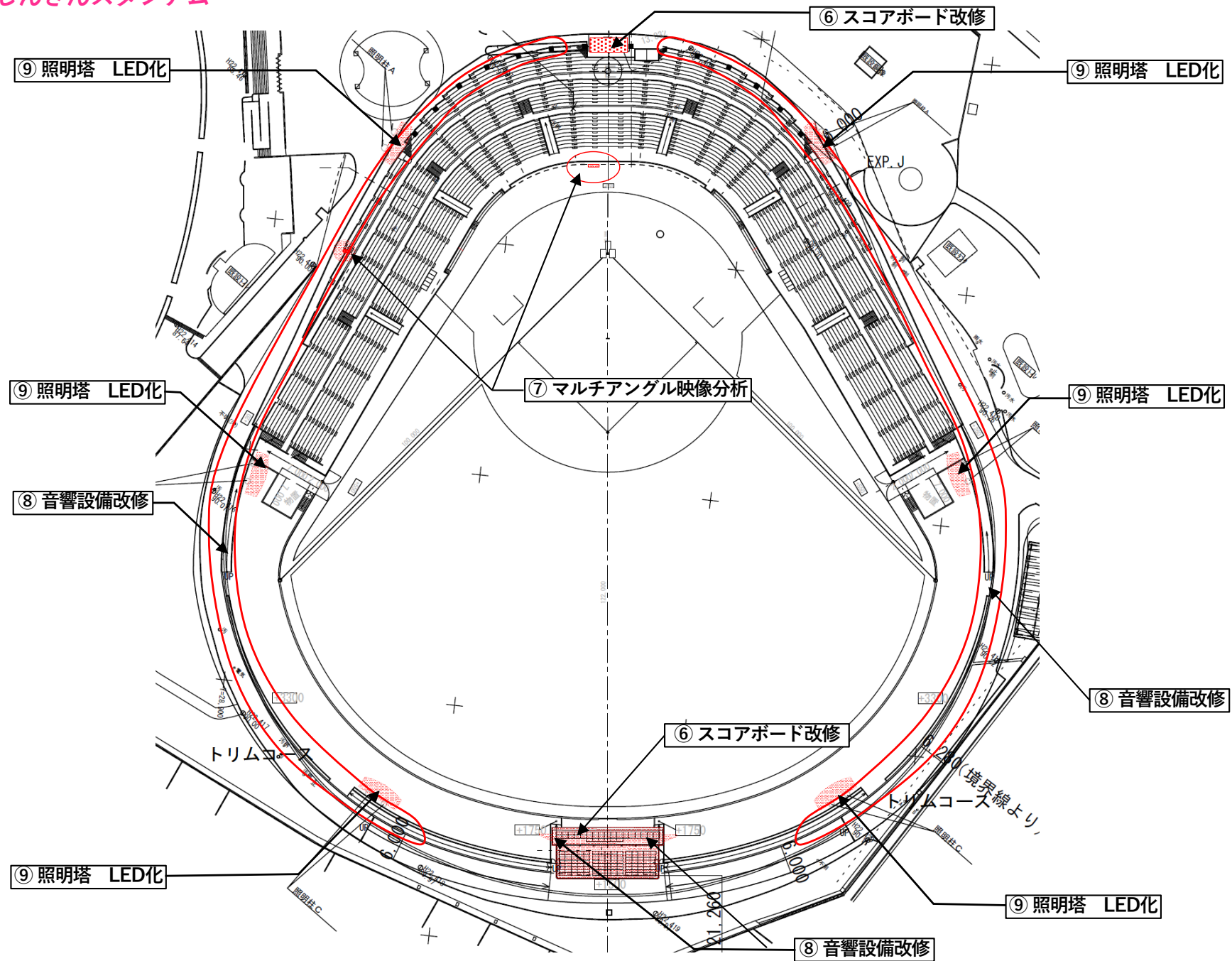
コザしんきんスタジアム



コザしんきんスタジアム

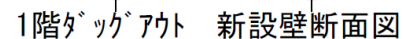


コザしんきんスタジアム



3階平面図

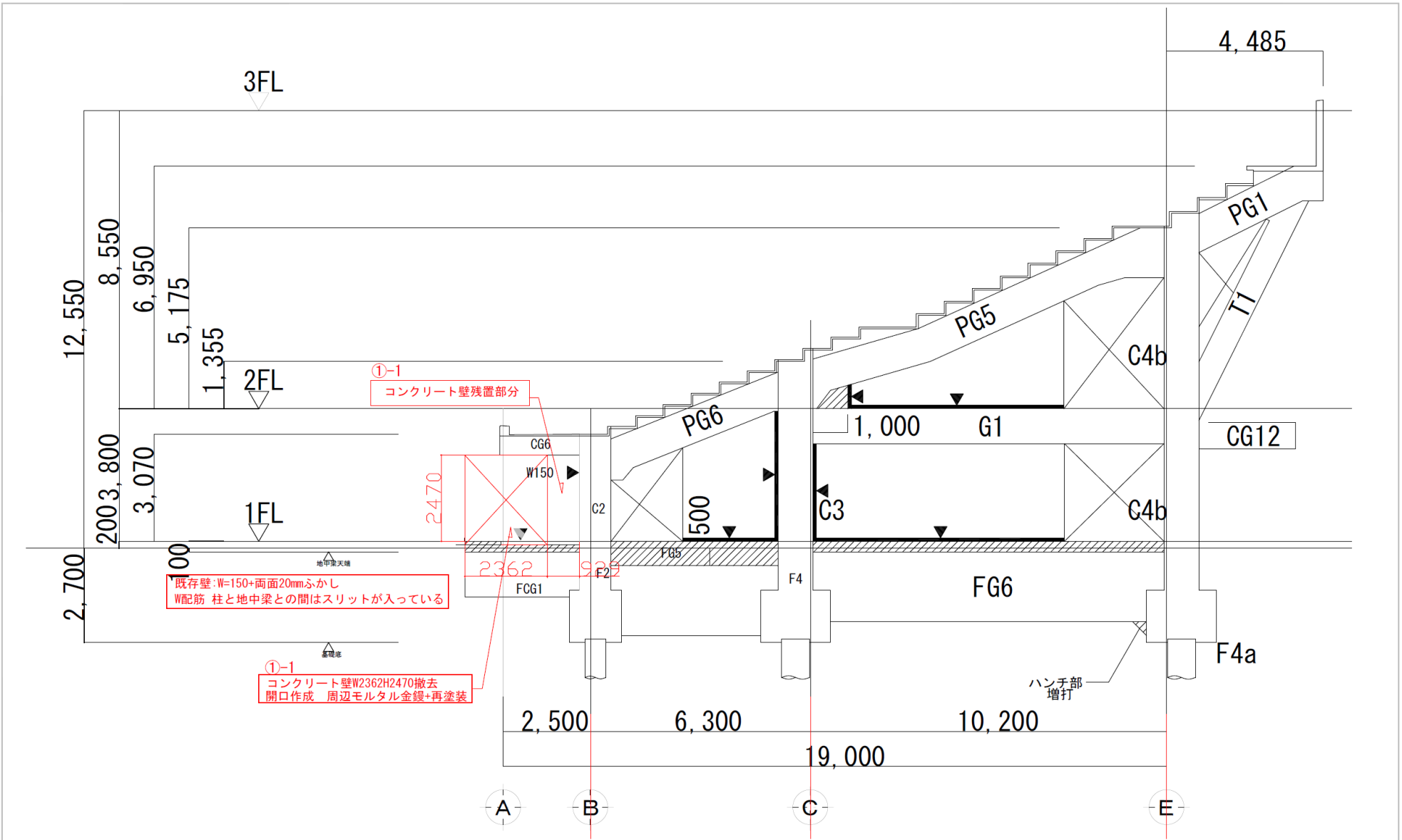
改修項目①ベンチ拡充



Dwg No:	A-08
---------	------

コザしんきんスタジアム ベンチ界壁撤去範囲 (ライト・レフト両方)

改修項目①ベンチ拡充 構造検討事項

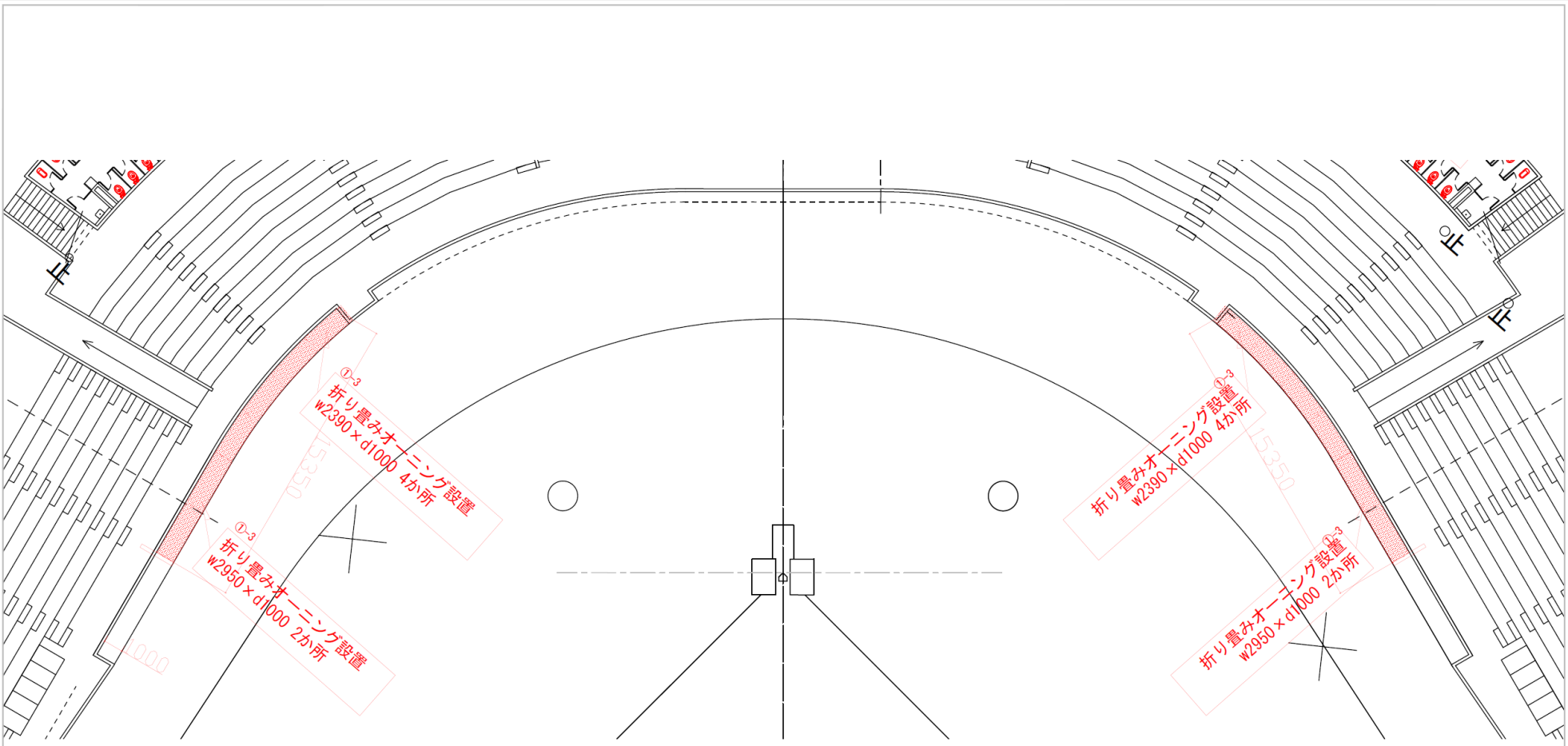


1階現況及び撤去 構造軸組面図

DESCRIPTION OF REVISIONS		設計	担当	図面	PROJECT NAME	Dwg No:
▲	設計年月日 2026.02.24				コザ運動公園再整備基本構想・基本計画策定業務	A-07
▲	変更年月日				SHEET TITLE	File No:
▲	変更年月日				野球場ベンチ構造図及び開口指示	
▲	変更年月日				SCALE : A1=1/100 A3=1/200	

ベンチ上部開閉式オーニング設置範囲

改修項目①-3 ベンチ上部オーニング設置

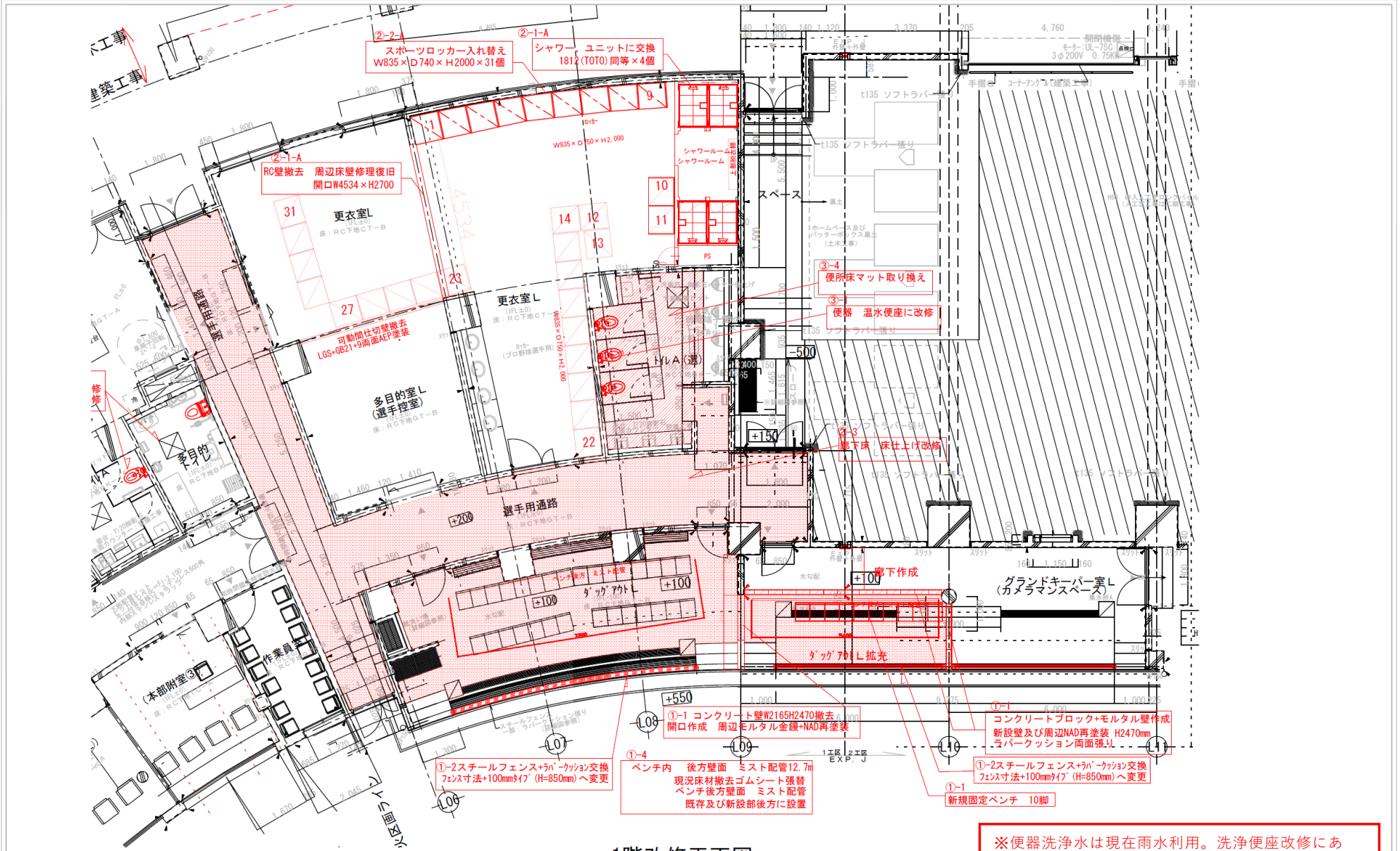


改修内容：ダックアウト上部底作成範囲

DESCRIPTION OF REVISIONS			設計	担当	図面	PROJECT NAME: コザ運動公園再整備基本構想・基本計画策定業務	Dwg No: A-13
△	設計年月日	2026.02.24					
△	変更年月日						
△	変更年月日						
△	変更年月日						
SHEET TITLE: ダックアウト上部底設置位置図						SCALE : A1=1/100 A3=1/200	File No:

コザしんきんスタジアム レフト側改修案 (多目的室一部更衣室拡充A案)

改修項目①ベンチ拡充②ロッカー室改修③便所改修



1階改修平面図

※便器洗浄水は現在雨水利用。洗浄便座改修にあたっては、給水用上水配管が各々に必要。上水給水量の増加に関して給水インフラ調査・対応が必要。

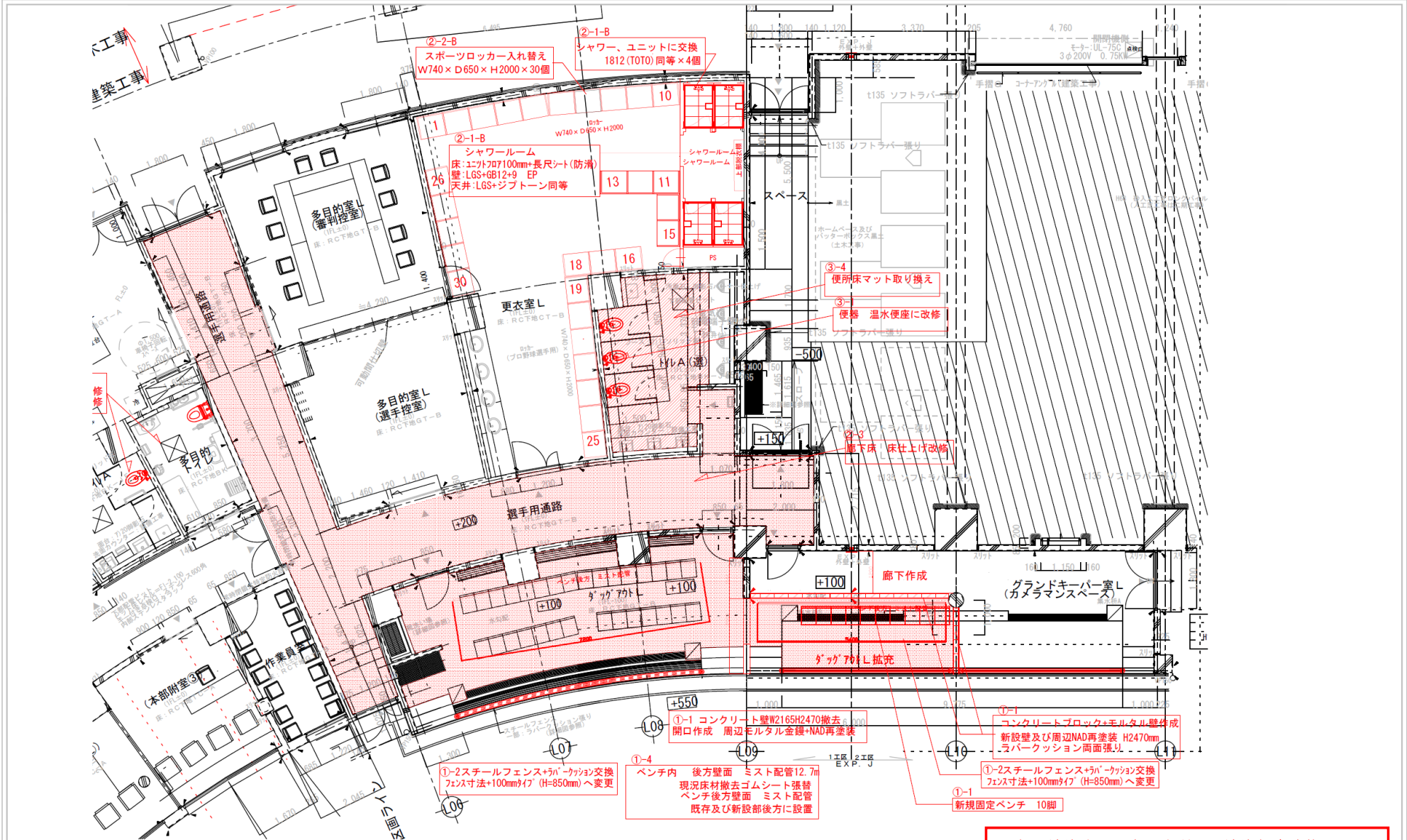
DESCRIPTION OF REVISIONS	
設計年月日	2026.02.24
変更年月日	
変更年月日	
変更年月日	
変更年月日	

PROJECT NAME:	コザ運動公園再整備基本構想・基本計画策定業務
SHEET TITLE: (隣室一体化案)	野球場1階レフトベンチ周辺 現況平面図

SCALE:	A1=1/100 A3=1/200
File No:	

コザしんきんスタジアム レフト側改修案 (更衣室非拡充B案)

改修項目①ベンチ拡充②ロッカー室改修③便所改修



1階改修平面図

※便器洗浄水は現在雨水利用。洗浄便座改修にあたっては、給水用上水配管が各々に必要。上水給水量の増加に関して給水インフラ調査・対応が必要。

DESCRIPTION OF REVISIONS	
△ 設計年月日	2026.02.24
△ 変更年月日	
△ 変更年月日	
△ 変更年月日	
△ 変更年月日	

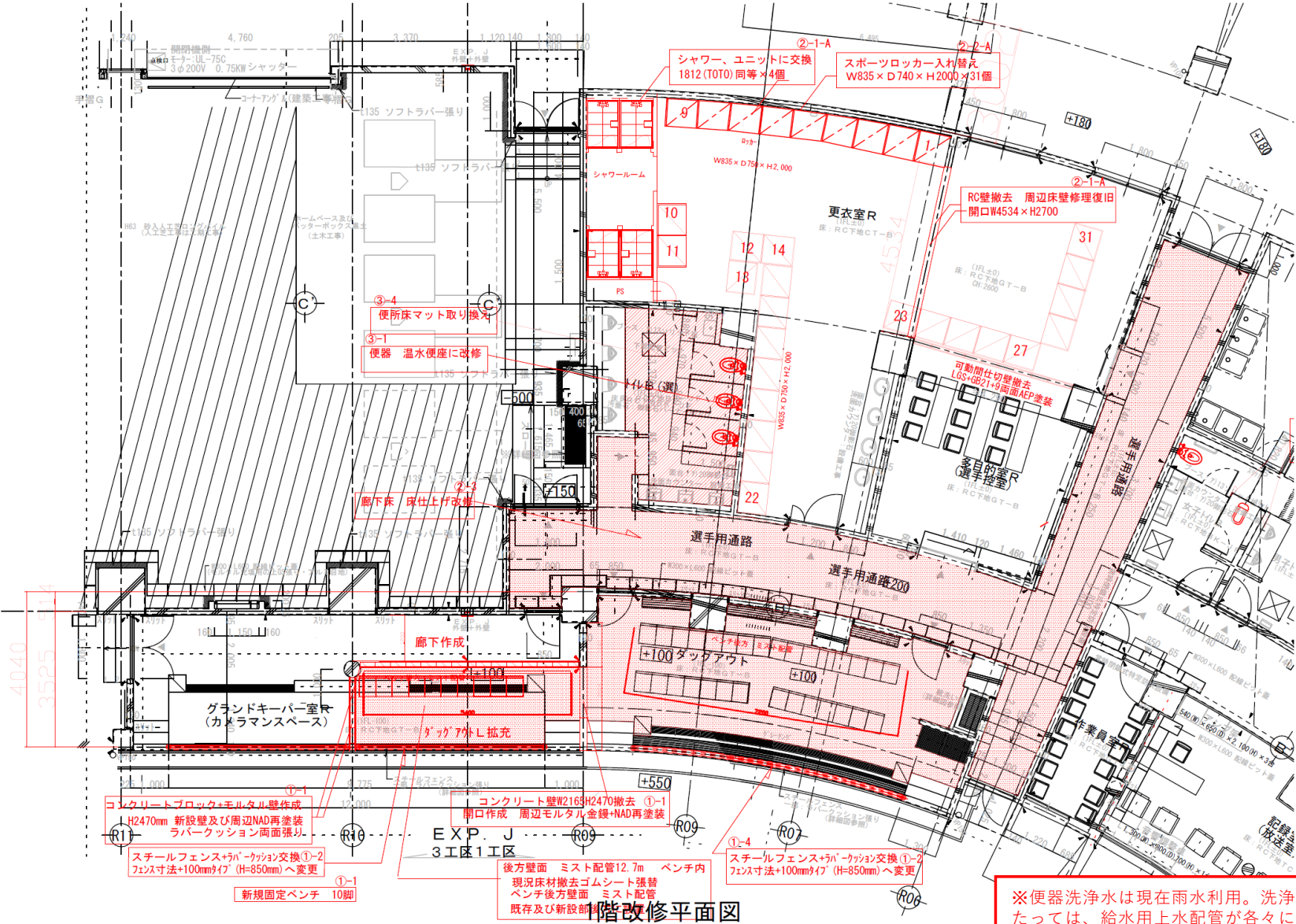
設計	担当	図面

PROJECT NAME:		Dwg No:
コザ運動公園再整備基本構想・基本計画策定業務		
SHEET TITLE (ロッカー寸法縮小案)		
野球場1階レフトベンチ周辺 現況平面図		File No:

SCALE	A1=1/100 A3=1/200	Dwg No:

コザしんきんスタジアム ライト側改修案 (多目的室一部更衣室拡充A案)

改修項目①ベンチ拡充②ロッカー室改修③便所改修



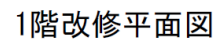
※便器洗浄水は現在雨水利用。洗浄便座改修にあたっては、給水用上水配管が各々に必要。上水給水量の増加に関して給水インフラ調査・対応が必要。

DESCRIPTION OF REVISIONS	
△	設計年月日 2026.02.24
△	変更年月日
△	変更年月日
△	変更年月日

PROJECT NAME:	コザ運動公園再整備基本構想・基本計画策定業務
SHEET TITLE:	(ロッカー隣室一体化案) 野球場1階ライトベンチ周辺 改修平面図

SCALE:	A1=1/100 A3=1/200
File No:	

改修項目①ベンチ拡充②ロッカー室改修③便所改修



※便器洗浄水は現在雨水利用。洗浄便座改修にあたっては、給水用上水配管が各々に必要。上水給水量の増加に関して給水インフラ調査・対応が必要。

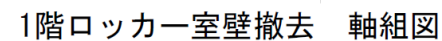
DESCRIPTION OF REVISIONS		
△	設計年月日	2026.02.24
△	変更年月日	
△	変更年月日	
△	変更年月日	
△	変更年月日	

	設計	担当	図面

PROJECT NAME : コザ運動公園再整備基本構想・基本計画策定業務
SHEET TITLE : (ロッカー寸法縮小案)
野球場1階ライトベンチ周辺 改修平面図

Dwg No:	A-03
---------	-------------

改修項目②ロッカー拡充 構造検討事項



DESCRIPTION OF REVISIONS		
△	設計年月日	2026.02.24
△	変更年月日	
△	変更年月日	
△	変更年月日	
△	変更年月日	

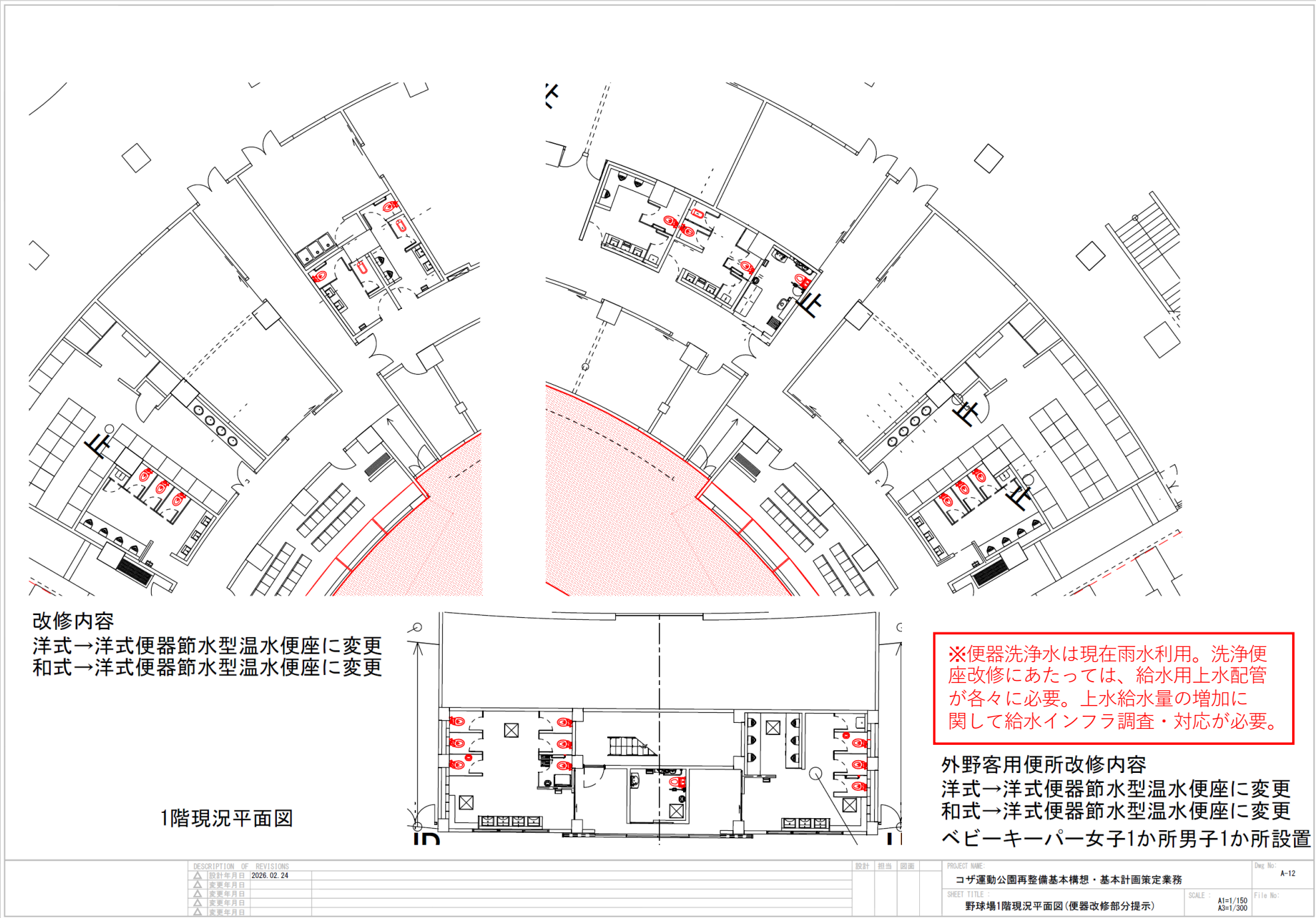
	設計	担当	図面

PROJECT NAME:	コザ運動公園再整備基本構想・基本計画策定業務
SHEET TITLE:	野球場ロッカー室 界壁撤去図

Dwg No:	A-09
SCALE :	File No:
A1=1/100 A3=1/200	

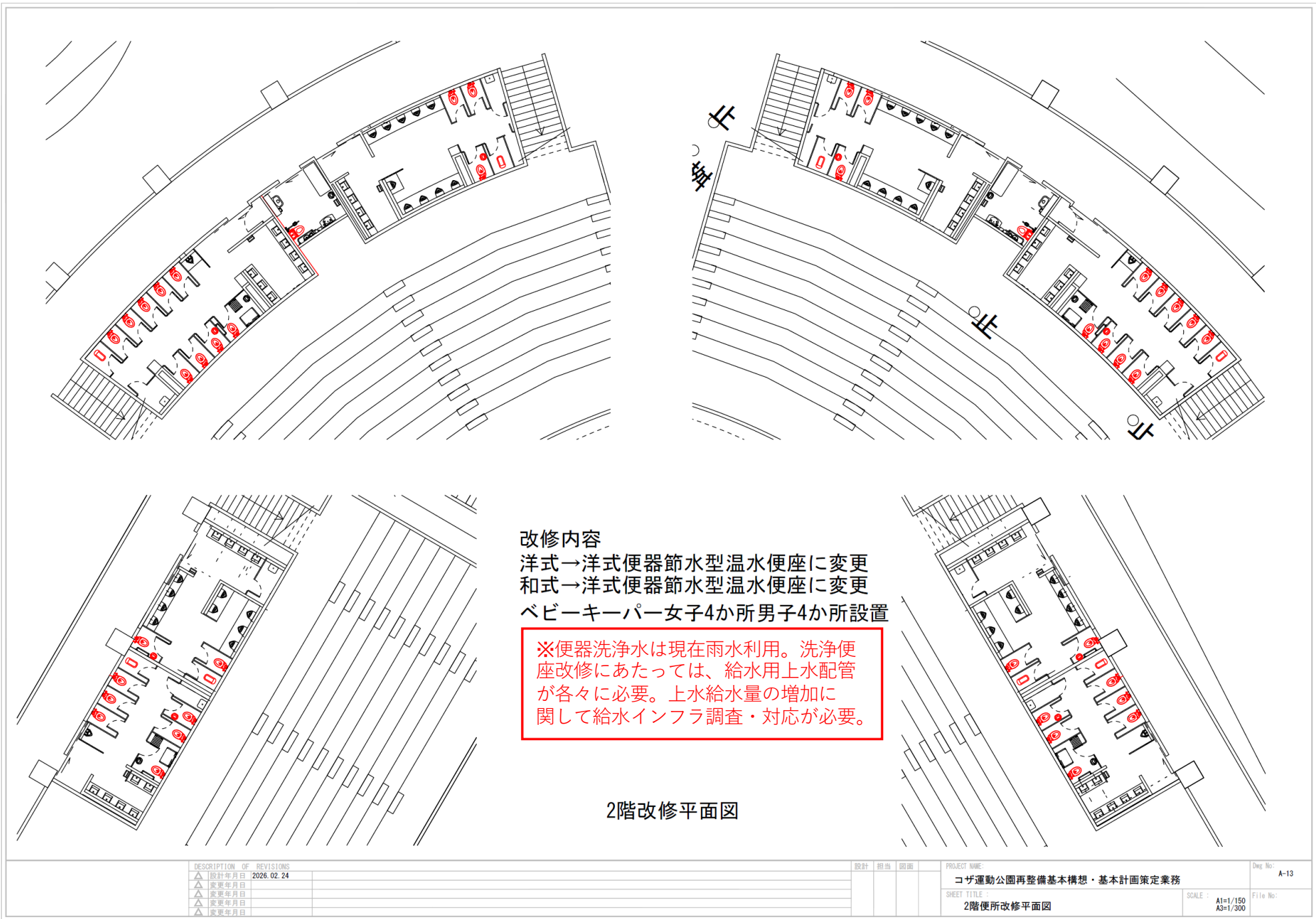
コザしんきんスタジアム 1階便所改修

改修項目③便所改修



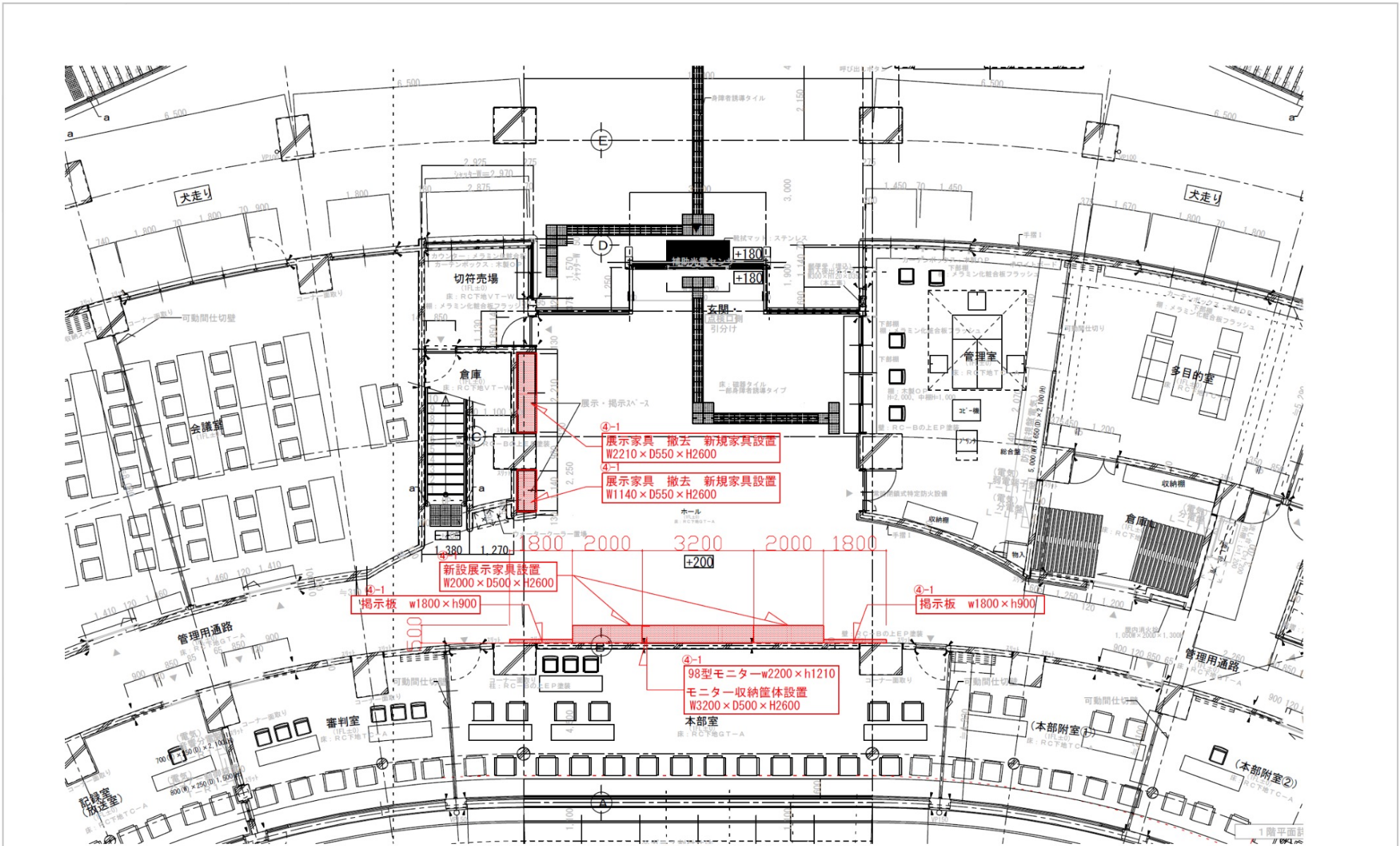
コザしんきんスタジアム 2階便所改修

改修項目③便所改修



コザしんきんスタジアム エントランス平面図

改修項目④-1エントランスホール改修

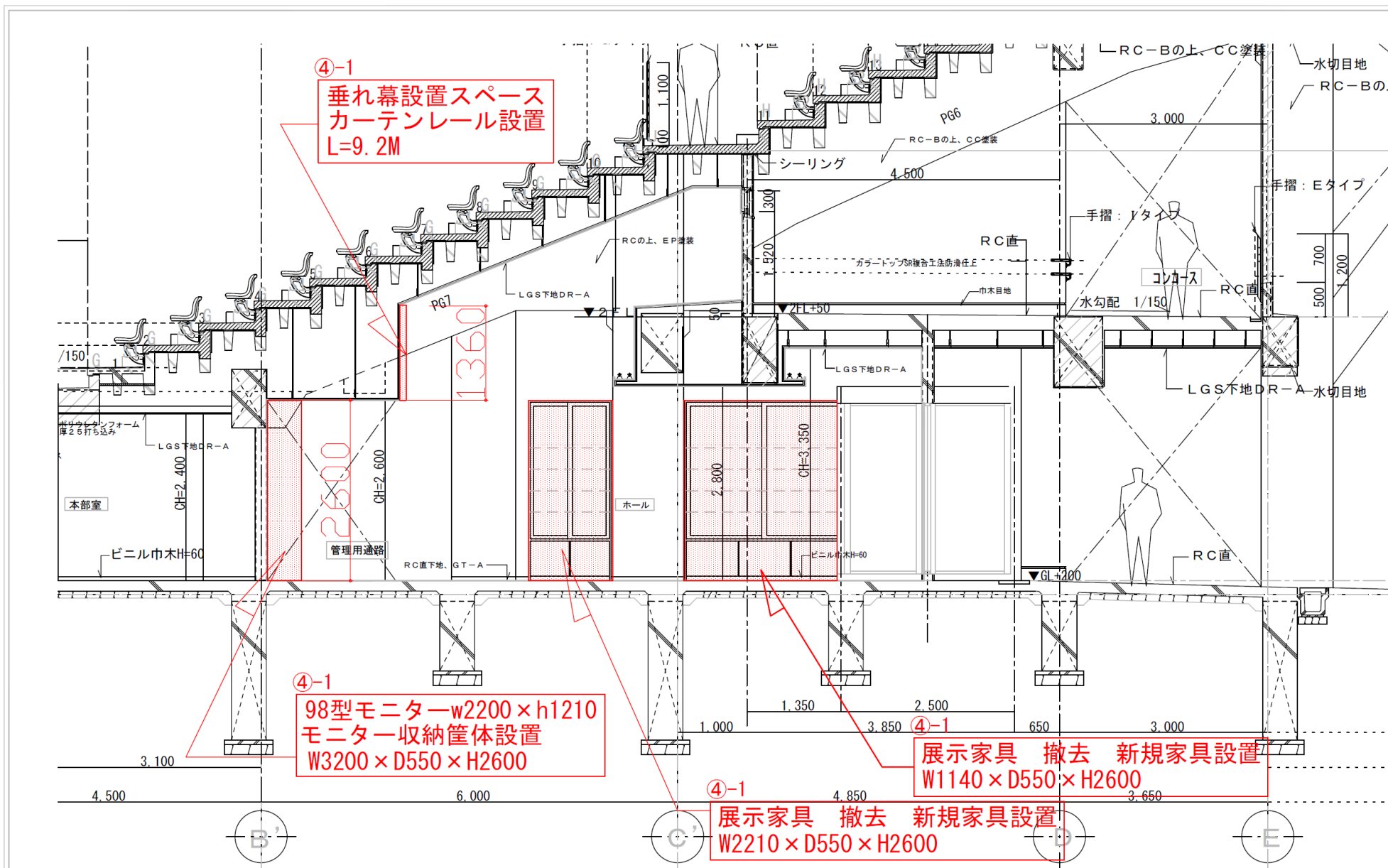


1階エントランス改修平面図

DESCRIPTION OF REVISIONS		設計	担当	図面	PROJECT NAME	Dwg No.
△	設計年月日 2026.02.24					
△	変更年月日				コザ運動公園再整備基本構想・基本計画策定業務	A-10
△	変更年月日					
△	変更年月日				SHEET TITLE	File No.
△	変更年月日					
△	変更年月日				野球場エントランス改修平面図	SCALE
△	変更年月日					
						A1=1/100 A3=1/200

コザしんきんスタジアム エントランス断面図

改修項目④-1 エントランスホール改修



1階エントランス現況断面図

DESCRIPTION OF REVISIONS	REVISIONS
▲ 設計年月日	2026.02.24
▲ 変更年月日	
▲ 変更年月日	
▲ 変更年月日	
▲ 変更年月日	

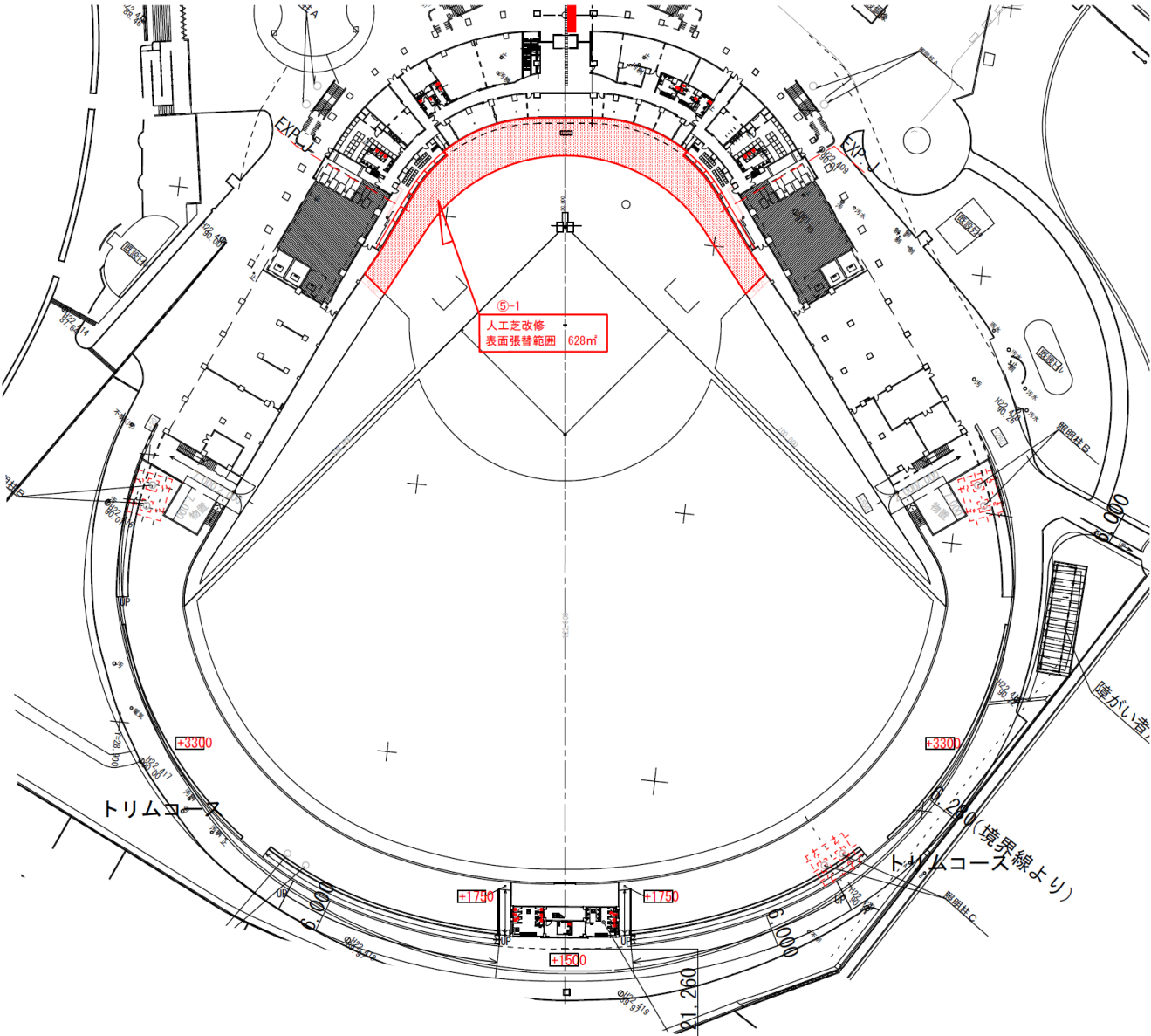
設計	担当	図面

PROJECT NAME:	コザ運動公園再整備基本構想・基本計画策定業務
SHEET TITLE:	野球場エントランス現況断面図
SCALE:	A1=1/50 A3=1/100

Dwg No:	A-11
File No:	

コザしんきんスタジアムとコザしんきんドーム間通路及びバックネット際人工芝張替範囲

改修項目⑤球場内人工芝改修



1階現況平面図

DESCRIPTION OF REVISIONS	
△	設計年月日 2026.02.24
△	変更年月日
△	変更年月日
△	変更年月日
△	変更年月日

設計 図面

PROJECT NAME:
コザ運動公園再整備基本構想・基本計画策定業務
SHEET TITLE:
野球場人工芝張替範囲

SCALE :
A1=1/800
A3=1/1600

Doc No:
A-01

File No:

スコアボード 改修

改修項目⑥スコアボード改修

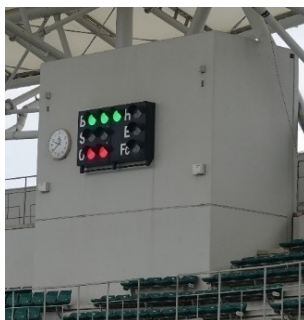
設置イメージ

課題：現状必要最小限の情報盤。老朽化及び使いづらい。

対応策：エンターテインメント化された大型ビジョンとしても利用可能なスコアボードに更新。



※現状スコアボード



※内野上部スコアボード



スコアボード 改修イメージ



※内野上部サブスコアボード 改修イメージ

スコアボード 改修

改修項目⑥スコアボード改修

外観イメージ



機器構成
フリーボード部：フルカラーLED式
BSOHEFc部：Φ310LED式
塔時計：Φ2000直流式

機器仕様（フリーボード部）

画面サイズ
フリーボード部：W16m×H5.76m
画面総面積：92.16㎡
素子仕様：高輝度フルカラーLED(SMD 3in1)
ピクセルピッチ：16mm
視認角度：水平左右160°垂直上50°下70°
電気容量：約67kVA

野球使用時

文字高さ：608mm[38pixel](チーム、得点)
576mm[36pixel](選手、審判、投球数、球速)
約176m
視認距離：416mm[26pixel](イニング)
約176m

表示例-1

■野球表示1

B

S

O

H

TIME

2:08

TEAM

東日本

西日本

一

二

三

四

五

六

七

八

九

十

R

H

E

PL1B2B3B

内 沼根

西 藤田岸

投球数

123

SPEED

145km/h

TN583DH67249P

東安石榎大海菊 剣小

日 江 楠

本達橋野田野田地 持池

HR 56

AV .389

TN849DH52376P

西佐藤鈴瀬園高千土寺徳

日々 代

本木原木戸部橋田本井井

■野球表示2

B

S

O

H

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

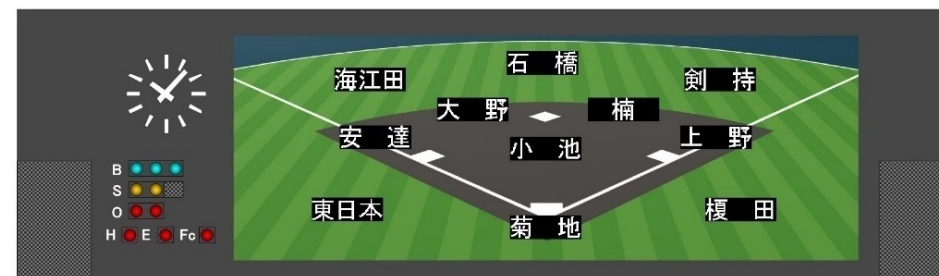
●

●

●

表示例-2

■ダイヤモンド表示

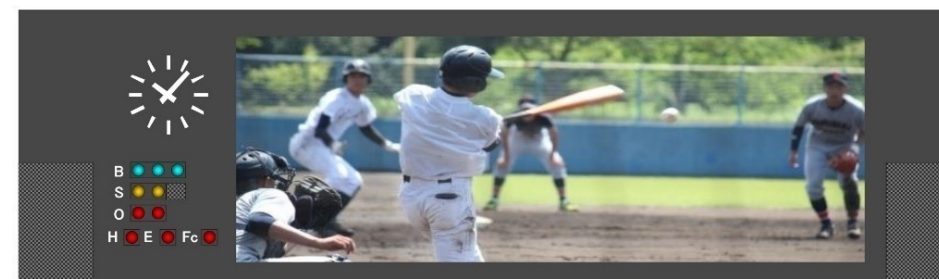


■静止画表示

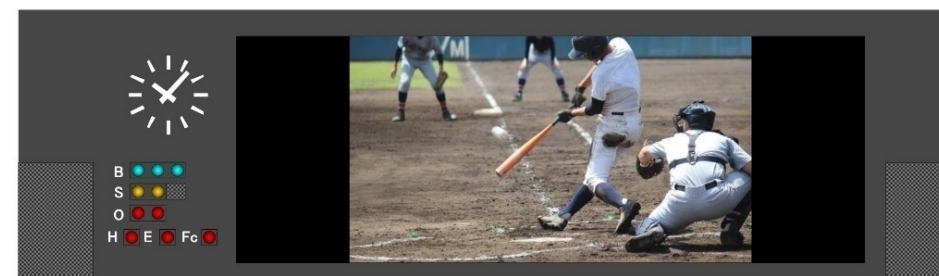


表示例-3

■映像表示(全体表示)



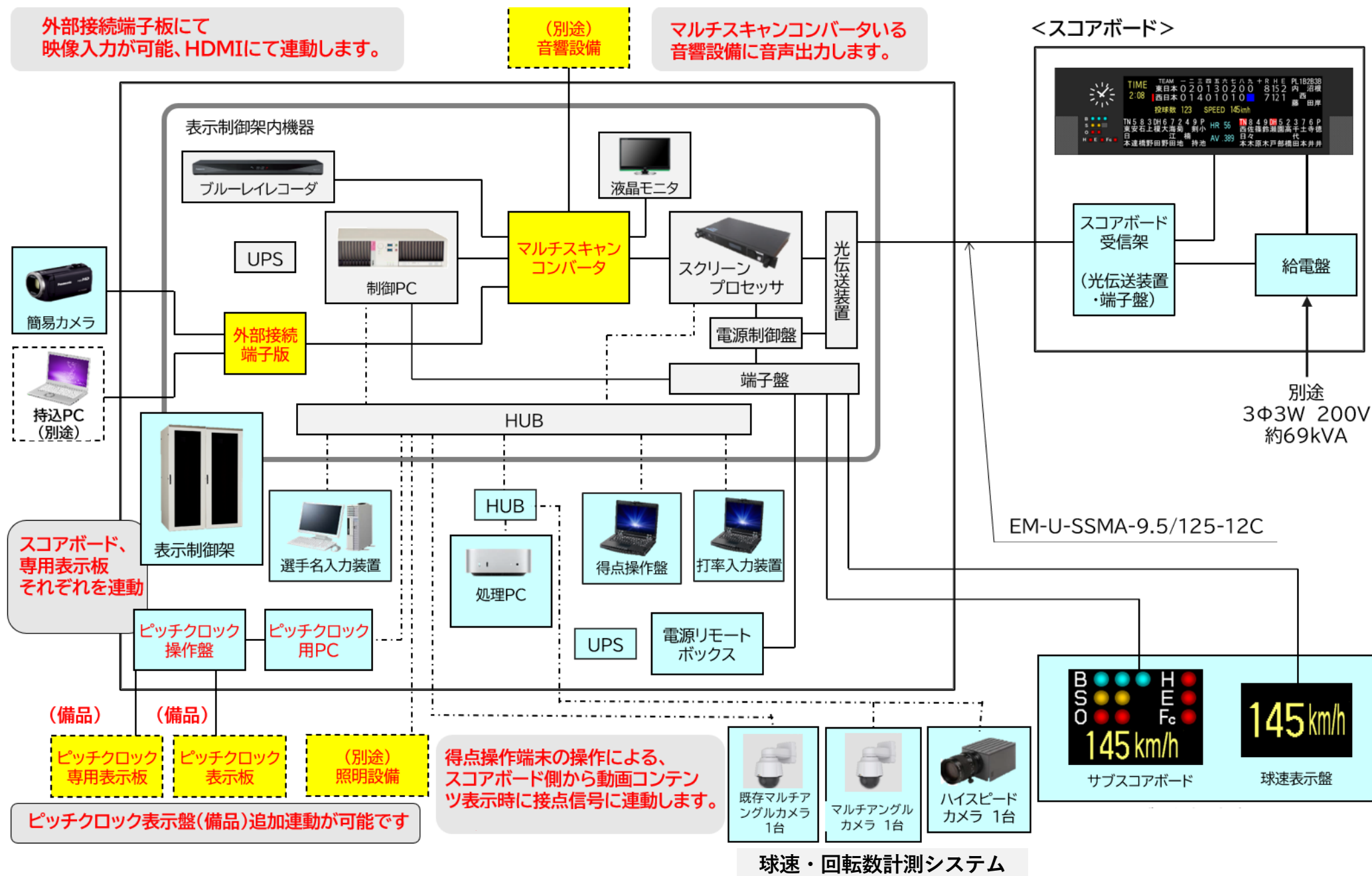
■映像表示(16:9)



スコアボード 改修

システムブロック図

改修項目⑥スコアボード改修⑦マルチアングル映像システム



スコアボード 改修

改修項目⑥スコアボード改修

フルカラーLEDシステム-特長1

表面実装型(SMD)・3イン1方式

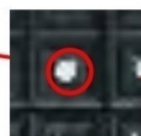
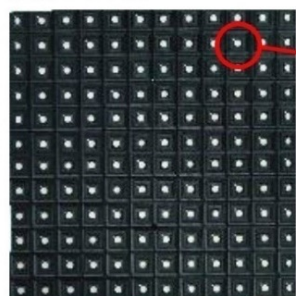
3イン1素子なので、ピクセル内のR.G.B間1mm以下の間隔、混色性が良く、至近距離でも滑らかな映像

赤、青、緑のLEDチップを1つのランプ内に実装、混色性に優れており、色分離やエッジのにじみが無く鮮明な表示

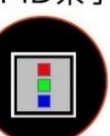
視認角度が広い、表面実装型(SMD)発光ダイオードの採用

視認角度が広いのでより多くの方からの視認が可能

表示パネル



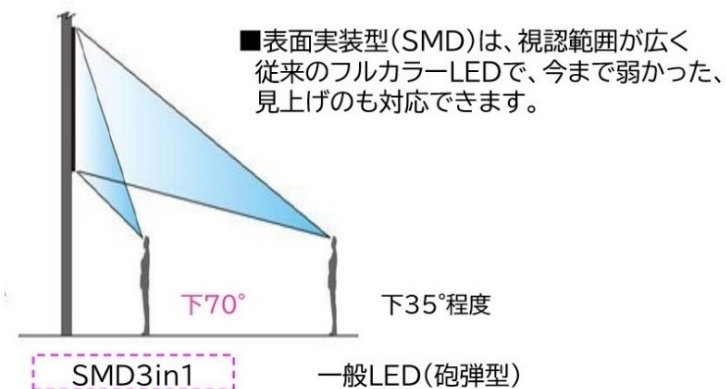
SMD素子



16mmピッチ
(ピクセルピッチ)

3in1タイプLEDランプは、
1つのLEDランプの中に
R.G.Bが全て入っています。

(SMD:Surface Mount Device 表面実装LED)



スコアボード 改修

フルカラーLEDシステム-特長2

豊かな色再現とムラのない表示を実現

広色域のLED素子で、
素材の色や質感を忠実に再現。

表示階調は65,536階調

素子輝度補正とピクセル単位の色味補正



他方式



ご提案機種



パネル単位
状態監視

エラー検出機能

○パネルの故障や温度異常の検出が、
操作室のPCにて可能です。
さらに表示ユニットの信号異常を
含めての状態監視となるため、
アラートにて通知可能です。

単体対候性仕様(裏面防水IP65)

○裏面防水なので、筐体を必要とせずに設置が可能。



表示パネル自体が
防水タイプ



電源、制御基板を一括収納している
防水コンポーネントBOX

アルミダイキャストを採用

○アルミダイキャストで軽量、精度が優れたユニット(筐体)です。



スコアボード 改修

改修項目⑥スコアボード改修

野球スコアボードシステム特長

得点操作盤

<概要機能>

- ・タッチ方式(モニター機能付)
- ・試合進行に準じた連動機能 : 打順表示、イニング送り、投球数表示(判定操作と連動)
- ・消し忘れ防止機能 : HEFc部は一定時間後自動消灯
- ・誤操作防止機能 : 操作前の状態に戻すリバースボタン
- ・クイック表示機能 : 選手名入力装置で登録した静止画や動画などをボタン一つで再生可能(100パターン)



選手名入力装置

<概要機能>

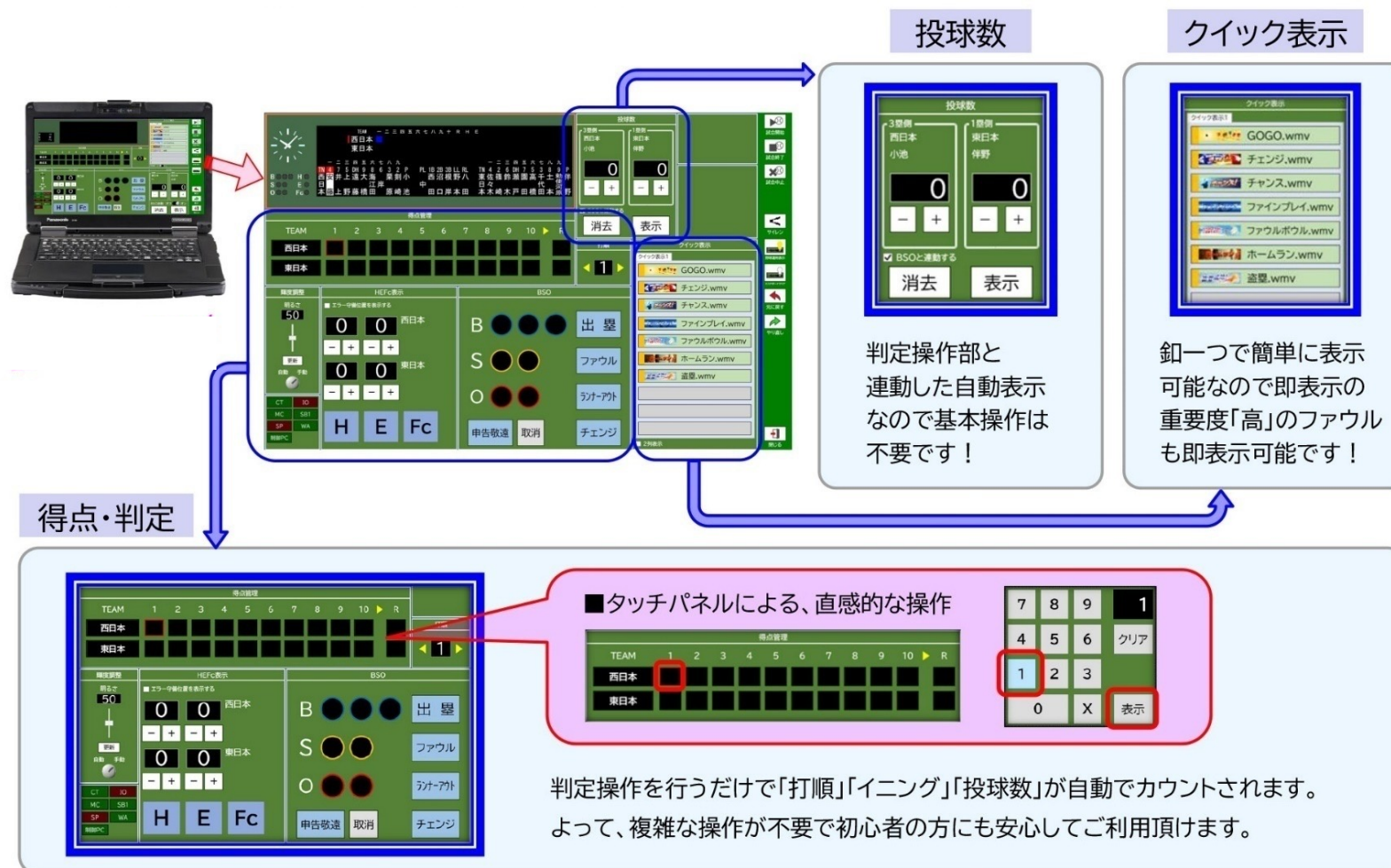
- ・グループ分けによるチーム登録が可能です。(100グループ)
- ・データ登録 : 300チーム/1グループ毎、100名/1チーム毎、審判100名/1グループ毎
- ・外部データ入力 : テキストやCSV形式のチーム・選手名データを読み込み可能
- ・メッセージ表示機能 : 全面を含む各エリアに静止画、動画や流動メッセージの表示が可能
- ・クイック表示機能 : 登録した静止画や動画などをボタン一つで再生可能(100パターン)



スコアボード 改修

改修項目⑥スコアボード改修

得点操作盤の特長



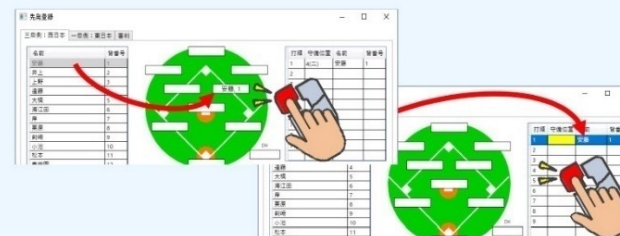
スコアボード 改修

改修項目⑥スコアボード改修

選手名入力装置の特長



登録・交代



先発及び交代操作はドラッグ＆ドロップの簡単操作！
守備位置が一目で分かるダイヤモンド機能も搭載！

ダイヤモンド表示



選手紹介時に加えて、試合中いつでも
ダイヤモンド表示が可能です。

クイック表示



得点操作盤と
併用操作が
可能です。

投球数



基本は自動です
が手動による
修正が可能です。
(得点操作盤も
同様です。)

選手紹介



選手紹介時に顔写真付きで
スコアボードに表示する機能を
搭載しています！

サブスコアボード球速表示

改修項目⑥スコアボード改修

課題：現サブスコアボードに球速表示が無い。主審後ろに球速表示盤を設置し、画面にも映したい。

サブスコアボード 改修イメージ



球速表示板 イメージ



機器仕様（フリーボード部）

画面サイズ
フリーボード部: W1.92m×H1.28m
画面総面積: 2.45㎡
素子仕様: 高輝度フルカラーLED(SMD 3in1)
ピクセルピッチ: 16mm
視認角度: 水平左右160°垂直上50°下70°
電気容量: 約1.8kVA

野球使用時

文字高さ: 320mm[20pixel](球速)
256mm[16pixel](BSO)



※内野上部サブスコアボード
改修イメージ

機器仕様（フリーボード部）

画面サイズ
フリーボード部: W0.96m×H0.64m
画面総面積: 0.61㎡
素子仕様: 高輝度フルカラーLED(SMD 3in1)
ピクセルピッチ: 16mm
視認角度: 水平左右160°垂直上50°下70°
電気容量: 約0.44kVA

野球使用時

文字高さ: 320mm[20pixel](球速)



球速表示板 設置イメージ

ピッチクロック時間表示

改修項目⑥スコアボード改修

課題：ピッチクロックのシステム表示を設置。
対応：計測は審判室にて行う。表示機器は表示遅れが無いように専用表示板を球速表示板の隣に設置。
またデータとしてスコアボードにも表示する。

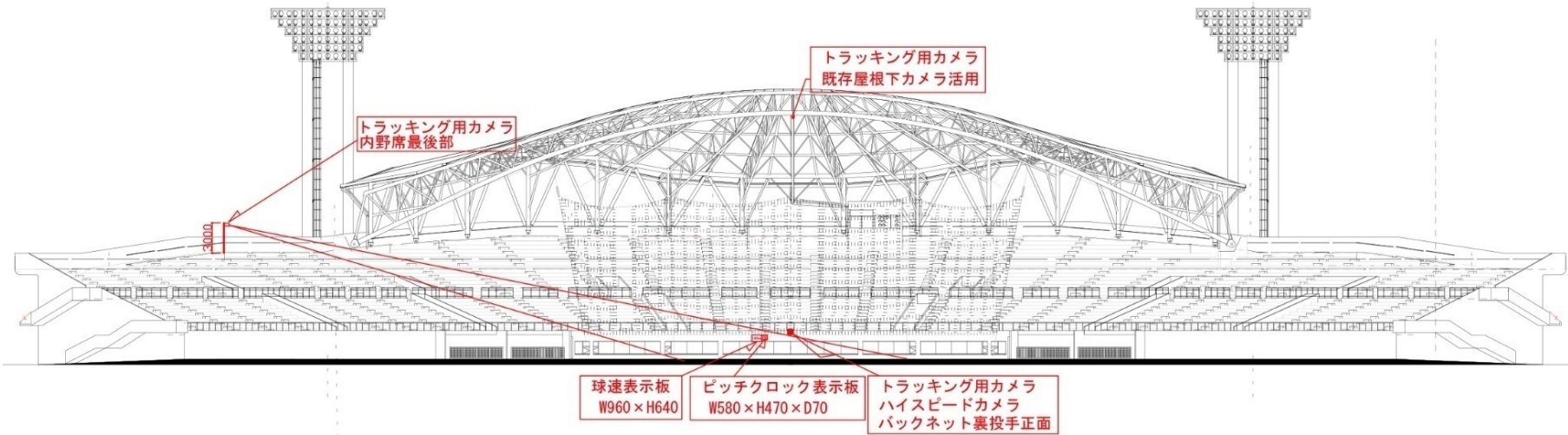
サブスコアボード 改修イメージ

- ・公益財団法人 日本野球連盟（JABA）公認品。
- ・遠くからも大きく見やすい文字高40cm。
- ・高輝度LED採用。5段階に輝度調整が可能。
- ・12秒（NO/ランナーなし）、20秒（YES/ランナーあり）のカウントダウンを、操作状況がわかる内部照明付押しボタンで直観的に切り替え。
- ・打者交代時間（30秒）のカウントダウン表示も可能。
- ・12秒と20秒を交互に繰り返し表示するサイクルモード機能搭載。
- ・カウントの秒数は任意に変更可能。（99秒まで）
- ・操作盤は2台の表示盤と接続が可能。表示盤は複数連動できるため、各現場の状況に合わせて拡張が可能。

狭い目出しの下でも簡単にカウント。
大きい表示で見やすく、取り扱いやすい
セイコーのピッチクロック。



サイズ	表示盤：約 W580×H470×D70mm（ハンドル含まず） 操作盤：約 W186×H73×D182mm
文字高	400mm
表示	高輝度LED 橙色 7セグメント 2桁
輝度	4,000cd/㎡以上（正面、初期値、最大設定、信号ケーブル50m使用時）
視野角度	水平±30度
輝度調整	5段階
質量	表示盤：約 5.0kg 操作盤：約 1.1kg 信号ケーブル（50m）：約 2.5kg 電源ケーブル（5m）付アダプタ：約 0.7kg
電源	表示盤：操作盤 BT-4010Pより給電 操作盤：AC100V～240V、50/60Hz（KT-ADP01を使用）
材質	表示盤：アルミ製 黒色粉体塗装 操作盤：鋼板製 黒グレー色粉体塗装
使用環境	表示盤：0℃～50℃ 屋外防塵防滴型（IP52相当、ただし霜害不可）、 操作盤：0℃～40℃ 屋内型
設置方法	表示盤：底面固定 M6ボルト×4ヵ所、側面固定 M8ボルト× 左右各2ヵ所



ピッチクロック時間表示

改修項目⑥スコアボード改修

ピッチクロック

操作器1つでスコアボード、専用表示板それぞれを連動する。

プッシュボタン式操作盤

- ランナーなし 1 2 秒(NO)、ランナーあり20秒(YES)を選択。
- 投球時間の秒数は任意に変更可能（99秒まで）。
- 表示タイムのON/OFF切り替え機能付き。
- 打者交代時間（30秒）のカウントダウン表示の機能搭載。



ピッチクロック
操作盤

※判定操作室に設置

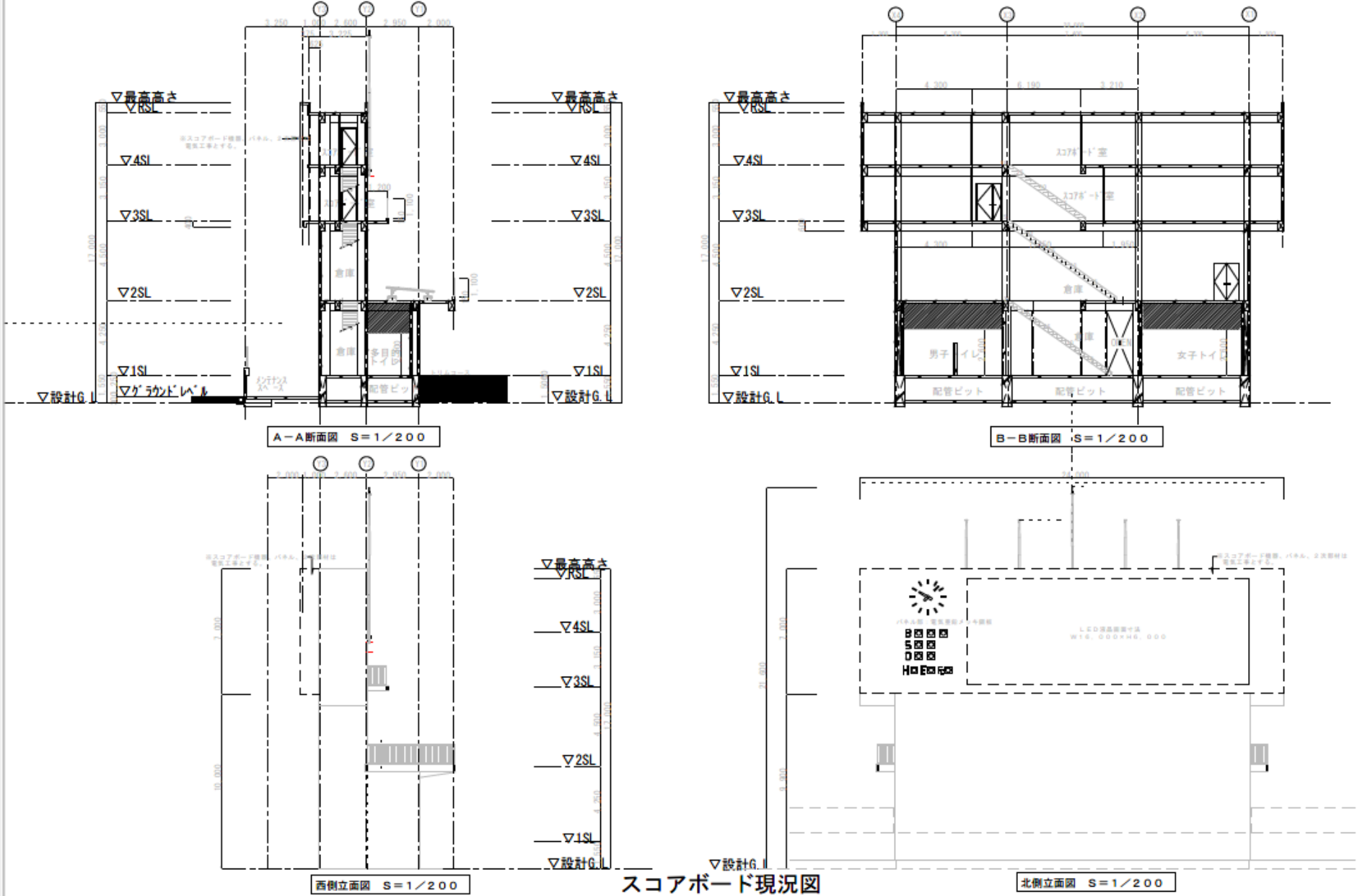
スコアボード



(備品) ピッチクロック専用表示板

※判定操作室に設置

コザしんきんスタジアム スコアボード現況図 改修項目⑥スコアボード改修



DESCRIPTION OF REVISIONS	
△	設計者 2025.10.03
△	設計者 2025.10.03
△	設計者 2025.10.03
△	設計者 2025.10.03

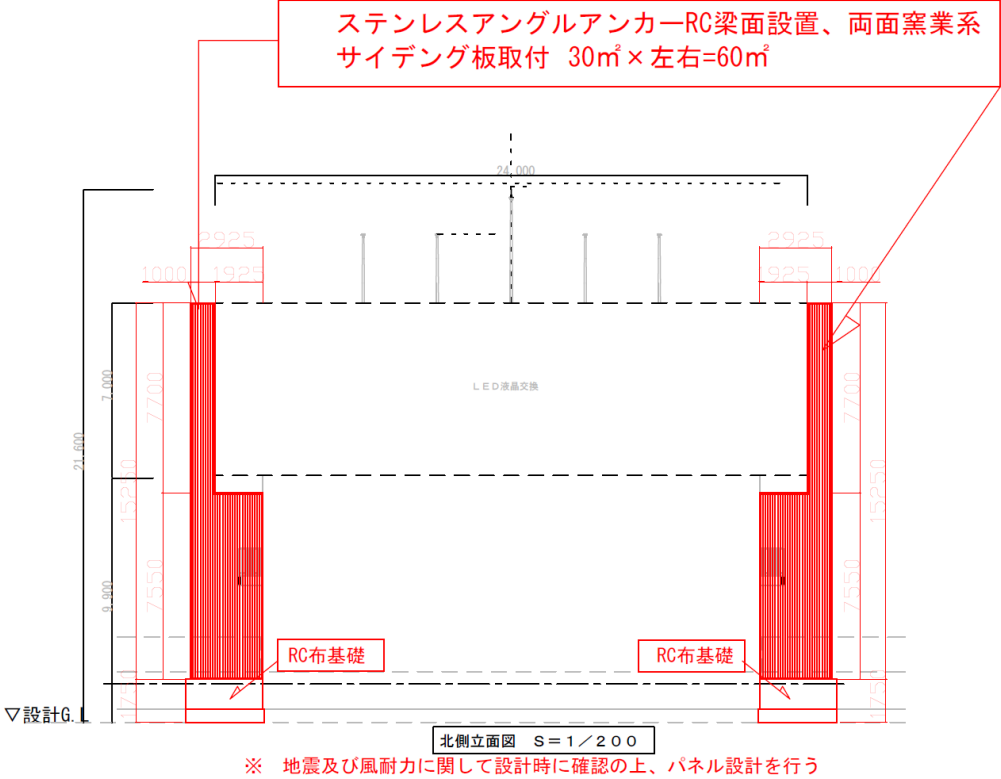
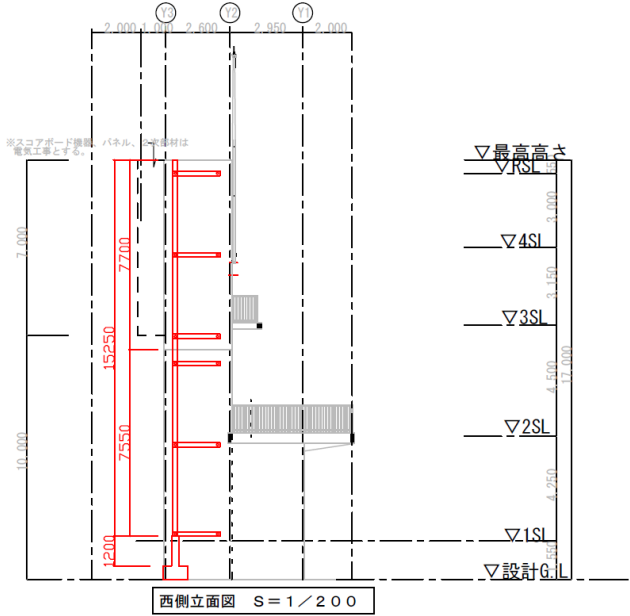
設計	備考	図面

PROJECT NAME: コザ運動公園再整備基本構想・基本計画策定業務	SCALE: A1=1/200 A3=1/400
SHEET TITLE: 野球場スコアボード 現況図	File No:

Fig No: A-01

コザしんきんスタジアム スコアボード側壁作成図

改修項目⑥スコアボード改修



スコアボード両側パネル設置図

DESCRIPTION OF REVISIONS	
△ 1 設計年月日	2026.02.17
△ 2 変更年月日	
△ 3 変更年月日	
△ 4 変更年月日	
△ 5 変更年月日	

設計	担当	図面

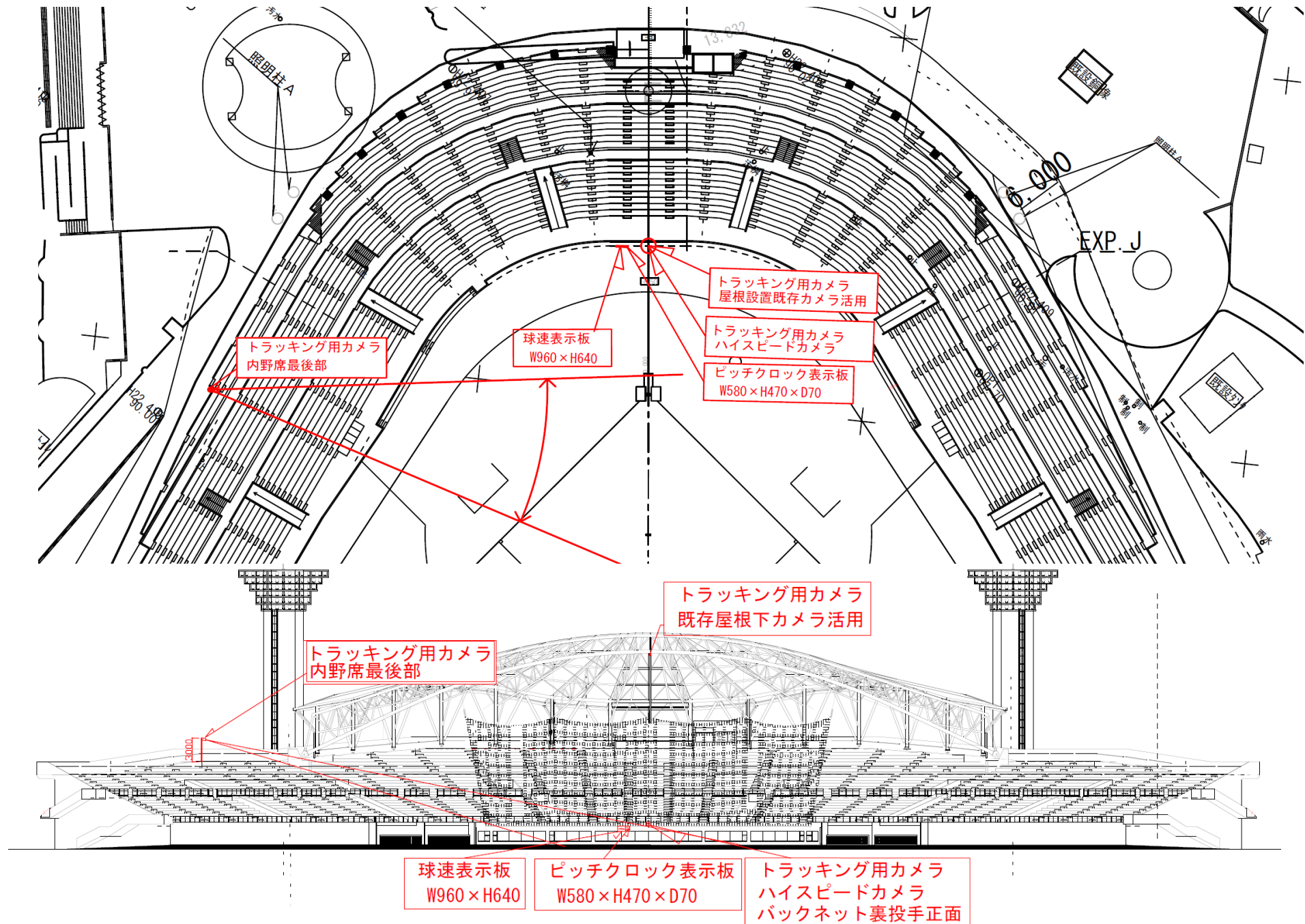
PROJECT NAME:	コザ運動公園再整備基本構想・基本計画策定業務
SHEET TITLE:	野球場スコアボード パネル設置図

SCALE:	A1=1/200 A3=1/400
--------	----------------------

Dwg No:	A-02
File No:	

BBマルチアングルシステム

改修項目⑦野球各種計測データ計測 A案



BBマルチアングルシステム

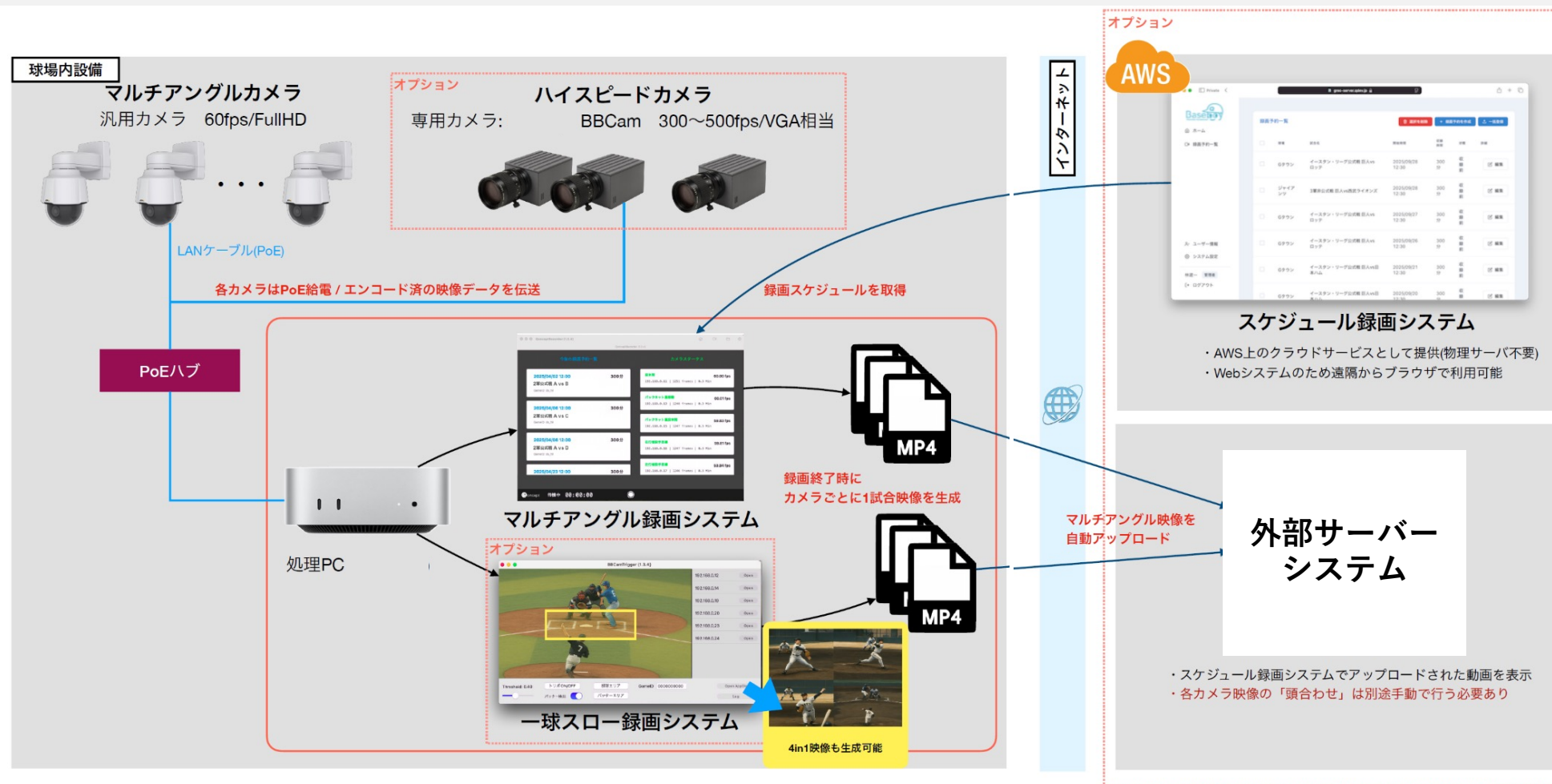
改修項目⑦野球各種計測データ計測

課題：球場のスピードガンはドップラー測定方式等昔のタイプで且つ老朽化している。

対応策:マルチアングルカメラによる高度な映像から測定する方法に変更する。オプションとしてハイスピードカメラによる映像分析システムにより映像から各種運動パフォーマンスを解析して、結果を打者、投手等に提示できる。

システム構成

- ・マルチアングルカメラをネットワーク経由で処理PCと接続。
- ・「スケジュール録画システム」に登録されている試合スケジュールを元に「マルチアングル録画システム」が映像を自動録画(手動録画も可能)。
- ・ハイスピードカメラも利用する場合は「一球スロー録画システム」が1球切り映像を自動録画。
- ・録画された映像はストレージに保存され、必要に応じて「外部サーバーシステム」へ自動アップロード。



BBマルチアングルシステム

改修項目⑦野球各種計測データ計測

機材構成

- ・主たる機材はカメラと処理PCのみ。
- ・カメラがPoE対応であれば配線は1本で済み非常にシンプル。
- ・ノーマルカメラはNDIベースであれば自由に選定可能。

高速処理

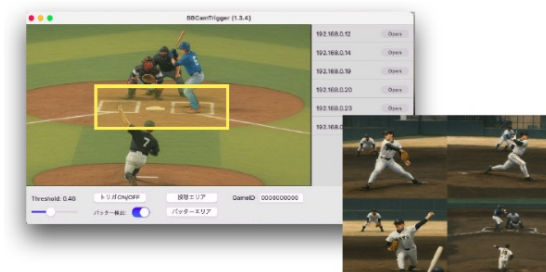
- ・独自処理によりリアルタイムエンコード処理を実現。
- ・映像収録後に改めてエンコードを行う必要がなく、すぐに動画確認が可能。

録画予約と自動アップロード

- ・「スケジュール録画システム」により録画予約が可能。
- ・録画終了時に「外部サーバーシステム」へ自動アップロード。

ハイスピードカメラによる一球切り映像の収録

- ・独自開発のハイスピードカメラを利用し、トリガー信号から映像ダウンロードまでをわずか数秒で実現。
- ・独自の画像処理技術で投球を自動検出 → 一球切りのスロー映像を生成。
- ・4つのカメラ映像を1枚の映像に自動加工 (4in1映像)。
- ・各投球映像をつなぎ合わせて1試合分の映像に自動編集 (投球の間間は自動で黒塗り映像で補完)。



機材スペック

※参考イメージ

ノーマルカメラ



- ・32倍光学ズーム、PTZ可、PoE給電対応
- ・屋外ハウジング付
- ・60fps / FullHD



- ・光学20倍ズーム、PoE給電対応
- ・設置しやすく映像が鮮明
- ・60fps / FullHD

ハイスピードカメラ



- ・レンズ交換式(Cマウント)、PoE給電対応
- ・max500fps / VGA相当

処理PC



映像データの保存について
1カメラ 1試合あたりのデータ量: 約12GB

音響システム

改修項目⑧音響システム改修

課題：球場の外野側は住宅地が近接している事から、音響的に住宅地へ音が漏れにくいシステムに改修。

対応策:スピーカーを指向性の高い機種にする。指向性が高いので台数を増やし、届けたい方向へ向けたシステムとする。

音響性能目標 最大音圧：90dB以上（バックスタンド中央近辺） 音圧分布
偏差：偏差10dB以内（内野・外野観客席）
スピーカーシステム＜集中＋分散方式＞

- ・バックスタンド側にもスピーカーシステムを追加配置し、スコアボード内スピーカーとバックスタンドスピーカーによる集中分散方式でスピーカーシステムを構成。以下の効果を得る。
- ・分散スピーカーを配置する事により、音圧分布を均一にしやすいため音量を絞ることができ、近隣住宅への騒音対策となる。
- ・正面スピーカー等、指向性が高いスピーカーを設置して、音の広がりを防ぎ、更に遠距離、近距離を分けることにより、範囲外へ音が流れる事を軽減し、狙ったエリアでの音圧の確保を可能にする。
- ・部分的放送を可能とし、多様な用途に対応可能。
- ・拡声用（ハイインピーダンス）を採用せず、音響用（ローインピーダンス）を採用。音質だけでなく、ラップスピーカー等の拡声器で、発生するような金属音的な雑音をさける事が可能。

スピーカー設置イメージ図



設置イメージです。音響設計後、目的や音圧の配置等にてレイアウトが変更となります。

- ①防水規格（IPX5）スピーカー
正面遠距離カバー用、
正面近距離カバー用、
客席遠距離カバー用、
客席近距離カバー用、低域用スピーカー
- ②全天候型（BOSE基準）
客席遠距離カバー用
分散配置 スピーカー システム

※住宅地への騒音、防水、塩害対策、建物の形状を考慮した設計を設計フェーズで検討が必要。

音響システム

改修項目⑧音響システム改修

スコアボード内スピーカーシステム 1 式（10台想定） ※参考イメージ				
正面遠距離カバー用 LR各1台	2WAYスピーカー 最大音圧レベル134db (連続)	指向特性 水平30°、垂直20°	インピーダンス8Ω	
正面近距離カバー用 LR各1台	2WAYスピーカー 最大音圧レベル129db (連続)	指向特性 水平40°、垂直40°	インピーダンス8Ω	
客席遠距離カバー用 LR各1台	2WAYスピーカー 最大音圧レベル126db (連続)	指向特性 水平90°、垂直70°	インピーダンス8Ω	
客席近距離カバー用 LR各1台	スピーカー(8ドライバ) 最大音圧レベル116db (連続)	指向特性 水平120°、垂直100°	インピーダンス8Ω	
低域用スピーカー LR各1台	サブウーハー 最大音圧レベル117db (連続)	無指向	インピーダンス8Ω	
バックスタンド等設置 スピーカーシステム				
分散配置 スピーカーシステム 計16台	スピーカー(4ドライバ) 最大音圧レベル113db (連続)	指向特性 水平120°、垂直60°	インピーダンス8Ω	

屋外照明 LED化

改修項目⑨照明塔改修

課題：プロ野球照明基準に合わせた整備を行う。
省エネ及びCO2削減の上から照明器具のLED化の検討を行う。

1 照明範囲

照明範囲は、フェンス又はスタンドで囲まれた野球のために使用される競技面全体（全運動競技面：TA）とする。

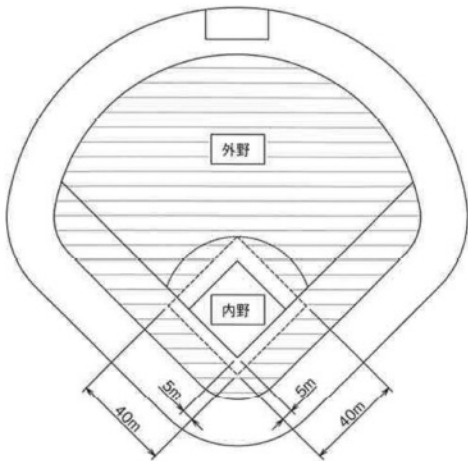


図1.2.1 標準的な照明範囲（基準面）

内野の範囲は、ファウルラインの外側5[m]から外野方向へ40[m]（ソフトボールの場合は30[m]）をとったダイヤモンドを含む正方形内とする。

外野の範囲は、全運動競技面（TA）より内野を除いた範囲とし、バックネット周りの内野残部と呼ばれる部分についても競技が外野と同等とみなせるため、外野に含んで考える。

又、プロ野球ではバッテリー間の照明範囲をピッチャーマウンドとホームベース間を含む29[m]×10[m]の範囲とする（図1.2.2参照）。

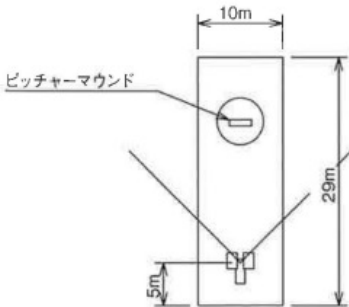


図1.2.2 バッテリー間の照明範囲

2 照明要件

照明要件は、運動競技の区分ごとに表1.2.1に示す値とする。

表1.2.1 JISによる照明要件

競技種目	照明範囲	運動競技 の 区分	推奨照度 (E _m) [lx]	照度均斉度 (U ₀) (最小/平均)	グレア 制限値 (G _{RL})	平均演色 評価数 (Ra)	計算間隔 [m]	測定間隔 [m]	基準面の 高さ		
硬式野球	内 野	I (注1)	1000	0.7	50	60	5×5	5×5	地表面		
		II (注2)	750	0.6	50	60					
		III (注3)	500	0.5	55	-					
	外 野	I (注1)	750	0.5	50	60		10×10			
		II (注2)	500	0.5	50	60					
		III (注3)	300	0.3	55	-					
軟式野球	内 野	I (注1)	750	0.6	50	60		5×5		5×5	地表面
		II (注2)	500	0.5	50	60					
		III (注3)	300	0.5	55	-					
	外 野	I (注1)	500	0.5	50	60	10×10				
		II (注2)	300	0.5	50	60					
		III (注3)	200	0.3	55	-					

(注1) 観客のいる国際、国内、地域全体又は特定地域における最高水準の運動競技会。最高水準のトレーニング。
(注2) 観客のいる地域全体又は特定地域における一般的な運動競技会。高水準のトレーニング。
(注3) 観客のいない特定地域の運動競技会、学校体育又はレクリエーション活動。一般のトレーニング。

JIS Z 9127参照

現行JIS基準では、海外の例に倣って照明要件の値が旧基準より全面的に改められ、特にプロ野球については、照明要件より除外された。このため、本マニュアルではプロ野球の照明要件を国内の事例や基準等より定め、表1.2.2に推奨値として示す。

表1.2.2 プロ野球の照明要件

運動競技の区分	照明範囲	推奨照度 (E _m) [lx]	照度均斉度 (U ₀) (最小/平均)	グレア制限値 (G _{RL})	平均演色評価数 (Ra)	計算間隔 [m]	測定間隔 [m]	基準面の高さ
プロ野球	バッテリー間	2500	-	50	60	5×5	5×5	地表面
	内野	2000	0.7	50	60			
	外野	1500	0.5	50	60		10×10	

本マニュアル推奨値

競技面の平均照度は内野と外野が同じレベルであることが理想であるが、上記の照明要件では内外野でのボールのスピードや飛球の頻度に考慮して、内野と外野の照度に差を設けている。良質な競技環境を得るには、内野から外野への照度変化を滑らかにする必要がある。

上記及びその他の照明要件の設定にあたっては、「8 照明要件の重要性の目安」を参照の上決定する。

表1.2.3に旧基準の値を示す。

※スポーツ照明の設計マニュアル

「公益財団法人 日本体育施設協会 スポーツ照明部会」より抜粋

屋外照明 LED化

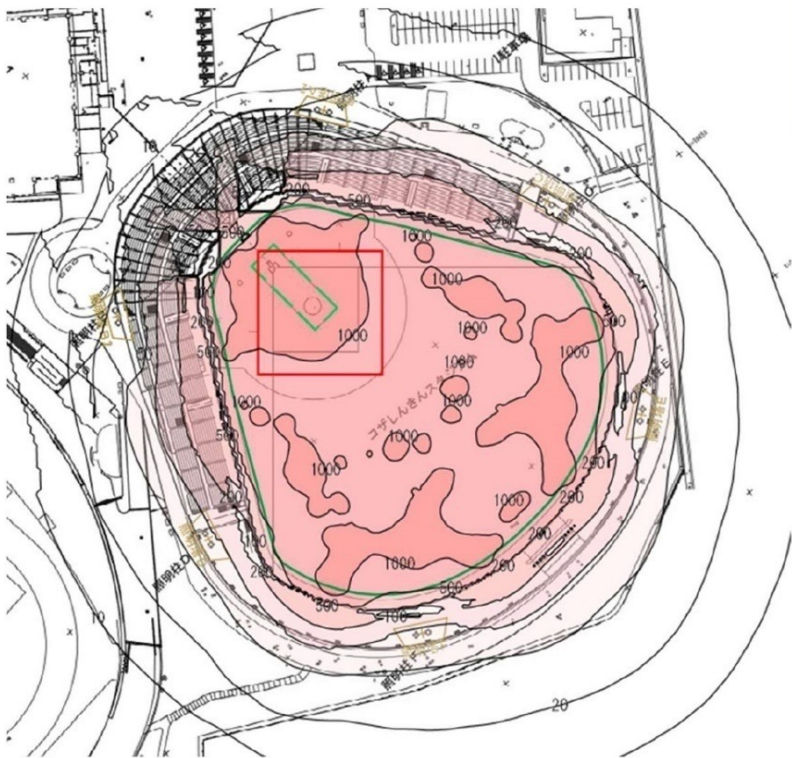
改修項目⑨照明塔改修

照明提案-A

課題：現状プロ野球規定照度に足りていない。現況は硬式野球公式競技レベル。

現設計図に基づき、作成した現状照度分布図

水平面照度



※上記照度分布図はメインスタンド屋根による遮光および、外野フェンスによる遮光を考慮しております。

HID投光器 計356台

内野/基：MT1500×34台+NH940×24台=58台
外野/基：MT1500×38台+NH940×22台=60台

内野：平均1000lx以上 均斉度0.7以上
外野：平均750lx以上 均斉度0.5以上

器具品番	【想定】既設照明	【想定】既設照明	【想定】既設照明
器具種類	MT1500W 狭角	NH940W 中角	MT1500W 中角
ランプ	MT1500B/BH-SCM*1	NH940. L*1	MT1500B/BH-SCM*1
全光束	154,000 lm	138,000 lm	154,000 lm
保守率	0.68	0.81	0.68
器具コード	#K0120842	#K0120843	#K0119077
取付高さ	32.3 m	32.3 m	32.3 m
取付台数	200 台	140 台	16 台

エリア	バッテリー	内野	外野
平均照度	1574 lx	1227 lx	954 lx
最小照度	1083 lx	902 lx	69 lx
最大照度	1963 lx	1963 lx	1528 lx
最小／平均	0.688	0.735	0.072
最小／最大	0.551	0.459	0.045

屋外照明 LED化

改修項目⑨照明塔改修

照明提案-A

課題：現状プロ野球規照度に足りていない。他、空間照度、グレア規制等のプロ野球基準と提案値一覧。

クラス			条件			
			平均照度	均斉度	グレア規制	演色性
プロ野球	基準	水平面	バッテリー間:2500 lx以上	内野:0.7以上	50以下	Ra80以上
			内野:2000 lx以上	外野:0.5以上		
			外野:1000 lx以上	最小照度/最大照度:0.5以上		
		空間照度	内野:1000 lx以上	最小照度/最大照度:0.3以上		
			外野:700lx以上			
	設計値	水平面	バッテリー間:2517 lx 内野:2126 lx 外野:1511 lx	内野:0.744 (最小/最大:0.510) 外野:0.786 (最小/最大:0.519)	内野:50 外野:49	Ra80
		空間照度	内野:1318 lx 外野:842 lx	内野:0.837 (最小/最大:0.636) 外野:0.572 (最小/最大:0.379)		

屋外照明 LED化

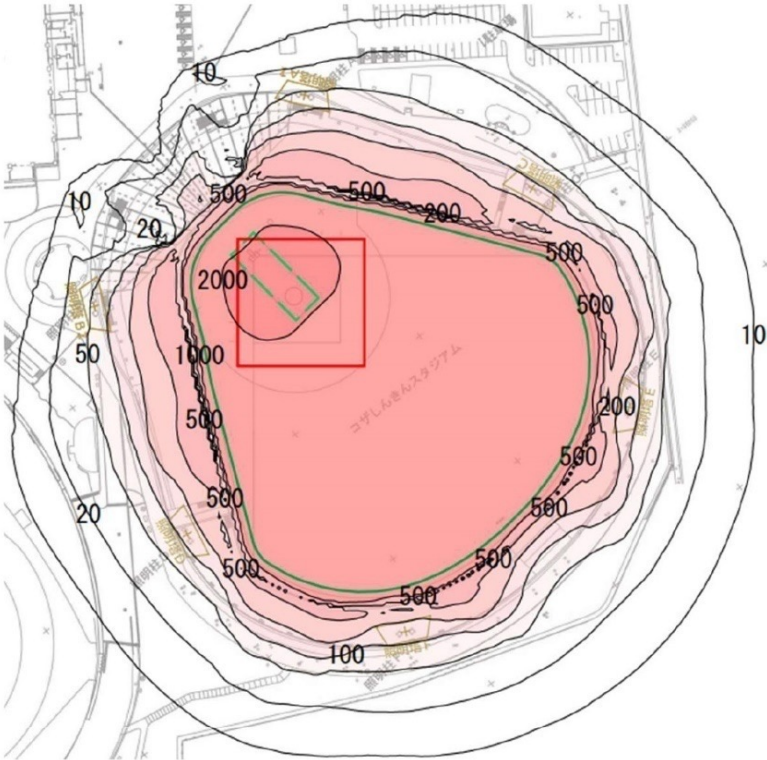
改修項目⑨照明塔改修

照明提案-A

改修：現状プロ野球規定
バッテリー間 平均照度2,500lx以上
内野 平均照度2,000lx以上
外野 平均照度1,500lx以上

他、均斉度の規定にも合致させる。

水平面照度



※上記照度分布図はメインスタンド屋根による遮光および、
外野フェンスによる遮光を考慮しております。
※高精度なシミュレーションが必要となるため、
実施設計時に測量業務を実施お願いします。

LED投光器 計344台（既設比△12台）
内野/基：58台×2基（既設同台数）
外野/基：57台×4基（既設△3×4基）

バッテリー間：平均2500lx以上
内野：平均2000lx以上 均斉度0.7以上
最小照度/最大照度 0.5以上
外野：平均1500lx以上 均斉度0.5以上
最小照度/最大照度 0.5以上

	バッテリー間	内野	外野	外野	外野
器具品番	NYS32737K+NYK43026	NYS32737K+NYK43026	NYS32727K+NYK43026	NYS33627K+前面ガード	NYS33667K+前面ガード
器具種類	グラウンドビームER 狭角	グラウンドビームER 中角	グラウンドビームER 中狭角	アウルビームER 中狭角	アウルビームER 中角
ランプ	LED5700_85_94500	LED5700_85_106600	LED5700_85_102700	LED5700_85_78000	LED5700_85_78000
全光束	94,500 lm	106,600 lm	102,700 lm	78,000 lm	78,000 lm
保守率	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9
器具コード	K0186362	K0185731	K0185653	#K0188688	#K0188690
取付高さ	31.5~33.9 m	29.9~33.9 m	29.9~33.9 m	31.5~33.9 m	29.9~31.5 m
取付台数	156 台	24 台	20 台	64 台	80 台

エリア	バッテリー	内野	外野
平均照度	2517 lx	2126 lx	1511 lx
最小照度	1936 lx	1581 lx	1189 lx
最大照度	3102 lx	3102 lx	2333 lx
最小／平均	0.769	0.744	0.786
最小／最大	0.624	0.510	0.509

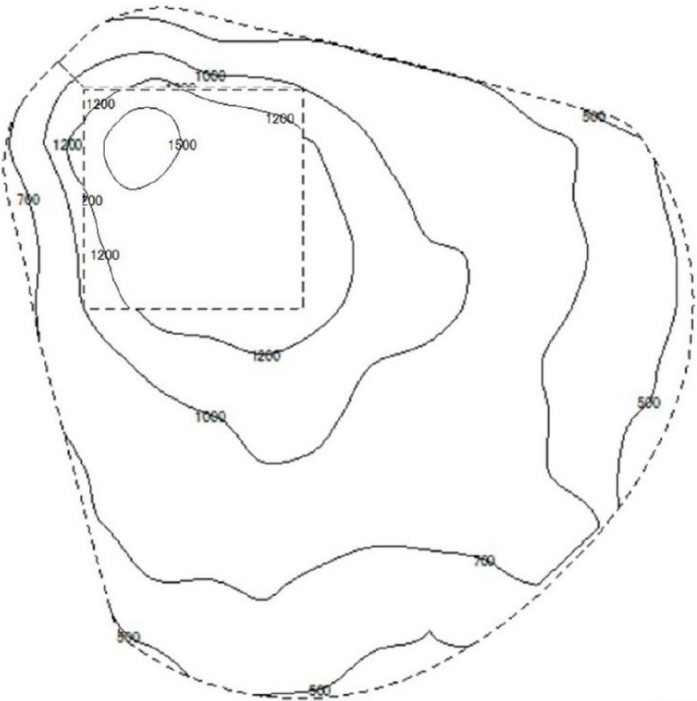
屋外照明 LED化

改修項目⑨照明塔改修

照明提案-A

改修：現状プロ野球規定 内野 空間照度 平均 1,318Lx>1,000Lx 最小/最大0.636 >0.3 OK
外野 空間照度 平均 842Lx>700Lx 最小/最大0.379 >0.3 OK

空間照度



LED投光器 計344台 (既設比△12台)
内野/基：58台×2基 (既設同台数)
外野/基：57台×4基 (既設△3×4基)

内野：平均1000lx以上
最小照度/最大照度 0.3以上
外野：平均700lx以上
最小照度/最大照度 0.3以上

	→	→	→	→	→
器具品番	NYSH32717K+NYK43026	NYSH32737K+NYK43026	NYSH32727K+NYK43026	NYSH3627K+前面ガード	NYSH3667K+前面ガード
器具種類	グラウンドビームER 狭角	グラウンドビームER 中角	グラウンドビームER 中狭角	アウルビームER 中狭角	アウルビームER 中角
ランプ	LED5700_85_94500	LED5700_85_106600	LED5700_85_102700	LED5700_85_78000	LED5700_85_78000
全光束	94,500 lm	106,600 lm	102,700 lm	78,000 lm	78,000 lm
保守率	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9
器具コード	K0186362	K0185731	K0185653	#K0188688	#K0188690
取付高さ	31.5～33.9 m	29.9～33.9 m	29.9～33.9 m	31.5～33.9 m	29.9～31.5 m
取付台数	156 台	24 台	20 台	64 台	80 台

area	平均(lx)	最小(lx)	最大(lx)	最小/最大	最小/平均
内野	1318	1103	1735	0.636	0.837
≥1000lx・・・OK					
≥0.3・・・OK					
area	平均(lx)	最小(lx)	最大(lx)	最小/最大	最小/平均
外野	842	482	1272	0.379	0.572
≥700lx・・・OK					
≥0.3・・・OK					

※上記照度分布図はメインスタンド屋根による遮光および、
外野フェンスによる遮光を考慮しております。
※高精度なシミュレーションが必要となるため、
実施設計時に測量業務を実施お願いします。

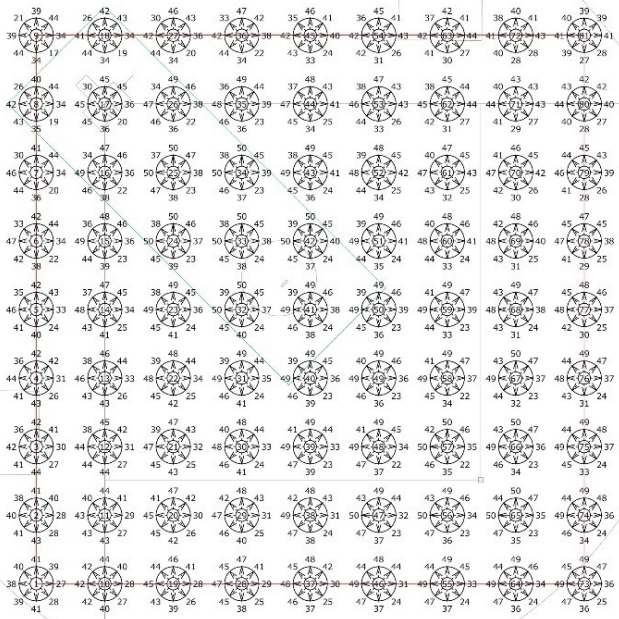
屋外照明 LED化

改修項目⑨照明塔改修

照明提案-A

改修：現状プロ野球規定 グレアレーティングの検討 GR 平均50以下に抑える。
内野 平均GR50≦50 OK
外野 平均GR49≦50 OK

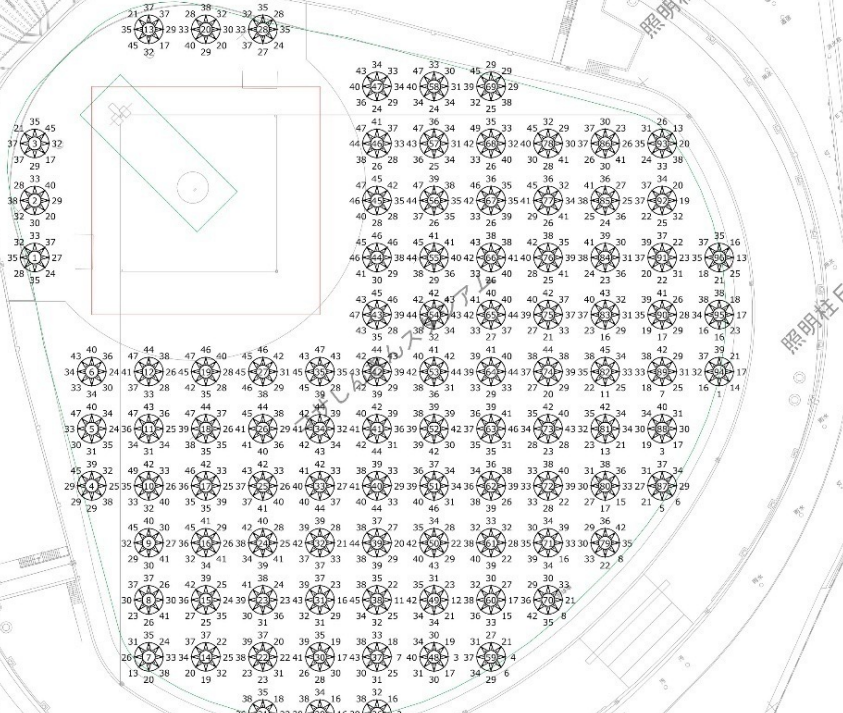
図例：～2～
設計の照度(E)：2362 lx
光源の反射率(r)：10
光量を限った視野による平均照度値(Lve)：
Lve=0.035×Exp×r (cd/m)
GR(グレアレーティング)の程度
90・眩しくない
70・邪魔になる
50・許容できる境界
30・あまり気にならない
10・気にならない



area	最大
内野	50 ≦ 50・・・OK

※上記は最大Grになります。平均Grではありません。

図例：～2～
設計の照度(E)：1679 lx
光源の反射率(r)：15
光量を限った視野による平均照度値(Lve)：
Lve=0.035×Exp×r (cd/m)
GR(グレアレーティング)の程度
90・眩しくない
70・邪魔になる
50・許容できる境界
30・あまり気にならない
10・気にならない



area	最大
外野	49 ≦ 50・・・OK

※上記は最大Grになります。平均Grではありません。

屋外照明 LED化

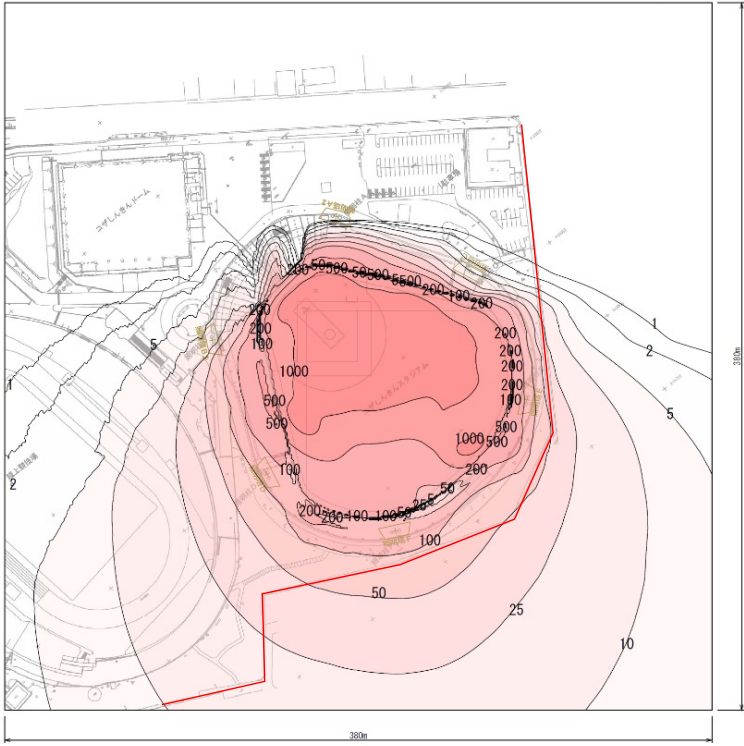
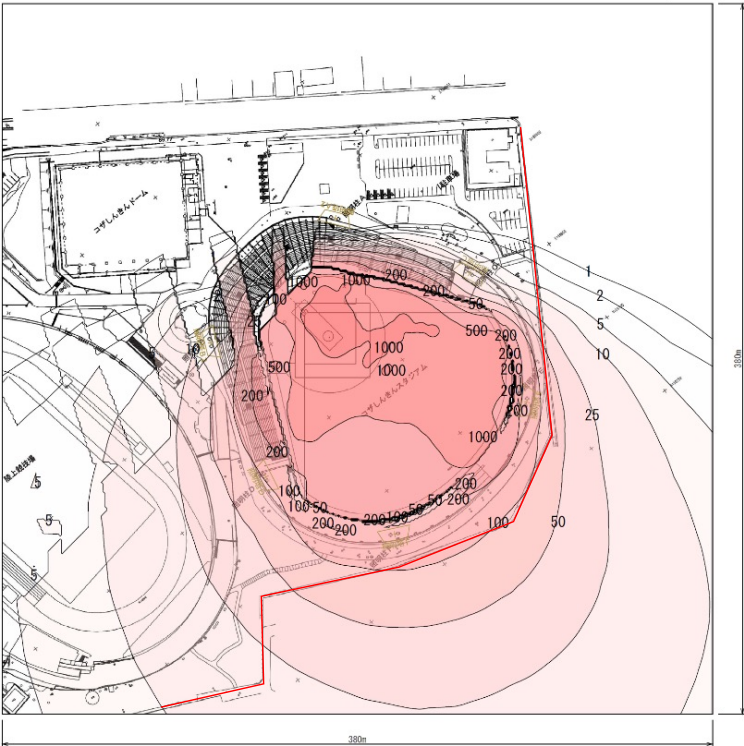
改修項目⑨照明塔改修

照明提案-A

野球場近接住宅地への光漏れの改善。
南側の住宅地は鉛直照度100Lxを超えている部分が100Lx以下となる。10Lx以下の部分もかなり面積が縮小されている。

既設想定鉛直照度分布図

計画想定鉛直照度分布図



器具品番	【想定】既設照明	【想定】既設照明	【想定】既設照明
器具種類	MT1500W 狭角	NH940W 中角	MT1500W 中角
ランプ	MT1500B/BH-SCM*1	NH940.L*1	MT1500B/BH-SCM*1
全光束	154,000 lm	138,000 lm	154,000 lm
保守率	0.68	0.81	0.68
器具コード	#K0120842	#K0120843	#K0119077
取付高さ	32.3 m	32.3 m	32.3 m
取付台数	200 台	140 台	16 台

器具品番	照明塔A1	照明塔A2	照明塔B1	照明塔B2	照明塔C	照明塔D	照明塔E	照明塔F	合計台数
器具種類	照明塔A1	照明塔A2	照明塔B1	照明塔B2	照明塔C	照明塔D	照明塔E	照明塔F	
ランプ	照明塔A1	照明塔A2	照明塔B1	照明塔B2	照明塔C	照明塔D	照明塔E	照明塔F	
全光束	94,500 lm	106,600 lm	102,700 lm	78,000 lm	78,000 lm	78,000 lm	78,000 lm	78,000 lm	
保守率	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	
器具コード	K0186362	K0185731	K0185653	#K0188688	#K0188690	#K0188688	#K0188690	#K0188688	
取付高さ	31.5~33.9 m	29.9~33.9 m	29.9~33.9 m	31.5~33.9 m	29.9~31.5 m	29.9~31.5 m	29.9~31.5 m	29.9~31.5 m	
取付台数	156 台	24 台	20 台	64 台	80 台	24 台	0 台	0 台	

※現設計図に基づく周辺への鉛直照度分布図
(全灯鉛直1.5m)想定

	全体
平均照度	78.4 lx
最小照度	0 lx
最大照度	1907.8 lx
最小／平均	0
最小／最大	0

※選定LED照明機器時の周辺への鉛直照度分布図
(全灯鉛直1.5m)

	全体
平均照度	115 lx
最小照度	0 lx
最大照度	2560 lx
最小／平均	0
最小／最大	0

屋外照明 LED化

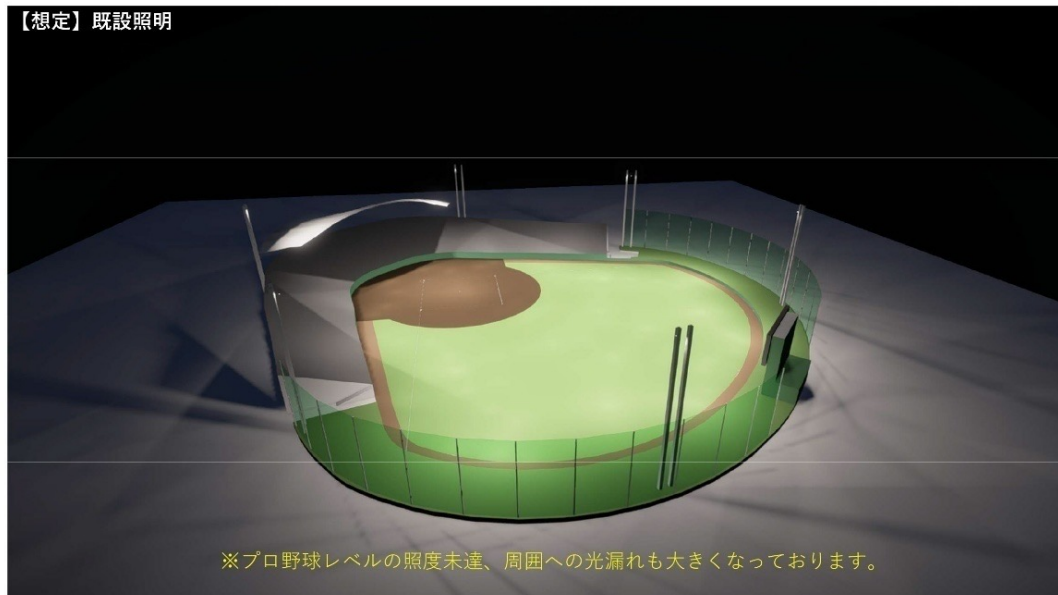
改修項目⑨照明塔改修

照明提案-A

選定LED機器により野球場近接住宅地への光漏れの改善。

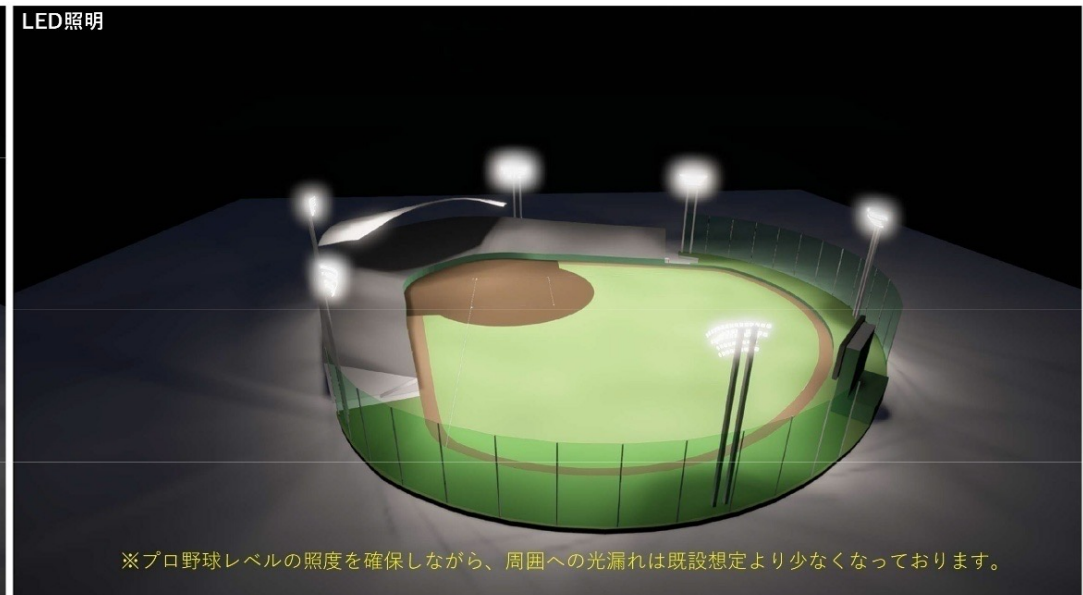
課題：プロ野球照明基準に合わせた整備を行う。
省エネ及びCO2削減の上から照明器具のLED化の検討を行う。

【想定】既設照明



※現設計図に基づく周辺への照明拡散確認CG

LED照明



※選定LED照明機器時の周辺への照明拡散確認CG

屋外照明 LED化

改修項目⑨照明塔改修

照明提案-A

LED化に伴う省エネ及びCO2削減に関する検討：消費電力52.4%削減 ランニングコスト61%削減 CO2 52.4%削減

■省エネ効果

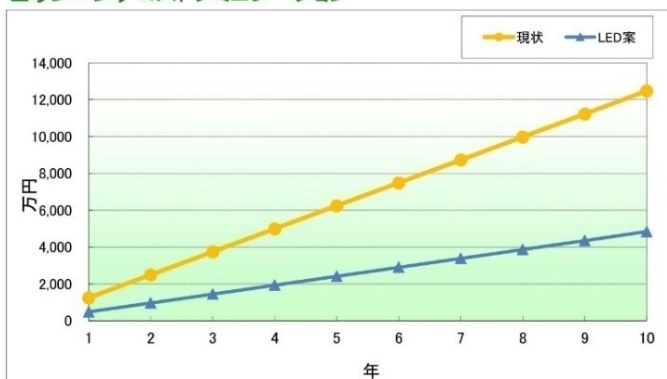
消費電力量	52.4	% 削減
・消費電力量	190,180 kWh/年	削減
ランニングコスト	61	% 削減
・電気代	¥5,325,029 円/年	削減
・ランプ代	¥2,305,583 円/年	削減
・TOTAL	¥7,630,612	
	円/年削減！！	
前提条件	【照度レベル】 既設：硬式公式競技レベル 更新：プロ野球レベル 【周囲への光漏れ】 既設同等以下に抑える	

使用時間 730時間/年 電気料金単価 28円/Kwh

■CO2削減効果



■ランニングコストシミュレーション



■年間消費電力量



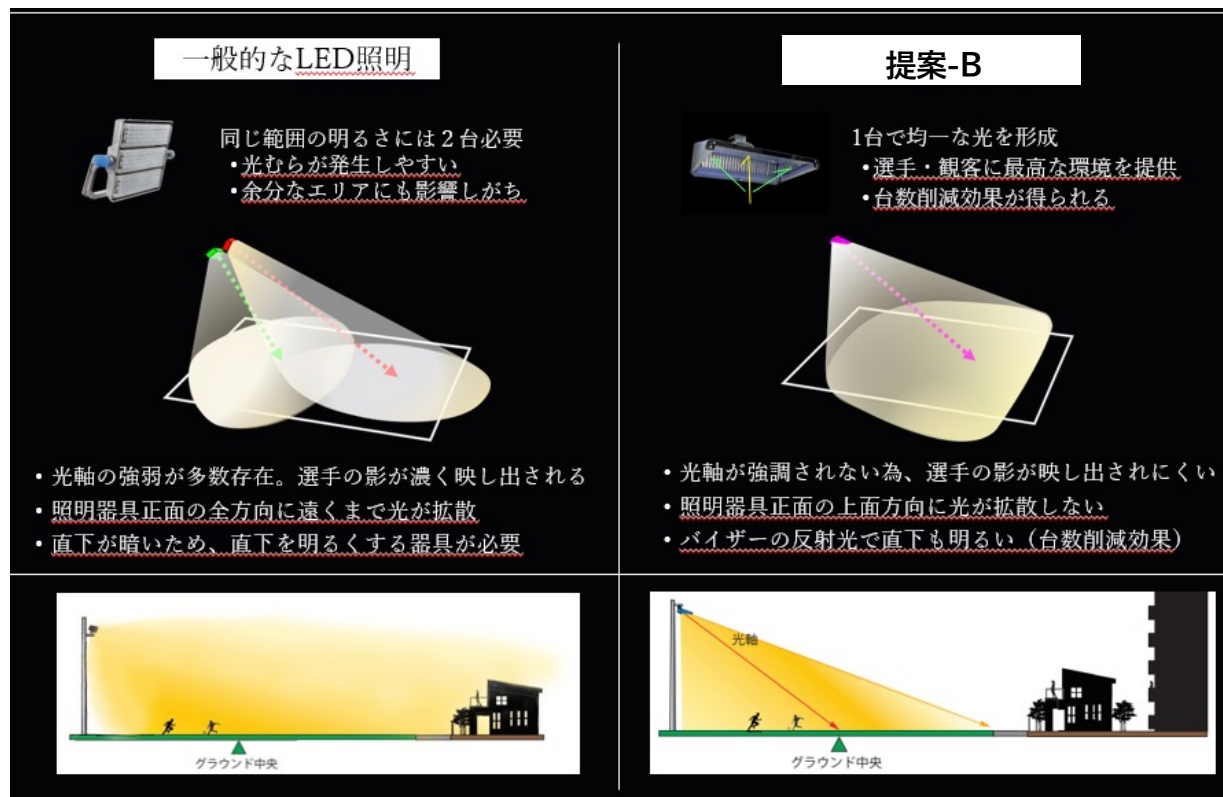
ナイター照明負荷容量 既設529kVA ⇒ LED236kVA (55.4%削減)

屋外照明 LED化

改修項目⑨照明塔改修

照明提案-B

球場照明検討B案:照度の高い器具を利用するが、パイザーによる配光により、プロ野球照度基準に加えて灯数を少なくし、且つ光のむらが発生しにくい手法。近隣への光漏れも少なくなる。



屋外照明 LED化

改修項目⑨照明塔改修

照明提案-B

球場照明検討B案:全体設計照度・グレア・鉛直照度等一覧

照明システム

ボール等 / 照明器具概要							
ボール番号	ボール等高さ	照明器具取付高さ	照明台数	照明器具機種		負荷	グループ
A1-A2	35.0 m	35.0 m	25	TLC-LED-1200		29.25 kW	A
		13.0 m	3	TLC-BT-1500		4.29 kW	A
B1-B2	35.0 m	35.0 m	35	TLC-LED-1500		49.35 kW	A
		5.0 m	3	TLC-BT-1500		4.29 kW	A
C1-C2	35.0 m	35.0 m	28	TLC-LED-1500		39.48 kW	A
		5.0 m	4	TLC-BT-1500		5.72 kW	A
M1		22.1 m	1	TLC-LED-1200		1.17 kW	A
M2		23.1 m	1	TLC-LED-1200		1.17 kW	A
M3		23.5 m	1	TLC-LED-1200		1.17 kW	A
M4-M6		24.0 m	1	TLC-LED-1200		1.17 kW	A
M7		23.5 m	1	TLC-LED-1200		1.17 kW	A
M8		23.1 m	1	TLC-LED-1200		1.17 kW	A
M9		22.1 m	1	TLC-LED-1200		1.17 kW	A
15			205			275.29 kW	

照明グループ			
グループ	説明	負荷	照明台数
A		275.29 kW	205

タイプ	グループ	色温度 / 演色性	ワット数	定格光束	L90	L80	L70	台数
TLC-BT-1500	A	LED 5700K - 75 CRI	1430W	160,000	>120,000	>120,000	>120,000	20
TLC-LED-1200	A	LED 5700K - 80 CRI	1170W	138,000	>120,000	>120,000	>120,000	59
TLC-LED-1500	A	LED 5700K - 80 CRI	1410W	166,520	>120,000	>120,000	>120,000	126

照明器具1台あたりの消費電流表								
安全抵抗仕様 (力率0.90%)		照明器具1台あたりの電流値 (最大引分)						
単相電圧		208 (60)	220 (60)	240 (60)	277 (60)	347 (60)	380 (60)	480 (60)
TLC-LED-1500		8.4	7.9	7.3	6.3	5.0	4.6	3.6
TLC-BT-1500		8.5	8.1	7.4	6.4	5.1	4.7	3.7
TLC-LED-1200		7.0	6.6	6.1	5.2	4.2	3.8	3.0

照明設計サマリー

計算グリッド								
グリッド名称	項目	Illumination Ave					グループ	照明台数
		平均	最小	最大	最小/最大	最小/平均		
01 Pro baseball: Illuminance (Battery)	水平面照度	2521.60	2413.51	2588.12	0.93	0.96	A	205
01 Pro baseball: Illuminance (Infield)	水平面照度	2258.56	1788.88	2588.12	0.69	0.79	A	205
01 Pro baseball: Illuminance (Outfield)	水平面照度	1533.93	1019.30	2255.92	0.45	0.66	A	205
02 Pro baseball: GR (Battery)	グレア評価	43.78	40.56	45.51	0.89	0.93	A	205
02 Pro baseball: GR (Infield)	グレア評価	44.31	39.20	45.61	0.86	0.88	A	205
02 Pro baseball: GR (Outfield)	グレア評価	38.12	27.71	43.15	0.64	0.73	A	205
03 Seating	水平面照度	439.58	5.32	995.49	0.01	0.01	A	205
04 Pro baseball: Spill#1	最大鉛直面照度	0.65	0.01	1.64	0.00	0.01	A	205
05 Pro baseball: Spill#2	最大鉛直面照度	8.93	0.00	47.69	0.00	0.00	A	205
06 Pro baseball: Spill#3	最大鉛直面照度	116.10	11.40	221.16	0.05	0.10	A	205

屋外照明 LED化

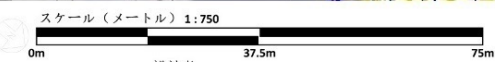
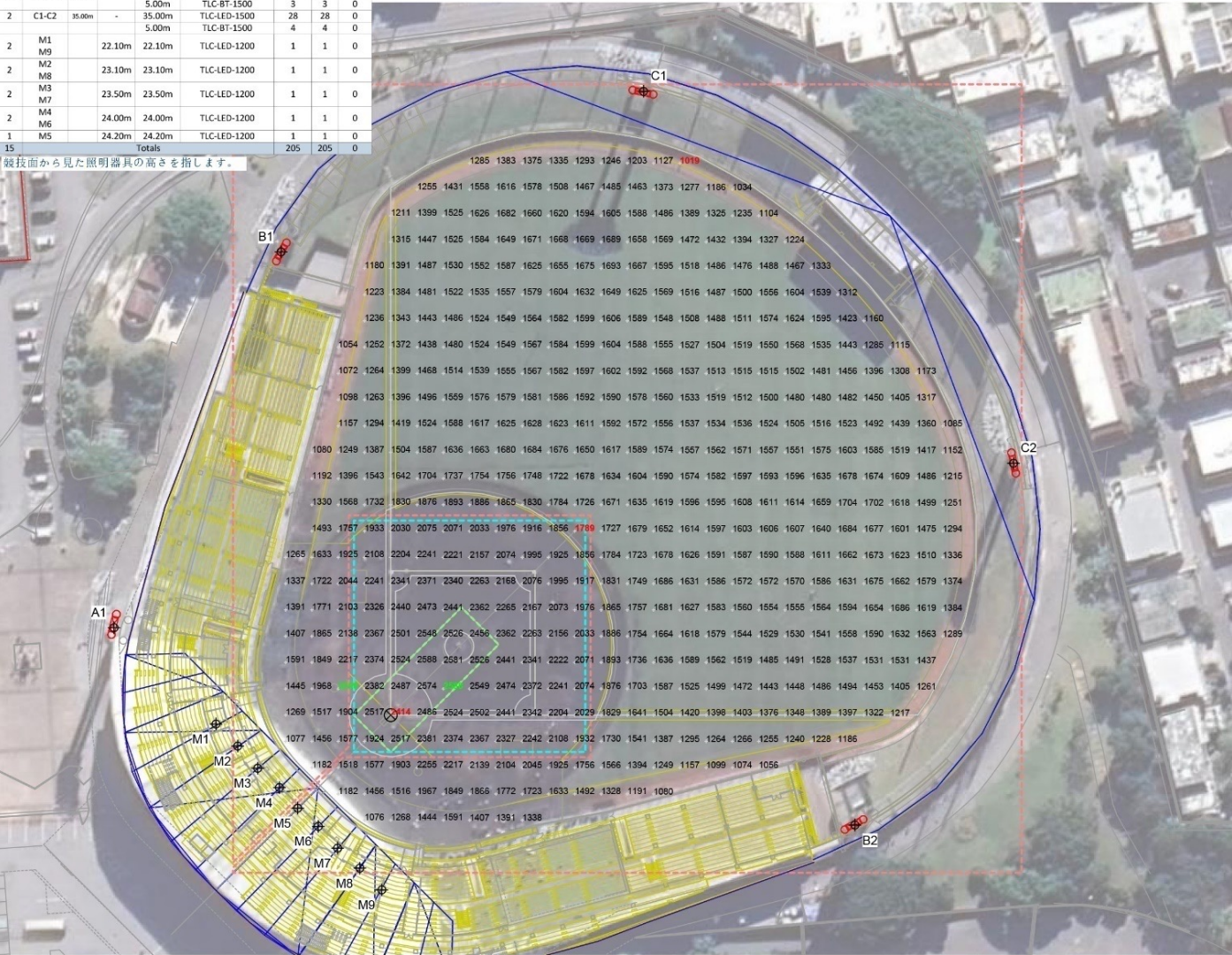
改修項目⑨照明塔改修

照明提案-B

球場照明検討B案:球場フィールド内設計照度分布図

機器リスト				照明器具			
台数	ボール番号	基準面からの高さ	機軸面からの高さ	照明器具機種	台数/ボール	表示グラフ	その他
2	A1-A2	35.00m	-	TLC-LED-1200	25	25	0
			13.00m	TLC-BT-1500	3	3	0
2	B1-B2	35.00m	-	TLC-LED-1500	35	35	0
			5.00m	TLC-BT-1500	3	3	0
2	C1-C2	35.00m	-	TLC-LED-1500	28	28	0
			5.00m	TLC-BT-1500	4	4	0
2	M1	22.10m	22.10m	TLC-LED-1200	1	1	0
2	M2	23.10m	23.10m	TLC-LED-1200	1	1	0
2	M3	23.50m	23.50m	TLC-LED-1200	1	1	0
2	M4	24.00m	24.00m	TLC-LED-1200	1	1	0
1	M5	24.20m	24.20m	TLC-LED-1200	1	1	0
15	Totals				205	205	0

破技面から見た照明器具の高さを指します。



● ボール位置基準点からの距離
● 基準点 0,0

改修：現状プロ野球規定
バッテリー間 平均照度2,500Lx以上
内野 平均照度2,000Lx以上
外野 平均照度1,500Lx以上
に合致。

Grid Summary

名称: 01 Pro baseball: Illuminance
寸法: Irregular 329'/401'/329'
間隔: 5.0m x 5.0m
高さ: 0.0m 基準面から

Illumination Summary

	水平面照度 (lux)		
	Battery	Infield	Outfield
照度要件:	2500	2000	1500
平均:	2521.60	2258.56	1533.93
最大:	2588.12	2588.12	2255.92
最小:	2413.51	1788.88	1019.30
最小/平均:	0.96	0.79	0.66
最小/最大:	0.93	0.69	0.45
UG:	1.04	1.31	1.36
CU:	0.70		
計算ポイント数:	12	81	459
照明器具情報			
照明グループ:	A		
照明器具の数量:	205		
消費電力:	275.29 kW		

照度測定: 現地での実測値は、コンピューターによる計算値と異なる場合があります。

施工条件:
構造物の許容誤差は設計位置から1m以内です。

屋外照明 LED化

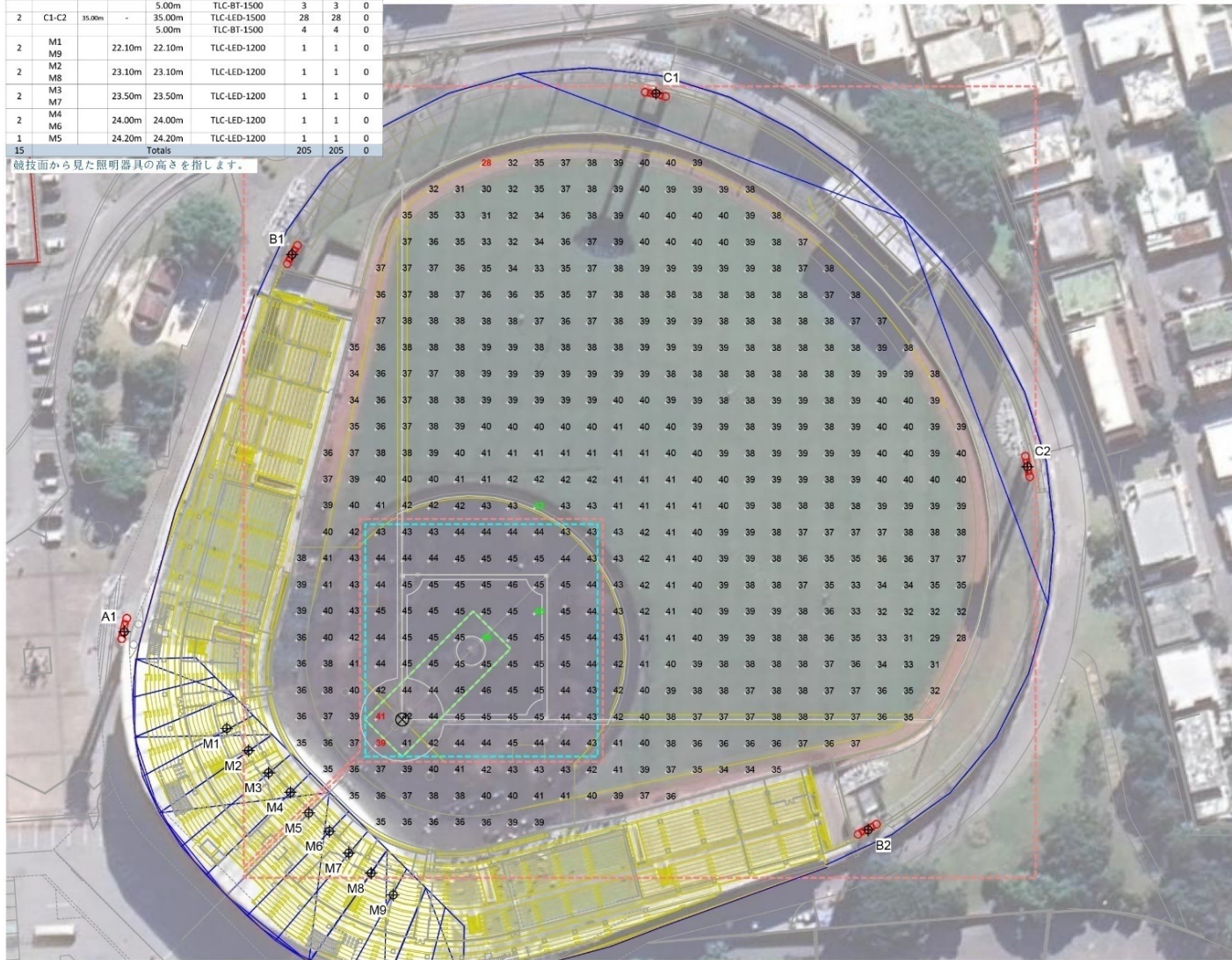
改修項目⑨照明塔改修

照明提案-B

球場照明検討B案:球場フィールド内グレア分布図

機器リスト			照明器具				
台数	ボール番号	基準面からの高さ	競技面からの高さ	照明器具機種	台数/ボール	表示グラフ	その他
2	A1-A2	35.00m	35.00m	TLC-LED-1200	25	25	0
			13.00m	TLC-BT-1500	3	3	0
2	B1-B2	35.00m	35.00m	TLC-LED-1500	35	35	0
			5.00m	TLC-BT-1500	3	3	0
2	C1-C2	35.00m	35.00m	TLC-LED-1500	28	28	0
			5.00m	TLC-BT-1500	4	4	0
2	M1	22.10m	22.10m	TLC-LED-1200	1	1	0
2	M2	23.10m	23.10m	TLC-LED-1200	1	1	0
2	M3	23.50m	23.50m	TLC-LED-1200	1	1	0
2	M4	24.00m	24.00m	TLC-LED-1200	1	1	0
1	M5	24.20m	24.20m	TLC-LED-1200	1	1	0
15			Totals		205	205	0

競技面から見た照明器具の高さを指します。



● ボール位置基準点からの距離
○ 基準点 0.0

改修：現状プロ野球規定

グレアレーティングの検討 GR 平均50以下
内野 平均GR43.7≦50 OK
外野 平均GR38.1≦50 OK
に合致。
※バイザー採用照明機器の特長として
グレアがかなり少ない。

Grid Summary	
名称:	02 Pro baseball: GR
寸法:	Irregular 329'/401'/329'
間隔:	5.0m x 5.0m
高さ:	1.5m 基準面から

Illumination Summary			
MAINTAINED GLARE RATING: Max Reading			
	Battery	Infield	Outfield
平均:	43.78	44.31	38.12
最大:	45.51	45.61	43.15
最小:	40.56	39.20	27.71
最小/平均:	0.93	0.88	0.73
最小/最大:	0.89	0.86	0.64
UG:	1.04	1.04	1.14
CU:	0.71		
計算ポイント数:	12	81	459
照明器具情報			
照明グループ:	A		
照明器具の数量:	205		
消費電力:	275.29 kW		

照度測定：現地での実測値は、コンピュータによる計算値と異なる場合があります。

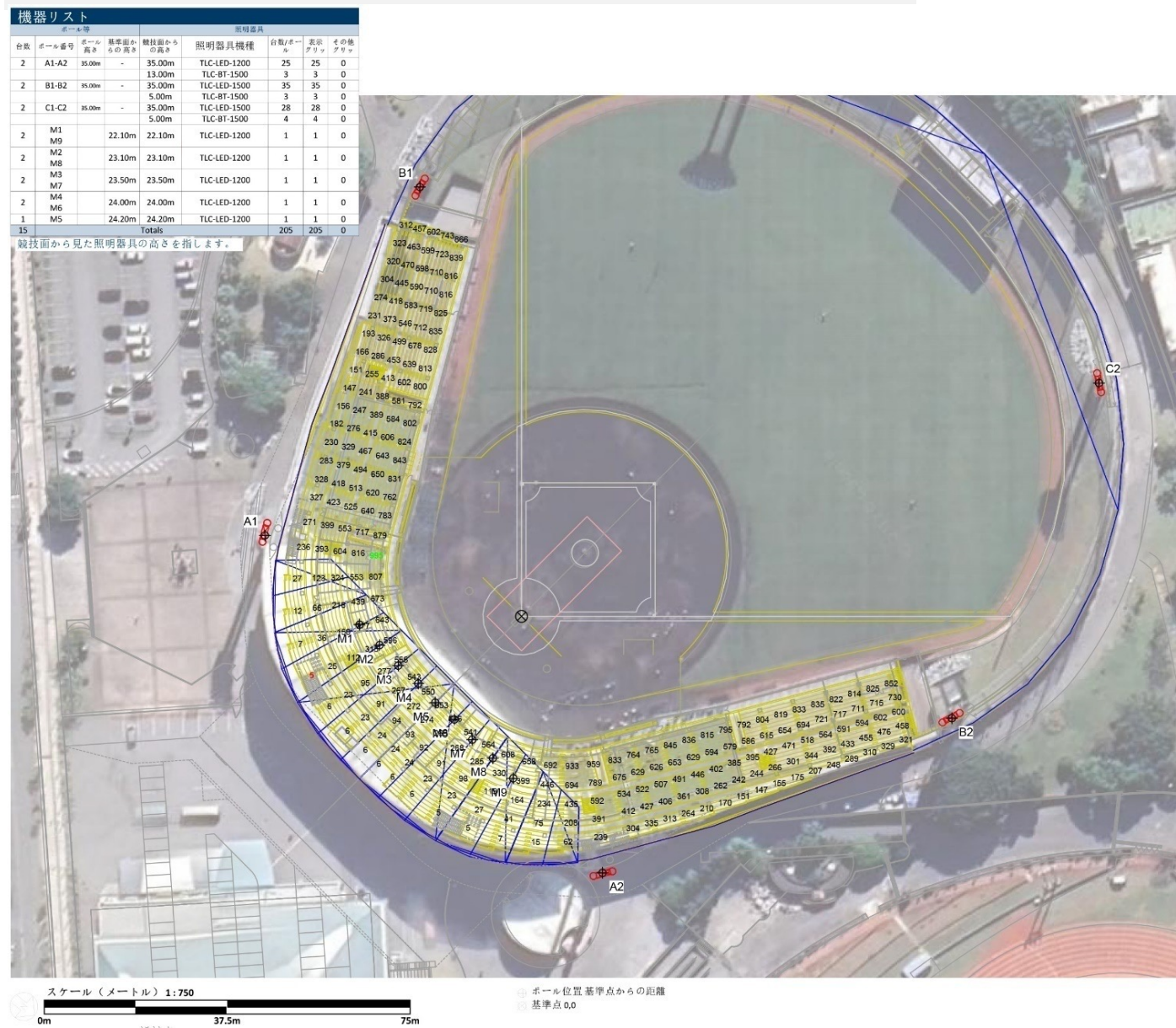
施工条件：
構造物の許容誤差は設計位置から1m以内です。

屋外照明 LED化

改修項目⑨照明塔改修

照明提案-B

球場照明検討B案:球場内野席照度分布図



Grid Summary	
名称:	03 Seating
寸法:	Irregular 329'/401'/329'
間隔:	3.0m x 3.0m
高さ:	1.8m 基準面から

Illumination Summary	
	水平面照度 (lux)
グリッド全体	
平均:	439.58
最大:	995.49
最小:	5.32
最小/平均:	0.01
最小/最大:	0.01
UG:	0.00
CU:	0.03
計算ポイント数:	250
照明器具情報	
照明グループ:	A
照明器具の数量:	205
消費電力:	275.29 kW

照度測定: 現地での実測値は、コンピュータによる計算値と異なる場合があります。

施工条件:
構造物の許容誤差は設計位置から1m以内です。

屋外照明 LED化

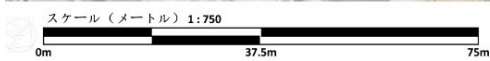
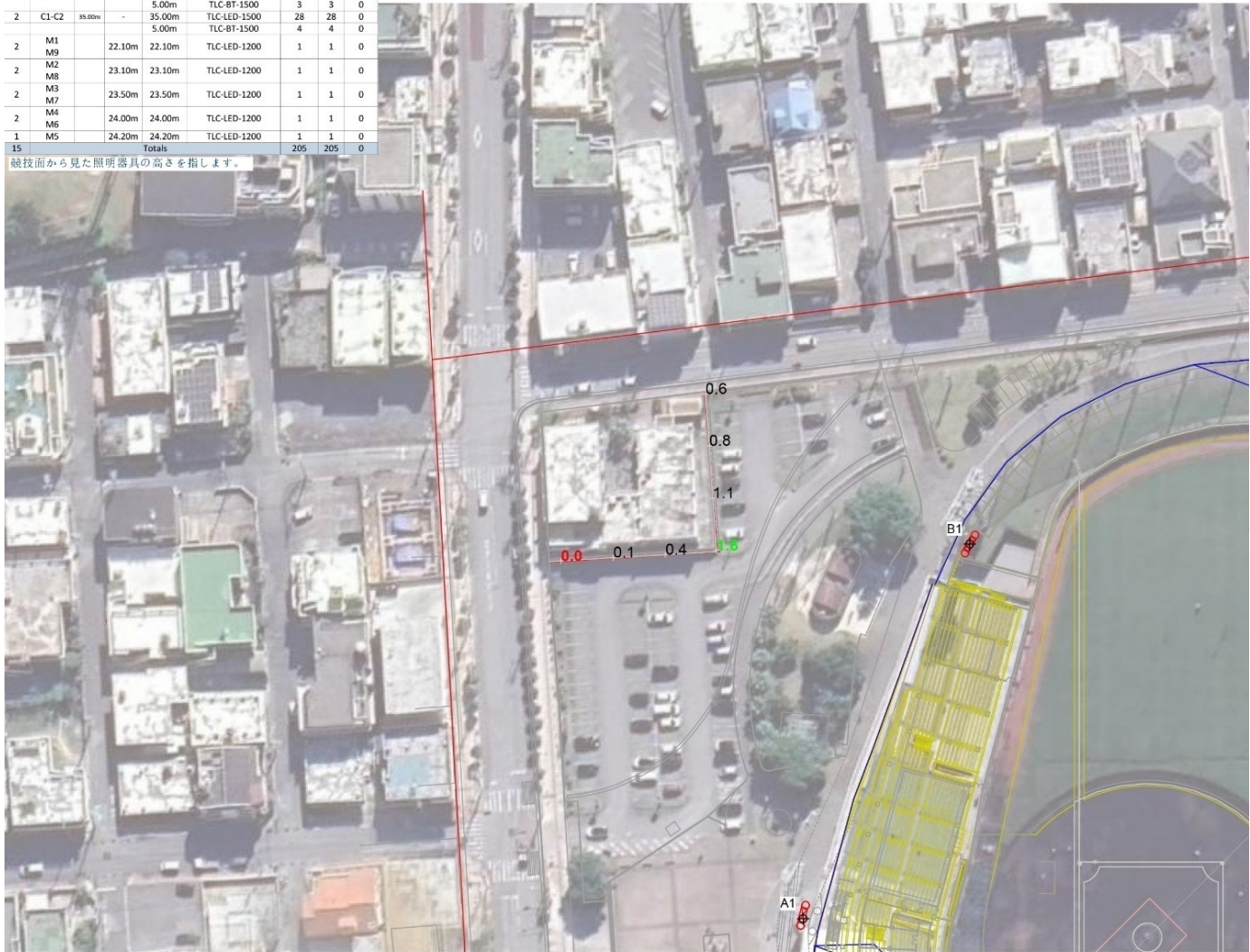
改修項目⑨照明塔改修

照明提案-B

球場照明検討B案:光漏れ検討 球場周辺鉛直照度分布図

機器リスト		照明器具						
台数	ボール番号	基準面からの高さ	競技面からの高さ	照明器具機種	台数/ボール	表示グリッド	その他グリッド	
2	A1-A2	35.00m	-	35.00m	TLC-LED-1200	25	25	0
				13.00m	TLC-BT-1500	3	3	0
2	B1-B2	35.00m	-	35.00m	TLC-LED-1500	35	35	0
				5.00m	TLC-BT-1500	3	3	0
2	C1-C2	35.00m	-	35.00m	TLC-LED-1500	28	28	0
				5.00m	TLC-BT-1500	4	4	0
2	M1		22.10m	22.10m	TLC-LED-1200	1	1	0
2	M2		23.10m	23.10m	TLC-LED-1200	1	1	0
2	M3		23.50m	23.50m	TLC-LED-1200	1	1	0
2	M4		24.00m	24.00m	TLC-LED-1200	1	1	0
2	M5		24.20m	24.20m	TLC-LED-1200	1	1	0
15	Totals				205	205	0	

競技面から見た照明器具の高さを指します。



● ボール位置基準点からの距離
● 基準点 0.0

野球場近接住宅地への光漏れに関して

北側隣地境界線上は鉛直照度平均0.65Lx。
最大でも1.64Lxとなっている。

Grid Summary

名称: 04 Pro baseball: Spill#1
寸法: Irregular 329'/401'/329'
間隔: 10.0m x 10.0m
高さ: 1.5m 基準面から

Illumination Summary

MAINTAINED VERTICAL LUX: 90° Tilt

グリッド全体
平均: 0.65
最大: 1.64
最小: 0.01
最小/平均: 0.01
最小/最大: 0.00
UG: 0.00
CU: 0.00
計算ポイント数: 7
照明器具情報
照明グループ: A
照明器具の数量: 205
消費電力: 275.29 kW

照度測定: 現地での実測値は、コンピュータによる計算値と異なる場合があります。

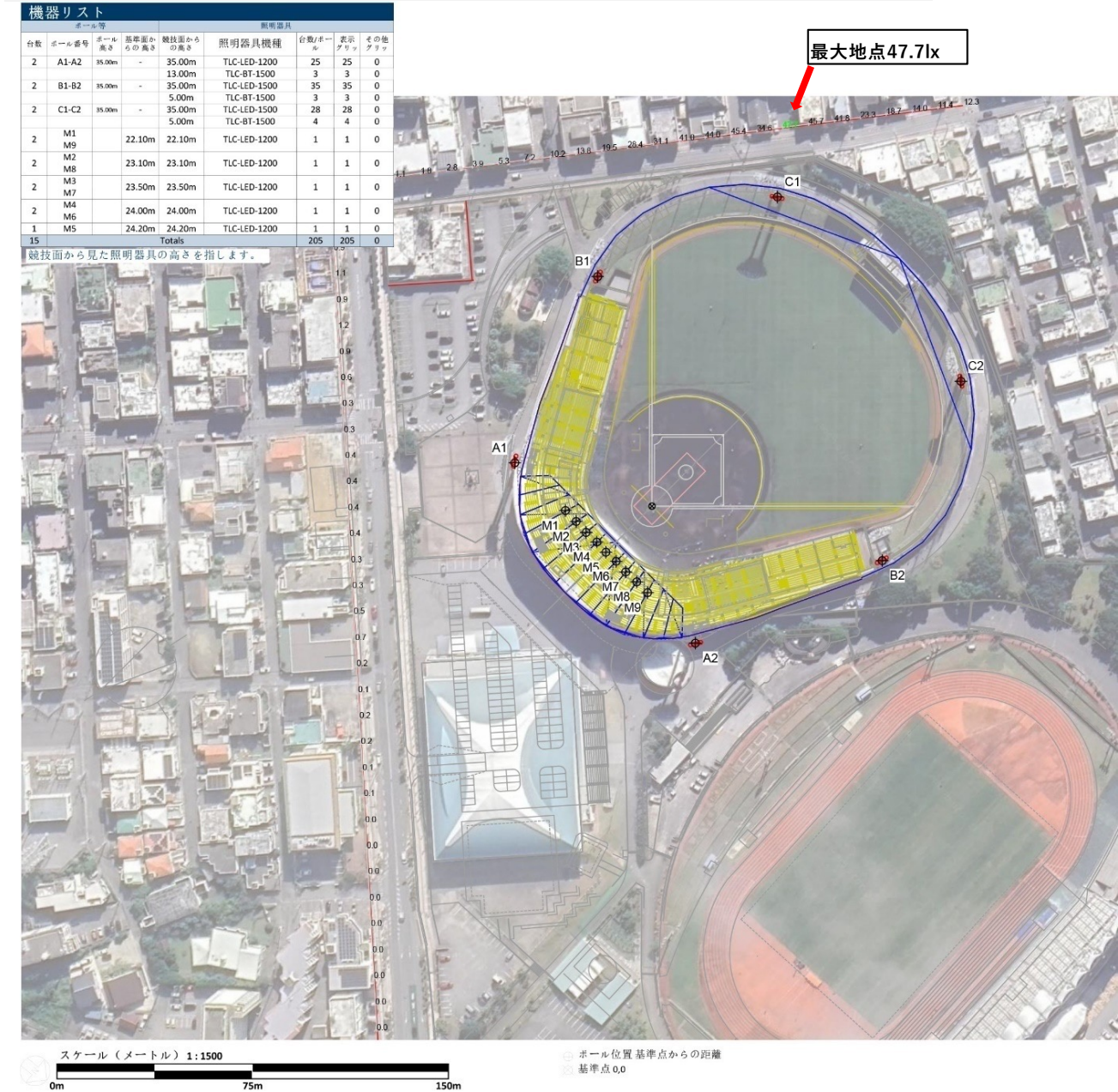
施工条件:
構造物の許容誤差は設計位置から1m以内です。

屋外照明 LED化

改修項目⑨照明塔改修

照明提案-B

球場照明検討B案:光漏れ検討 球場周辺鉛直照度分布図



野球場近接住宅地への光漏れに関して

北側及び東側道路反対側境界線上は鉛直照度平均8.93Lx。最大では47.69Lxとなっている。

Grid Summary	
名称:	05 Pro baseball: Spill#2
寸法:	Irregular 329'/401'/329'
間隔:	10.0m x 10.0m
高さ:	1.5m 基準面から

Illumination Summary	
	MAINTAINED VERTICAL LUX: 90° Tilt
	グリッド全体
平均:	8.93
最大:	47.69
最小:	0.00
最小/平均:	0.00
最小/最大:	0.00
UG:	0.00
CU:	0.00
計算ポイント数:	58
照明器具情報	
照明グループ:	A
照明器具の数量:	205
消費電力:	275.29 kW

照度測定: 現地での実測値は、コンピュータによる計算値と異なる場合があります。

施工条件:
構造物の許容誤差は設計位置から1m以内です。

屋外照明 LED化

改修項目⑨照明塔改修

照明提案-B

球場照明検討B案:光漏れ検討 球場周辺鉛直照度分布図

機器リスト		照明器具						
台数	ボール番号	基準面からの高さ	競技面からの高さ	照明器具機種	台数/ボール	表示グリッド	その他	
2	A1-A2	35.00m	-	35.00m	TLC-LED-1200	25	25	0
				13.00m	TLC-BT-1500	3	3	0
2	B1-B2	35.00m	-	35.00m	TLC-LED-1500	35	35	0
				5.00m	TLC-BT-1500	3	3	0
2	C1-C2	35.00m	-	35.00m	TLC-LED-1500	28	28	0
				5.00m	TLC-BT-1500	4	4	0
2	M1	22.10m	22.10m	TLC-LED-1200	1	1	0	
2	M2	23.10m	23.10m	TLC-LED-1200	1	1	0	
2	M3	23.50m	23.50m	TLC-LED-1200	1	1	0	
2	M4	24.00m	24.00m	TLC-LED-1200	1	1	0	
1	M5	24.20m	24.20m	TLC-LED-1200	1	1	0	
15				Totals	205	205	0	



野球場近接住宅地への光漏れに関して

南側住宅地との隣地境界線上は鉛直照度平均116.1Lx。最大では221.16Lxとなっている。

Grid Summary	
名称:	06 Pro baseball: Spill#3
寸法:	Irregular 329'/401'/329'
間隔:	10.0m x 10.0m
高さ:	1.5m 基準面から
Illumination Summary	
	MAINTAINED VERTICAL LUX: 90° Tilt
	グリッド全体
平均:	116.10
最大:	221.16
最小:	11.40
最小/平均:	0.10
最小/最大:	0.05
UG:	0.00
CU:	0.00
計算ポイント数:	20
照明器具情報	
照明グループ:	A
照明器具の数量:	205
消費電力:	275.29 kW

照度測定: 現地での実測値は、コンピュータによる計算値と異なる場合があります。

施工条件:
構造物の許容誤差は設計位置から1m以内です。



① ボール位置 基準点からの距離
② 基準点 0.0

屋外照明 LED化

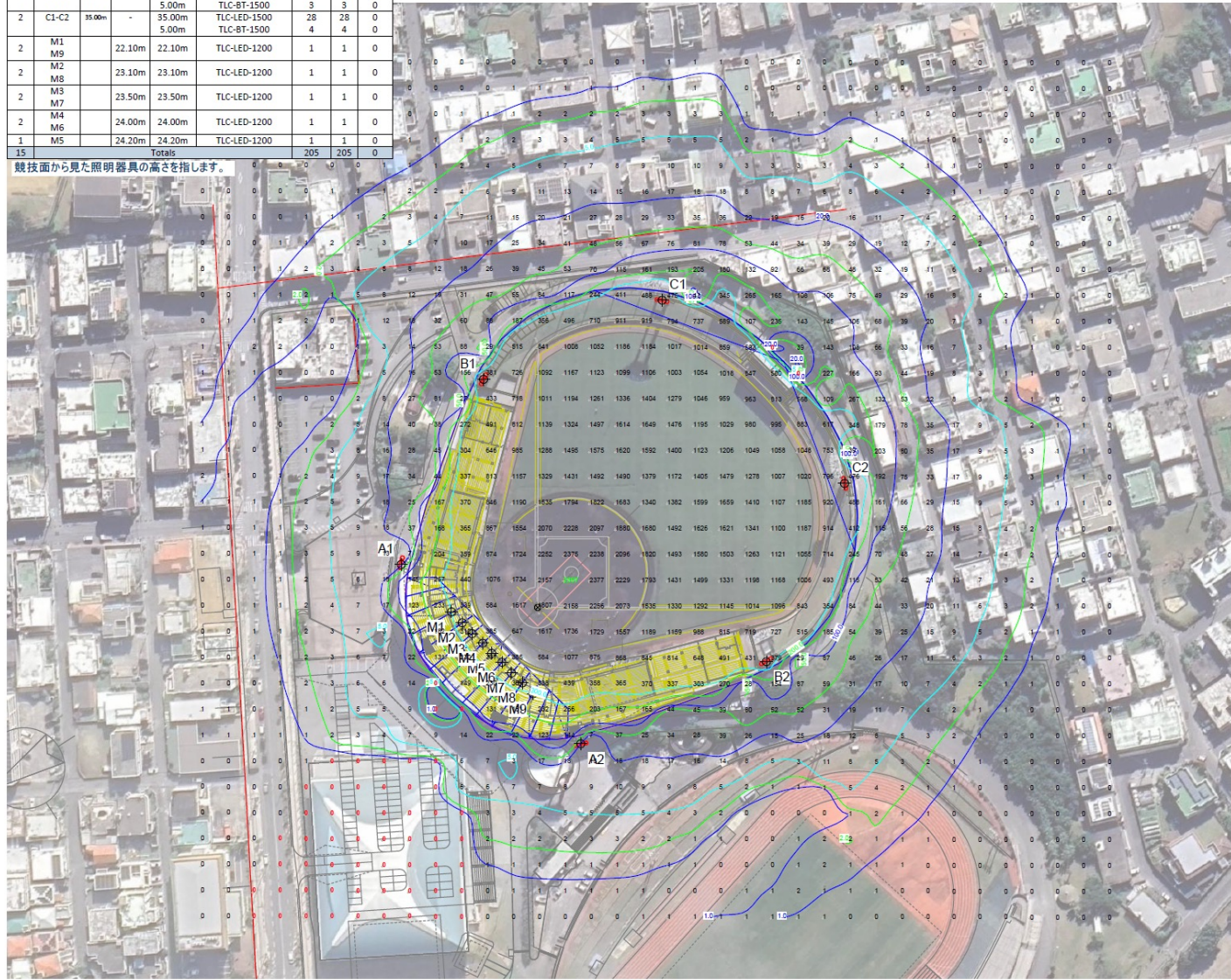
改修項目⑨照明塔改修

照明提案-B

球場照明検討B案:光漏れ検討 球場周辺鉛直照度分布等高線図(プロ試合仕様時)

機器リスト		照明器具					
台数	ボール番号	ボール高さ	競技面からの高さ	照明器具機種	台数	ボール高さ	その他
2	A1-A2	35.00m	-	TLC-LED-1200	25	25	0
2	B1-B2	35.00m	-	TLC-LED-1500	35	35	0
2	C1-C2	35.00m	-	TLC-LED-1500	28	28	0
2	M1-M9	22.10m	22.10m	TLC-LED-1200	1	1	0
2	M2-M8	23.10m	23.10m	TLC-LED-1200	1	1	0
2	M3-M7	23.50m	23.50m	TLC-LED-1200	1	1	0
2	M4-M6	24.00m	24.00m	TLC-LED-1200	1	1	0
1	M5	24.20m	24.20m	TLC-LED-1200	1	1	0
15	Totals				205	205	0

競技面から見た照明器具の高さを指します。



Grid Summary	
名称:	07 Pro Spill area Ev
寸法:	Irregular 329'/401'/329'
間隔:	10.0m x 10.0m
高さ:	1.5m 基準面から

Illumination Summary	
MAINTAINED VERTICAL LUX: 90° Title	
グリッド全体	
平均:	197.16
最大:	2397.27
最小:	0.00
最小/平均:	0.00
最小/最大:	0.00
UG:	86.80
CU:	0.89
計算ポイント数:	1224
照明器具情報	
照明グループ:	A,B
照明器具の数量:	205
消費電力:	275.29 kW

照度測定: 現地での実測値は、コンピューターによる計算値と異なる場合があります。

施工条件:
構造物の許容誤差は設計位置から1m以内です。

屋外照明 LED化

改修項目⑨照明塔改修

照明提案-B

球場照明検討B案:消費電力量に伴う電源ユニット設置に関して(プロ試合仕様時)

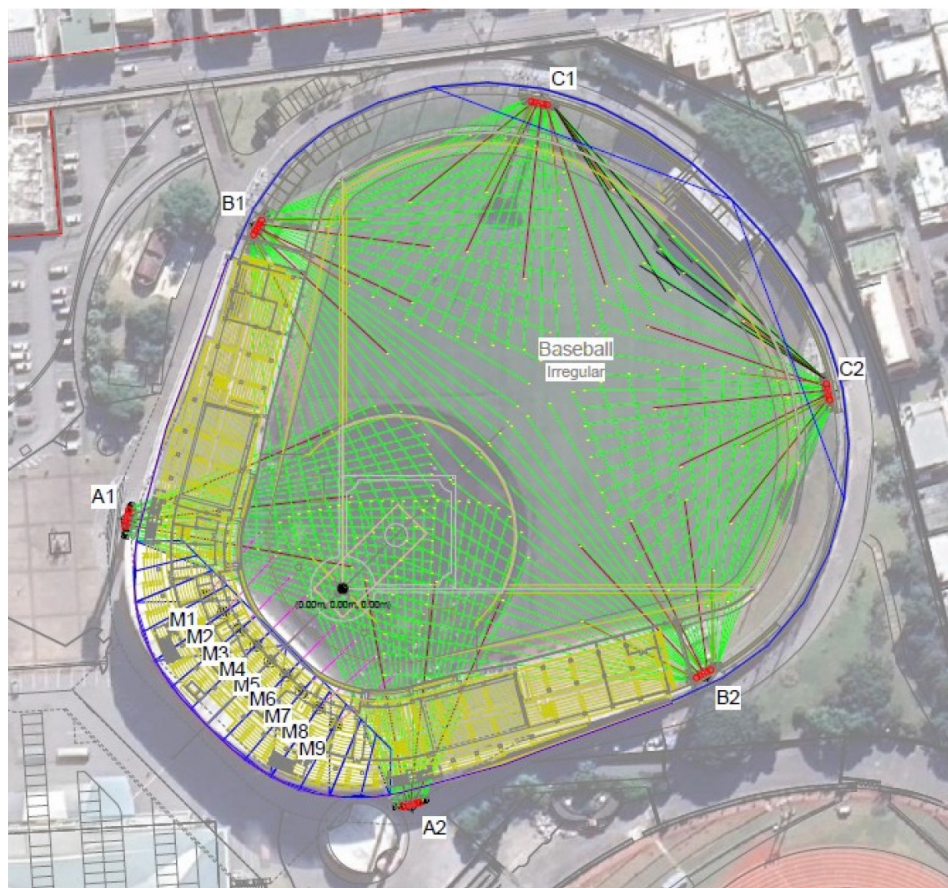
A1-A2 ----電源ユニット 8 台×2 箇所

B1-B2 ----電源ユニット10 台×2 箇所

C1-C2 ----電源ユニット 8 台×2 箇所

M1-M9 ---電源ユニット 3 台箇所

電源ユニットは、柱下にフェンス設置の上、柱等に結束バンド等により設置。



電源ユニット設置方法
W360×L1334×D234 1台の寸法
複数台設置



電源ユニット設置方法
W360×L1334×D234 複数台
設置事例

屋外照明 LED化

改修項目⑨照明塔改修

照明提案-B

球場照明検討B案: プロ試合仕様(GC)時及びJIS1試合仕様(AC)時の消費電力の負荷バランスに関して ※現況照明塔分電盤での利用想定

・プロ仕様の試合時には各照明塔分電盤の既存容量をオーバーする。

照明塔分電盤no.1	42.57kva+(発電機用42.48kva)-----計画41.316kva	(プロ仕様試合時も足りるが余裕がない)
照明塔分電盤no.6	42.57kva+(発電機用42.48kva)-----計画41.316kva	(プロ仕様試合時も足りるが余裕がない)
照明塔分電盤no.2	42.57kva+(発電機用42.48kva)-----計画66.286kva	(プロ仕様試合時は足りず発電機が必要)
照明塔分電盤no.5	42.57kva+(発電機用42.48kva)-----計画66.286kva	(プロ仕様試合時も足りず発電機が必要)
照明塔分電盤no.2	42.57kva+(発電機用42.48kva)-----計画55.864kva	(プロ仕様試合時も足りず発電機が必要)
照明塔分電盤no.5	42.57kva+(発電機用42.48kva)-----計画55.864kva	(プロ仕様試合時も足りず発電機が必要)
観覧席上部照明器具用分電盤	-----新規計画12.96kva	(接続分電盤を設置し発電機等が必要) 計画合計339.892kva

・J1仕様の試合時には各照明塔分電盤の既存容量で充分対応可能。

照明塔分電盤no.1	42.57kva+(発電機用42.48kva)-----計画16.746kva	(電源ユニット3回路で足りる)
照明塔分電盤no.6	42.57kva+(発電機用42.48kva)-----計画16.746kva	(電源ユニット3回路で足りる)
照明塔分電盤no.2	42.57kva+(発電機用42.48kva)-----計画26.220kva	(電源ユニット4回路で足りる)
照明塔分電盤no.5	42.57kva+(発電機用42.48kva)-----計画26.220kva	(電源ユニット4回路で足りる)
照明塔分電盤no.2	42.57kva+(発電機用42.48kva)-----計画21.024kva	(電源ユニット3回路で足りる)
照明塔分電盤no.5	42.57kva+(発電機用42.48kva)-----計画21.024kva	(電源ユニット3回路で足りる)
観覧席上部照明器具用分電盤	-----新規計画5.76kva	(接続する分電盤の検討が必要)

・プロ試合仕様の全灯時は現在の照明塔分電盤容量以上となる。

※現状、電気基本料金を抑える為、受電の最大値を抑えた仕様(現J1使用対応時は外部発電機を利用する前提での分電盤設定)となっている。

・プロ仕様の試合を現在の受電設備内で対応する際の対応

- ⇒現況のトランスは、1壱側300kw・3壱側300kwの容量が確保されており、合計600kwの容量がある。
- ⇒プロ仕様の計画容量合計339.892kvaなので、容量を賄う事は、分電盤の改修、設定変更等を行う事で可能である。
- ⇒利用頻度が少ない場合は、プロ仕様試合時のみ、発電機接続切替盤を利用する事も可能。
- ⇒年間電気基本契約料金のUP等も含めて、電気料金比較検討が必要。
- ⇒年間利用数に応じて、発電機器、発電車等を利用する等の検討が必要。

※既設分電盤容量と検討電気容量に関しては、現時点で確認できる範囲での想定の為、
球場全体での使用電気容量、現況キュービクル等に関して実施設計時に調査確認等が必要。

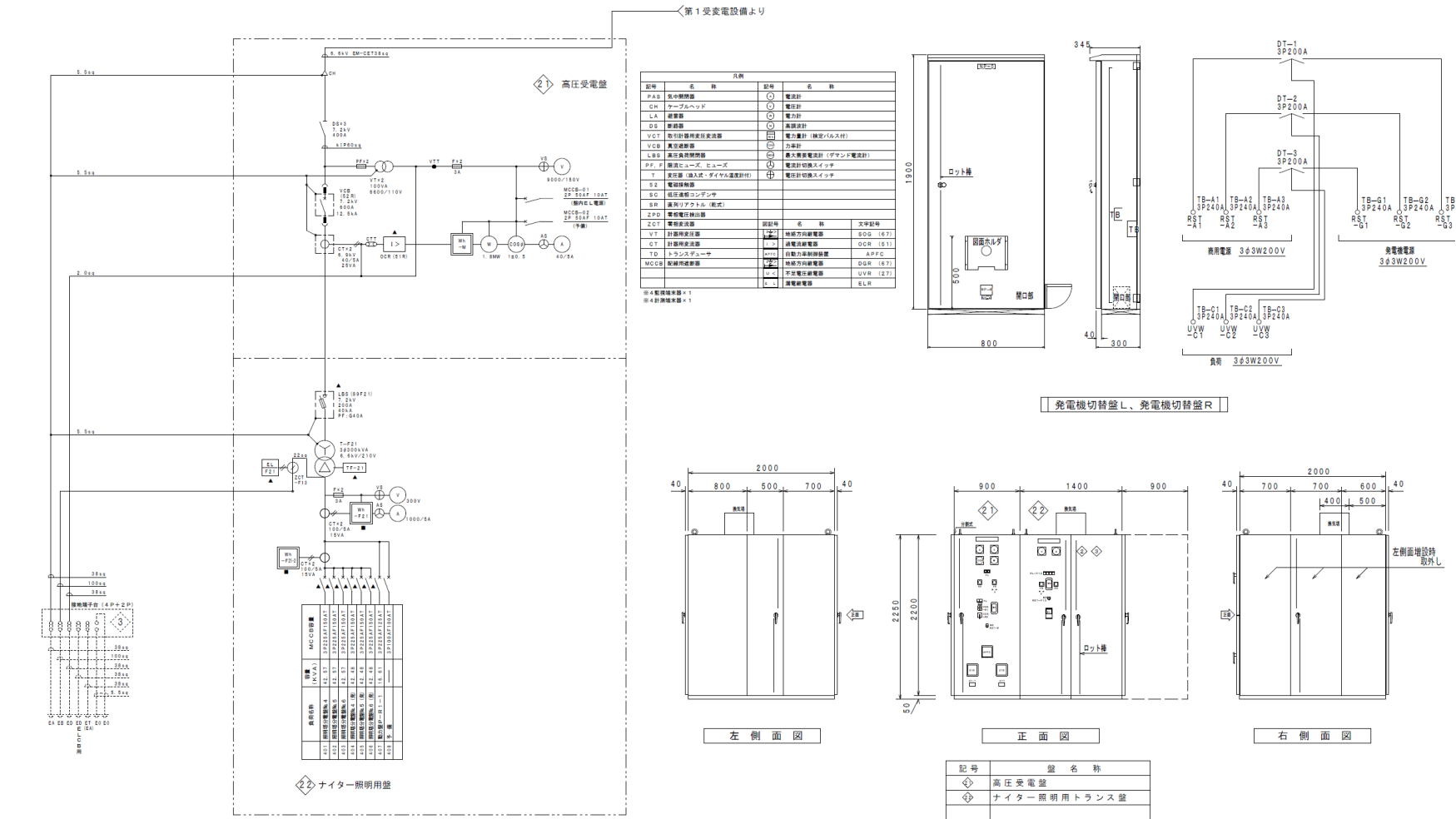
屋外照明 LED化

改修項目⑨照明塔改修

竣工時 照明結線図

照明提案-B

ナイター設備用電気室は、第二受電設備（図面E-09）となっている。（3 塁側レフト方向）
商用電源40KVA（200A・200V）と発電機電源40KVA（200A・200V）構成になっている。
設定変更により、商用電源40KVA及び発電機電源40KVA合計80KVA分を発電機を使わず、現在の受電設備で利用できる。
これとは別に発電機接続用切替盤があり、発電機用を利用して40KVA分を賄うこともできる。
結果、照明提案-Bでの照明プロ仕様を既存設備を流用して点灯が可能。



記号	盤名称
◆	高圧受電盤
◇	ナイター照明用トランス盤

特記	重信電気工事 株式会社 株式会社 栄進電設	特定建設工事共同企業体	〒904-0012 沖縄県沖縄市安里田1丁目24番31号 重信電気工事 株式会社 TEL098-937-2534 FAX098-937-7951	工事名称 沖縄県野球場建設工事（電気設備工事・3工区）	図面名称 第二受電設備 単線結線図	設計番号	
				工事場所 沖縄県沖縄市諸見二丁目1番1号	縮尺 N : S	設計年月日	
						担当	
						図面番号	E-09

※既設分電盤容量と検討電気容量に関しては、現時点で確認できる範囲での想定の為、
球場全体での使用電気容量、現況キュービクル等に関して実施設計時に調査確認等が必要。

屋外照明 LED化

改修項目⑨照明塔改修

照明提案-B

球場照明検討B案:プロ試合仕様(GC)時及びJIS1試合仕様(AC)時の消費電力の負荷バランスに関して
・プロ仕様の試合時 各照明塔分電盤の既存容量と計画容量 計算表1

照明	最大電流(A)	電圧(V)	k VA
TLC-LED-1200	7.2	200	1.44
TLC-LED-1500	8.71	200	1.742
TLC-BT-1500	8.86	200	1.772

照明塔No.1(A1ゴール)	照明塔分電盤No.1	42.57 k VA	200AT/225AF
	照明塔分電盤No.1(発)	42.48 k VA	200AT/225AF

負荷バランス表(参考)						
		R	S	T	k VA	
電源ユニット1	ドライバー1	TLC-LED-1200	7.2	7.2		1.44
	ドライバー2	TLC-LED-1200	7.2		7.2	1.44
	ドライバー3	TLC-LED-1200		7.2	7.2	1.44
	ドライバー4	TLC-LED-1200	7.2	7.2		1.44
電源ユニット2	ドライバー5	TLC-LED-1200	7.2	7.2		1.44
	ドライバー6	TLC-LED-1200	7.2		7.2	1.44
	ドライバー7	TLC-LED-1200		7.2	7.2	1.44
	ドライバー8	TLC-LED-1200	7.2	7.2	7.2	1.44
電源ユニット3	ドライバー9	TLC-LED-1200	7.2	7.2		1.44
	ドライバー10	TLC-LED-1200	7.2		7.2	1.44
	ドライバー11	TLC-LED-1200		7.2	7.2	1.44
	ドライバー12	TLC-LED-1200		7.2	7.2	1.44
電源ユニット4	ドライバー13	TLC-LED-1200	7.2	7.2		1.44
	ドライバー14	TLC-LED-1200	7.2		7.2	1.44
	ドライバー15	TLC-LED-1200		7.2	7.2	1.44
	ドライバー16	TLC-LED-1200	7.2	7.2		1.44
電源ユニット5	ドライバー17	TLC-LED-1200	7.2	7.2		1.44
	ドライバー18	TLC-LED-1200	7.2		7.2	1.44
	ドライバー19	TLC-LED-1200		7.2	7.2	1.44
電源ユニット6	ドライバー20	TLC-LED-1200	7.2	7.2		1.44
	ドライバー21	TLC-LED-1200	7.2		7.2	1.44
	ドライバー22	TLC-LED-1200		7.2	7.2	1.44
電源ユニット7	ドライバー23	TLC-LED-1200	7.2	7.2		1.44
	ドライバー24	TLC-LED-1200	7.2		7.2	1.44
	ドライバー25	TLC-LED-1200		7.2	7.2	1.44
電源ユニット8	ドライバー26	TLC-BT-1500	8.86	8.86		1.772
	ドライバー27	TLC-BT-1500	8.86		8.86	1.772
	ドライバー28	TLC-BT-1500		8.86	8.86	1.772
合計			140.12	140.12	132.92	41.316

照明塔No.6(A2ゴール)	照明塔分電盤No.6	42.57 k VA	150AT/225AF
	照明塔分電盤No.6(発)	42.48 k VA	150AT/225AF

負荷バランス表(参考)						
		R	S	T	k VA	
電源ユニット1	ドライバー1	TLC-LED-1200	7.2	7.2		1.44
	ドライバー2	TLC-LED-1200	7.2		7.2	1.44
	ドライバー3	TLC-LED-1200		7.2	7.2	1.44
	ドライバー4	TLC-LED-1200	7.2	7.2		1.44
電源ユニット2	ドライバー5	TLC-LED-1200	7.2	7.2		1.44
	ドライバー6	TLC-LED-1200	7.2		7.2	1.44
	ドライバー7	TLC-LED-1200		7.2	7.2	1.44
	ドライバー8	TLC-LED-1200	7.2	7.2	7.2	1.44
電源ユニット3	ドライバー9	TLC-LED-1200	7.2	7.2		1.44
	ドライバー10	TLC-LED-1200	7.2		7.2	1.44
	ドライバー11	TLC-LED-1200		7.2	7.2	1.44
	ドライバー12	TLC-LED-1200		7.2	7.2	1.44
電源ユニット4	ドライバー13	TLC-LED-1200	7.2	7.2		1.44
	ドライバー14	TLC-LED-1200	7.2		7.2	1.44
	ドライバー15	TLC-LED-1200		7.2	7.2	1.44
	ドライバー16	TLC-LED-1200	7.2	7.2		1.44
電源ユニット5	ドライバー17	TLC-LED-1200	7.2	7.2		1.44
	ドライバー18	TLC-LED-1200	7.2		7.2	1.44
	ドライバー19	TLC-LED-1200		7.2	7.2	1.44
電源ユニット6	ドライバー20	TLC-LED-1200	7.2	7.2		1.44
	ドライバー21	TLC-LED-1200	7.2		7.2	1.44
	ドライバー22	TLC-LED-1200		7.2	7.2	1.44
電源ユニット7	ドライバー23	TLC-LED-1200	7.2	7.2		1.44
	ドライバー24	TLC-LED-1200	7.2		7.2	1.44
	ドライバー25	TLC-LED-1200		7.2	7.2	1.44
電源ユニット8	ドライバー26	TLC-BT-1500	8.86	8.86		1.772
	ドライバー27	TLC-BT-1500	8.86		8.86	1.772
	ドライバー28	TLC-BT-1500		8.86	8.86	1.772
合計			140.12	140.12	132.92	41.316

※ブレーカーのサイズに対して余裕がありません、サイズUPさせるのを推奨します。

屋外照明 LED化

改修項目⑨照明塔改修

照明提案-B

球場照明検討B案:プロ試合仕様(GC)時及びJIS1試合仕様(AC)時の消費電力の負荷バランスに関して
・プロ仕様の試合時 各照明塔分電盤の既存容量と計画容量 計算表2

照明	最大電流(A)	電圧(V)	k VA
TLC-LED-1200	7.2	200	1.44
TLC-LED-1500	8.71	200	1.742
TLC-BT-1500	8.86	200	1.772

照明塔No.2(B1ポール)	照明塔分電盤No.2	42.57 k VA	200AT/225AF
	照明塔分電盤No.2(発)	42.48 k VA	200AT/225AF

負荷バランス表(参考)						
		R	S	T		k VA
電源ユニット1	ドライバー1	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー2	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー3	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー4	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
電源ユニット2	ドライバー5	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー6	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー7	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
電源ユニット3	ドライバー8	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー9	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー10	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー11	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
電源ユニット4	ドライバー12	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー13	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー14	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー15	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
電源ユニット5	ドライバー16	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー17	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー18	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー19	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
電源ユニット6	ドライバー20	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー21	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー22	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー23	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
電源ユニット7	ドライバー24	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー25	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー26	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー27	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
電源ユニット8	ドライバー28	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー29	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー30	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー31	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
電源ユニット9	ドライバー32	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー33	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー34	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー35	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
電源ユニット10						
	ドライバー36	TLC-BT-1500	8.86	8.86		1.772
	ドライバー37	TLC-BT-1500	8.86		8.86	1.772
	ドライバー38	TLC-BT-1500		8.86	8.86	1.772
			226.76	218.05	218.05	66.286

※ブレーカーのサイズに対して電流がオーバーしています。
※既設照明のk VAをオーバーしています。
※発電機回路にプロ用の照明を振り分け検討する必要があります。

照明塔No.5(B2ポール)	照明塔分電盤No.5	42.57 k VA	150AT/225AF
	照明塔分電盤No.5(発)	42.48 k VA	150AT/225AF

負荷バランス表(参考)						
		R	S	T		k VA
電源ユニット1	ドライバー1	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー2	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー3	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー4	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
電源ユニット2	ドライバー5	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー6	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー7	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー8	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
電源ユニット3	ドライバー9	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー10	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー11	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー12	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
電源ユニット4	ドライバー13	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー14	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー15	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー16	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
電源ユニット5	ドライバー17	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー18	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー19	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー20	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
電源ユニット6	ドライバー21	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー22	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー23	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー24	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
電源ユニット7	ドライバー25	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー26	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー27	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー28	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
電源ユニット8	ドライバー29	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー30	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー31	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー32	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
電源ユニット9	ドライバー33	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー34	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー35	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
電源ユニット10	ドライバー36	TLC-BT-1500	8.86	8.86		1.772
	ドライバー37	TLC-BT-1500	8.86		8.86	1.772
	ドライバー38	TLC-BT-1500		8.86	8.86	1.772
			226.76	218.05	218.05	66.286

※ブレーカーのサイズに対して電流がオーバーしています。
※既設照明のk VAをオーバーしています。
※発電機回路にプロ用の照明を振り分け検討する必要があります。

屋外照明 LED化

改修項目⑨照明塔改修

照明提案-B

球場照明検討B案:プロ試合仕様(GC)時及びJIS1試合仕様(AC)時の消費電力の負荷バランスに関して
・プロ仕様の試合時 各照明塔分電盤の既存容量と計画容量 計算表3

照明	最大電流(A)	電圧(V)	k VA
TLC-LED-1200	7.2	200	1.44
TLC-LED-1500	8.71	200	1.742
TLC-BT-1500	8.86	200	1.772

照明塔No.3(C1ゴール)	照明塔分電盤No.3	42.57 k VA	200AT/225AF
	照明塔分電盤No.3(発)	42.48 k VA	200AT/225AF

負荷バランス表(参考)						
		R	S	T		k VA
電源ユニット1	ドライバー1	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー2	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー3	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー4	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
電源ユニット2	ドライバー5	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー6	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー7	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー8	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
電源ユニット3	ドライバー9	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー10	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー11	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー12	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
電源ユニット4	ドライバー13	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー14	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー15	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー16	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
電源ユニット5	ドライバー17	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー18	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー19	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー20	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
電源ユニット6	ドライバー21	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー22	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー23	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー24	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
電源ユニット7	ドライバー25	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー26	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー27	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー28	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
電源ユニット8	ドライバー29	TLC-BT-1500	8.86	8.86		1.772
	ドライバー30	TLC-BT-1500	8.86		8.86	1.772
	ドライバー31	TLC-BT-1500		8.86	8.86	1.772
	ドライバー32	TLC-BT-1500	8.86	8.86		1.772
合計			192.07	183.21	183.36	55.864

※既設照明のk VAをオーバーしています。
※発電機回路にプロ用の照明を振り分け検討する必要があります。

照明塔No.4(C2ゴール)	照明塔分電盤No.4	42.57 k VA	150AT/225AF
	照明塔分電盤No.4(発)	42.48 k VA	150AT/225AF

負荷バランス表(参考)						
		R	S	T		k VA
電源ユニット1	ドライバー1	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー2	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー3	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー4	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
電源ユニット2	ドライバー5	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー6	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー7	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー8	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
電源ユニット3	ドライバー9	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー10	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー11	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー12	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
電源ユニット4	ドライバー13	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー14	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー15	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー16	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
電源ユニット5	ドライバー17	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー18	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー19	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー20	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
電源ユニット6	ドライバー21	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー22	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー23	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー24	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
電源ユニット7	ドライバー25	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー26	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー27	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー28	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
電源ユニット8	ドライバー29	TLC-BT-1500	8.86	8.86		1.772
	ドライバー30	TLC-BT-1500	8.86		8.86	1.772
	ドライバー31	TLC-BT-1500		8.86	8.86	1.772
	ドライバー32	TLC-BT-1500	8.86	8.86		1.772
合計			192.07	183.21	183.36	55.864

※ブレーカーのサイズに対して電流がオーバーしています。
※既設照明のk VAをオーバーしています。
※発電機回路にプロ用の照明を振り分け検討する必要があります。

屋外照明 LED化

改修項目⑨照明塔改修

照明提案-B

球場照明検討B案:プロ試合仕様(GC)時及びJIS1試合仕様(AC)時の消費電力の負荷バランスに関して
・プロ仕様の試合時 各照明塔分電盤の既存容量と計画容量 計算表4

照明	最大電流(A)	電圧(V)	k VA
TLC-LED-1200	7.2	200	1.44
TLC-LED-1500	8.71	200	1.742
TLC-BT-1500	8.86	200	1.772

観覧席屋根(M1～M9)			
	分電盤(未定)(発)	―― k VA	――AT/――AF

負荷バランス表(参考)						
			R	S	T	k VA
電源ユニット1	ドライバー17	TLC-LED-1200	7.2	7.2		1.44
	ドライバー18	TLC-LED-1200	7.2		7.2	1.44
	ドライバー19	TLC-LED-1200		7.2	7.2	1.44
電源ユニット2	ドライバー20	TLC-LED-1200	7.2	7.2		1.44
	ドライバー21	TLC-LED-1200	7.2		7.2	1.44
	ドライバー22	TLC-LED-1200		7.2	7.2	1.44
電源ユニット3	ドライバー23	TLC-LED-1200	7.2	7.2		1.44
	ドライバー24	TLC-LED-1200	7.2		7.2	1.44
	ドライバー25	TLC-LED-1200		7.2	7.2	1.44
			43.2	43.2	43.2	12.96

※接続分電盤(発)を検討する必要があります。

屋外照明 LED化

改修項目⑨照明塔改修

照明提案-B

球場照明検討B案:プロ試合仕様(GC)時及びJIS1試合仕様(AC)時の消費電力の負荷バランスに関して

・J1仕様の試合時 各照明塔分電盤の既存容量と計画容量 計算表1

※回路をJ1適用回路を区分し、必要容量を計算 照明塔No.1 No.6---容量42.57kv>使用量16.746Kva OK
照明塔No.2 No.5---容量42.57kv>使用量26.220Kva OK

照明	最大電流(A)	電圧(V)	k VA
TLC-LED-1200	7.2	200	1.44
TLC-LED-1500	8.71	200	1.742
TLC-BT-1500	8.86	200	1.772

照明塔No.1(A1ガール)	照明塔分電盤No.1	42.57 k VA	200AT/225AF
	照明塔分電盤No.1(発)	42.48 k VA	200AT/225AF

AC回路(JIS1照度)負荷バランス表(参考)						
			R	S	T	k VA
電源ユニット1	ドライバー1	TLC-LED-1200	7.2	7.2		1.44
	ドライバー2	TLC-LED-1200	7.2		7.2	1.44
	ドライバー3	TLC-LED-1200		7.2	7.2	1.44
	ドライバー4	TLC-LED-1200	7.2	7.2		1.44
電源ユニット2	ドライバー5	TLC-LED-1200	7.2	7.2		1.44
	ドライバー6	TLC-LED-1200	7.2		7.2	1.44
	ドライバー7	TLC-LED-1200		7.2	7.2	1.44
	ドライバー8	TLC-LED-1200	7.2	7.2	7.2	1.44
電源ユニット3	ドライバー9	TLC-BT-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー10	TLC-BT-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー11	TLC-BT-1500		8.71	8.71	1.742
合計			60.62	53.42	53.42	16.746

照明塔No.6(A2ガール)	照明塔分電盤No.6	42.57 k VA	150AT/225AF
	照明塔分電盤No.6(発)	42.48 k VA	150AT/225AF

AC回路(JIS1照度)負荷バランス表(参考)						
			R	S	T	k VA
電源ユニット1	ドライバー1	TLC-LED-1200	7.2	7.2		1.44
	ドライバー2	TLC-LED-1200	7.2		7.2	1.44
	ドライバー3	TLC-LED-1200		7.2	7.2	1.44
	ドライバー4	TLC-LED-1200	7.2	7.2		1.44
電源ユニット2	ドライバー5	TLC-LED-1200	7.2	7.2		1.44
	ドライバー6	TLC-LED-1200	7.2		7.2	1.44
	ドライバー7	TLC-LED-1200		7.2	7.2	1.44
	ドライバー8	TLC-LED-1200	7.2	7.2		1.44
電源ユニット3	ドライバー9	TLC-BT-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー10	TLC-BT-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー11	TLC-BT-1500		8.71	8.71	1.742
合計			60.62	53.42	53.42	16.746

照明	最大電流(A)	電圧(V)	k VA
TLC-LED-1200	7.2	200	1.44
TLC-LED-1500	8.71	200	1.742
TLC-BT-1500	8.86	200	1.772

照明塔No.2(B1ガール)	照明塔分電盤No.2	42.57 k VA	200AT/225AF
	照明塔分電盤No.2(発)	42.48 k VA	200AT/225AF

AC回路(JIS1照度)負荷バランス表(参考)						
			R	S	T	kVA
電源ユニット1	ドライバー1	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー2	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー3	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー4	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
電源ユニット2	ドライバー5	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー6	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー7	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー8	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
電源ユニット3	ドライバー9	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー10	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー11	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー12	TLC-LED-1500	8.71	8.71	8.71	1.742
電源ユニット4	ドライバー13	TLC-BT-1500	8.86	8.86		1.772
	ドライバー14	TLC-BT-1500	8.86		8.86	1.772
	ドライバー15	TLC-BT-1500		8.86	8.86	1.772
			87.4	87.4	87.4	26.22

照明塔No.5(B2ガール)	照明塔分電盤No.5	42.57 k VA	150AT/225AF
	照明塔分電盤No.5(発)	42.48 k VA	150AT/225AF

AC回路(JIS1照度)負荷バランス表(参考)						
			R	S	T	k VA
電源ユニット1	ドライバー1	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー2	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー3	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー4	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
電源ユニット2	ドライバー5	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー6	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー7	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー8	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
電源ユニット3	ドライバー9	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー10	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー11	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー12	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
電源ユニット4	ドライバー13	TLC-BT-1500	8.86	8.86		1.772
	ドライバー14	TLC-BT-1500	8.86		8.86	1.772
	ドライバー15	TLC-BT-1500		8.86	8.86	1.772
			87.4	87.4	87.4	26.22

屋外照明 LED化

改修項目⑨照明塔改修

照明提案-B

球場照明検討B案:プロ試合仕様(GC)時及びJIS1試合仕様(AC)時の消費電力の負荷バランスに関して

・ J1仕様の試合時 各照明塔分電盤の既存容量と計画容量 計算表2

※回路をJ1適用回路を区分し、必要容量を計算 照明塔No.3 No.4---容量42.57kv>使用量21.024Kva OK

観覧席上部-----使用量5.76Kva 接続分電盤を考慮する必要あり

照明	最大電流(A)	電圧(V)	k VA
TLC-LED-1200	7.2	200	1.44
TLC-LED-1500	8.71	200	1.742
TLC-BT-1500	8.86	200	1.772

照明塔No.3(C1ポール)	照明塔分電盤No.3	42.57 k VA	200AT/225AF
	照明塔分電盤No.3(発)	42.48 k VA	200AT/225AF

AC回路(JIS1照度)負荷バランス表(参考)						
			R	S	T	k VA
電源ユニット1	ドライバー1	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー2	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー3	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー4	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
電源ユニット2	ドライバー5	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー6	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー7	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー8	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
電源ユニット3	ドライバー9	TLC-BT-1500	8.86	8.86		1.772
	ドライバー10	TLC-BT-1500	8.86		8.86	1.772
	ドライバー11	TLC-BT-1500		8.86	8.86	1.772
	ドライバー12	TLC-BT-1500		8.86	8.86	1.772
			69.98	70.13	70.13	21.024

照明塔No.4(C2ポール)	照明塔分電盤No.4	42.57 k VA	150AT/225AF
	照明塔分電盤No.4(発)	42.48 k VA	150AT/225AF

AC回路(JIS1照度)負荷バランス表(参考)						
			R	S	T	k VA
電源ユニット1	ドライバー1	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー2	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー3	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー4	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
電源ユニット2	ドライバー5	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
	ドライバー6	TLC-LED-1500	8.71		8.71	1.742
	ドライバー7	TLC-LED-1500		8.71	8.71	1.742
	ドライバー8	TLC-LED-1500	8.71	8.71		1.742
電源ユニット3	ドライバー9	TLC-BT-1500	8.86	8.86		1.772
	ドライバー10	TLC-BT-1500	8.86		8.86	1.772
	ドライバー11	TLC-BT-1500		8.86	8.86	1.772
	ドライバー12	TLC-BT-1500		8.86	8.86	1.772
			69.98	70.13	70.13	21.024

照明	最大電流(A)	電圧(V)	k VA
TLC-LED-1200	7.2	200	1.44
TLC-LED-1500	8.71	200	1.742
TLC-BT-1500	8.86	200	1.772

観覧席屋根(M1～M9)	分電盤(未定)	-- k VA	--AT/--AF
	分電盤(未定)(発)	-- k VA	--AT/--AF

※接続する分電盤の考慮が必要

AC回路(JIS1照度)負荷バランス表(参考)						
			R	S	T	k VA
電源ユニット1	ドライバー1	TLC-LED-1200	7.2	7.2		1.44
	ドライバー2	TLC-LED-1200	7.2		7.2	1.44
	ドライバー3	TLC-LED-1200		7.2	7.2	1.44
	ドライバー4	TLC-LED-1200	7.2	7.2		1.44
合計			21.6	21.6	14.4	5.76

屋外照明 LED化

改修項目⑨照明塔改修

照明提案-B

球場照明検討B案:プロ試合仕様(GC)時及びJIS1試合仕様(AC)時の消費電力の負荷バランスに関して

・J1仕様の試合時 各照明塔分電盤の既存容量と計画容量 計算表2

※回路をJ1適用回路を区分し、必要容量を計算 照明塔No.1 No.6---容量42.57kv>使用量16.746Kva OK
照明塔No.1 No.6---容量42.57kv>使用量16.746Kva OK

照明	最大電流(A)	電圧(V)	k VA
TLC-LED-1200	7.2	200	1.44
TLC-LED-1500	8.71	200	1.742
TLC-BT-1500	8.86	200	1.772

照明塔No.1(A1ポール)	照明塔分電盤No.1	42.57 k VA	200AT/225AF
	照明塔分電盤No.1(発)	42.48 k VA	200AT/225AF

AC回路(JIS1照度)負荷バランス表(参考)					
		R	S	T	k VA
電源ユニット1	ドライバー1	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
	ドライバー2	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
	ドライバー3	TLC-LED-1200		7.2	1.44
	ドライバー4	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
電源ユニット2	ドライバー5	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
	ドライバー6	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
	ドライバー7	TLC-LED-1200		7.2	1.44
	ドライバー8	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
電源ユニット3	ドライバー9	TLC-BT-1500	8.71	8.71	1.742
	ドライバー10	TLC-BT-1500	8.71	8.71	1.742
	ドライバー11	TLC-BT-1500		8.71	1.742
合計			60.62	53.42	16.746

GC回路(プロ試合時使用)負荷バランス表(参考)					
		R	S	T	k VA
電源ユニット1	ドライバー1	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
	ドライバー2	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
	ドライバー3	TLC-LED-1200		7.2	1.44
	ドライバー4	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
電源ユニット2	ドライバー5	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
	ドライバー6	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
	ドライバー7	TLC-LED-1200		7.2	1.44
	ドライバー8	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
電源ユニット3	ドライバー9	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
	ドライバー10	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
	ドライバー11	TLC-LED-1200		7.2	1.44
電源ユニット4	ドライバー12	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
	ドライバー13	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
	ドライバー14	TLC-LED-1200		7.2	1.44
	ドライバー15	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
電源ユニット5	ドライバー16	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
	ドライバー17	TLC-LED-1200		7.2	1.44
	ドライバー18	TLC-LED-1200		7.2	1.44
合計			86.4	79.2	24.48

照明	最大電流(A)	電圧(V)	k VA
TLC-LED-1200	7.2	200	1.44
TLC-LED-1500	8.71	200	1.742
TLC-BT-1500	8.86	200	1.772

照明塔No.1(A1ポール)	照明塔分電盤No.1	42.57 k VA	200AT/225AF
	照明塔分電盤No.1(発)	42.48 k VA	200AT/225AF

AC回路(JIS1照度)負荷バランス表(参考)					
		R	S	T	k VA
電源ユニット1	ドライバー1	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
	ドライバー2	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
	ドライバー3	TLC-LED-1200		7.2	1.44
	ドライバー4	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
電源ユニット2	ドライバー5	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
	ドライバー6	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
	ドライバー7	TLC-LED-1200		7.2	1.44
	ドライバー8	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
電源ユニット3	ドライバー9	TLC-BT-1500	8.71	8.71	1.742
	ドライバー10	TLC-BT-1500	8.71	8.71	1.742
	ドライバー11	TLC-BT-1500		8.71	1.742
合計			60.62	53.42	16.746

GC回路(プロ試合時使用)負荷バランス表(参考)					
		R	S	T	k VA
電源ユニット1	ドライバー1	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
	ドライバー2	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
	ドライバー3	TLC-LED-1200		7.2	1.44
	ドライバー4	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
電源ユニット2	ドライバー5	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
	ドライバー6	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
	ドライバー7	TLC-LED-1200		7.2	1.44
	ドライバー8	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
電源ユニット3	ドライバー9	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
	ドライバー10	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
	ドライバー11	TLC-LED-1200		7.2	1.44
電源ユニット4	ドライバー12	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
	ドライバー13	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
	ドライバー14	TLC-LED-1200		7.2	1.44
	ドライバー15	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
電源ユニット5	ドライバー16	TLC-LED-1200	7.2	7.2	1.44
	ドライバー17	TLC-LED-1200		7.2	1.44
	ドライバー18	TLC-LED-1200		7.2	1.44
合計			86.4	79.2	24.48

コザ運動公園園路等改修項目

番号	項目	小項目	課題	対応策
①	歩車道分離			
①-1		北側園路歩車道分離	北側の東西道路に関して、歩車道が分離されておらず、安全性に問題。	北側の東西道路に関して、アリーナ側からAB駐車場までの道路の歩車道分離を行い、安全性を確保する。
①-2		多目的グラウンド北側園路作成	多目的グラウンド北側に歩行者専用通路が無く、市民体育館バックヤード内が通路として利用されており歩車分離されていない。	多目的グラウンド北側に歩行者用通路を整備する。
①-3		コザしんきんスタジアムとドーム間通路改修	しんきんスタジアムとしんきんドーム間の通路はスパイクで移動に適していないことから、シューズ及び路面が劣化する	当該部分床をゴムチップ等で補修、改修
②	西側新駐車場-運動公園間高低差対応			
②-1 A案	西側新駐車場-運動公園間高低差対応通路作成		西側新駐車場とコザ運動公園(多目的運動場及び芝広場)との間に高低差がある。現在のスロープは勾配がきつく、身障者・車椅子・ベビーカー等の利用者を含む歩行者の移動がしにくい。	造成によるスロープ整備
②-1 A'案				造成によるスロープ整備
②-1 B案				立体駐車場から各施設の接続強化のためのペDESTリアンデッキ整備 (立駐～野球場迄のペDESTリアンデッキ整備)EV整備含む
②-1 B'案				立体駐車場から運動公園中央へアクセスするペDESTリアンデッキスロープ整備 (立駐～運動公園中央迄のペDESTリアンデッキスロープ整備)
③	陸上競技場-野球場エリア間高低差対応			
③-1		陸上競技場北側高低差対応	陸上競技場北側園路は野球場との間に高低差がある。現在のスロープは勾配がきつく、身障者・車椅子・ベビーカー等の利用者を含む歩行者の移動がしにくい。	身障者対応スロープ整備
③-2 A案	陸上競技場東側高低差対応		陸上競技場東側園路は野球場との間に高低差がある。現在の園路は勾配がきつく、身障者・車椅子・ベビーカー等の利用者を含む歩行者の移動がしにくい。	身障者対応スロープ整備
③-2 B案				現スロープの登り切り部分を野球場側へ移動。スロープ全体を緩やかにする。
③	広場整備			
③-1		芝広場整備	園路沿いに人々が集まれる交流拠点となる広場が無い	現テニスコート部分及び北側周辺緑地を交流拠点広場とする。
③-2		陸上競技場前広場整備	陸上競技場西側エントランスに広場が無く、駐車場になっている	陸上競技場南東方向に広場を作成。
④	歩車道分離に伴う駐車場改修			
④-1		CDE1駐車場改修新築	C駐車場及びD・E1駐車場周辺は歩車道分離が行われておらず、安全性に問題がある。	C駐車場及びD・E1駐車場周辺の歩行者及び車両通行エリアを分離し、安全な歩行者動線を確保、駐車場エリアを分離する。
④-2		AB駐車場改修等	AB駐車場は他の施設から離れ、高低差などもあり利用しにくい。	AB駐車場を改修し、東側県道からアクセスし、AB駐車場間高低差を解消、一体とした利用が可能と出来る様にする。
④-3		J駐車場改修等	コザしんきんドームは災害時の支援物資集積拠点となっている。大型車両及び物品集積に対応した駐車場の路盤改修が必要	コザしんきんドームエントランスに接したJ駐車場エリアを、物販搬入用大型車両の進入を考慮した路盤耐荷重強化舗装に改修
④-4		F2駐車場改修等	F駐車場周りにアリーナ歩車道分離歩道確保がなされていない	F2駐車場の一部を歩道化、駐車場を再編し、アリーナ側から安全に歩道を通行できるようにする。
⑤	園路照明改修			
⑤-1		園路沿いの照明器具更新	園路沿い照明が水銀灯等古く、機器の更新が必要	統一したLED外灯照明に更新。住宅に近接部分は遮光板を取り付け、光漏れを防ぐ。
⑥	園路音響システム整備			
⑥-1		園路沿いの音響スピーカー更新	園路沿い音響が整備されていない	近隣にも配慮したスピーカー等を配置し、園内利用者に心地よい音楽や環境音、放送を届けるシステムを構築。
⑦	バス停整備			
⑦-1		バス停整備	市内外各地からコザ運動公園へアクセスし易いバス停が園内に無く、離れている。	市内外各地から園内各施設へ直接アクセスし易いバス停を公園中央に整備
⑧	擁壁改修整備			
⑧-1		園路脇擁壁改修	陸上競技場東側園路野球場間擁壁劣化	劣化擁壁の撤去新設
⑧-2			陸上競技場外周擁壁劣化	陸上競技場スタンド改修時に作り替える

A案：造成による整備案

アリーナ接続整備歩道

- ・アリーナ側と運動公園、AB駐車場側までを繋ぐ歩道の整備。
- ・各駐車場への車道と歩道を地盤レベルで区分し歩車道分離を図る。

園路改修

- ・ 5 パーセント以下の勾配に再整備。

市道廃止検討及び車両転回場の整備

- ・ 市道を一部廃止し、完全歩道化とする。
- ・ 行き止りとなるため、転回場を設置。

多目的グラウンドと広場、アリーナ側駐車場を結ぶ造成スロープの整備

- ・ 階段及び身障者が利用できない急坂を幅員3mの造成スロープにより繋ぐ。
- ・ 整備された広く明るい専用路により歩行者の回遊性を高める。

回遊性を高める歩道の整備

- ・ 多目的グラウンド脇の便益施設まで立体駐車場からの動線をつなぐ。
- ・ 歩行者の回遊性を高める。

多目的グラウンド

園路改修

- ・ 5 パーセント以下の勾配に再整備。

擁壁の改修 ※A～C案すべて同じ

- ・ 倒壊危険のある擁壁を撤去し、再整備。

凡例

- 整備歩道
- 標高を示す

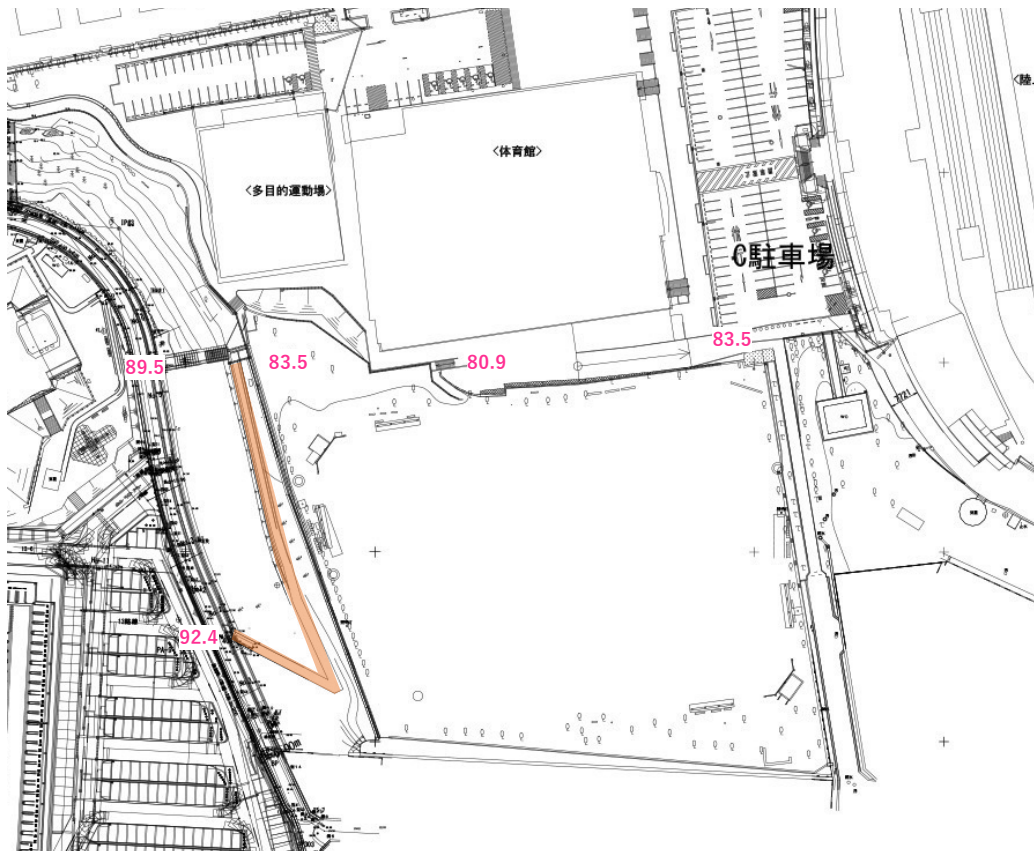
0 10 20 30 50 100

※注:地盤レベルは既存設計図、現地目視、google地図データ等から類推

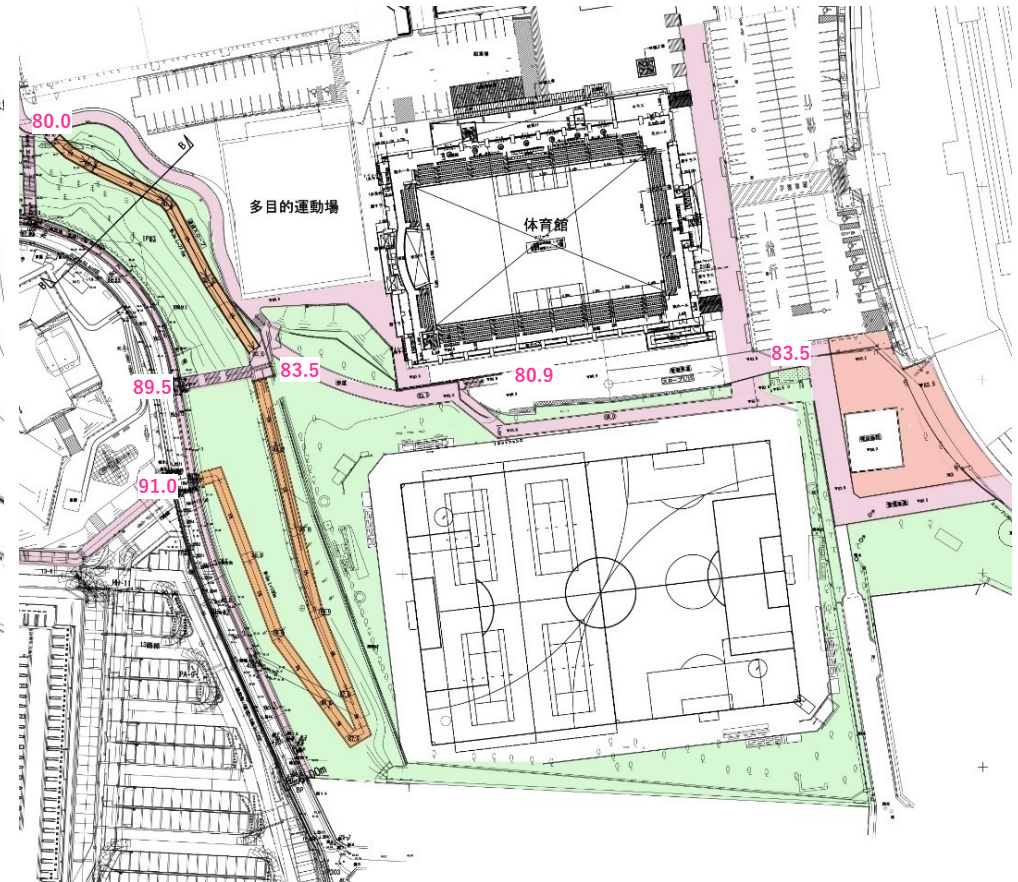
※地盤レベルは類推のため、今後、測量を行った後に検討必要

A案：造成による整備案

- ・立体駐車場から多目的グラウンドへ接続するスロープの勾配を $i=5\%$ に計画。
- ・多目的グラウンドの計画高は83.5、体育館裏の園路は80.9。
- ・多目的グラウンドのレベル（83.5）で陸上競技場へアクセスする。



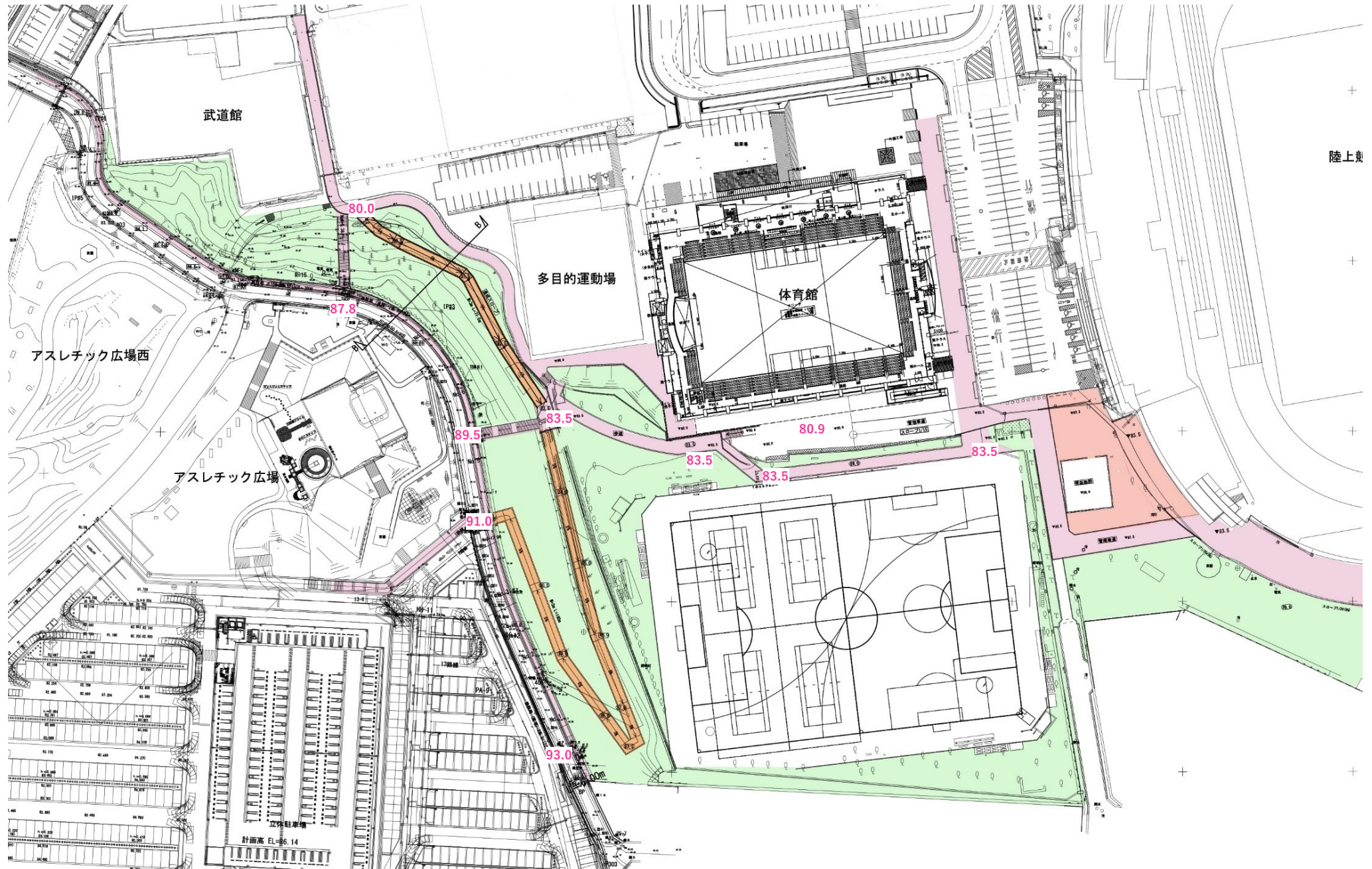
現況平面図



計画平面図

※注:地盤レベルは既存設計図、現地目視、google地図データ等から類推
 ※地盤レベルは類推のため、今後、測量を行った後に検討必要

A案：造成による整備案



計画平面図

※注:地盤レベルは既存設計図、現地目視、google地図データ等から類推
 ※地盤レベルは類推のため、今後、測量を行った後に検討必要

折り返し平場6.5m

(10m) (20m) (20m) (20m) (20m) (20m) (10m)

87.5 91.0 91.0 89.5 87.8 80.0 83.5 80.9

スロープ既存改修1/12→1/20程度

折り返し平場6m

階段

91.0⇒83.5 高低差7.5m
L=180m i=5%
スロープ150m+平場2.5m×7か所+折り返し平場6.5m+上部平場6m=180m

83.5⇒80.0 高低差3.5m

多目的クワッドネット

93.0

92.0

91.0

89.5

87.5

+80.0

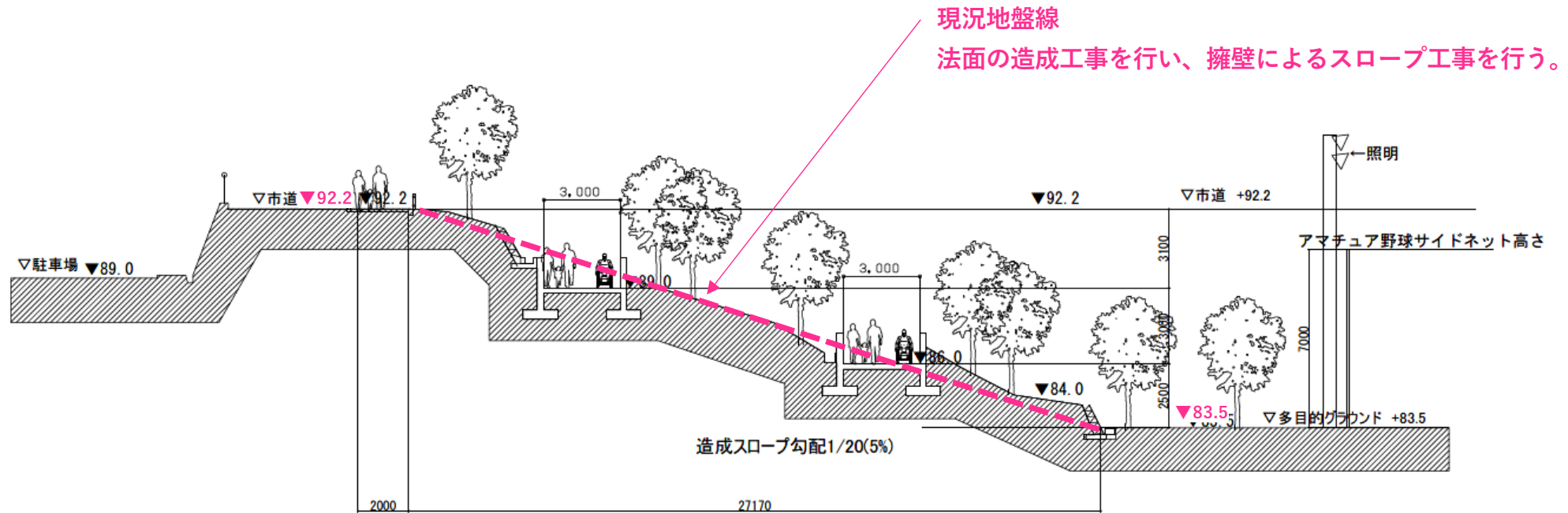
既存階段

造成スロープW=3m
勾配1/20(5%)

スロープ10m×中場2.5m×3m所=77.5m

※注:地盤レベルは既存設計図、現地目視、google地図データ等から類推
※地盤レベルは類測のため、今後、測量を行った後に検討必要

A案：造成による整備案



A-A断面図



※注:地盤レベルは既存設計図、現地目視、google地図データ等から類推
※地盤レベルは類推のため、今後、測量を行った後に検討必要

Aダッシュ案：造成による整備案

アリーナ接続整備歩道

- ・アリーナ側と運動公園、AB駐車場側までを繋ぐ歩道の整備。
- ・各駐車場への車道と歩道を地盤レベルで区分し歩車道分離を図る。

多目的グラウンドと広場を結ぶ造成スロープの整備

- ・幅員3mの造成スロープにより繋ぐ。
- ・整備された広く明るい専用路により歩行者の回遊性を高める。

市道廃止検討及び車両転回場の整備

- ・市道を一部廃止し、完全歩道化とする。
- ・行き止りとなるため、転回場を設置。

回遊性を高める歩道の整備

- ・多目的グラウンド脇の便益施設まで立体駐車場からの動線をつなぐ。
- ・歩行者の回遊性を高める。

園路改修

- ・5パーセント以下の勾配に再整備。

擁壁の改修 ※A～E案すべて同じ

- ・倒壊危険のある擁壁を撤去し、再整備。

園路改修

- ・5パーセント以下の勾配に再整備。

凡例

- 整備歩道
- 標高を示す

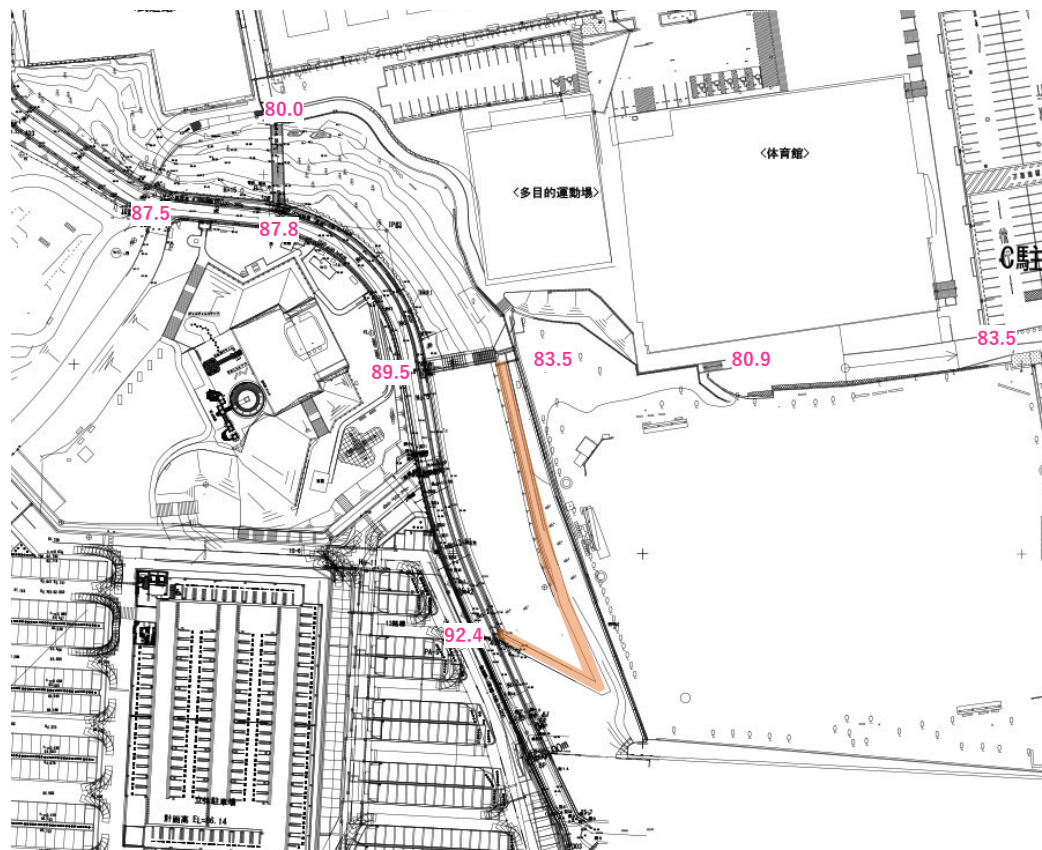
0 10 20 30 50 100

※注:地盤レベルは既存設計図、現地目視、google地図データ等から類推

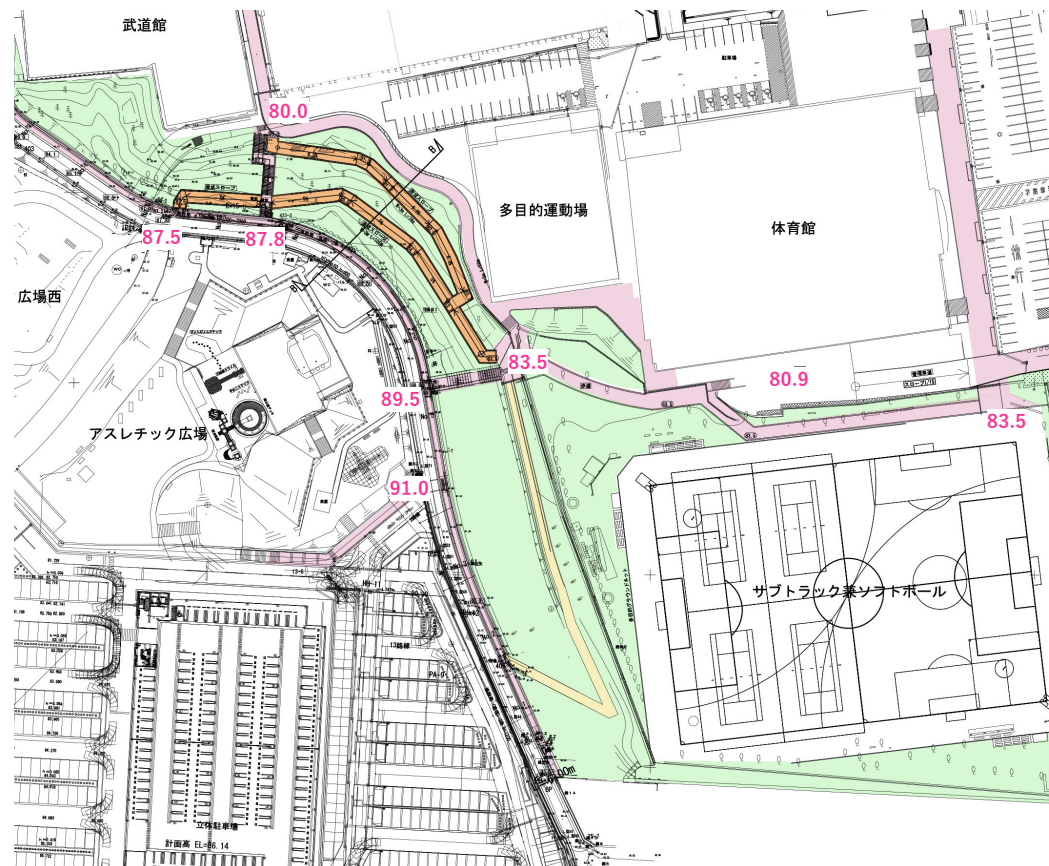
※地盤レベルは類推のため、今後、測量を行った後に検討必要

Aダッシュ案：造成による整備案

- ・多目的グラウンドの計画高は83.5、体育館裏の園路は80.9。
- ・多目的グラウンドのレベル（83.5）で陸上競技場へアクセスする。
- ・市道87.5レベルより多目的グラウンドのレベル（83.5）及び広場(80.0)へ交流拠点広場へアクセスするスロープを計画。



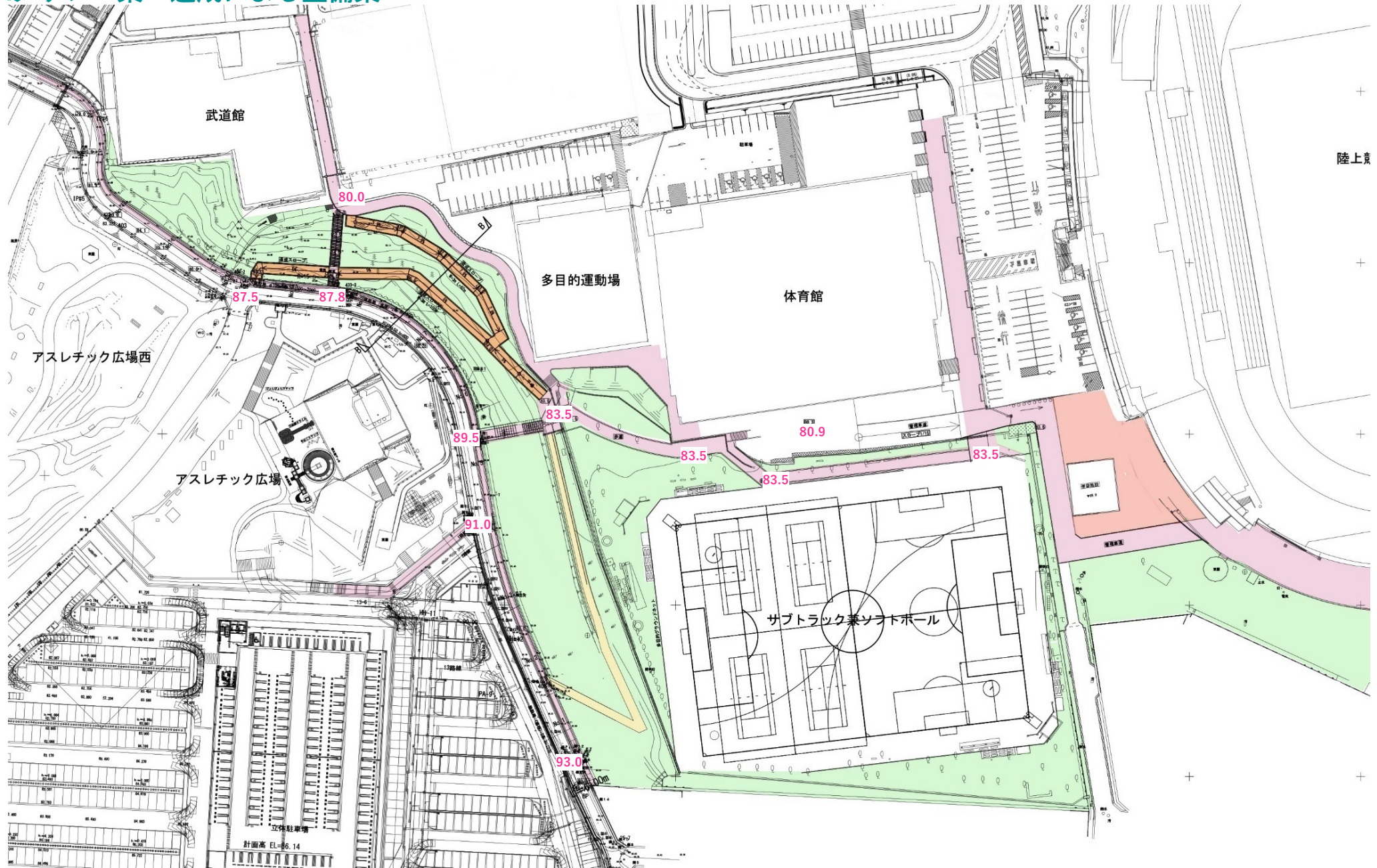
現況平面図



計画平面図

※注:地盤レベルは既存設計図、現地目視、google地図データ等から類推
 ※地盤レベルは類推のため、今後、測量を行った後に検討必要

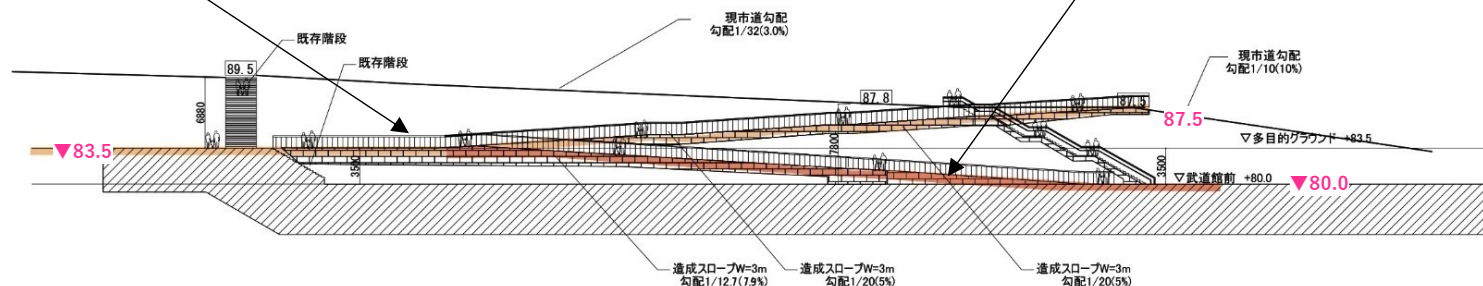
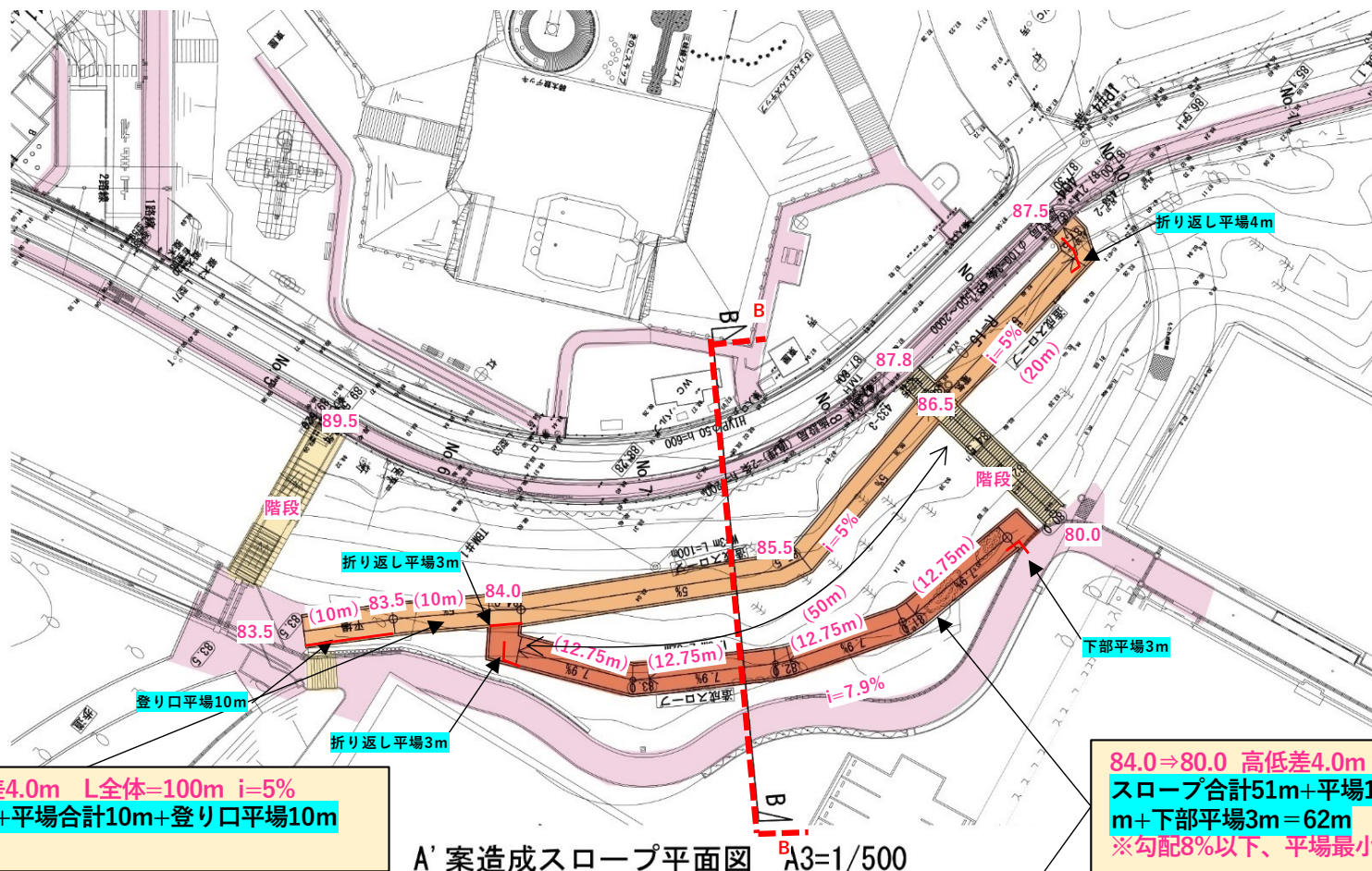
Aダッシュ案：造成による整備案



計画平面図

※注:地盤レベルは既存設計図、現地目視、google地図データ等から類推
 ※地盤レベルは類推のため、今後、測量を行った後に検討必要

Aダッシュ案：造成による整備案

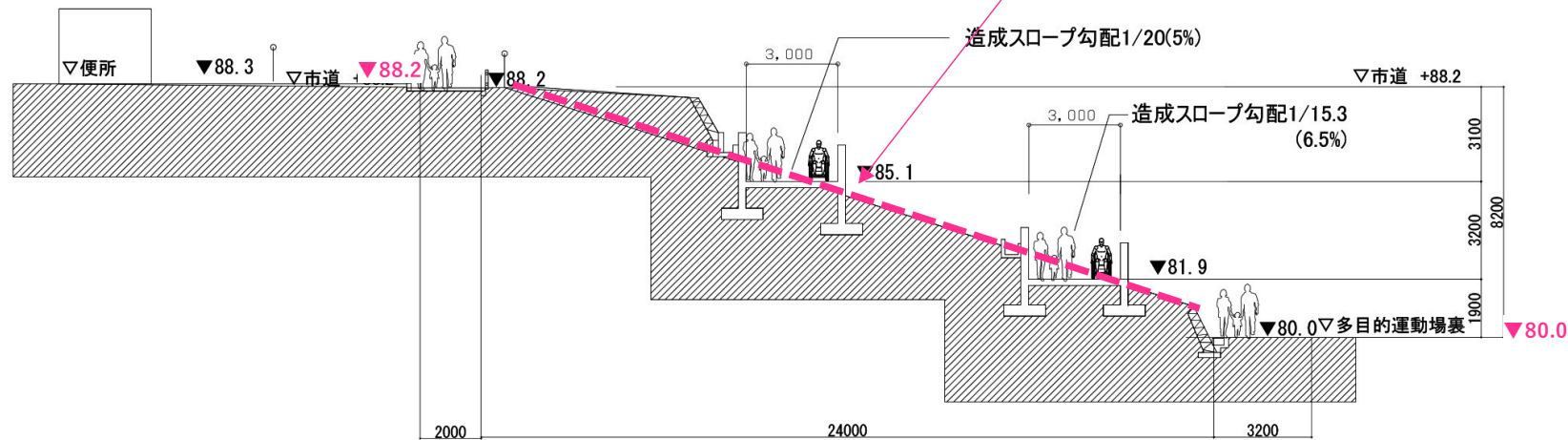


造成スロープ立面図

※注:地盤レベルは既存設計図、現地目視、google地図データ等から類推
※地盤レベルは類推のため、今後、測量を行った後に検討必要

Aダッシュ案：造成による整備案

法面の造成工事を行い、擁壁によるスロープ工事をを行う。



B-B断面図



※注:地盤レベルは既存設計図、現地目視、google地図データ等から類推
 ※地盤レベルは類測のため、今後、測量を行った後に検討必要

B案：立体駐車場から各施設の接続強化のためのペデストリアンデッキ整備案

アリーナ接続整備歩道

- ・アリーナ側と運動公園、AB駐車場側までを繋ぐ歩道の整備。
- ・各駐車場への車道と歩道を地盤レベルで区分し歩車道分離を図る。

園路改修

- ・ 5パーセント以下の勾配に再整備。

市道廃止検討及び車両転回場の整備

- ・市道を一部廃止し、完全歩道化とする。
- ・行き止りとなるため、転回場を設置。

立体駐車場から各施設へのペデストリアンデッキ整備

- ・約+90mレベルで立体駐車場と野球場までペデストリアンデッキでつなぐ。
- ・立体駐車場から交流拠点広場までは、段階的の整備を検討。
- ・歩行者は高低差が解消されスムーズに移動できるようになり、回遊性が高まる。
- ・ペデストリアンデッキ下は、休憩スペース等に利用。

段階的の整備を検討

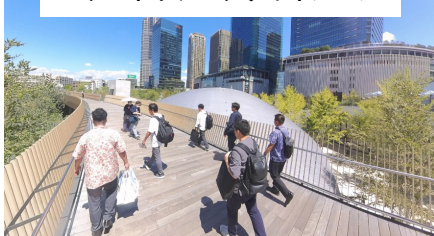
多目的グランド

ペデストリアンデッキからスロープを整備

擁壁の改修 ※A～C案すべて同じ

- ・倒壊危険のある擁壁を撤去し、再整備。

ペデストリアンデッキイメージ



凡例

- 整備歩道
- ペデストリアンデッキ
- 標高を示す

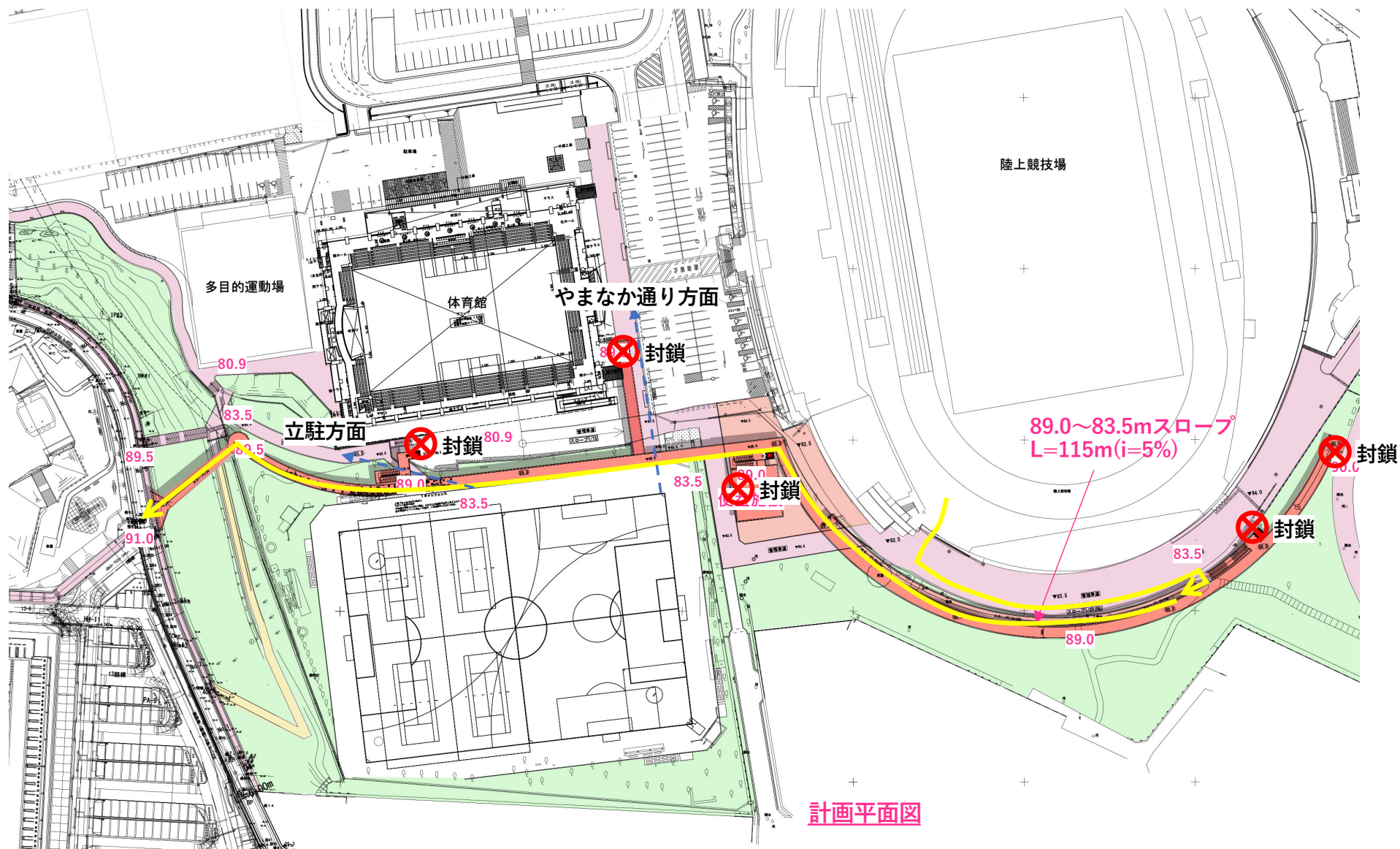
園路改修

- ・ 5パーセント以下の勾配に再整備。

※注:地盤レベルは既存設計図、現地目視、google地図データ等から類推

※地盤レベルは類推のため、今後、測量を行った後に検討必要

B案：ペデストリアンデッキ整備案を使用した大規模イベント時の警備対応案



【警備対応案】

デッキ上は幅員が3mありすれ違いが出来る幅が確保されているが、イベント時には雑踏による混乱を未然に防止する。

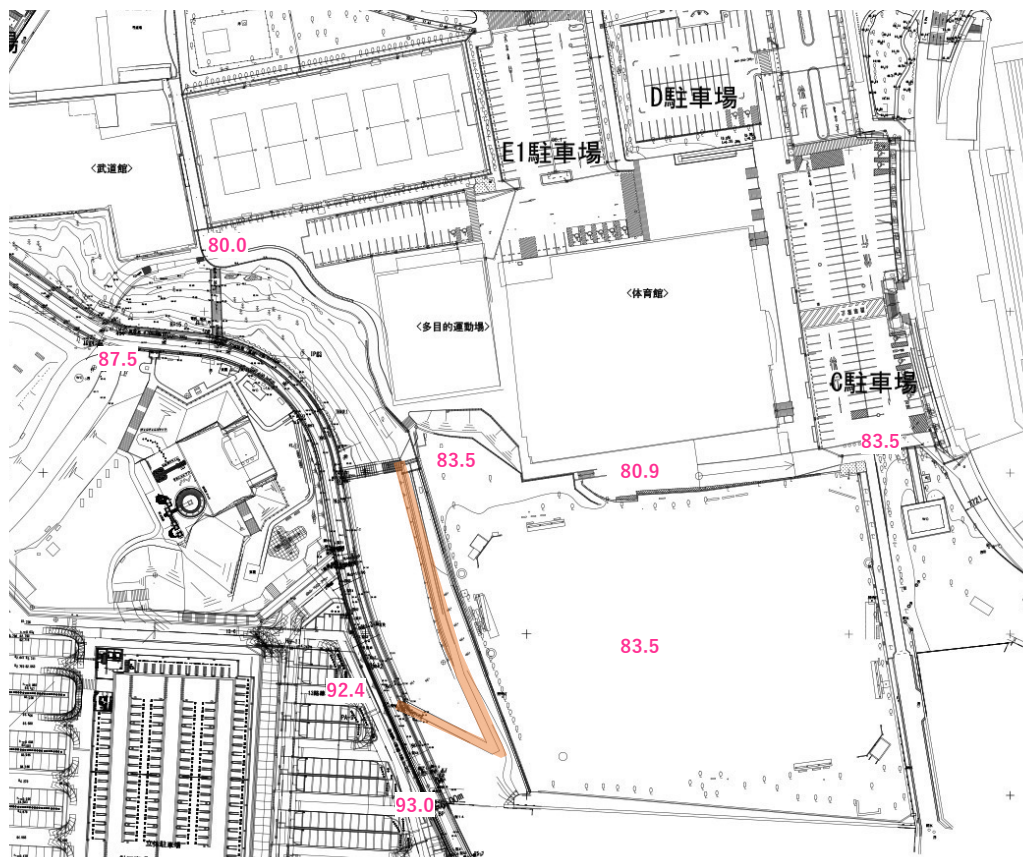
対応① 退場時は一方通行の対応を取る。

対応② ブロック退場など、施設内からの退出を時差退場とする。

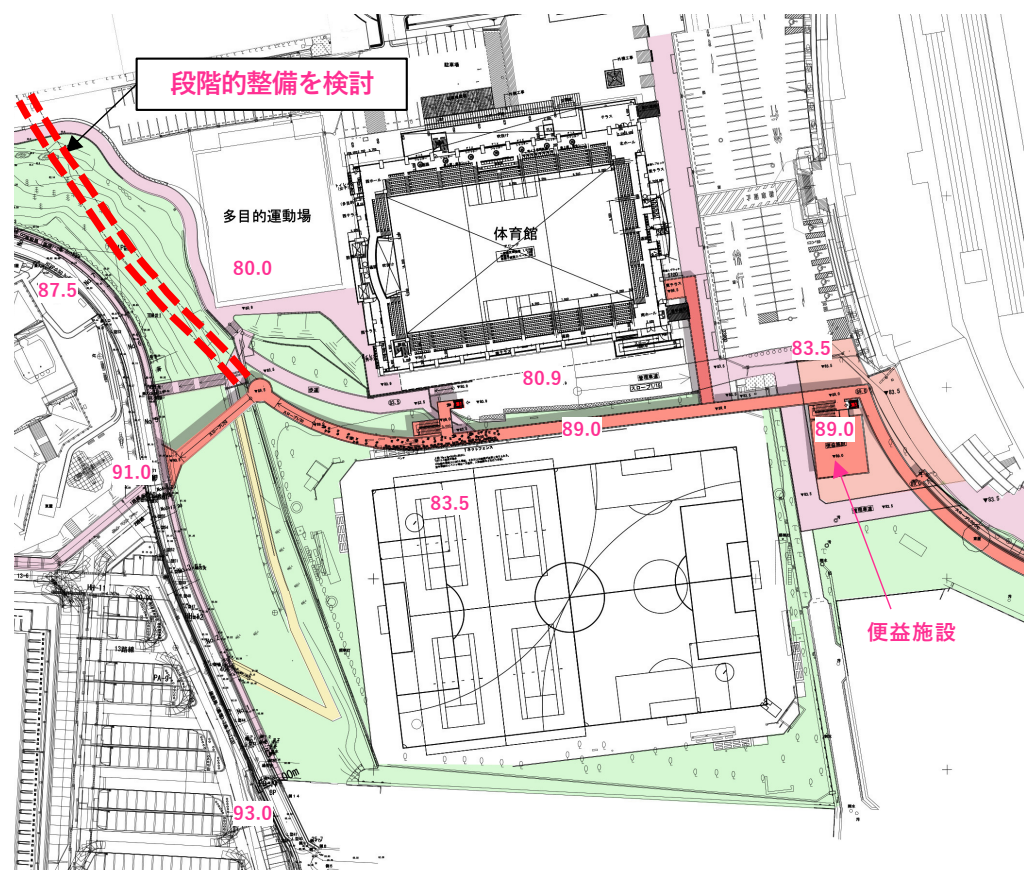
対応③ 特に大規模イベントの退場時は雑踏事故のリスクが高まるため、ゆっくりと人の流れが途切れないような誘導動線を設定する。

B案：立体駐車場から各施設の接続強化のためのペDESTリアンデッキ整備案

- ・ 立体駐車場(91.0)から接続するペDESTリアンデッキ(89.0)を計画。
- ・ 一部、立体駐車場(91.0)からペDESTリアンデッキ(89.0)へのアクセスは*i*=5%スロープ。
- ・ 多目的グラウンドの計画高は83.5、体育館裏の園路は80.9。
- ・ ペDESTリアンデッキから各施設へは、EV及び階段（一部スロープ）にて接続。
- ・ ペDESTリアンデッキのレベル（89.0）で便益施設及び野球場側へアクセスする。



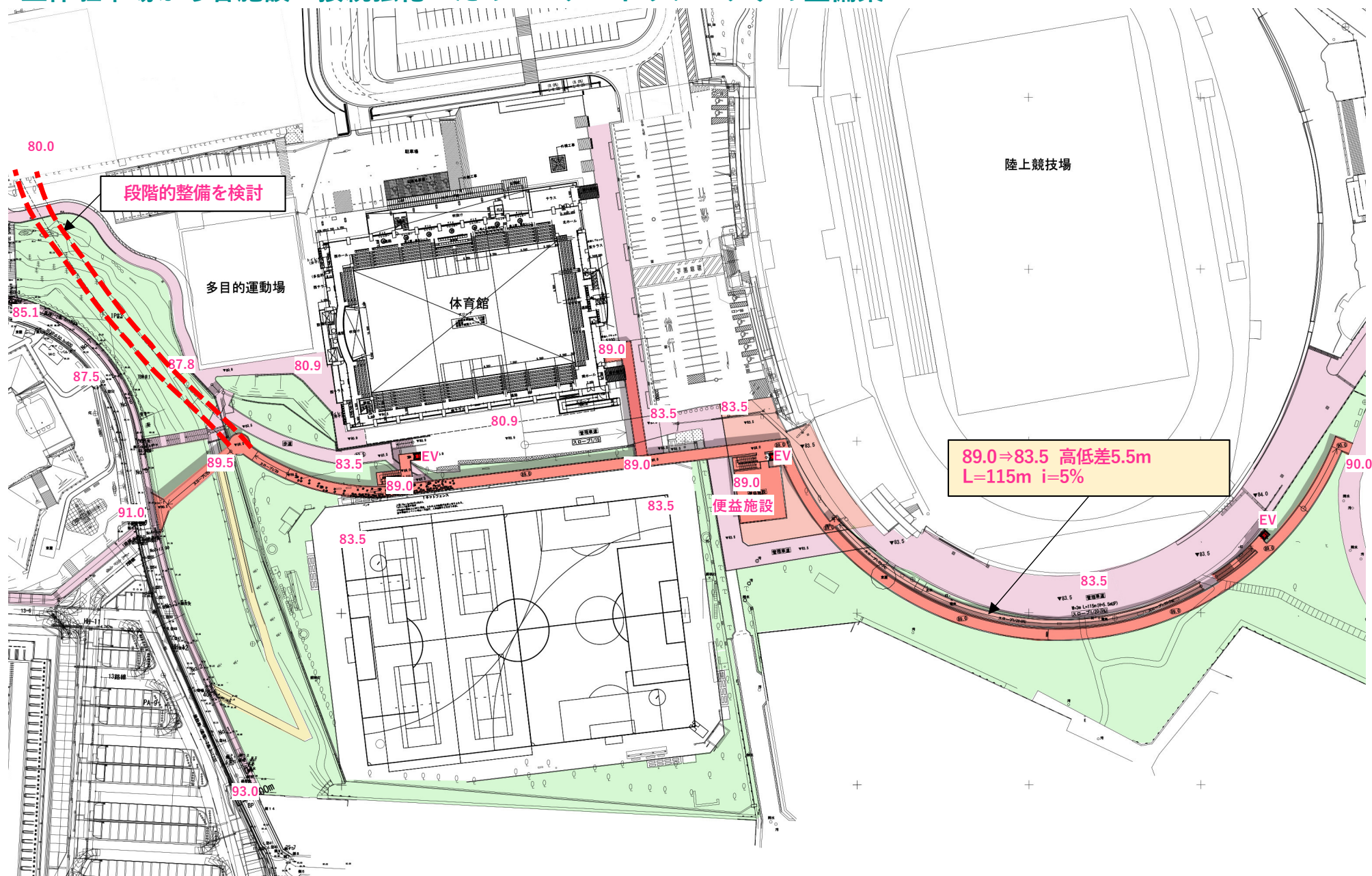
現況平面図



計画平面図

※注:地盤レベルは既存設計図、現地目視、google地図データ等から類推
 ※地盤レベルは類推のため、今後、測量を行った後に検討必要

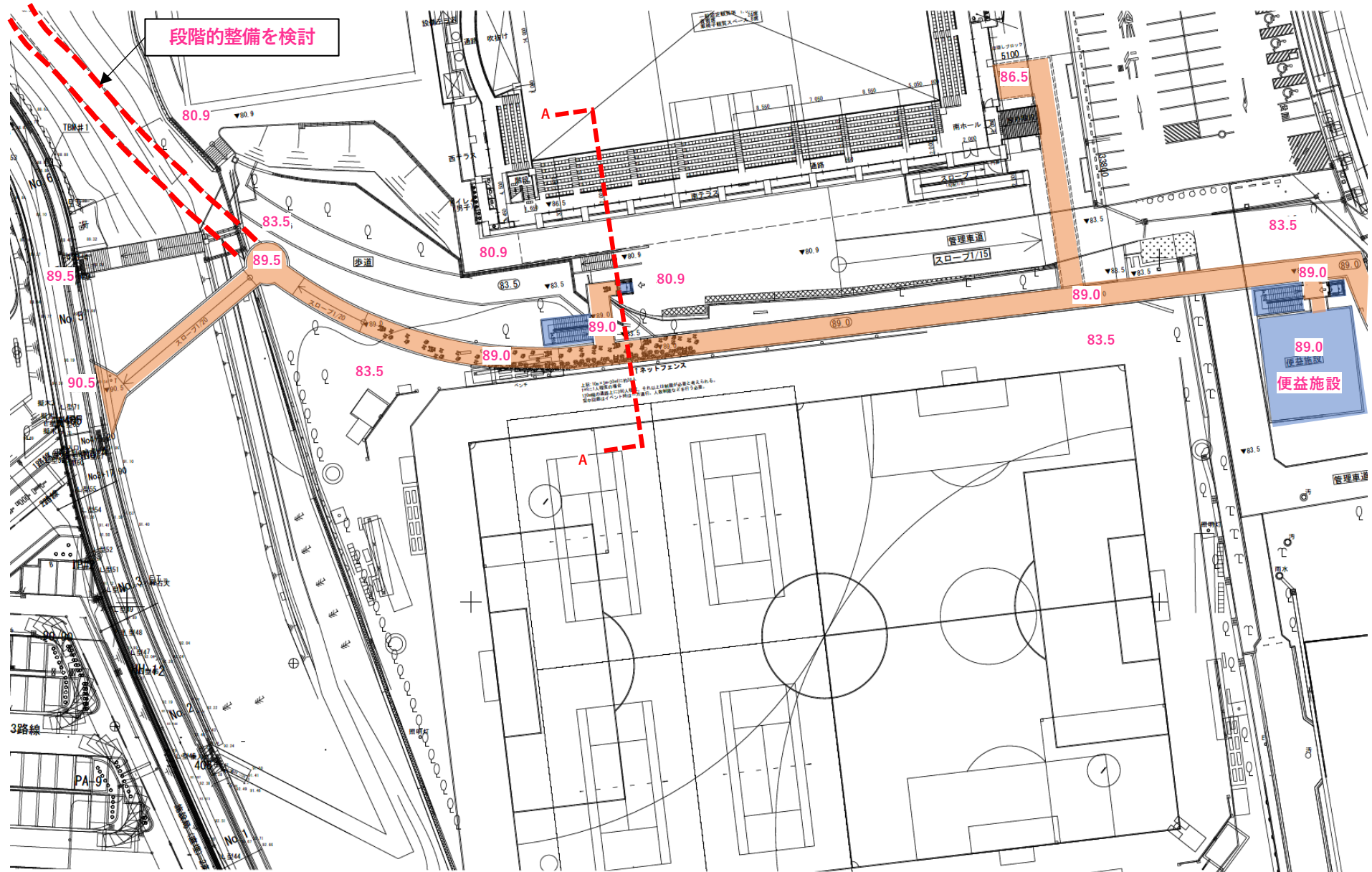
B案：立体駐車場から各施設の接続強化のためのペDESTリアンデッキ整備案



計画平面図

※注:地盤レベルは既存設計図、現地目視、google地図データ等から類推
※地盤レベルは類測のため、今後、測量を行った後に検討必要

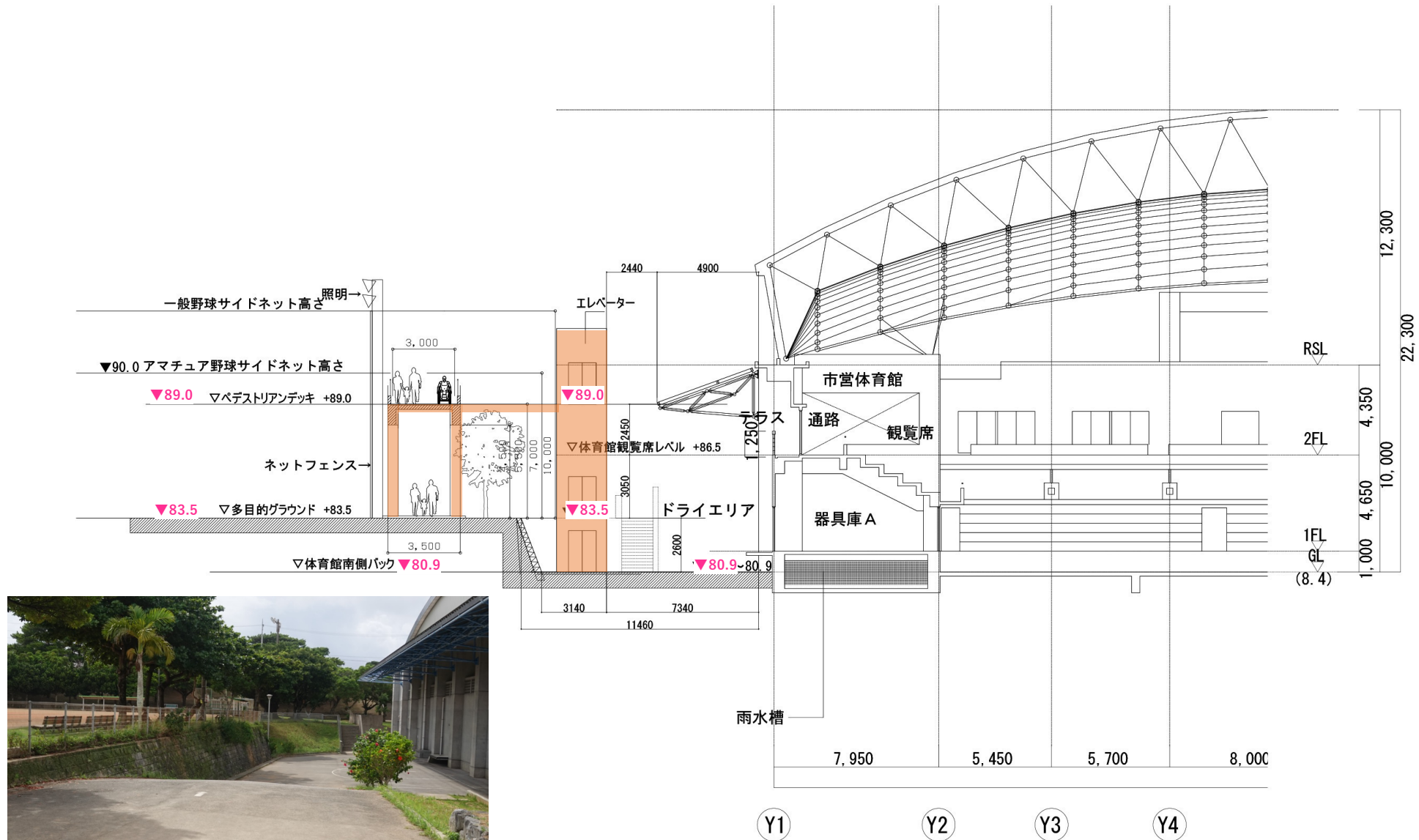
B案：立体駐車場から各施設の接続強化のためのペデストリアンデッキ整備案



計画平面図

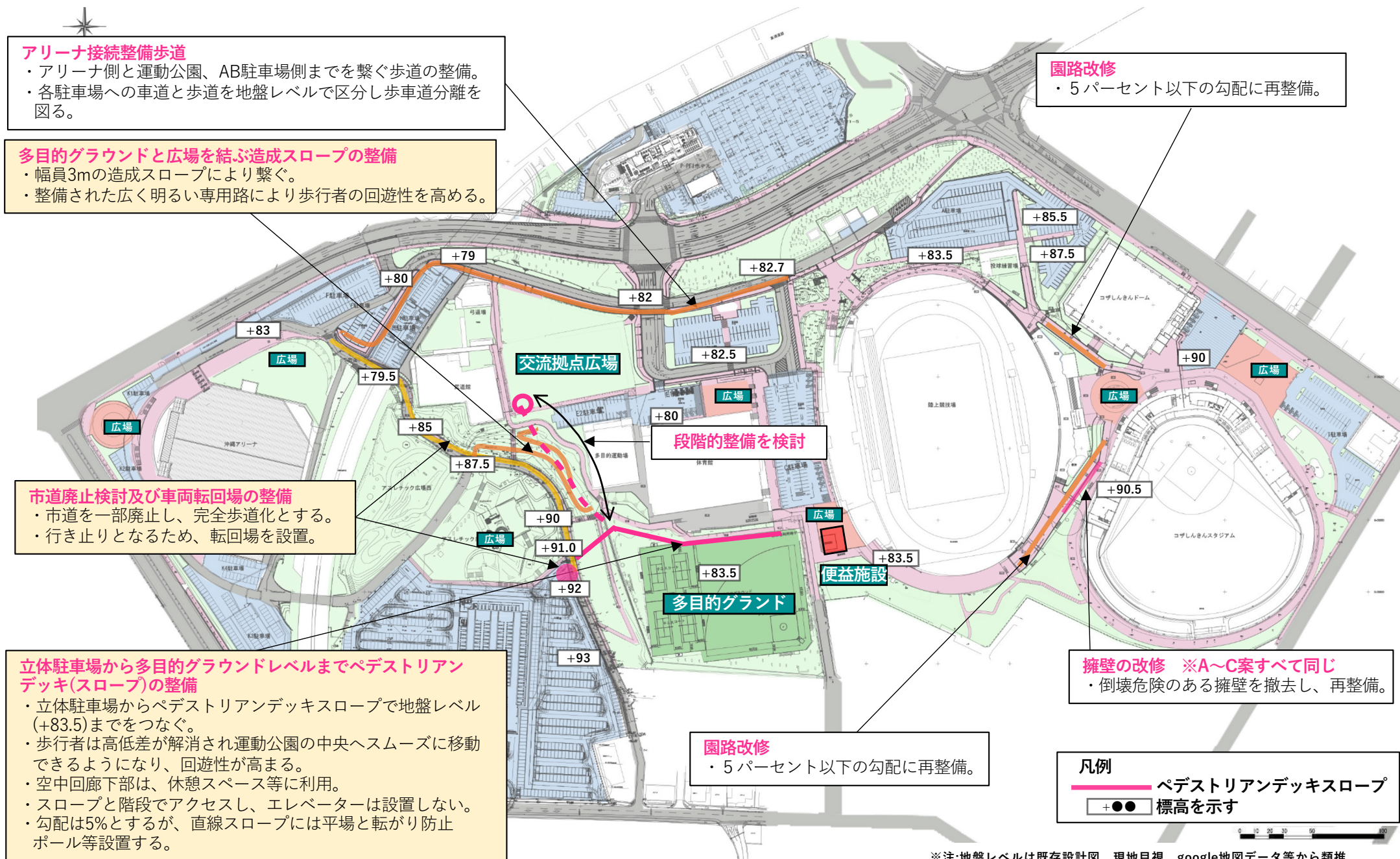
※注：地盤レベルは既存設計図、現地目視、google地図データ等から類推
 ※地盤レベルは類推のため、今後、測量を行った後に検討必要

B案：立体駐車場から各施設の接続強化のためのペデストリアンデッキ整備案

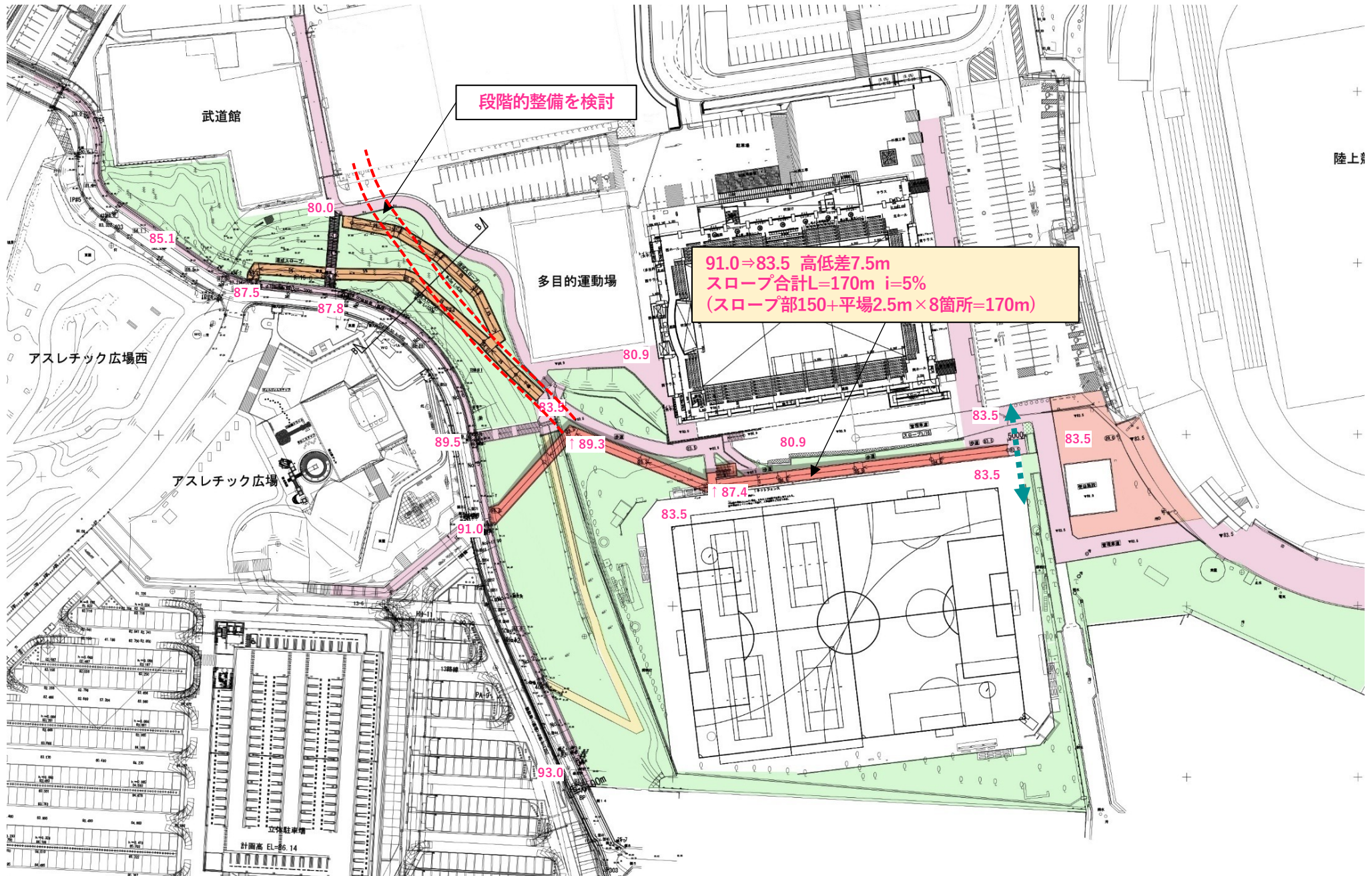


A-A 断面図

Bダッシュ案：立体駐車場から運動公園中央へアクセスするペデストリアンデッキスロープ整備案



Bダッシュ案：立体駐車場から運動公園中央へアクセスするペDESTロリアンデッキスロープ整備案



計画平面図

※注:地盤レベルは既存設計図、現地目視、google地図データ等から類推
※地盤レベルは類測のため、今後、測量を行った後に検討必要

[illegible]

※注:地盤レベルは既存設計図、現地目視、google地図データ等から類推
※地盤レベルは類測のため、今後、測量を行った後に検討必要

C案：造成による整備案 ※ミニマム案

- ・ A～B'案の他、土地の勾配を活かした高低差解消法等、さらなるコスト削減が可能な施工案について検討する。
- また、バリアフリーバスの敷地内運行等による対応策について検討する。

アリーナ接続整備歩道

- ・ アリーナ側と運動公園、AB駐車場側までを繋ぐ歩道の整備。
- ・ 各駐車場への車道と歩道を地盤レベルで区分し歩車道分離を図る。

園路改修

- ・ 5パーセント以下の勾配に再整備。

市道廃止検討及び車両転回場の整備

- ・ 市道を一部廃止し、完全歩道化とする。
- ・ 行き止りとなるため、転回場を設置。

擁壁の改修 ※A～C案すべて同じ

- ・ 倒壊危険のある擁壁を撤去し、再整備。

園路改修

- ・ 5パーセント以下の勾配に再整備。

凡例

整備歩道

標高を示す

※注:地盤レベルは既存設計図、現地目視、google地図データ等から類推

※地盤レベルは類推のため、今後、測量を行った後に検討必要

9. 基本計画：園路整備計画

	A案	Aダッシュ案	B案	Bダッシュ案	C案
	造成による整備案	造成による整備案 (北側スロープ案)	立体駐車場から各施設の接続強化のための ペDESTリアンデッキ整備案	立体駐車場から運動公園中央へアクセスするペDESTリアンデッキ スロープ整備案	造成による整備案 (ミニマム案)
KPI②（来園セグメント/目的の多様化、各セグメント来園者数）を達成するための評価整理					
歩車道分離 (安全性)	歩道整備による安全確保ができる。横断歩道による対応が必要。	歩道整備による安全確保ができる。横断歩道による対応が必要。	歩行者専用のほとんどが同じ高さで移動が可能であり、歩車道分離が図れる。安全性が高い。障がい者に優しい。	ルートの選択肢が増え、歩車道分離が図れる。安全性が高い。障がい者に優しい。	歩道整備による安全確保ができる。横断歩道による対応が必要。
高低差 (アクセス性)	歩道整備、施設間歩道の整備により、アリーナからの誘導が強化されるが、立体駐車場からの高低差解消には長いスロープ整備が必要。	歩道整備、施設間歩道の整備により、アリーナからの誘導が強化されるが、立体駐車場からの高低差解消には長いスロープ整備が必要。	ペDESTリアンデッキにより施設間移動が多種多様な人に使われ易い。高低差を完全に解消できる。	A案に加えて、立体駐車場から陸上競技場側へアクセスが容易になる。	歩道整備、施設間歩道の整備により、アリーナからの誘導が強化されるが、立体駐車場からの高低差解消には長いスロープ整備が必要。
メリット	既存スロープに対するアクセシビリティ確保、交流拠点広場への動線を確保できる。	アリーナ側から陸上競技場までのアクセスが強化される。交流拠点広場への動線を確保できる。	高低差を完全に解消できるため、誰にでも使われやすく、園内回遊性向上に最も寄与する。	立体駐車場から陸上競技場までスムーズにアクセス可能。園内回遊性に寄与する。	A～B'案から更なるコスト削減
デメリット	立体駐車場と多目的グラウンドの間に高低差があるため、造成や擁壁・スロープの整備が必要となるほか、アクセス距離も長い。	立体駐車場と多目的グラウンドとの斜面地に造成及び擁壁スロープが必要、アクセス距離が最も長い。	陸上競技場での大規模イベント開催時には、事故防止に向けた安全管理の強化が必要となり、運営負担が増大する。	ペDESTリアンデッキの維持管理費は、A案よりコスト増となる。(B案同様)	既存スロープへの円滑な移動動線が確保できない。
KPI③（運営管理費用の最適化）を達成するための評価整理					
整備数量	舗装16,500㎡ スロープ1,200㎡	舗装16,500㎡ 造成スロープ+600㎡	舗装16,500㎡ ペDESTリアンデッキ1,600㎡	舗装16,500㎡ ペDESTリアンデッキスロープ 510㎡ 造成スロープ+600㎡	舗装16,500㎡
イニシャルコスト	約13.2億円	約9.7億円	約22.2億円	約13.4億円	約6.1億円
(イニシャル内訳)	歩車道再整備 約5.9億円 造成スロープ 約7.1億円 緑化 約0.2億円	歩車道再整備 約5.9億円 造成スロープ+約3.6億円 緑化 約0.2億円	歩車道再整備 約5.9億円 ペDESTリアンデッキ 約16.1億円 緑化 約0.2億円	歩車道再整備 約5.9億円 デッキスロープ約3.7億円 造成スロープ+約3.6億円 緑化 約0.2億円	歩車道再整備 約5.9億円 緑化 約0.2億円
ランニングコスト	約3,835万円/年	約3,835万円/年	約3,995万円/年	約3,878万円/年	現況3,785万円/年
(ランニング内訳)	現況3,785万円/年+ 道路拡張による補修費: 50万円/年	現況3,785万円/年+ 道路拡張による補修費: 50万円/年	現況3,785万円/年+ 道路拡張による補修費: 50万円/年+ デッキ修繕塗装(570m): 130万円/年 +EV維持点検費:30万円/年	現況3,785万円/年+ 道路拡張による補修費: 50万円/年+ デッキ修繕塗装(170m): 40万円/年	現況内訳

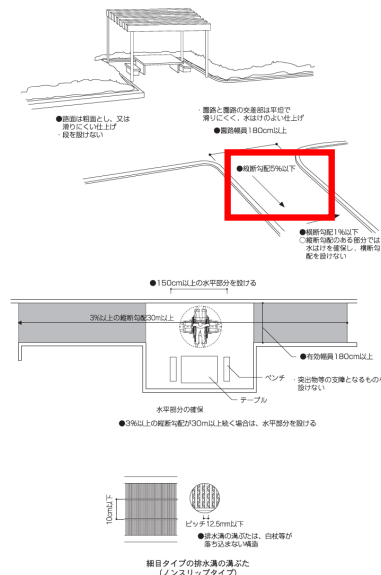
※ランニングコストは巡回、清掃、遊具点検、各種修繕等含む、現況3,785万円/年との比較

- ・ 公共道路や公園の福祉のまち条例における歩道基準に準拠するが、眺望が良い場所又はスポーツ観戦が出来る場所、結節点等は幅を広くする。
- ・ ランナースペースは一方通行とし、床色を変えることで分かりやすくする。
- ・ イベント時及びその前後は全て一方通行にする、又は人数制限を行う等の十分な配慮対策の上、運用する。
- ・ 避難考慮の階段、スロープ、エレベーター、エスカレーターを適宜配置する。
- ・ **車椅子すれ違い及びランナースペースを考慮した3m幅員を最小**として考える。

- ・構造については、「道路橋示方書」における技術基準に則り、設計を進める。
- ・多数の人が集まる状況（イベントなど）を想定し、群衆荷重（ 5.0kN/m^2 ）を考慮した構造とする。

■ 沖縄県福祉のまちづくり条例
II 整備基準の解説 2 公園等 より

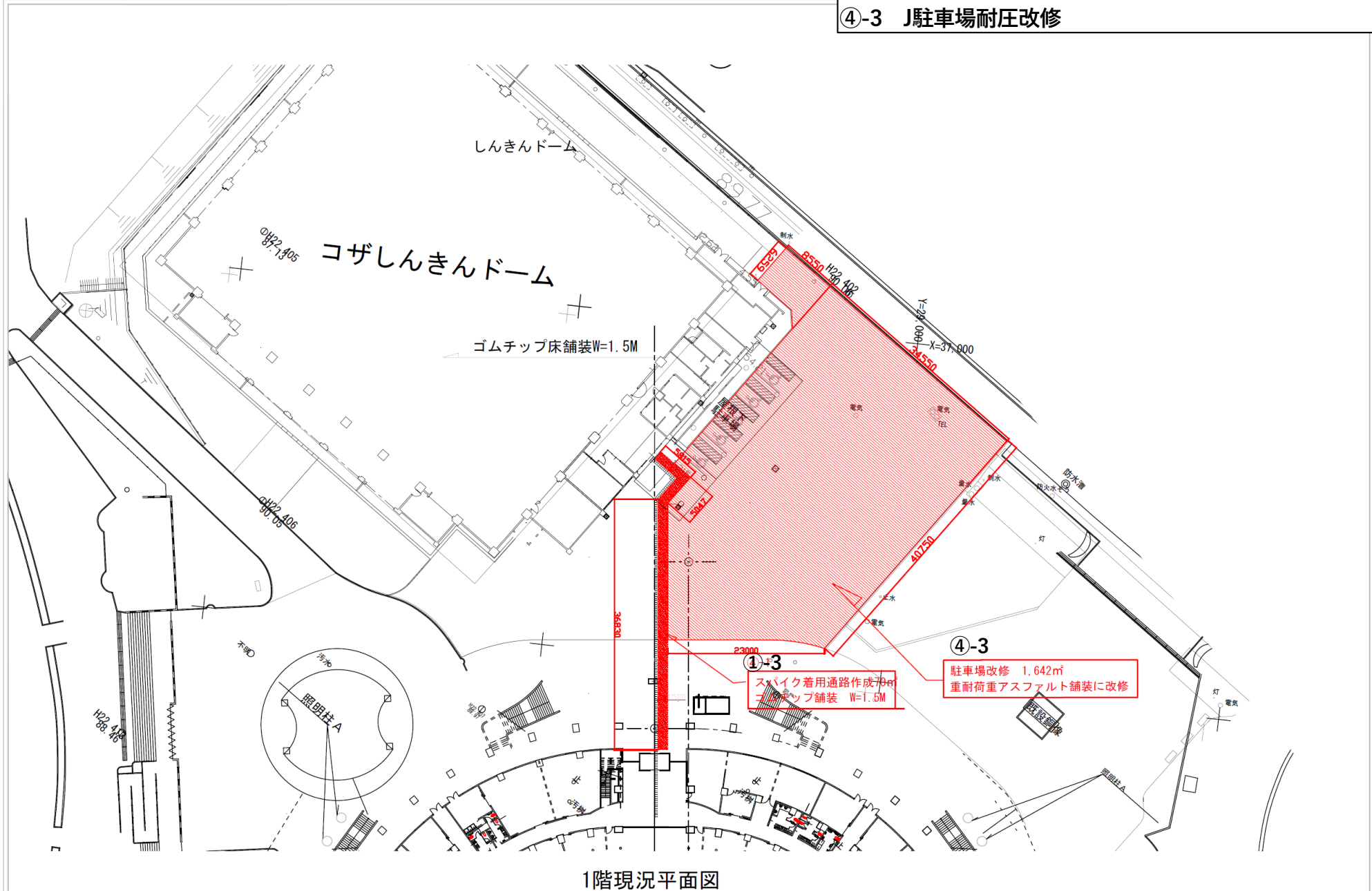
■沖縄市人にやさしいまちづくり環境整備要綱
IV.公園又はこれに付帯する施設 より

[illegible]

・(公團 IV-B 圖路の項参照)

コザしんきんスタジアム-ドーム間 ゴムチップ舗装

改修項目①-3コザしんきんスタジアムとドーム間通路改修
④-3 J駐車場耐圧改修



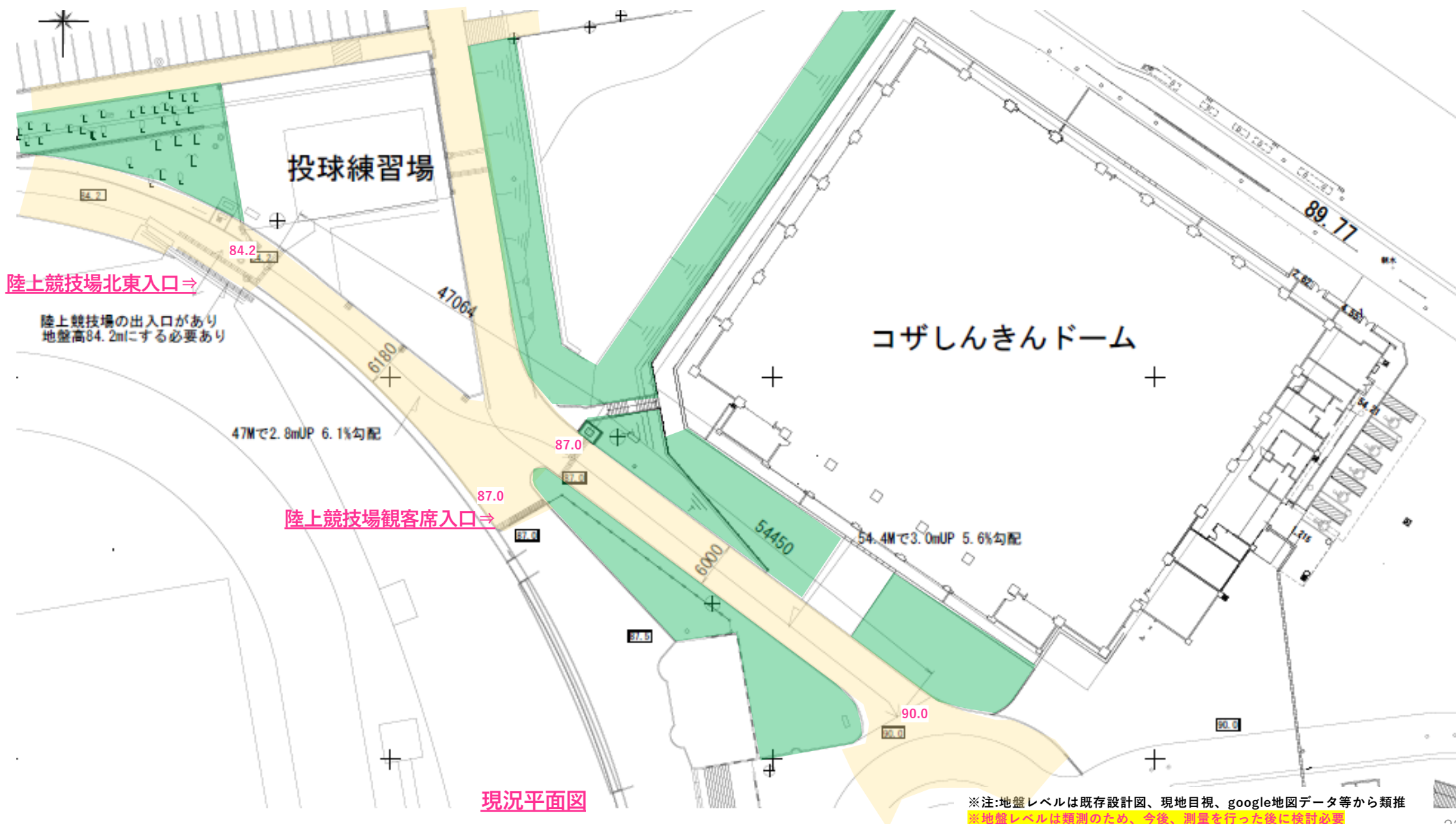
1階現況平面図

DESCRIPTION OF REVISIONS		設計	担当	図面	PROJECT NAME	Dwg No.
△	設計年月日					
△	2026.02.24				コザ運動公園再整備基本構想・基本計画策定業務	A-01
△	変更年月日					
△	変更年月日				野球場外部通路舗装及び駐車場改修範囲	File No.
△	変更年月日					
△	変更年月日				SCALE : A1=1/500 A3=1/1000	
△	変更年月日					

園路整備計画

陸上競技場北側及び東側の野球場地盤との間の高低差について

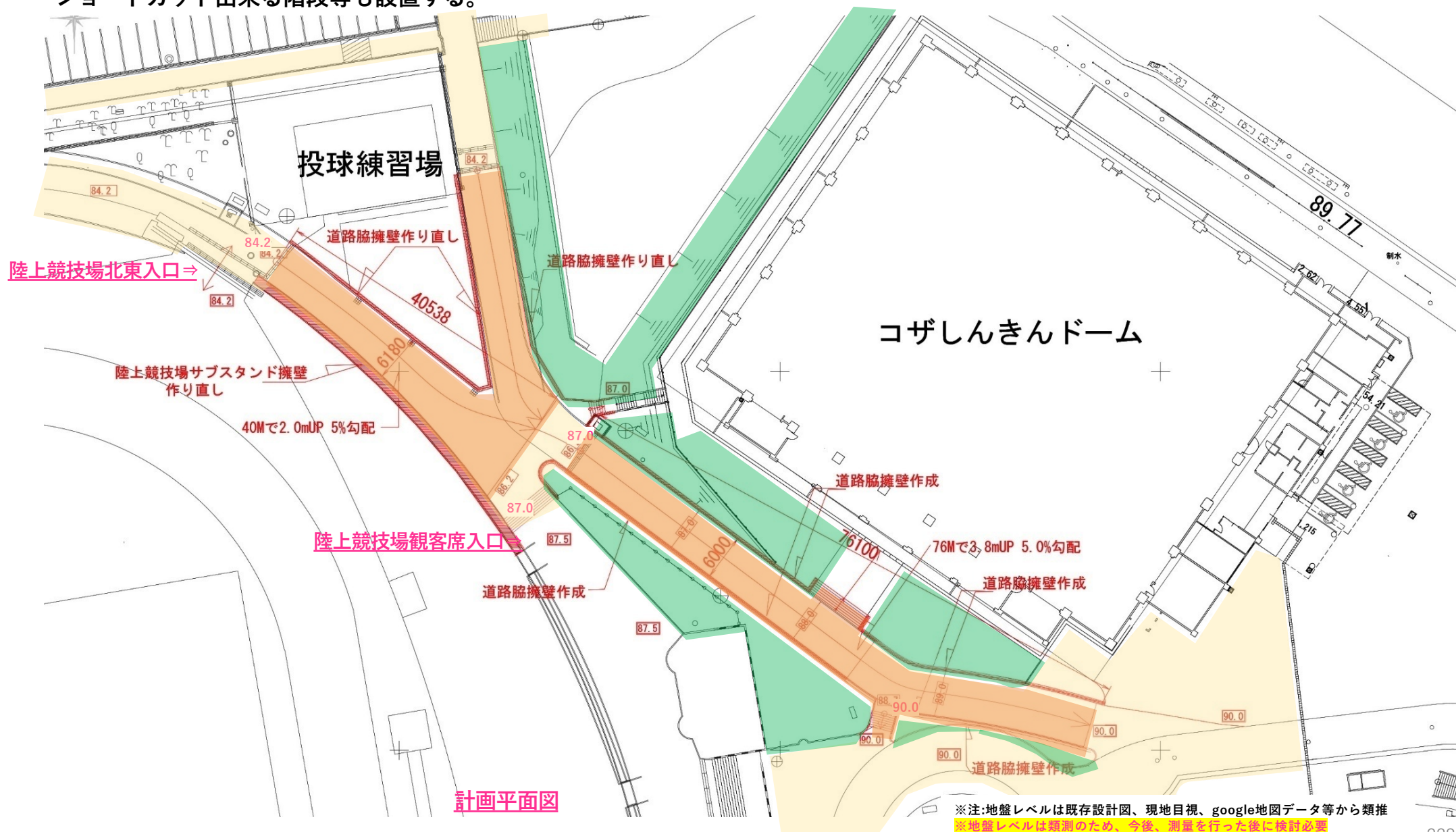
- ・ 陸上競技場の出入口があることから、地盤レベル84.2から野球場地盤90.0までの園路は6.1%～5.6%となっている。
- ・ 全体を5%勾配とする場合、116m、4%勾配の場合148mの長さが必要となる。
- ・ 陸上競技場出入口のレベルと位置は現在のままで検討する。



園路整備計画

陸上競技場北側及び東側の野球場地盤との間の高低差について

- ・ 野球場側の降り位置を東側まで移動し、園路のスロープ部分を長くし、全体の勾配を平均5.0%とする。
- ・ スロープの地盤面が相対的に現在より低くなるため、園路左右に擁壁を設置する必要がある。
- ・ ショートカット出来る階段等も設置する。



園路整備計画

陸上競技場北側及び東側の野球場地盤との間の高低差について

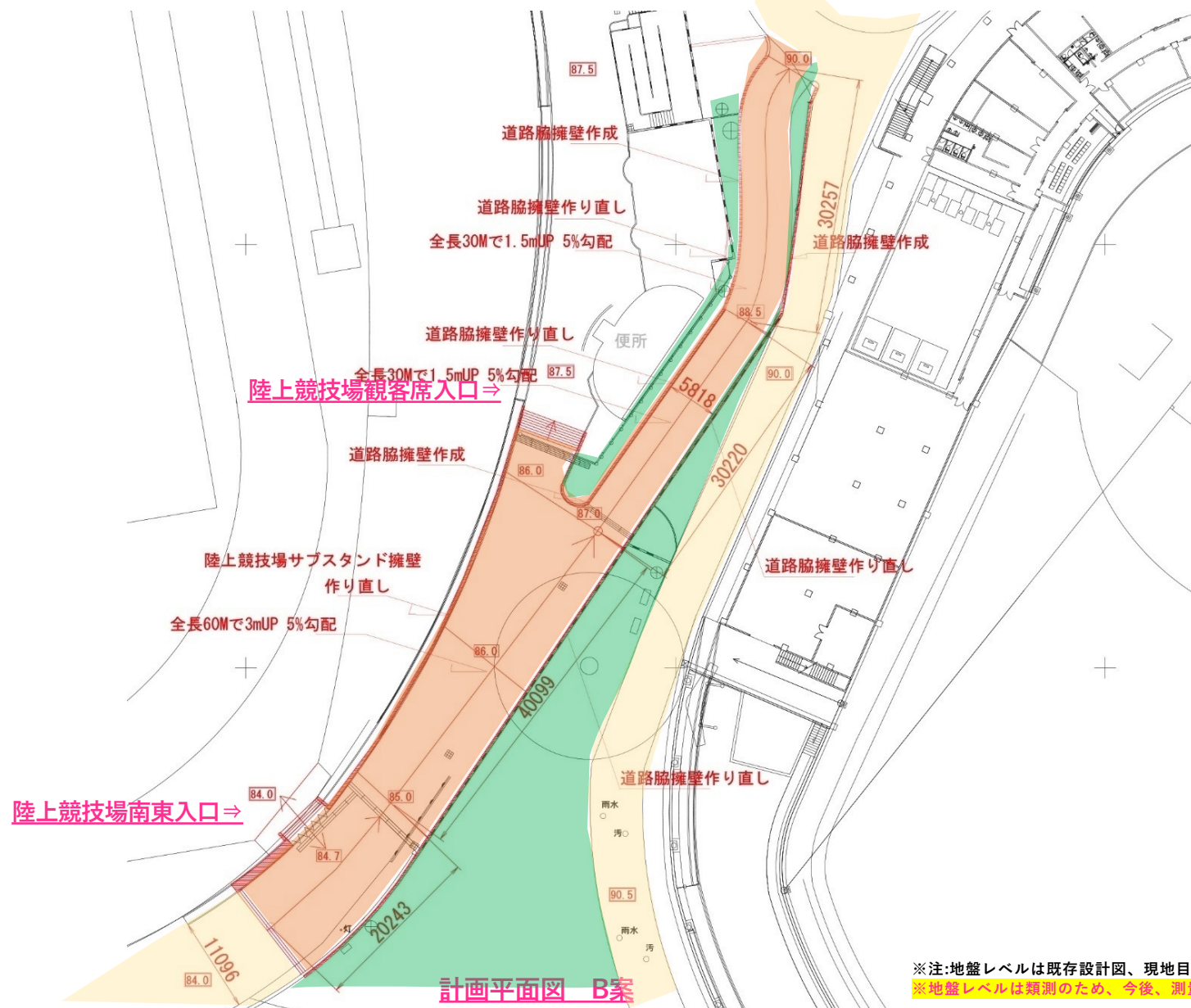
- ・陸上競技場の出入口があることから、地盤レベル84.0から野球場地盤90.0までの園路は6.0%～8.8%となっている。
- ・全体を5%勾配とする場合120m、4%勾配の場合150mの長さが必要となる。
- ・陸上競技場出入口のレベルと位置は現在のままで検討する。



※注:地盤レベルは既存設計図、現地目視、google地図データ等から類推
※地盤レベルは類推のため、今後、測量を行った後に検討必要

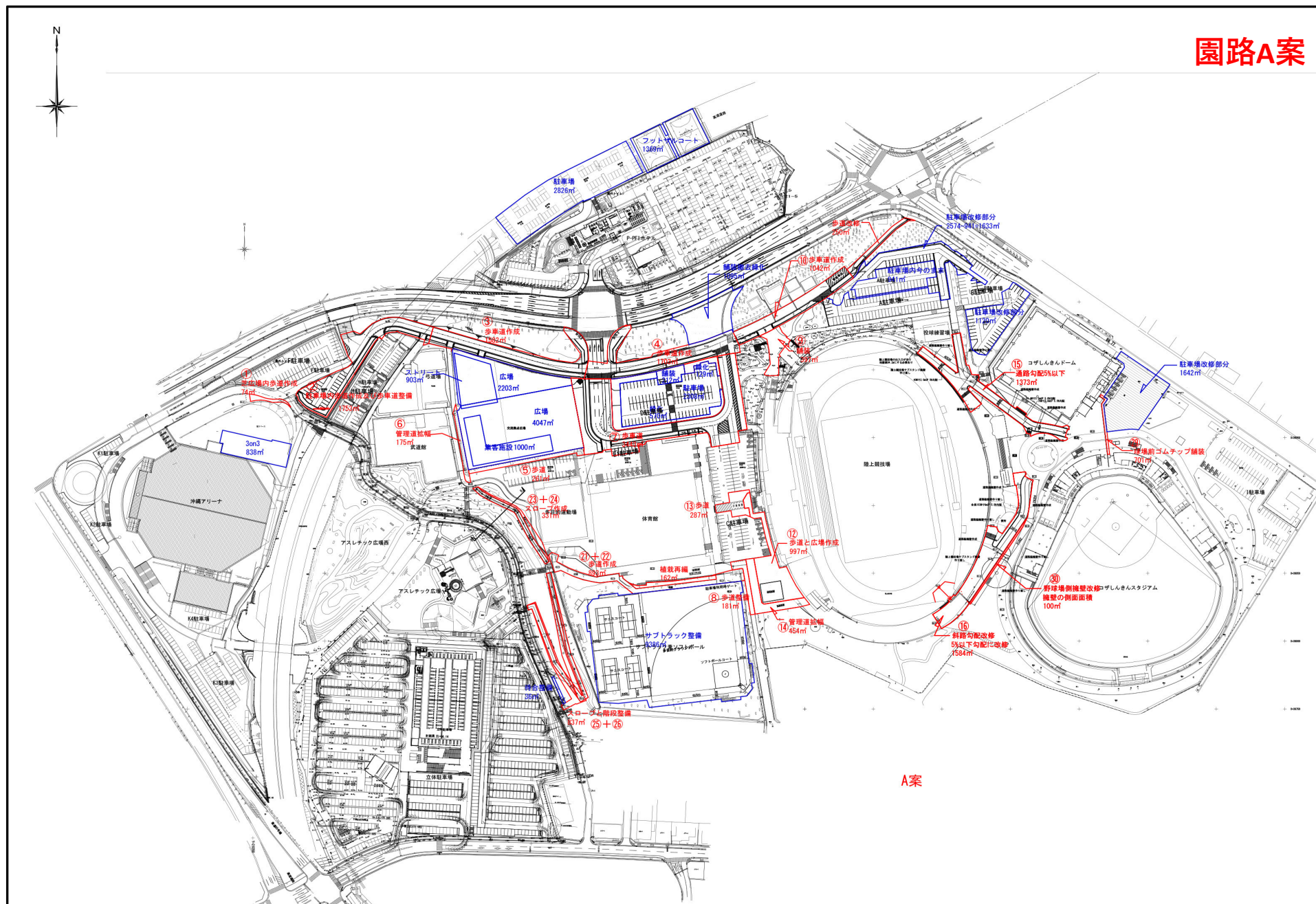
陸上競技場北側及び東側の野球場地盤との間の高低差について

- ・陸上競技場観客席入口のある+87.0から園路を野球場方向へ緩やかに造成する。
- ・現在の6.0%～8.8%の勾配が5%まで緩やかにできる。
- ・園路レベルが現在よりすべて下がるため、現況の通路左右の擁壁の底板が出てしまう為、擁壁等をつくりなおす必要がある。

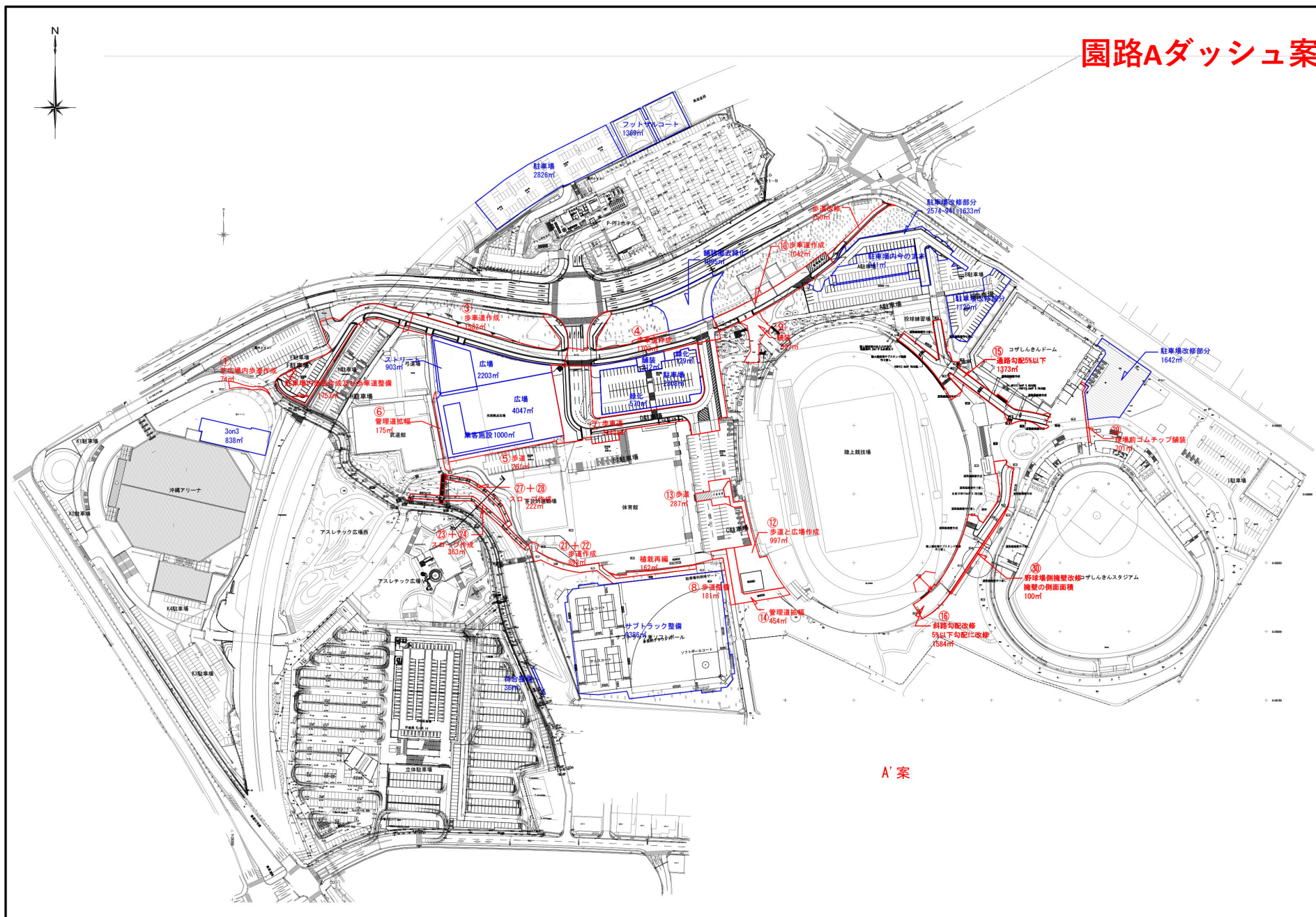


※注:地盤レベルは既存設計図、現地目視、google地図データ等から類推
※地盤レベルは類測のため、今後、測量を行った後に検討必要

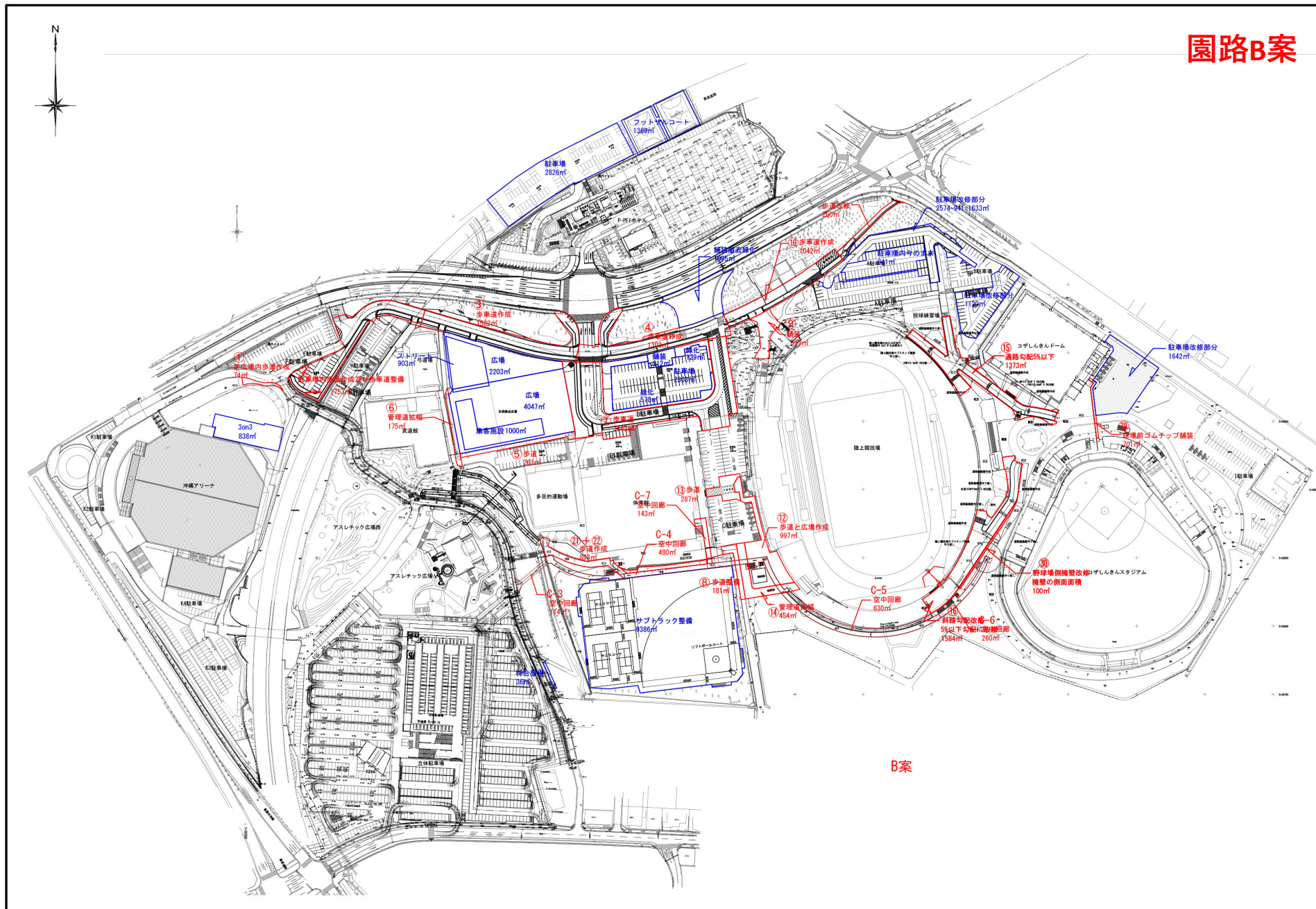
園路A案



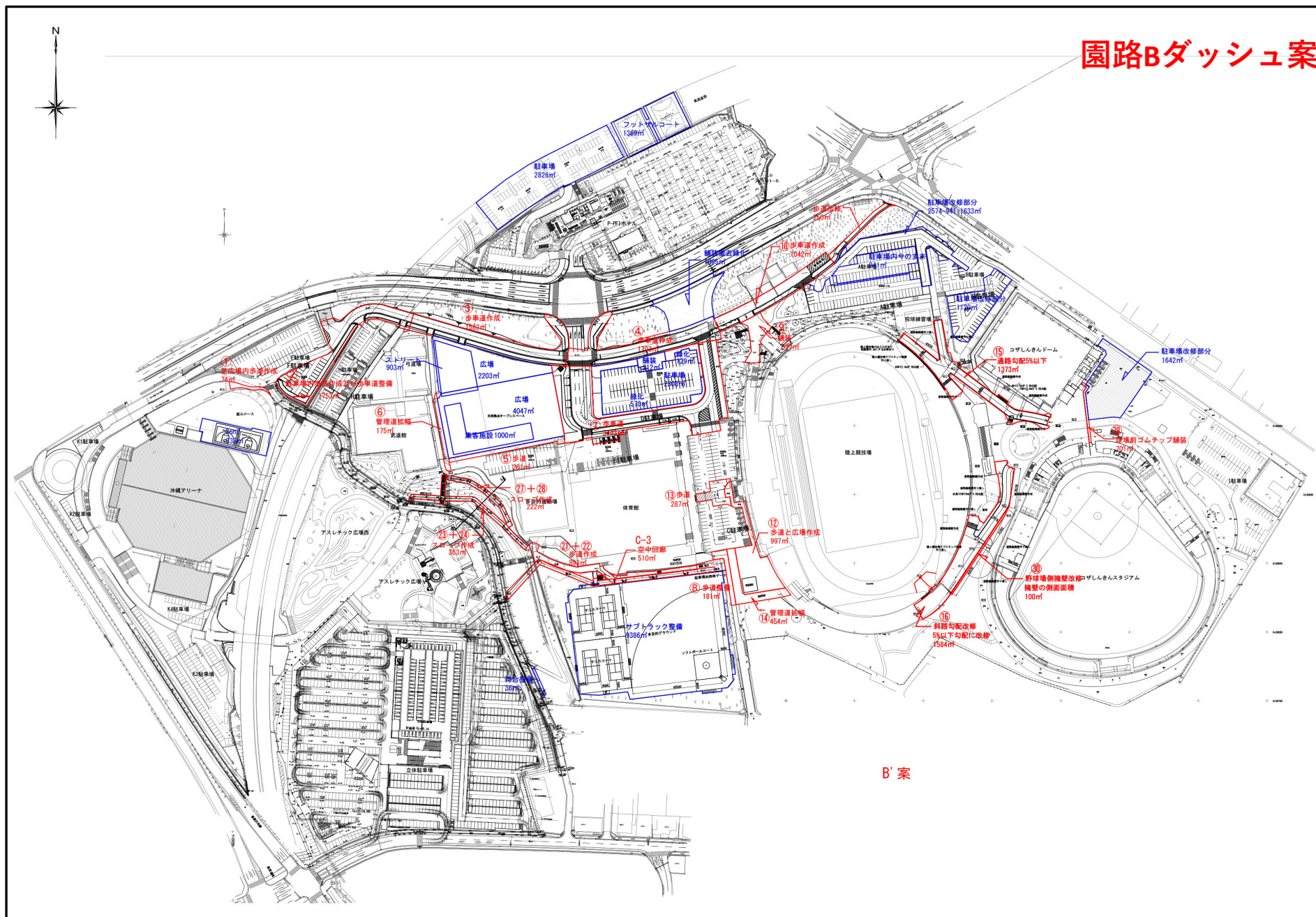
園路Aダッシュ案



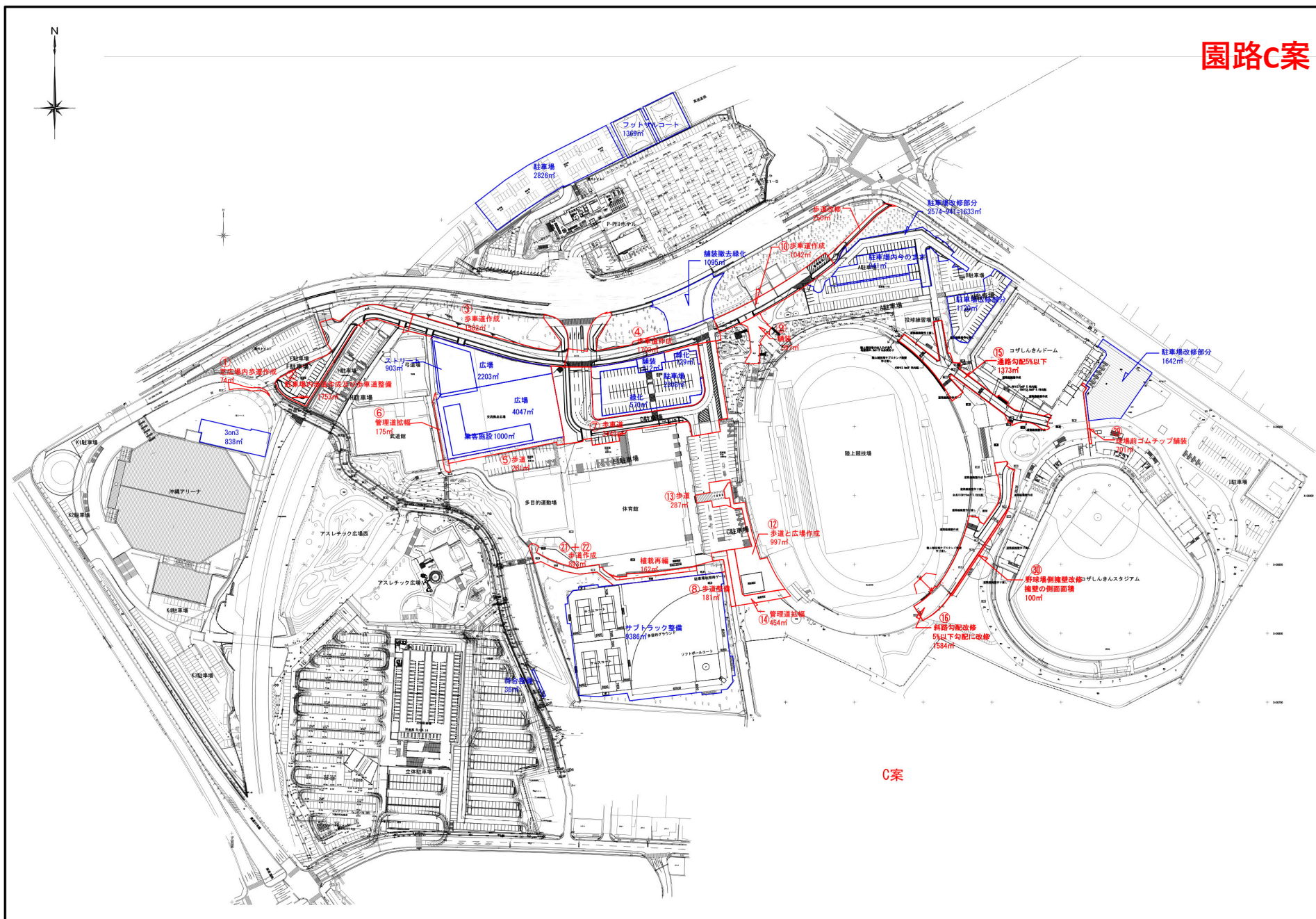
園路B案



園路Bダッシュ案



園路C案



パース

- ・本報告書に掲載するパースは、公園の将来的な利活用イメージを示すものであり、民間事業者の参画を想定した飲食・物販施設等を表現している。なお、これらの導入については現時点で決定したものではなく、今後の検討を踏まえ具体化を図る。



パース

① 昼



パース



パース



パース

② 夜



ライティング

柱や天井にカラーライティングを施し
立体感あるスタジアムとして蘇らせる

パース



パース



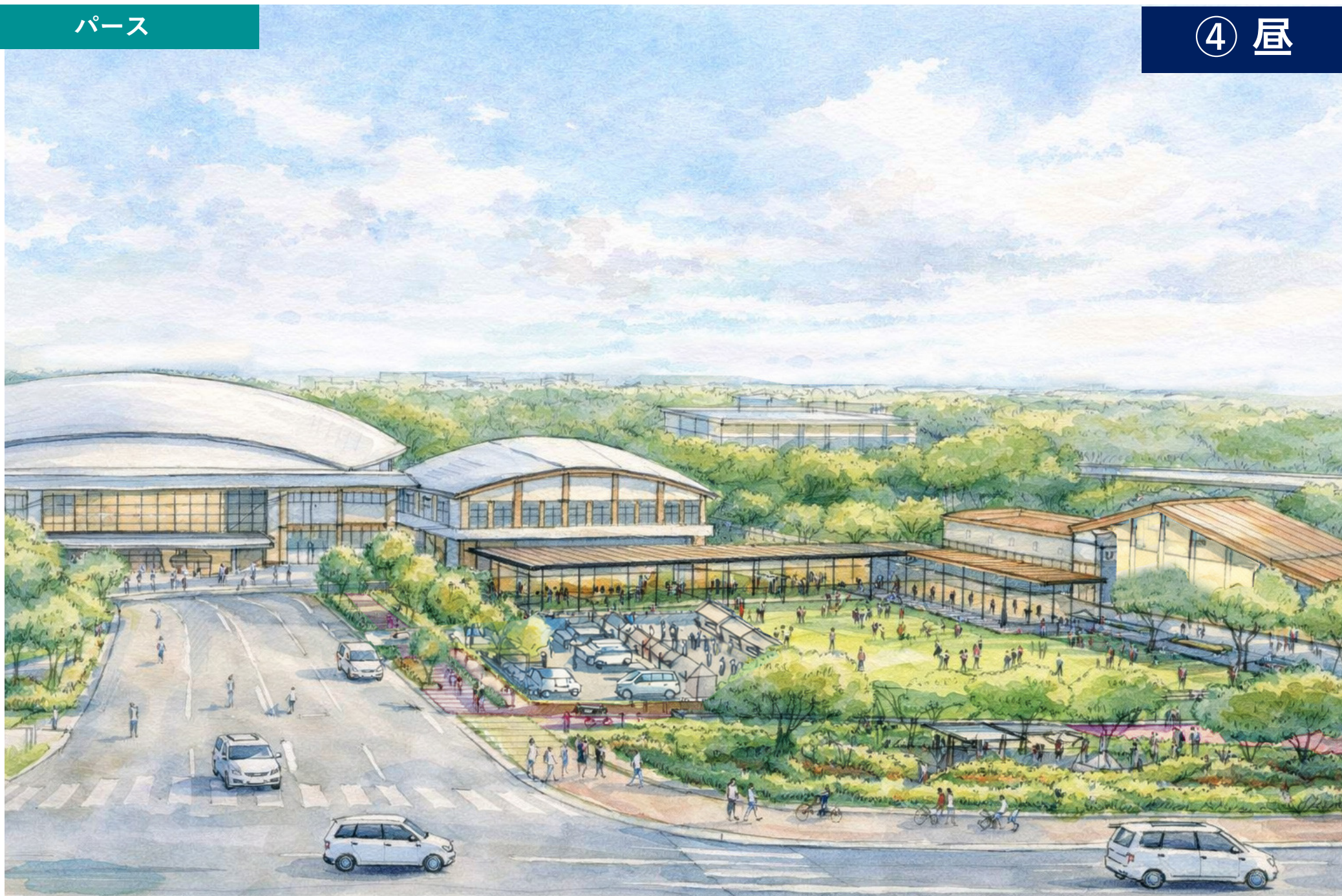
パース

③



パース

④ 昼



パース

⑤ 夜



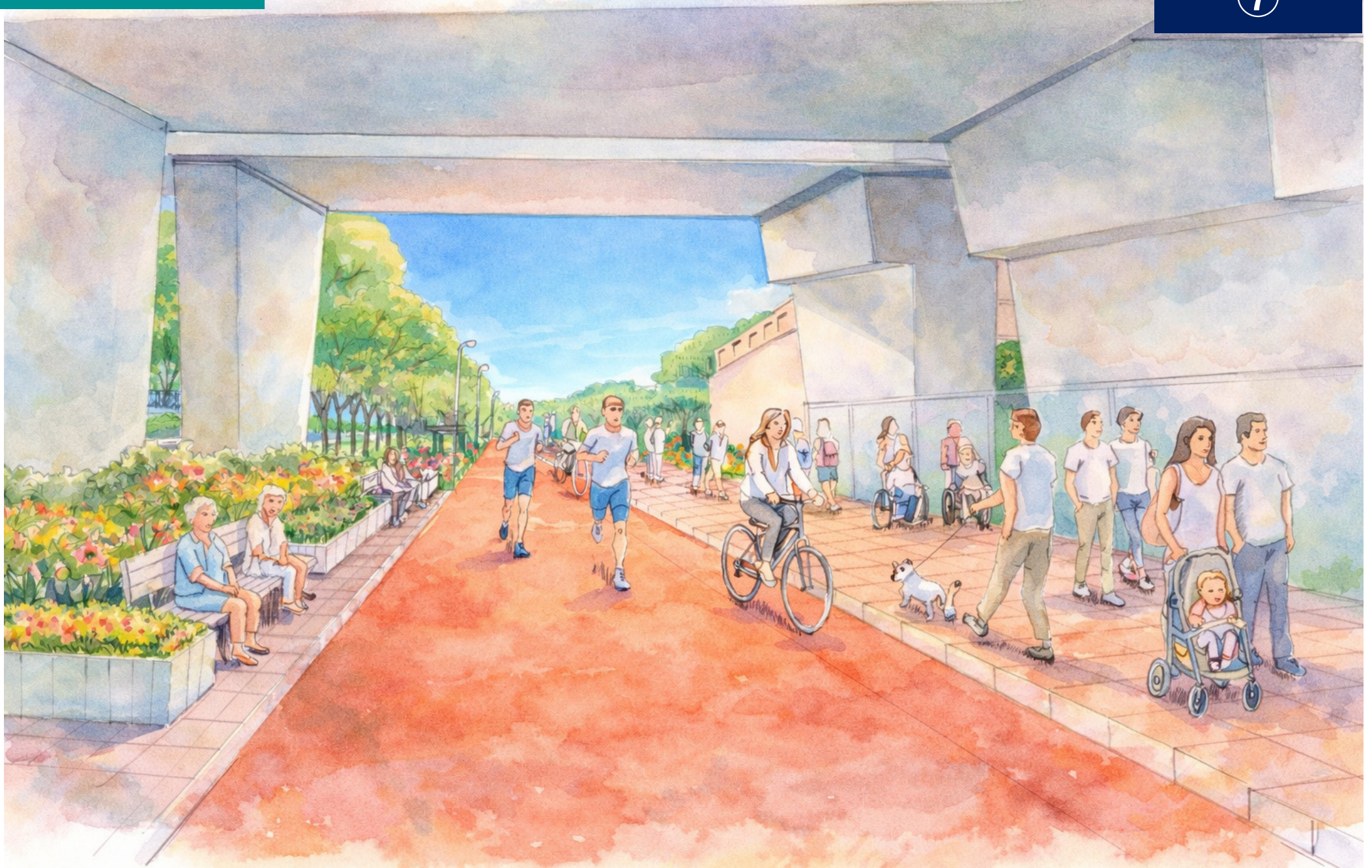
パース

⑥



パース

⑦



パース

⑧



パース

⑨ 昼



パース

⑩ 夜



パース

⑪ 昼



パース

⑫ 夜



概算予算

約19.4億円

項目	工事種別	面積 (延床面積)	単位	単価(千円)	金額(百万円)	備考
野球場改修	ベンチ利便性向上	1	式		42.2	
	選手ロッカー控室及び通路改修	1	式		45.2	ロッカー室拡張案
	便所改修	1	式		56.2	
	エントランス改修	1	式		5.9	
	球場内人工芝改修	1	式		12.6	
	スコアボード改修	1	式		336.0	
	マルチアングル映像分析システム	1	式		8.4	
	音響改修	1	式		99.2	
	照明塔改修	1	式		720.0	
	外部ダンスエリア作成	1	式		6.8	
	小計				1,332.5	
園路 ※C案	歩車道整備	16,500	m ²	36	587.0	
	園路脇緑化	2,300	m ²	10	23.0	
	小計				610.0	
	合計				1,942.5	

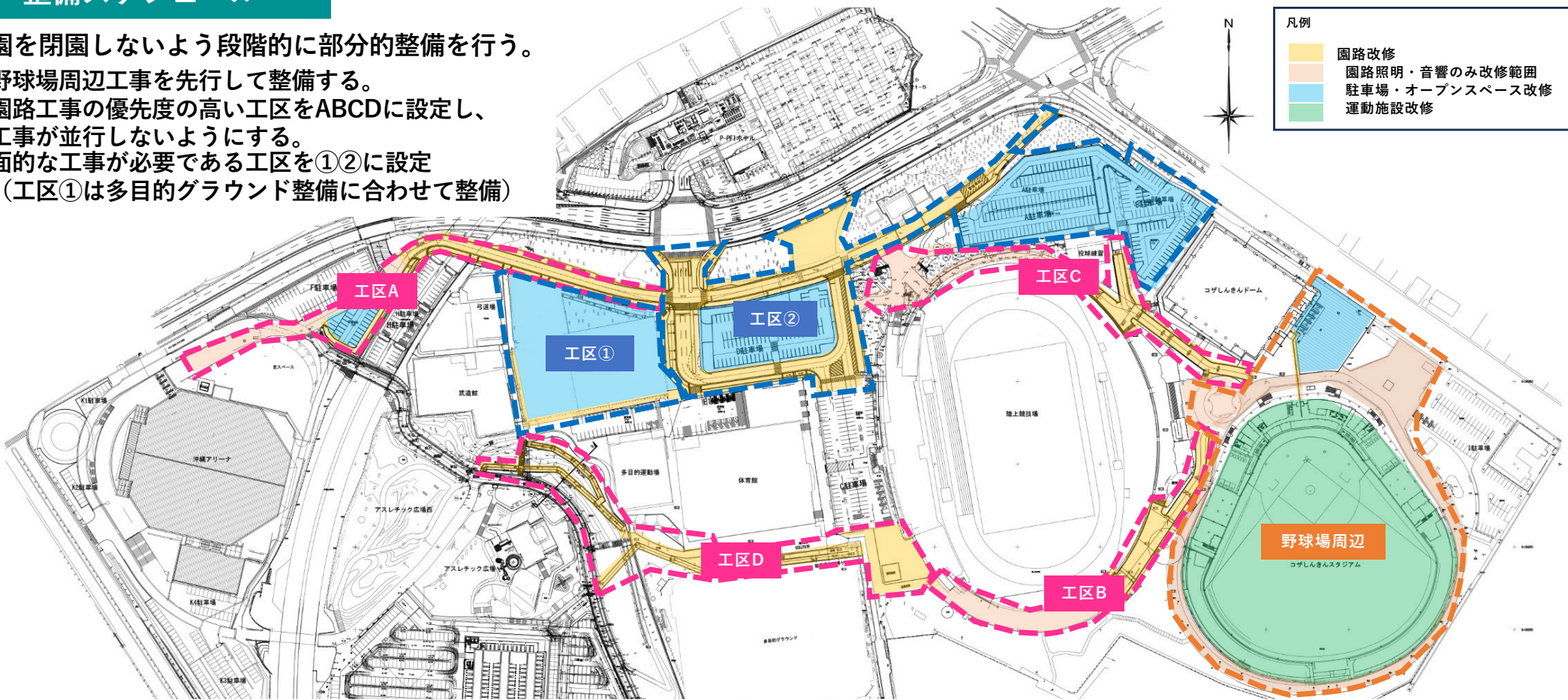
上記、園路C案ベースとなります。園路A～Bダッシュ案の概算は下記となります。

項目	工事種別	面積 (延床面積)	単位	単価(千円)	金額(百万円)
園路 A案	歩車道整備	16,500	m ²	36	587.0
	造成スロープ作成整備	1,200	m ²	595	714.0
	園路脇緑化	2,300	m ²	10	23.0
	小計				1,324.0
園路 Aダッシュ案	歩車道整備	16,500	m ²	36	587.0
	造成スロープ作成整備	600	m ²	598	359.0
	園路脇緑化	2,300	m ²	10	23.0
	小計				969.0
園路 B案	歩車道整備	16,500	m ²	36	587.0
	ベデストリアンデッキ作成整備	1,600	m ²	1,005	1,608.0
	園路脇緑化	2,300	m ²	10	23.0
	小計				2,218.0
園路 Bダッシュ案	歩車道整備	16,500	m ²	36	587.0
	造成スロープ作成整備	600	m ²	598	359.0
	ベデストリアンデッキ作成整備	510	m ²	720	367.0
	園路脇緑化	2,300	m ²	10	23.0
	小計				1,336.0

整備スケジュール

公園を閉園しないよう段階的に部分的整備を行う。

- ・野球場周辺工事を先行して整備する。
- ・園路工事の優先度の高い工区をABCDに設定し、工事が並行しないようにする。
- ・面的な工事が必要である工区を①②に設定
(工区①は多目的グラウンド整備に合わせて整備)



	2026年（R8）度	2027年（R9）度	2028年（R10）度	2029年（R11）度
野球場周辺		設計	建設工事	
工区A		設計	建設工事	
工区B		設計	建設工事	
工区C		設計	建設工事	
工区D		設計	建設工事	
工区①		設計	建設工事	
工区②		設計	建設工事	

※留意事項：全島エイサーまつり(9月開催)、野球場キャンプ（2月開催）を考慮すること。
※スケジュールは2026年4月時点であり、事業の進捗状況により内容が変更となる可能性がある。

1. 公園区域外に係る課題

コザ運動公園は沖縄アリーナをはじめとする大規模集客施設を有しており、イベント開催時には公園区域外も含めた交通・アクセス環境への対応が求められている。

(1) 交通渋滞対策

イベント開催時には来園車両の集中や歩行者の道路横断により周辺道路において交通渋滞が発生している。

【今後の課題】

- ・車両動線の分散を図るため、車両出口の増設や配置見直しを検討する。
- ・歩行者と車両の交錯を低減するため、立体横断施設（横断歩道橋等）の整備を検討する。
- ・周辺道路管理者と連携し、交通マネジメント手法の導入を検討する。

(2) 公共交通アクセスの向上

沖縄南ICバス停から公園までのアクセスにおいて、十分なアクセシビリティが確保されておらず、利用者負担が大きい状況となっている。

【今後の課題】

- ・バス停から公園までの安全で快適な歩行空間の整備を検討する。
- ・バリアフリーに対応した歩行者ネットワークの形成を図る。
- ・公共交通機関との連携によるアクセス向上策を検討する。

(3) 交通結節機能の強化

大型バスやタクシーの乗降スペースが不足している状況である。

【今後の課題】

- ・利用実態を踏まえ、大型バス及びタクシーの停留所整備を検討する。
- ・イベント時の輸送需要に対応した交通結節点機能の強化を図る。



2. 公園全体構造に係る課題

(1) 園路・動線計画

公園全体において歩行者動線の連続性や安全性に課題がみられる。

【今後の課題】

- ・繁忙期やイベント開催時に対応できる駐車場配置の再編及び確保方策を検討する。
- ・歩行者と車両の交錯を抑制するため、歩車分離を基本とした動線計画を構築する。
- ・各運動施設や広場を有機的に結ぶ回遊動線を形成し、公園全体の利便性及び回遊性向上を図る。

(2) 広場空間の再編

運動施設周辺の広場については位置づけや利用目的が明確でなく、低利用空間が発生している。

【今後の課題】

- ・各広場の役割や機能を明確化する。
- ・イベント利用、交流利用、休憩利用など用途に応じた空間再編を検討する。
- ・利用促進につながる整備方針を策定し、低利用空間の解消を図る。

(3) 景観形成・夜間演出

公園全体として来訪者を迎え入れる景観演出や夜間の魅力創出が十分ではない。

【今後の課題】

- ・エントランス空間や主要動線における景観演出を強化する。
- ・ライトアップや夜間照明計画の充実を図り、安全性と魅力向上を両立する。

3. 施設・設備に係る課題

(1) 施設の老朽化対策

公園施設や設備については老朽化が進行しており、一部施設では利用性の低下がみられる。

【今後の課題】

- ・施設・設備の計画的な更新及び長寿命化を推進する。
- ・利用実態に応じた施設機能の見直しを実施する。
- ・優先順位を整理した改修計画を策定する。

(2) バリアフリー化の推進

誰もが利用しやすい公園環境の構築が求められている。

【今後の課題】

- ・園路や施設出入口等の段差解消を進める。
- ・ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた施設改善を推進する。
- ・高齢者や障がい者を含む全ての利用者に配慮した環境整備を行う。

(3) 擁壁の安全対策

擁壁の老朽化により安全上の懸念がある箇所が確認されている。

【今後の課題】

- ・詳細点検及び安全性評価を実施する。
- ・更新を行い、安全性を確保する。

4. サイン・案内システムに係る課題

公園全体の情報提供及び施設誘導が不十分であり、利用者にとってわかりにくい状況となっている。

【今後の課題】

- ・公園全体マップを含む総合案内板を整備する。
- ・各施設への誘導サインを体系的に配置する。
- ・多言語対応やピクトグラムを活用により視認性を向上させる。
- ・利用ルールや注意事項をわかりやすく表示する。

5. インフラに係る課題

(1) 給水設備

イベント開催時に給水量不足や水圧低下が発生している。

【今後の課題】

- ・給水需要予測に基づく設備容量の見直しを検討する。
- ・配管及び給水設備の更新・増強を図る。
- ・大規模イベント時に安定供給できる体制を構築する。

6. 防災機能に係る課題

コザ運動公園は地域防災計画における重要な防災拠点としての役割を担っていることから、災害時機能の強化が必要である。

(1) 支援物資集積拠点機能の強化

しんきんドームは災害時支援物資集積拠点として位置付けられている。

【今後の課題】

- ・大型車両の進入及び活動に対応できるよう、駐車場の耐重路盤化を検討する。

(2) 多目的広場の防災活用

多目的広場については災害時における応急活動空間としての活用が期待される。

【今後の課題】

- ・非常用電源、給水設備、通信環境等の防災インフラ整備を検討する。
- ・避難場所や防災活動拠点としての機能強化を図る。

令和8年7月
コザ運動公園再整備基本構想・基本計画策定業務共同企業体
(株式会社電通沖縄、株式会社電通ライブ)



資料編

コザ運動公園再整備基本構想・基本計画策定業務 庁内検討委員会

第一回庁内検討会議

- ・場所：沖縄市役所会議室

・日時：令和 7 年10月24日
- ・議題：

1.再整備目的

2.検討方法

3.沖縄市全体エリア戦略

- 4.本公園の成功の定義/KPI
- 5.現状把握
- 6.実践課題
- 7.誘客戦略

- 委員会メンバー
- ・委員長：副市長

・副委員長：経済文化部長

・委員：企画部長、健康福祉部長、総務部長、建設部長、こどものまち推進部長

主な意見

1. 成功の定義・KPI に関する指摘

- 「持続力」が強調されすぎており、公園の価値（スポーツ、多様性）が弱く見える。
- ランニングコスト削減だけに偏ると、利用者増や誘客効果が達成できない懸念。

2. 法的整合性

- 建蔽率・緑地率など、都市計画・建築基準法との整合性検証が必要。
- 広域調整が必要となる可能性の指摘。

3. 稼働率・投資効果

- 利用者数が少ないと投資効果が疑問。ナイトー設備含めた利用拡大の根拠整理が必要。

4. 利用者ニーズの把握

- ミリタリーを含む利用者のニーズを実際に把握できているか疑問。アンケートの母数や代表性の確認を求める声。

5. 中心市街地への誘導施策

- 誘導導線が不明確で具体性に欠ける。施策イメージが伝わりにくい。

6. 成功の定義「オンリーワン」不足

- 現状（アリーナ人気、インバウンド増、プロスポーツ利用）の変化が資料に反映されていない。
- 有名アスリートが集まる価値が活かされていない。

7. 便益施設・歩きやすさ

- トイレやパウダールームなど便益施設の強化が必要。高齢者や市民が歩きやすい動線・休憩所が不足。中心街に人が流れない要因分析が不足。

8. 他都市事例の比較

- 条件が異なり、比較によるイメージがつかみにくい。

9. 成功の定義の整理不足

- 地理的優位性（アリーナ等）が資料に活かされていない。
- 利用者満足と経済効果のつながり整理が必要。

決定事項：

1. 成功の定義の見直し

- 「持続力」の位置づけや文章構成を再検討。
- 現状の価値（アリーナ・プロスポーツ・夜の回遊性）を反映した内容に修正。

2. KPI とコストの最適化

- KPI とランニングコストのバランスを再整理。
- 利用者増加策（ナイトー等）を検討しつつ整合性を確保。

3. 法的整合性の継続調整

- 都市計画・建築基準法に基づき継続的に調整。

4. 利用者ニーズの反映

- 指定管理者のアンケートや自由記入意見を精査し活用していく。

5. 中心市街地への誘導施策の具体化

- 第2回会議で具体案を提示予定（誘導看板、仕掛け配置など）。
- 導線設計を含めて検討。

6. 夜の回遊性・アスリート活用の強化

- 夜の回遊性を価値として強化。
- 有名アスリート利用など、発信方法を検討。

7. 快適性向上と便益施設整備

- 健康向上・経済活性化・快適性を両立した整備方針へ。
- トイレ・授乳室・休憩所などの整備の重要性を反映。

8. 独自モデルの構築

- 他都市にない「公園→中心市街地」の連続性を沖縄市独自モデルとして構築。

9. 成果の追加明確化

- 成功の定義により得られる成果（市民満足・経済効果）を明記。
- アリーナ来場者や宿泊者の動線活用も視点に追加。

コザ運動公園再整備基本構想・基本計画策定業務 庁内検討委員会

第二回庁内検討会議

- ・場所：沖縄市役所会議室
 - ・日時：令和7年11月11日
- ・議題：
 - 1.本公園の成功の定義に至る検討
 - 2.本公園の成功の定義/KPI

- 委員会メンバー
- ・委員長：副市長
 - ・副委員長：経済文化部長
 - ・委員：企画部長、健康福祉部長、総務部長、建設部長、こどものまち推進部長

主な意見

1. 市民の利用イメージが弱い

 - ・アスリート中心の印象が強く、高齢者・障がい者・子どもなど一般市民の利用像が見えにくい。
2. 本公園のテーマがスポーツ寄りになりすぎている

 - ・「散策・憩い・歩きたくなる公園」という市民利用の視点が弱く、スポーツ特化の印象が強い。
3. 防災拠点としての整理不足

 - ・コザ運動公園は防災拠点だが、防災面の考え方や整備方針が資料に十分に示されていない。
4. スポーツ種目の扱い

 - ・4大リーグ以外（テニス等）についての整備方針、スペース配分の検討が不明確。
5. 「ワンランク上の整備」の定義が曖昧

 - ・世界・国・県・市など、視点の階層整理が必要。
 - ・福祉・防災・市民利用・アスリート育成など、多角的な視点が統合されていない。
6. 基本計画への進め方

 - ・大きく方向性は変わらないが、市民利用や関係課の意見を引き続き反映させるべき、との指摘。

決定事項：

1. 市民（高齢者・障がい者・子ども）の利用視点を明記

「多様なニーズ」に含まれることを明記し、資料に注釈を追加する。
2. 市民利用を示す補足ページを追加

「散策・憩い・歩きたくなる公園」としてのテーマが伝わるよう説明を補強。
3. 防災視点を計画に組み込む

公園全体の防災機能を整理し、整備に反映する方針とする。
4. 他スポーツ種目も検討

テニス等も含め、運動施設ごとの整備内容を次回以降にまとめて提示する。
5. 「ワンランク上の整備」の文言・定義を整理

「世界のアスリートからも選ばれ続ける」など、表現を修正。
市民利用・育成・福祉・防災など、多角的視点を統合しレベル感を明確化する。
6. 基本計画に向けて修正を進める

今回出た意見を整理し、委員長確認の上で修正文を作成。
高齢者・子ども視点も積極的に反映しながら今後の整備案を具体化する。

コザ運動公園再整備基本構想・基本計画策定業務 庁内検討委員会

第三回庁内検討会議

- ・場所：沖縄市役所会議室

・日時：令和7年12月23日
- ・議題：

1.課題の抽出

2.課題の整理（現況ゾーニング）

3.「集う」機能強化の計画案

- 4.課題の整理（園路）
- 5.園路の計画案

- 委員会メンバー
- ・委員長：副市長

・副委員長：経済文化部長

・委員：企画部長、健康福祉部長、総務部長、建設部長、こどものまち推進部長

主な意見

1. ランニングコスト・将来コスト

- ランニングコストの算出根拠が不明確。
- 将来の指定管理料・大規模修繕費は数億円規模になる想定だが、見込みが示されていない。
- 陸上競技場を「1種」にするのか、将来像の整理が必要。

2. 園路接続・段階的整備の不明確さ

- 資料の「段階的整備」の内容が分かりにくい。
- 導線整備におけるコスト根拠の詳細提示を求める声。

3. 防災機能の懸念

- サブグラウンド人工芝化で仮設住宅設置が可能なのか。
- ペDESTリアンデッキ整備で災害時の大型車両の通行が支障なく確保されるか。

4. 園路安全性（イベント時の人流）

- エイサー祭りの退場時など、大量の人が一時滞留した場合の安全性・強度に懸念。
- 清掃、安全誘導、警備体制など運営面の課題も指摘。

5. 多目的グラウンドの利便性

- テニス・ソフトボール併用で市民の使い勝手が悪くならないか。
- 可動式仕切りが防災対応の妨げにならないか。

6. A案・B案の比較に関する意見

- 交流拠点広場はA案の位置が良いとの意見が多数。
- 勾配・導線（車いす・ベビーカー対応）をより精査すべき。
- アクセス改善として「レフホテル⇄陸上競技場」「アリーナ⇄県道沿い」デッキ整備も必要。
- ホテル建設の必要性を指摘する部署もあり。
- 歩車道分離や市道廃止の検討も必要。
- 公園の植栽景観の魅力づくりも意見として挙げた。

決定事項：

1. ランニングコスト・陸上競技場の方向性

- 陸上競技場1種・2種取得は「選ばれる施設づくり」の一つとして今後も意見を踏まえ検討を継続。将来のコスト削減策（稼ぐ力の導入）を検討していく。

2. 園路整備の進め方

- 高低差が課題となる「立体駐車場⇄野球場」の導線整備を最優先で段階的に進める。

3. 防災対応について

- サブグラウンド人工芝化後も仮設住宅設置は可能（耐荷重確保）。ペDESTリアンデッキ下の高さ（約4.5m）により重車両通行も確保。

4. 園路安全性の課題は次回 A/B 案で再検討

- 耐荷重だけでなく人流コントロール（運営視点）を含めた整理が必要。本会議では結論を持たず、次回 A/B 案提示時に再検討する。

5. 多目的グラウンドの整備方針

- テニス・ソフトボール併用は、利用時に相互制限を前提に設計。可動式仕切り（ロック付きローラー）で防災対応も可能とする方向。

6. A 案・B 案の今後の扱い

- A案・B案の2案に絞って検討を継続。
- 精度をさらに高め、メリット・デメリットを整理した上で最終案を決定する。
- 交流拠点広場の位置はA案で決定。
- 導線ルートはA案・B案を基軸に「段差解消・安全性・イベント運営」を踏まえ最適化して決定する。

7. 市道廃止の可能性検討

- 歩車道分離の観点から、市道廃止可能性を沖縄市が確認し、可能であればA案として検討。

8. ホテル整備は今回は対象外だが今後の検討材料へ

- 公園内ホテルの提案は今回検討には至らず、今後の検討テーマとして整理。